



第 17 回 県民意識調査報告書

調査テーマ

「災害に対する意識と防災対策への期待について」

平成 23 年度

兵 庫 県

目次

調査の概要

1	調査目的	1
2	調査設計	1
3	回収結果	1
4	標本抽出および集計方法	2
5	回答者のプロフィール	3
6	標本誤差	5

調査の結果

1	災害や安全に関する意識	6
問1	特に不安に感じている災害等	6
問2	災害等に対する危機意識の変化	9
問3	ハザードマップの認識度	37
問4	原子力発電所についての関心	41
2	家庭や地域における防災への取組について	44
問5	東日本大震災に関連した支援活動	44
問6	家庭内での防災対策の取り組み	47
問7	住民同士の助け合いへの期待	69
問8	地域の防災対策への取り組み	73
問9	大災害発生直後の情報収集の手段	92
3	防災対策における行政等の対応について	96
問10	行政に支援を望む防災対策	96
問11	東日本大震災における関西広域連合の支援活動の認識	100
問12	大規模災害時の高齢者や障害者などの情報提供の是非	107
4	毎年調査項目	111
問13	大地震発生の可能性	111
問14	去年と比べた生活の向上感	115
問15	今の生活全般での満足度	119
問16	今の生活の個別側面での満足度	123
問17	県政への関心	166
問18	県政への評価	171
問19	県民局の認知度	204

調査票

第17回	県民意識調査「災害に対する意識と防災対策への期待について」調査票	208
------	----------------------------------	-----

調査結果を読む際の注意

結果数値(%)は0.1%未満を四捨五入しているため、内訳の合計が計に一致しないことがある。

グラフ中のカテゴリーの順番が、調査票と異なることがある。

グラフ・表中での選択肢表記は、語句を短縮・簡略化していることがある。

調査の概要

1 調査目的

本調査は県民の価値観や行動志向、行政への評価・要望など、県民生活の基本的な意識の経年変化を大きな潮流として捉えることにより、政策形成、施策運営の基礎資料を得ることを目的としている。

今回は、年次テーマを「災害に対する意識と防災対策への期待について」とし、3月11日に発生した東日本大震災を機に地域防災計画の見直しや一層の防災施策の充実を推進するため、震災や防災に関する県民意識や防災活動の実情等を調査する。

2 調査設計

- (1) 調査地域 兵庫県全域
- (2) 調査対象 県内に居住する満20歳以上の男女個人
- (3) 標本数 5,000人
- (4) 調査方法 郵送法（ハガキによる督促1回）
- (5) 調査時期 平成23年9月7日(水)～9月26日(月)
- (6) 県民意識調査委員会

設問作成にあたり、県民意識調査委員会を設置して、下記の学識経験者から指導・助言を得た。

立木 茂雄 （同志社大学 教授）

田中 泰雄 （神戸大学都市安全研究センター長・教授）

鳥越 皓之 （早稲田大学 教授）

吉田 三千代 （(株)サンケイリビング新聞社 企画開発部長）

[五十音順]

3 回収結果

回収数 3,107件（62.1%）

地域	標本数	回収数	回収率	無効票	有効回答
神戸	500	285	57.0%	0	285
阪神南	500	267	53.4%	1	266
阪神北	500	315	63.0%	1	314
東播磨	500	305	61.0%	4	301
北播磨	500	314	62.8%	0	314
中播磨	500	320	64.0%	2	318
西播磨	500	350	70.0%	7	343
但馬	500	331	66.2%	5	326
丹波	500	323	64.6%	2	321
淡路	500	295	59.0%	2	293
地域不明	-	2	-	2	0
全県	5000	3,107	62.1%	26	3,081

無効票は属性不明等

4 標本抽出および集計方法

- (1) 母集団 住民基本台帳（H23.3.31）に記載された県民数に、外国人登録者数から推計した外国人県民（成人）数を加えたものを母集団とした。
- (2) 標本配分 地域ごとに500の標本数を都市規模別母集団構成比に応じて配分（合計5,000人）した。
 なお、外国人県民については、市区町ごとに、母集団（日本人+外国人県民）における外国人県民比率を計算し、各市区町の合計標本数（日本人+外国人県民）に、外国人県民比率を乗じ、外国人標本数を算出した。
- (3) 抽出方法 層化無作為抽出法
 - ・住民基本台帳（H23.3.31）に記載された県民数を母集団数とし、10の地域毎に500の標本数を市町別・男女別・年齢10歳階級別の母集団構成比に応じて配分した。
 - ・各地点における対象者の抽出は、住民基本台帳から等間隔抽出法で抽出した。
 - ・外国人県民については、市区町ごとに外国人録名簿等から無作為抽出した。
- (4) 集計方法 地域ごとの回収数について、全県内の母集団構成比を復元するよう重み付け集計をした。

地 域 区 分



県民局	該当市町
神戸	神戸市
阪神南	尼崎市、西宮市、芦屋市
阪神北	伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町
東播磨	明石市、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町
北播磨	西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市、多可町
中播磨	姫路市、神河町、市川町、福崎町
西播磨	相生市、たつの市、赤穂市、宍粟市、太子町、上郡町、佐用町
但馬	豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町
丹波	篠山市、丹波市
淡路	洲本市、南あわじ市、淡路市

5 回答者のプロフィール

性別 (%)

	男性	女性	不明
全県	41.9	58.1	0.1
神戸	41.1	58.9	0.0
阪神南	41.0	59.0	0.0
阪神北	43.9	55.7	0.3
東播磨	40.5	59.5	0.0
北播磨	43.3	56.7	0.0
中播磨	42.5	57.5	0.0
西播磨	43.7	56.3	0.0
但馬	43.9	55.8	0.3
丹波	44.2	55.8	0.0
淡路	41.0	59.0	0.0

年齢 (%)

	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不明
全県	8.8	14.3	15.3	16.9	21.5	15.2	7.9	0.1
神戸	9.8	11.6	16.8	18.2	20.0	15.1	8.4	0.0
阪神南	7.9	17.3	15.8	14.3	21.4	16.2	7.1	0.0
阪神北	9.6	15.9	14.0	15.9	22.3	14.3	7.6	0.3
東播磨	8.0	16.6	15.6	18.9	21.3	14.6	5.0	0.0
北播磨	9.2	11.5	14.3	15.6	22.6	16.6	10.2	0.0
中播磨	6.9	17.3	16.4	16.7	20.8	15.1	6.9	0.0
西播磨	10.2	12.8	12.5	17.2	24.5	14.6	7.9	0.3
但馬	7.1	10.1	11.0	18.4	23.6	14.7	15.0	0.0
丹波	6.5	8.1	10.6	20.9	23.4	18.4	12.1	0.0
淡路	10.9	10.6	13.7	15.7	24.6	14.0	9.9	0.7

職業 (%)

	職業別								不明
	自営業	正規社員 (職員)	会社等の 役員	契約・ 派遣社員	パート・ アルバイト	主婦 (主夫)	学生	その他 無職	
全県	8.8	24.2	2.3	6.2	13.4	17.6	1.8	25.3	0.6
神戸	8.8	23.9	2.5	6.7	12.3	17.9	2.5	25.3	0.4
阪神南	6.8	24.4	3.0	7.5	13.2	14.3	1.9	28.9	0.0
阪神北	6.4	22.3	1.6	5.1	16.2	23.9	1.0	22.9	0.6
東播磨	5.3	24.9	1.7	8.0	15.6	18.9	0.3	24.6	0.7
北播磨	13.1	23.6	1.9	4.8	11.5	14.6	1.9	28.3	0.3
中播磨	9.4	25.2	2.8	4.4	13.5	17.3	3.5	22.0	1.9
西播磨	10.2	29.7	2.0	4.7	12.5	15.5	1.2	23.0	1.2
但馬	16.3	21.2	2.1	5.2	11.3	14.4	0.0	28.2	1.2
丹波	20.9	22.4	2.2	4.0	9.7	17.4	0.3	23.1	0.0
淡路	19.8	23.9	1.4	3.1	12.3	13.7	1.7	22.9	1.4

世帯構成 (%)

	1人世帯	夫婦だけ (1世代)	親と子ども (2世代)	親と子と孫 (3世代)	その他	不明
全県	9.4	26.6	52.4	9.9	1.5	0.2
神戸	10.9	28.1	54.4	6.0	0.7	0.0
阪神南	13.5	31.6	47.0	6.0	1.9	0.0
阪神北	7.0	26.8	56.7	7.3	1.9	0.3
東播磨	8.3	24.6	58.5	8.0	0.3	0.3
北播磨	7.6	22.9	46.2	21.7	1.6	0.0
中播磨	6.3	22.3	54.1	14.5	2.5	0.3
西播磨	7.3	24.5	49.0	15.7	2.9	0.6
但馬	7.7	23.3	43.3	23.0	1.5	1.2
丹波	6.5	19.9	42.4	28.0	3.1	0.0
淡路	5.8	20.8	50.9	19.5	3.1	0.0

家族構成 (%)

	乳幼児	小学生・ 中学生	高校・ 大学・専 門学校生	高齢者	その他
全県	10.6	16.4	13.7	46.9	76.4
神戸	9.5	13.7	15.1	42.8	73.3
阪神南	11.7	16.9	11.3	44.0	71.4
阪神北	10.8	15.9	13.7	45.5	78.0
東播磨	10.0	15.0	11.3	41.5	80.4
北播磨	10.2	15.9	16.6	63.7	80.3
中播磨	13.5	24.8	16.4	48.1	81.8
西播磨	11.7	13.7	13.1	53.6	78.7
但馬	9.5	20.2	12.6	64.4	77.6
丹波	7.2	19.6	16.8	66.0	80.7
淡路	9.2	16.4	13.0	58.4	79.9

居住年数 (%)

	1年未満	1～10年	10～20年	20年以上	不明
全県	3.0	25.2	22.7	48.4	0.6
神戸	3.9	26.7	28.8	39.6	1.1
阪神南	4.9	36.8	25.6	32.7	0.0
阪神北	1.3	30.3	23.2	44.6	0.6
東播磨	2.7	19.3	20.9	56.5	0.7
北播磨	1.0	16.6	13.7	68.5	0.3
中播磨	3.1	19.2	20.8	56.6	0.3
西播磨	0.6	15.7	11.4	71.7	0.6
但馬	1.5	15.3	11.7	69.9	1.5
丹波	1.2	13.1	12.5	72.6	0.6
淡路	1.7	12.6	14.0	70.6	1.0

6 標本誤差

世論調査で無作為抽出法をとった場合は、数学的に標本誤差を計算することが可能であり、誤差の幅はサンプル数と得られた結果の比率などによって異なる。

今回の調査のサンプル数についての標本誤差の幅は、以下のとおりである。

誤差の算出式

(層化抽出、信頼度 95%の場合)

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(100 - P)}{n}}$$

N:母集団 n:回答者総数 P:回答比率(%)

例：サンプル数 3,081の場合

回答比率 (%)	10%	20%	30%	40%	50%
	(または90%)	(または80%)	(または70%)	(または60%)	
誤差 (%)	±1.08	±1.44	±1.65	±1.77	±1.80

調査の結果

1 災害や安全に対する意識

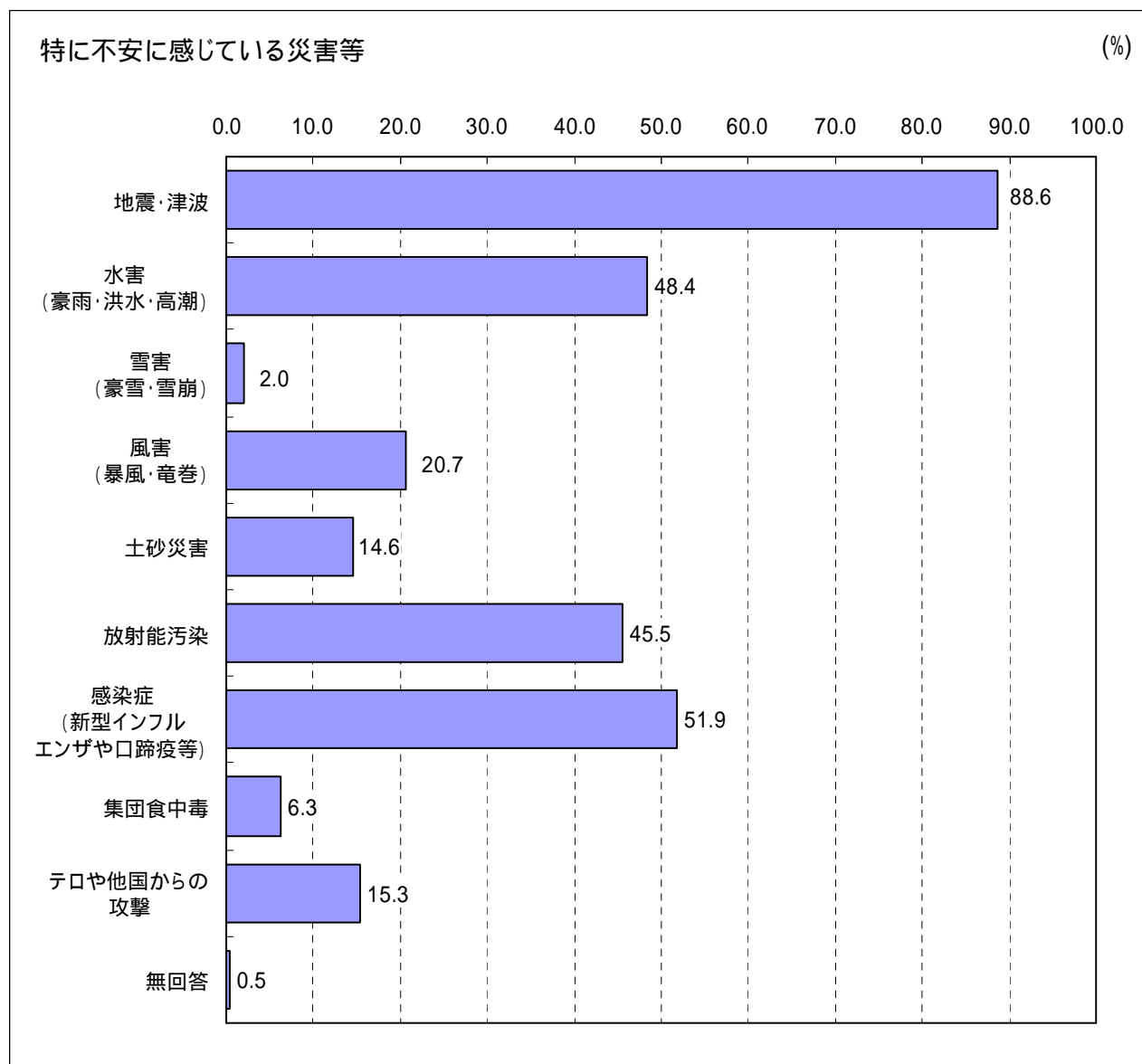
問1 特に不安に感じている災害等

問1 私たちの生活に大きな影響を与える災害や感染症等についてあなたが特に不安に感じているものはどれですか。次の中から3つ選んで番号に 印をつけて下さい。

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1 地震・津波 | 6 放射能汚染 |
| 2 水害（豪雨・洪水・高潮） | 7 感染症（新型インフルエンザや口蹄疫等） |
| 3 雪害（豪雪・雪崩） | 8 集団食中毒 |
| 4 風害（暴風・竜巻） | 9 テロや他国からの攻撃 |
| 5 土砂災害 | |

【全 県】

東日本大震災の影響を受け「地震・津波」が約9割と突出しているが、「感染症」、「水害」、「放射能汚染」も約5割と多い。



【地域別】

全地域で「地震・津波」への不安が最も多い。

但馬・淡路では「水害」への不安が、阪神間では「感染症」と「放射能汚染」への不安が多い。

特に不安に感じている災害等【地域別】

	最大値					最小値					(%)
	地震・津波	水害 (豪雨・洪水・高潮)	雪害 (豪雪・雪崩)	風害 (暴風・竜巻)	土砂災害	放射能汚染	感染症(新型インフルエンザや口蹄疫等)	集団食中毒	テロや他国からの攻撃		
全 県	88.6	48.4	2.0	20.7	14.6	45.5	51.9	6.3	15.3		
地域別											
神 戸	87.0	40.0	0.7	20.4	13.3	48.8	57.5	6.3	17.5		
阪神南	96.2	48.9	1.1	16.2	9.4	53.0	48.5	5.6	17.3		
阪神北	88.2	33.4	1.6	22.9	15.0	51.0	57.6	6.4	17.5		
東播磨	94.4	51.8	0.3	22.9	6.3	43.9	53.2	7.6	15.3		
北播磨	80.9	50.3	1.6	30.9	20.4	38.5	48.4	6.4	13.4		
中播磨	88.1	63.2	0.9	21.1	14.5	37.7	50.0	6.6	12.6		
西播磨	81.6	62.7	2.3	19.8	27.4	33.8	42.0	7.0	11.4		
但 馬	71.8	69.3	29.4	11.7	35.9	31.0	31.6	5.2	5.5		
丹 波	72.0	57.9	5.3	27.7	33.3	38.0	44.2	5.6	10.6		
淡 路	89.4	68.3	1.0	20.1	27.6	28.7	45.4	2.4	5.1		
地域間の差	24.5	35.9	29.1	19.2	29.6	24.3	26.0	5.3	12.4		

【性別、性・年代別】

性別・年齢を問わず、「地震・津波」が非常に多い。

「放射能汚染」への不安は女性の方が多く(6.4ポイント差)、「水害」への不安は男性の方が多く(5.2ポイント差)。

男女ともに、30代、40代で「感染症」への不安が多い。

特に不安に感じている災害等【性別】

	最大値					最小値					(%)
	地震・津波	水害 (豪雨・洪水・高潮)	雪害 (豪雪・雪崩)	風害 (暴風・竜巻)	土砂災害	放射能汚染	感染症(新型インフルエンザや口蹄疫等)	集団食中毒	テロや他国からの攻撃		
全 県	88.6	48.4	2.0	20.7	14.6	45.5	51.9	6.3	15.3		
性別											
男 性	87.5	51.4	1.7	21.4	15.0	41.7	52.1	5.7	17.1		
女 性	89.5	46.2	2.3	20.2	14.3	48.2	51.7	6.7	14.1		
性別間の差	2.0	5.2	0.7	1.2	0.7	6.4	0.5	1.0	3.0		

特に不安に感じている災害等【性・年代別、男性】

(%)

	地震・津波	水害 (豪雨・洪水・高潮)	雪害 (豪雪・雪崩)	風害 (暴風・竜巻)	土砂災害	放射能汚染	感染症(新型インフルエンザや口蹄疫等)	集団食中毒	テロや他国からの攻撃
全 県	88.6	48.4	2.0	20.7	14.6	45.5	51.9	6.3	15.3
性・年代別									
男 性									
20代	98.6	42.4	2.6	9.5	8.9	42.3	55.0	8.4	27.8
30代	87.0	45.2	0.7	8.9	18.2	52.7	62.8	7.5	13.8
40代	88.4	51.4	1.4	15.3	12.0	41.3	61.6	2.4	15.7
50代	84.2	61.9	1.7	19.2	12.0	46.4	44.1	4.1	22.9
60代	87.8	56.4	1.2	26.0	16.8	34.2	49.9	5.1	13.8
70代	86.7	42.7	1.8	34.9	15.3	40.4	51.1	9.6	13.8
80以上	83.0	51.8	4.3	33.1	22.5	35.5	37.9	2.4	16.7
年代間の差	15.6	19.5	3.6	26.0	13.6	18.5	25.0	7.1	14.0

特に不安に感じている災害等【性・年代別、女性】

(%)

	地震・津波	水害 (豪雨・洪水・高潮)	雪害 (豪雪・雪崩)	風害 (暴風・竜巻)	土砂災害	放射能汚染	感染症(新型インフルエンザや口蹄疫等)	集団食中毒	テロや他国からの攻撃
全 県	88.6	48.4	2.0	20.7	14.6	45.5	51.9	6.3	15.3
性・年代別									
女 性									
20代	94.8	48.3	5.3	10.5	13.6	54.7	46.7	8.2	16.0
30代	92.9	43.2	2.5	9.2	13.1	46.0	62.2	11.7	15.0
40代	92.4	46.7	0.9	13.2	11.8	52.5	59.8	7.7	13.0
50代	88.6	47.6	2.3	17.8	13.8	53.4	49.0	6.3	14.0
60代	87.0	45.5	1.4	22.5	17.0	48.5	48.8	5.5	18.7
70代	85.5	49.2	2.4	32.3	12.2	41.9	46.8	3.6	10.9
80以上	87.2	41.5	3.7	40.3	20.7	36.3	43.8	3.8	6.7
年代間の差	9.3	7.7	4.4	31.1	8.9	18.4	18.4	8.1	12.0

【職業別】

特に不安に感じている災害等【職業別】

(%)

	地震・津波	水害 (豪雨・洪水・高潮)	雪害 (豪雪・雪崩)	風害 (暴風・竜巻)	土砂災害	放射能汚染	感染症(新型インフルエンザや口蹄疫等)	集団食中毒	テロや他国からの攻撃
全 県	88.6	48.4	2.0	20.7	14.6	45.5	51.9	6.3	15.3
職業別									
自営業	82.8	54.5	2.9	20.5	17.6	41.6	48.4	4.7	19.6
正規社員(職員)	90.6	53.0	2.4	13.6	13.4	43.3	55.5	5.8	16.1
会社等の役員	74.2	58.8	0.9	24.7	12.9	34.7	69.1	6.8	14.7
契約・派遣社員	89.5	44.9	1.1	13.0	13.0	50.2	53.0	7.3	22.0
パートアルバイト	93.9	46.1	1.2	17.5	14.4	52.2	49.0	8.0	13.5
主婦(主夫)	87.1	42.2	2.6	22.0	14.7	50.3	53.3	7.0	12.8
学生	93.0	31.4	4.0	11.4	11.8	49.1	55.6	7.4	32.7
その他無職	88.0	48.5	1.8	30.0	15.4	42.1	48.3	5.2	12.9
職業間の差	19.7	27.3	3.1	18.6	5.7	17.6	20.8	3.3	19.9

問2 災害等に対する危機意識の変化

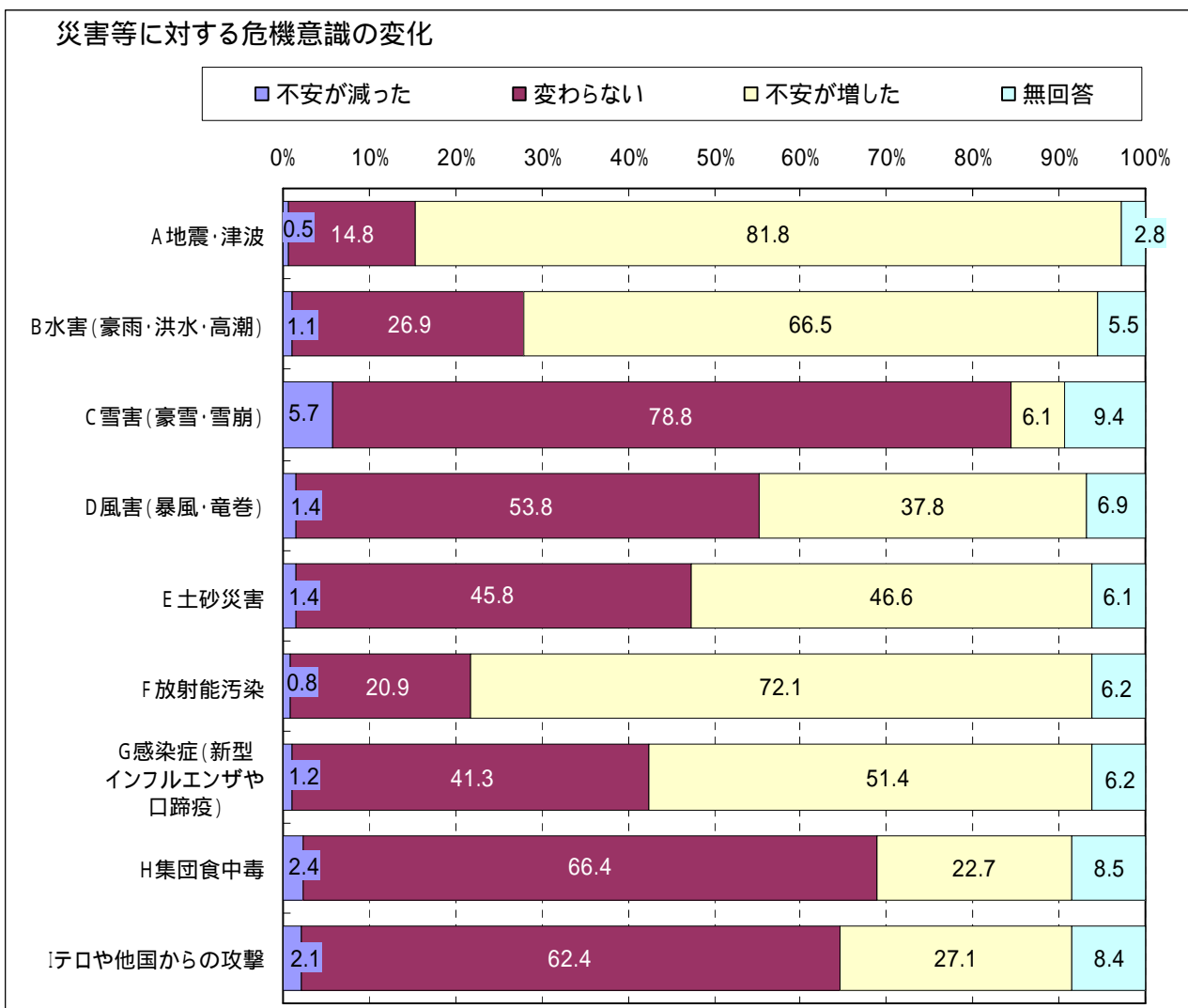
問2 最近になって、次に掲げる災害や感染症等に対するあなたの危機意識は変化しましたか。A～Iのそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に 印をつけて下さい。

- A 地震・津波
- B 水害（豪雨・洪水・高潮）
- C 雪害（豪雪・雪崩）
- D 風害（暴風・竜巻）
- E 土砂災害
- F 放射能汚染
- G 感染症（新型インフルエンザや口蹄疫等）
- H 集団食中毒
- I テロや他国からの攻撃

1：不安が減った 2：変わらない 3：不安が増した

【全 県】

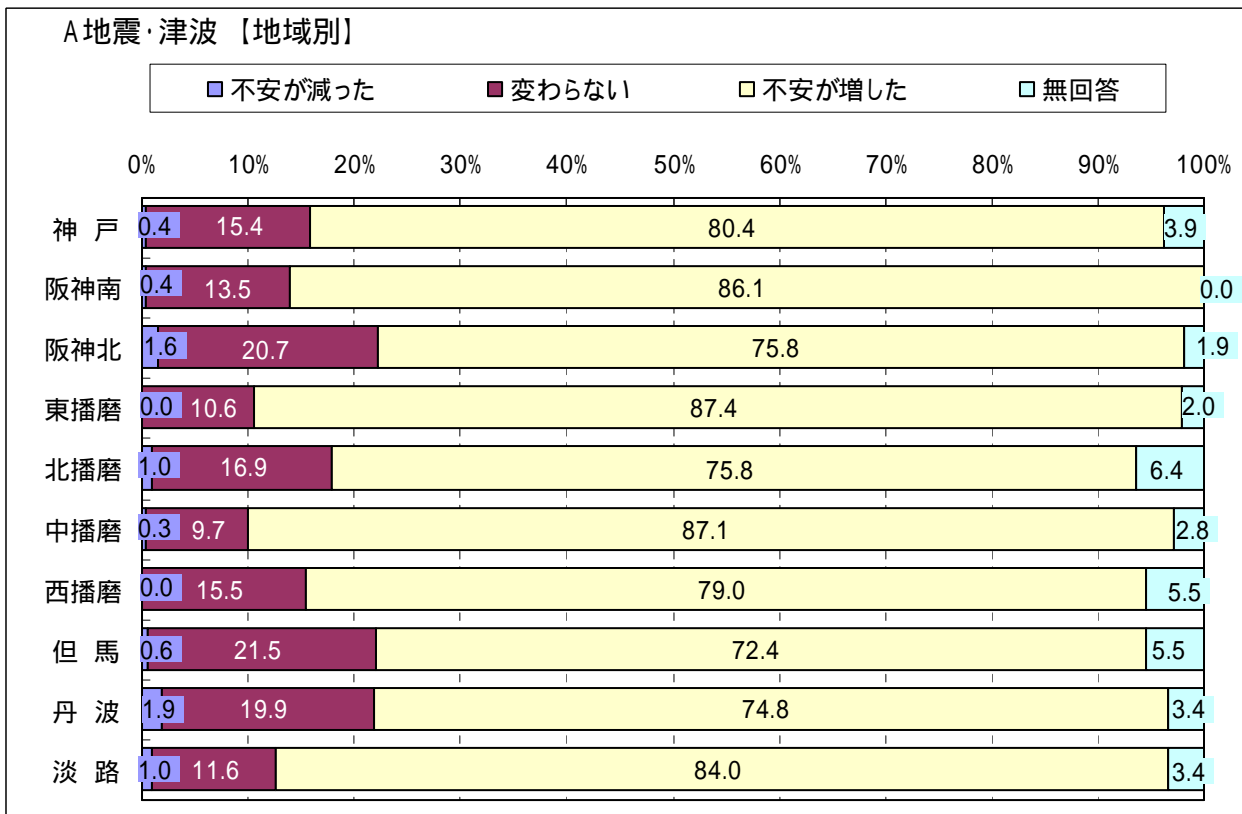
東日本大震災や近年の県内での災害等の影響を受け、〔地震・津波〕、〔放射能汚染〕、〔水害〕、〔感染症〕の順に不安が増している。



〔 A 地震・津波 〕

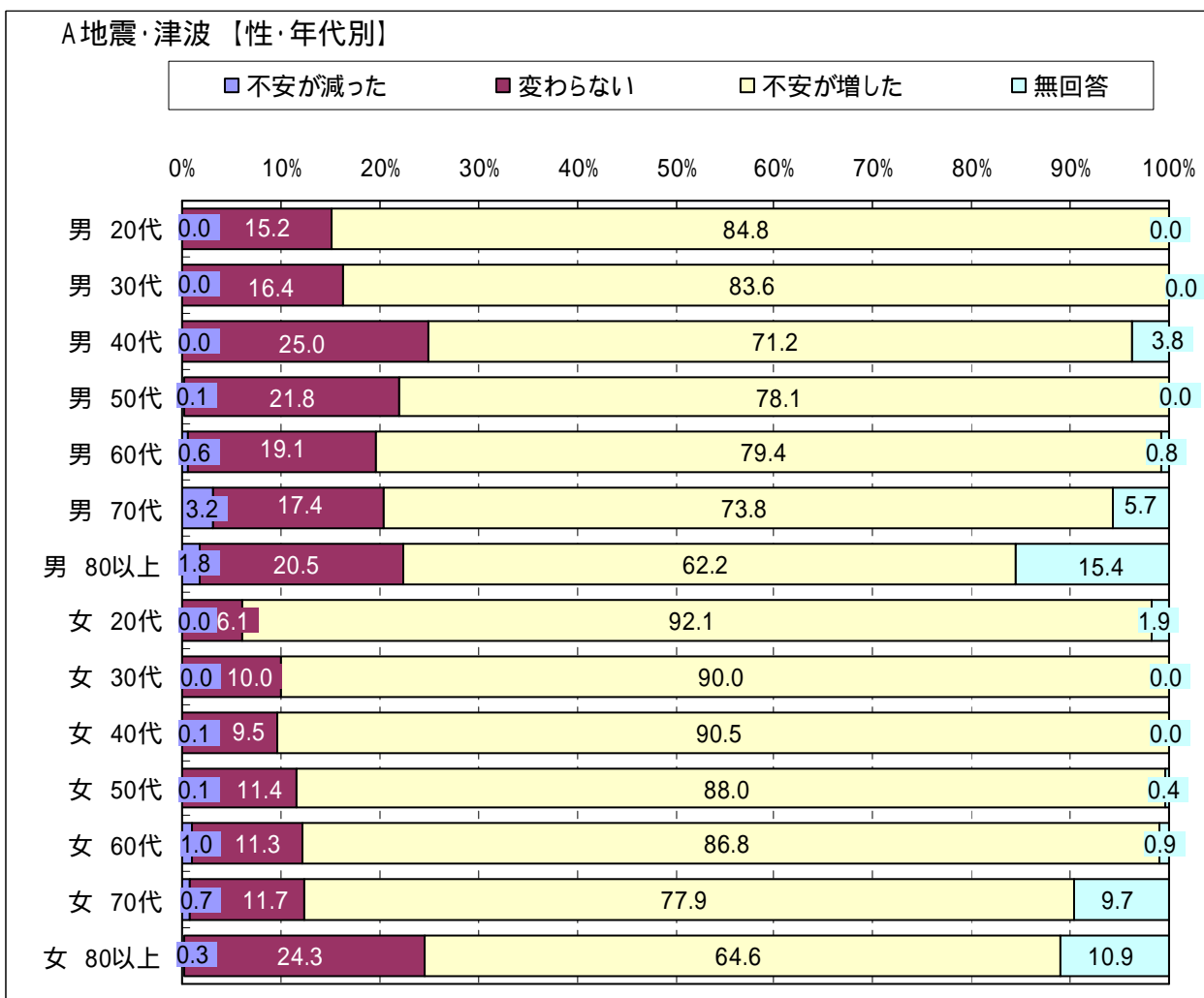
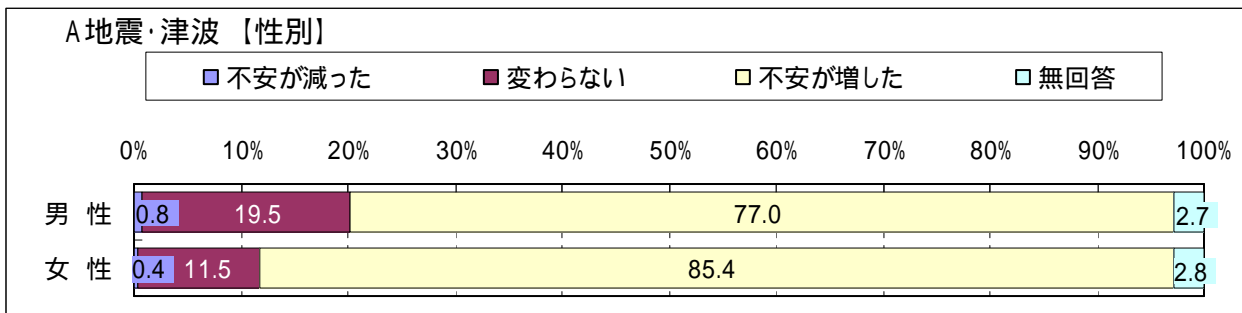
【地域別】

全地域で「不安が増した」が7～9割と多い。

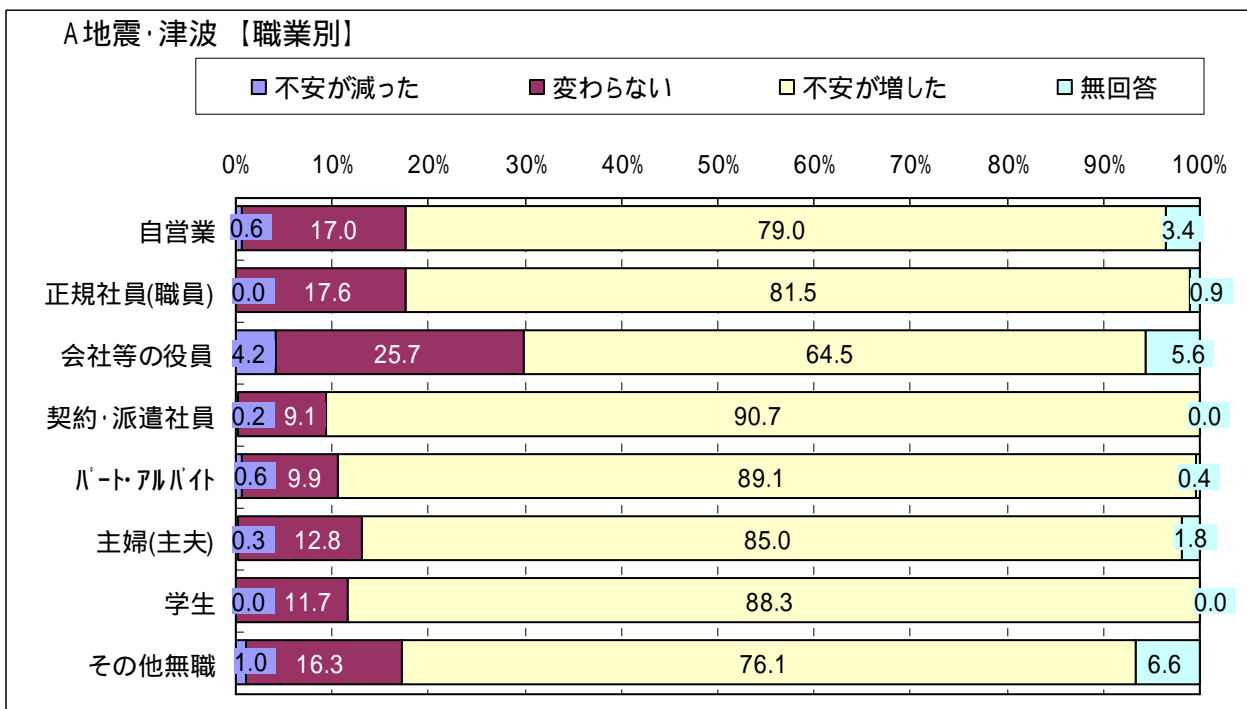


【性別／性・年代別】

性別では女性の方が「不安が増した」が多い。



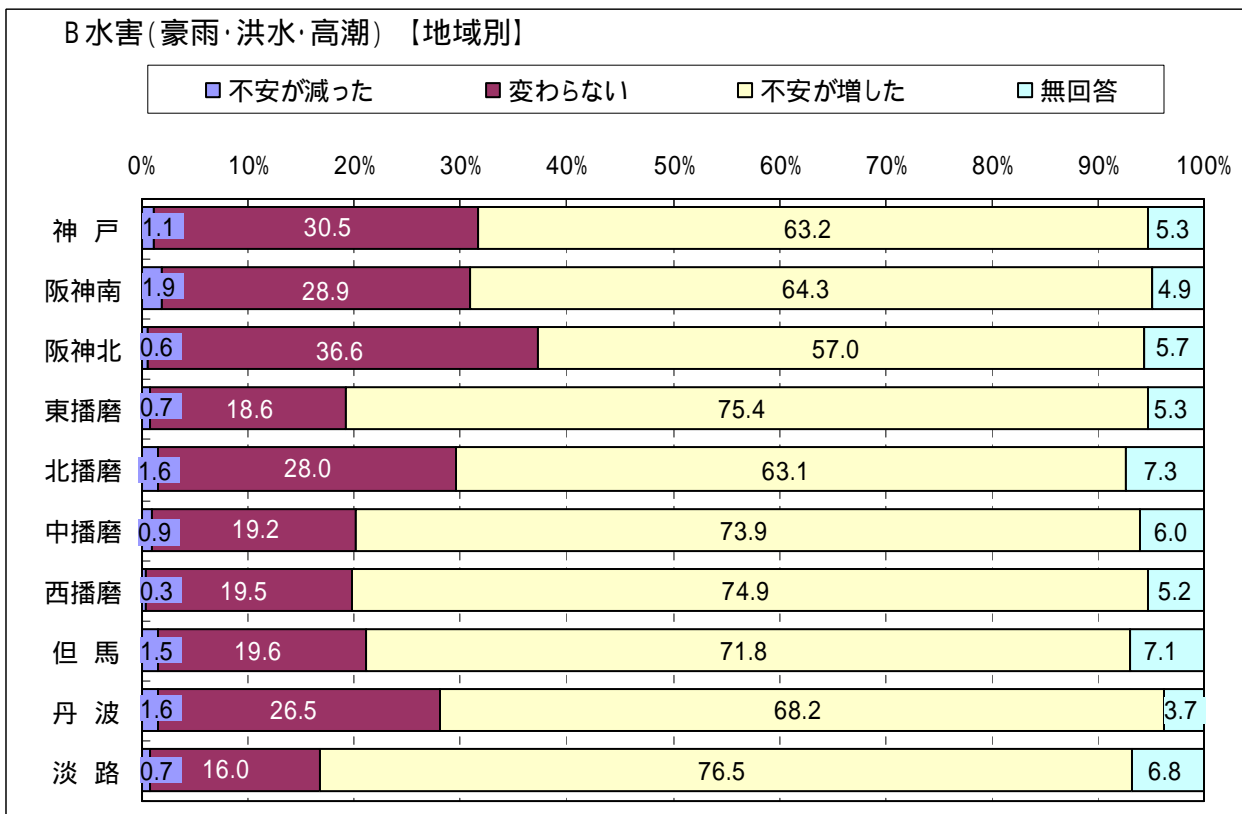
【職業別】



〔 B 水害（豪雨・洪水・高潮） 〕

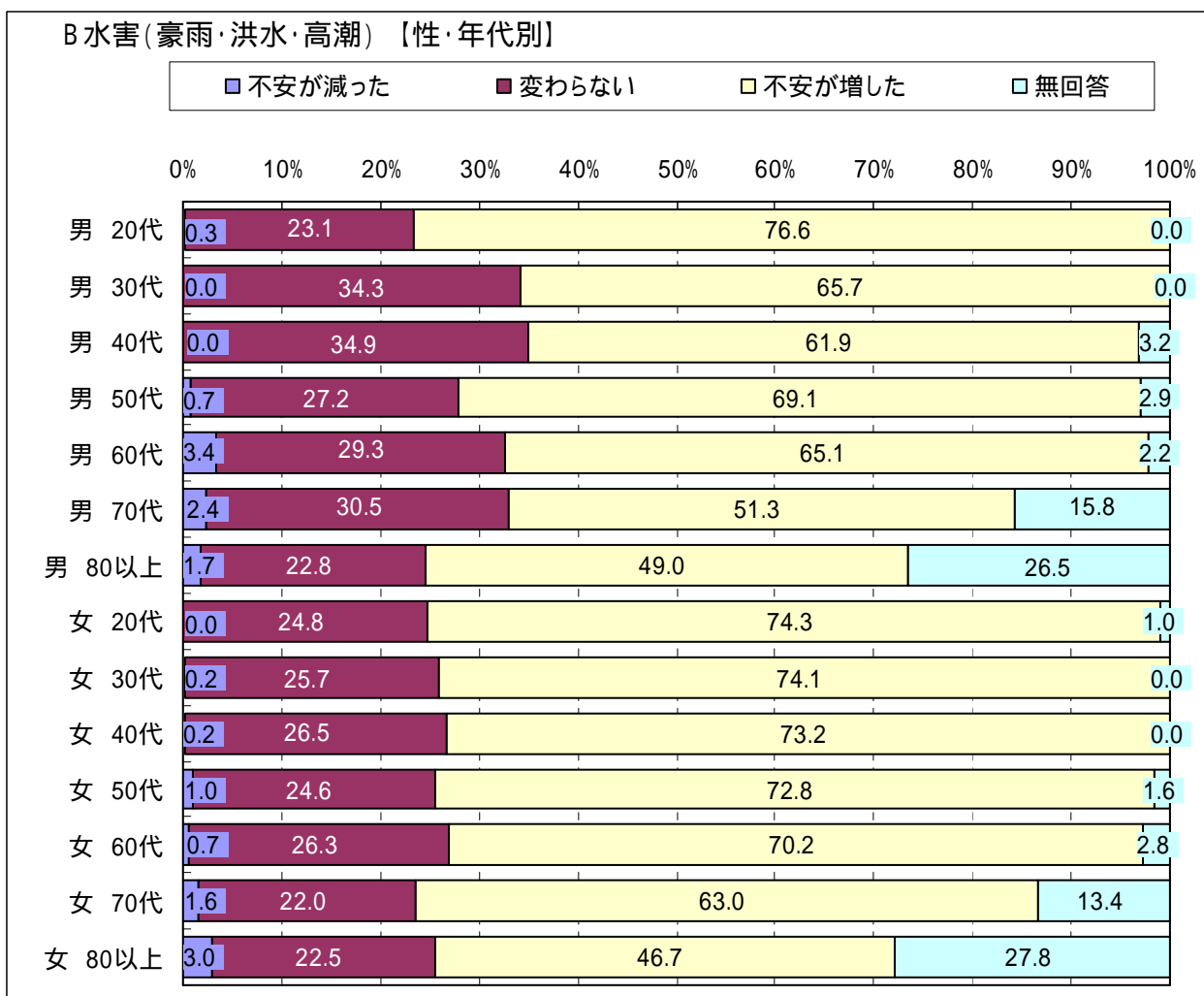
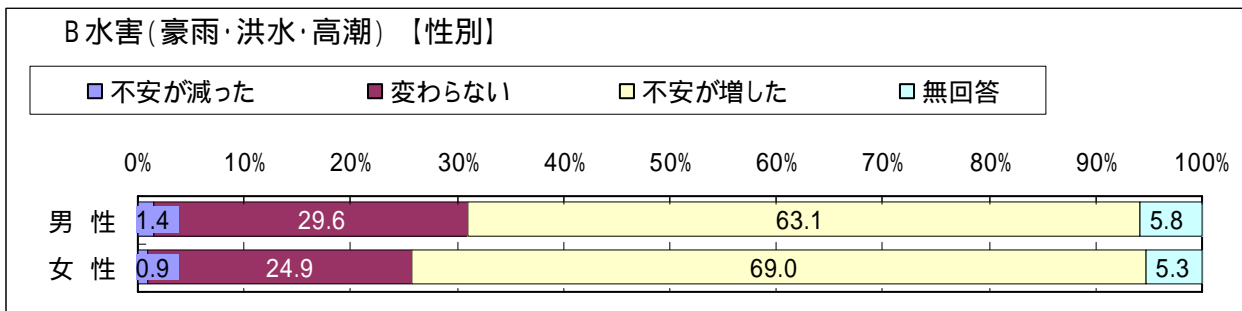
【地域別】

近年、災害を経験した東播磨、中播磨、西播磨、但馬、淡路の5地域では「不安が増した」が7割を超えている。

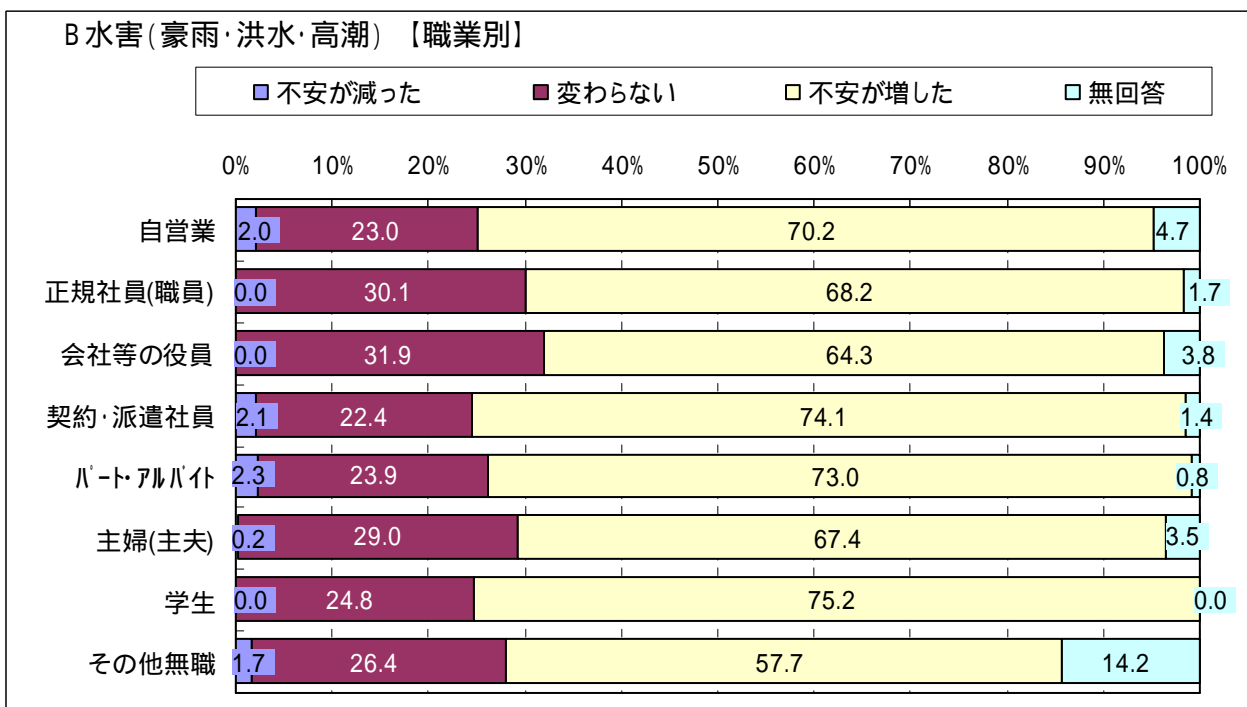


【性別 / 性・年代別】

性別では女性の方が「不安が増した」が多い。



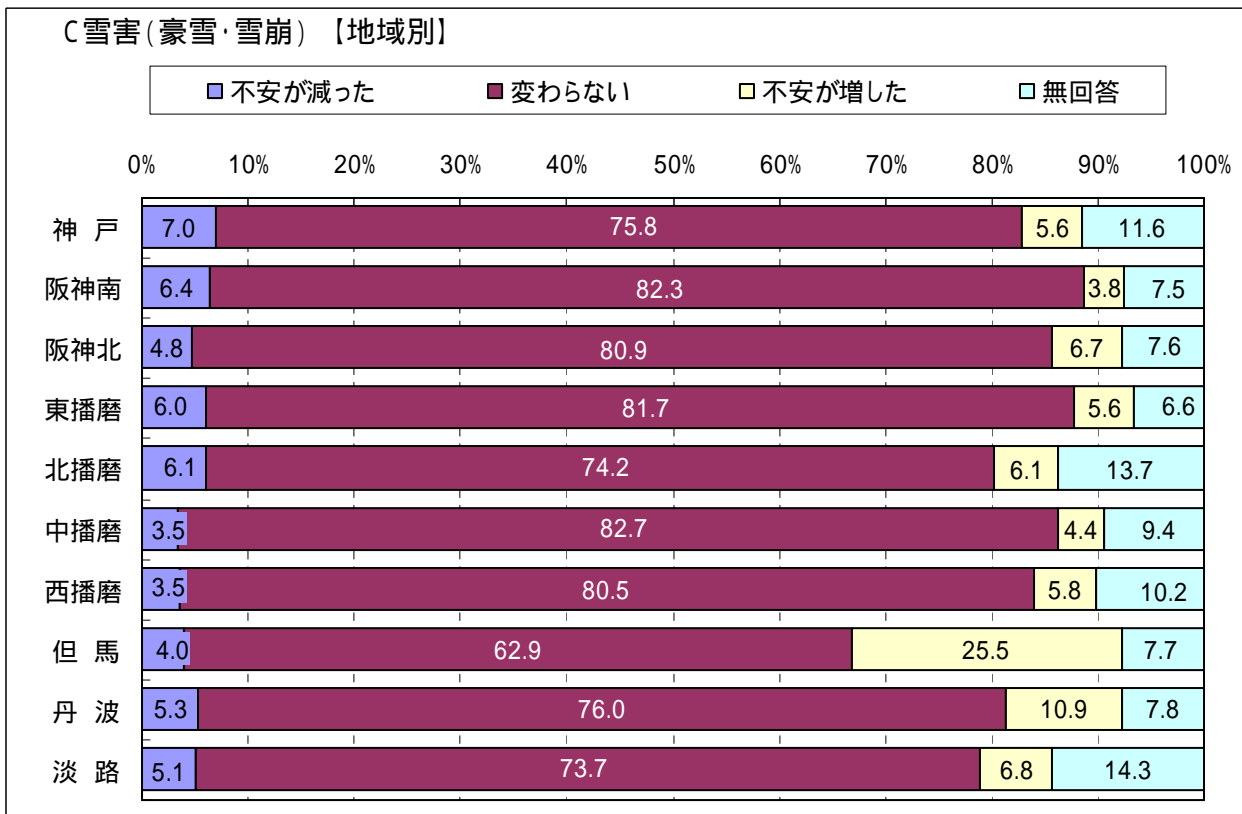
【職業別】



〔C 雪害（豪雪・雪崩）〕

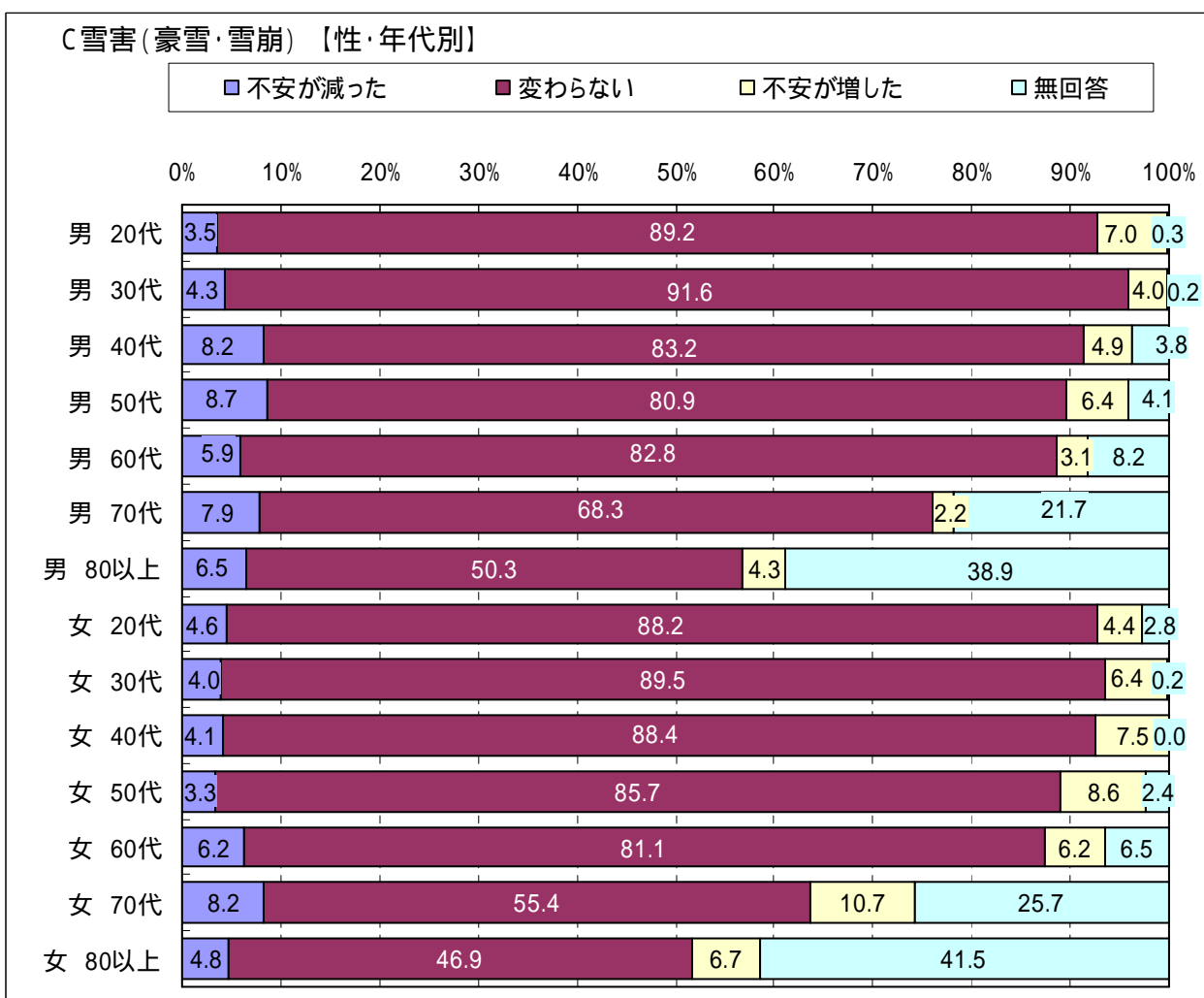
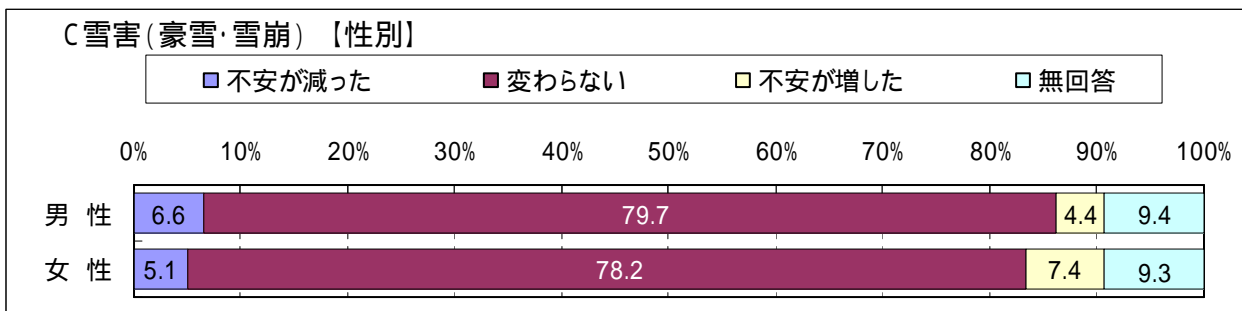
【地域別】

全地域で「変わらない」が多いが、但馬は他地域と比べて「不安が増した」が多い。

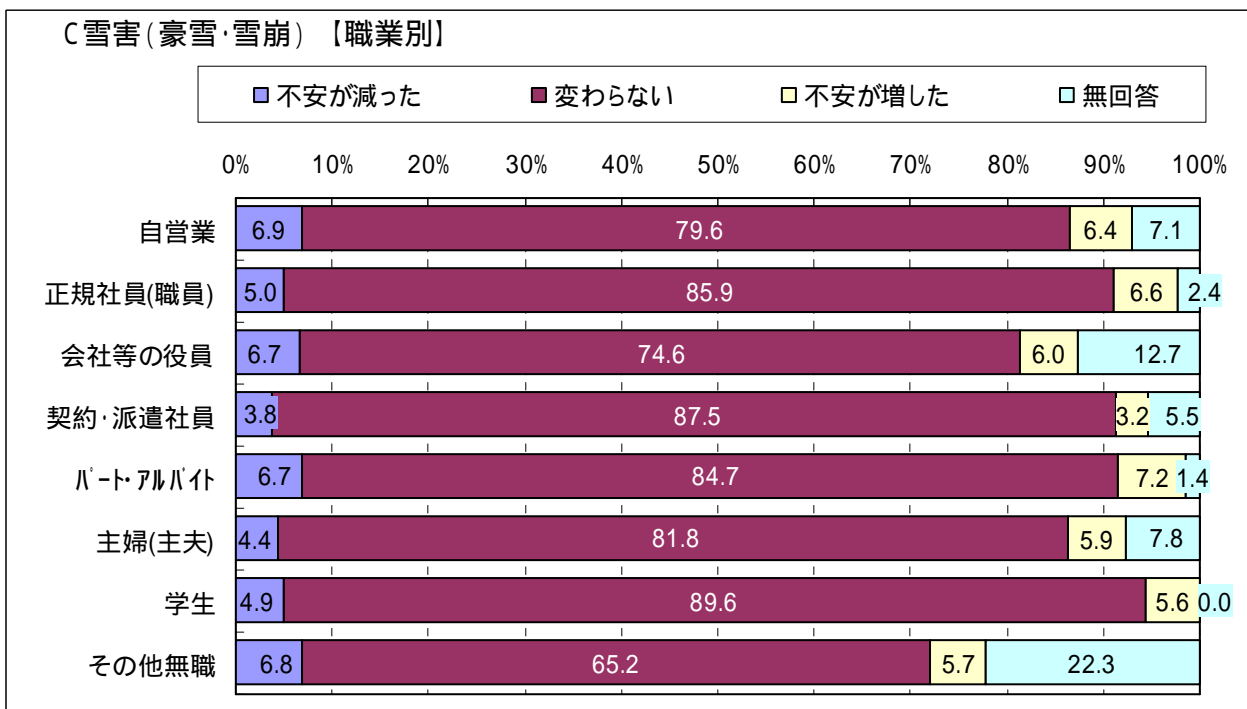


【性別／性・年代別】

性別、年代にかかわらず、「変わらない」が多い。



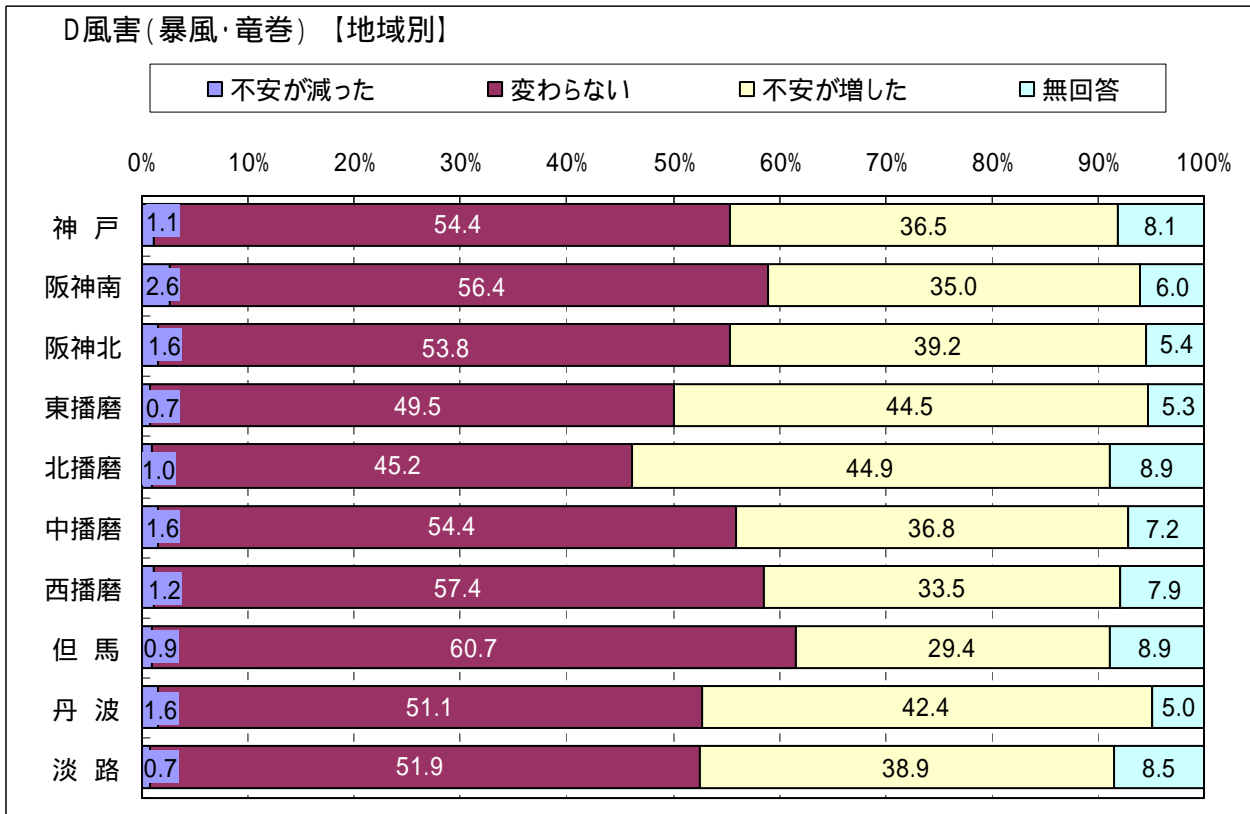
【職業別】



〔D 風害（暴風・竜巻）〕

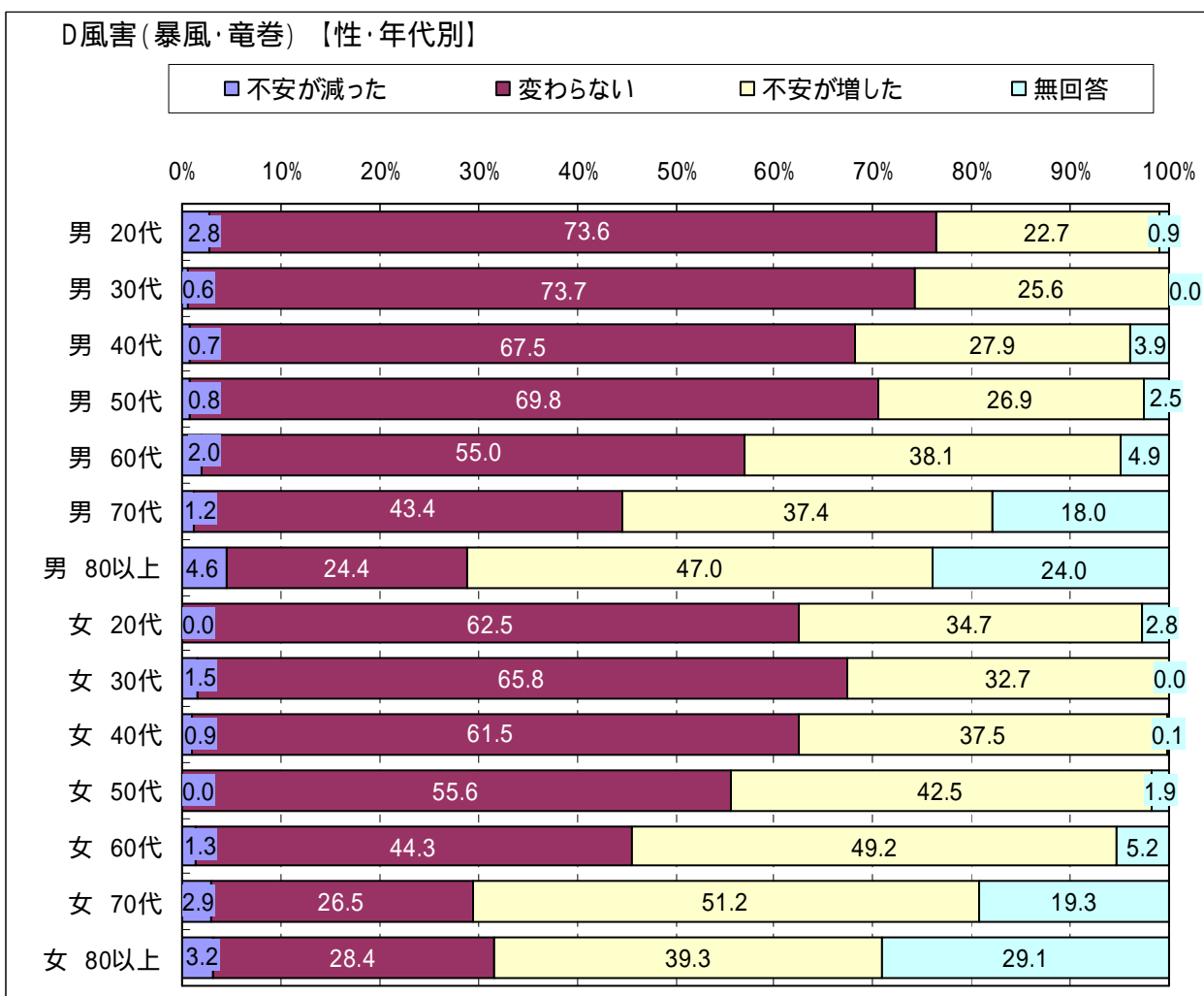
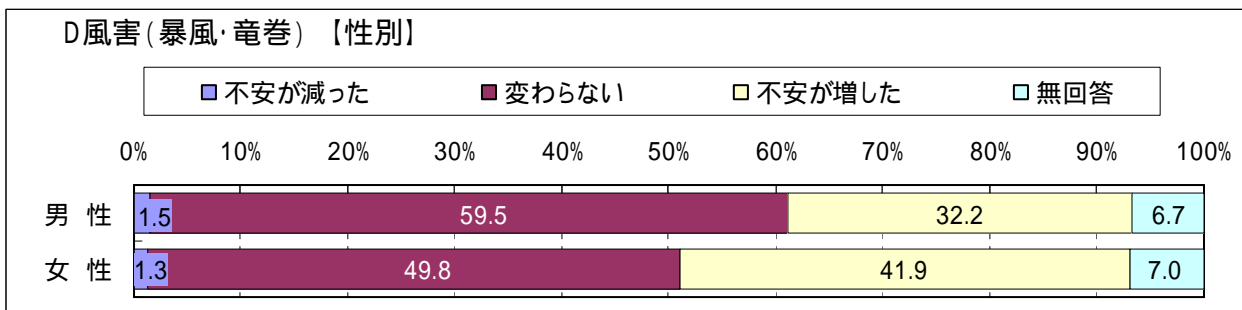
【地域別】

全地域で「変わらない」が「不安が増した」を上回っている。

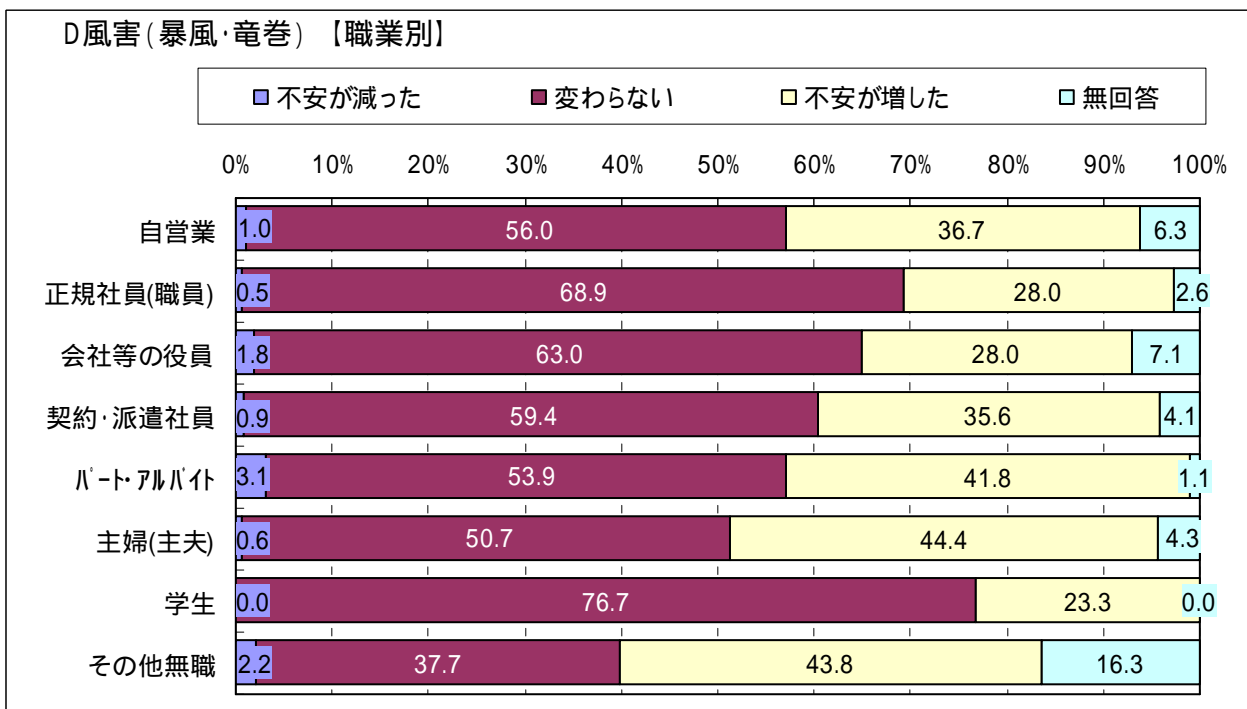


【性別／性・年代別】

性別では、女性の方が「不安が増した」が多く、年代別では、年代が高くなるほど「不安が増した」が多くなる傾向がみられる。



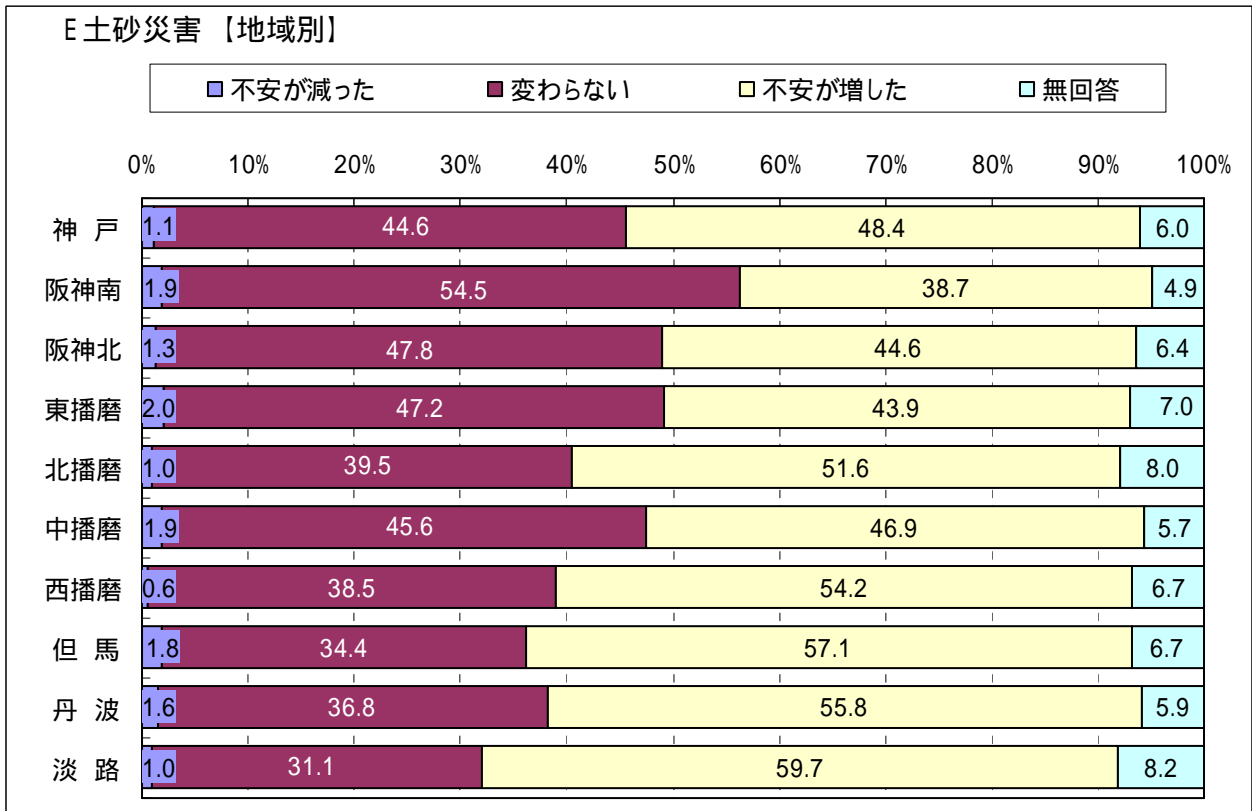
【職業別】



〔 E 土砂災害 〕

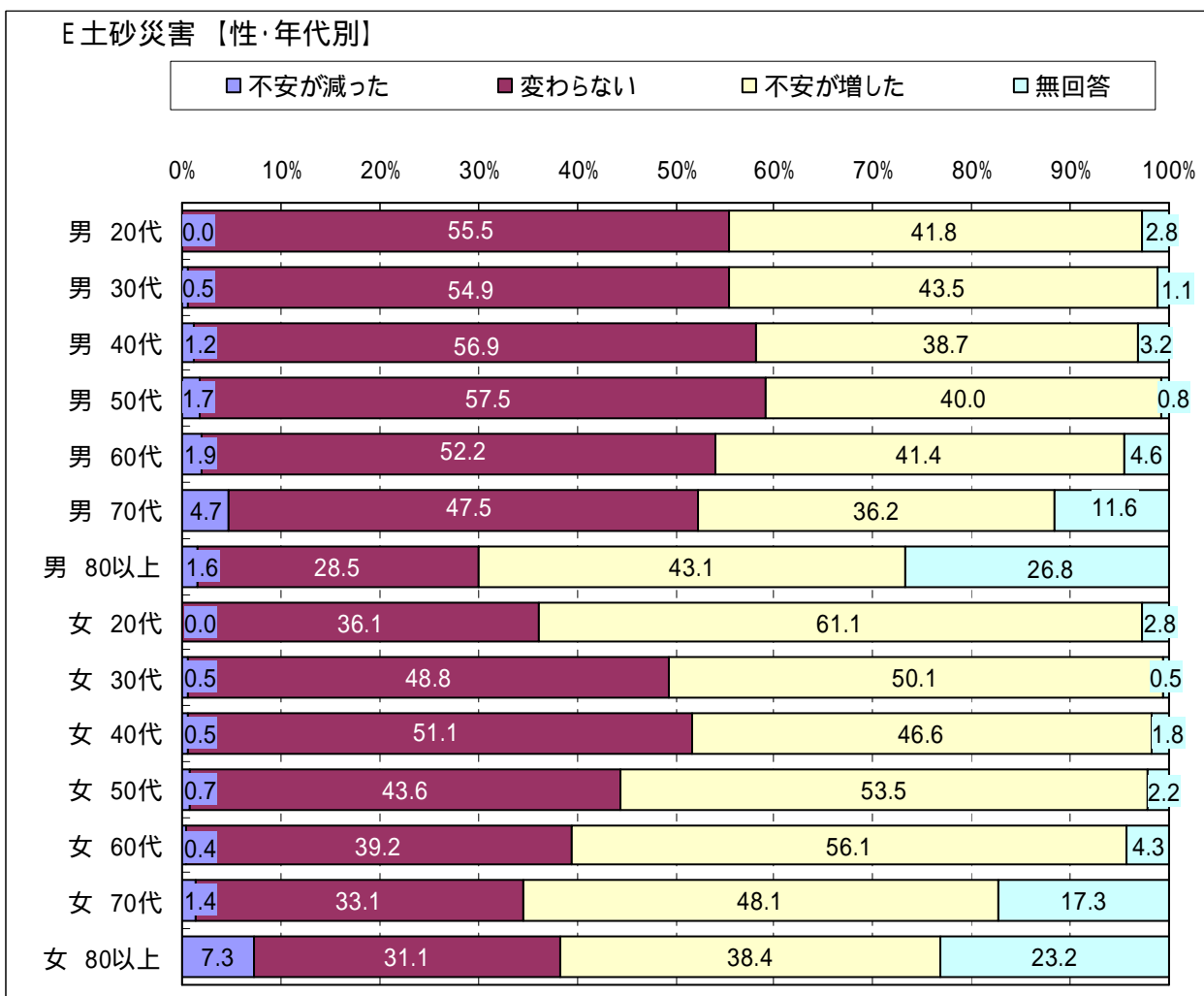
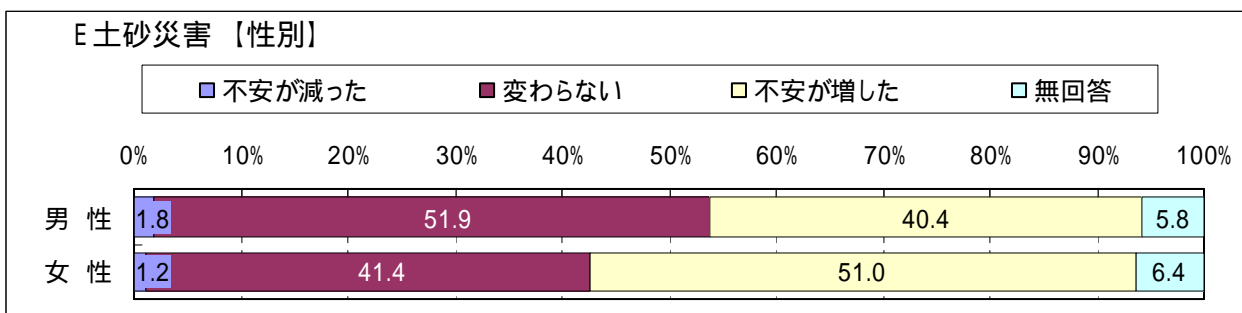
【地域別】

山間部の多い、淡路、但馬、丹波、西播磨、北播磨の5地域で「不安が増した」が5割を超えている。

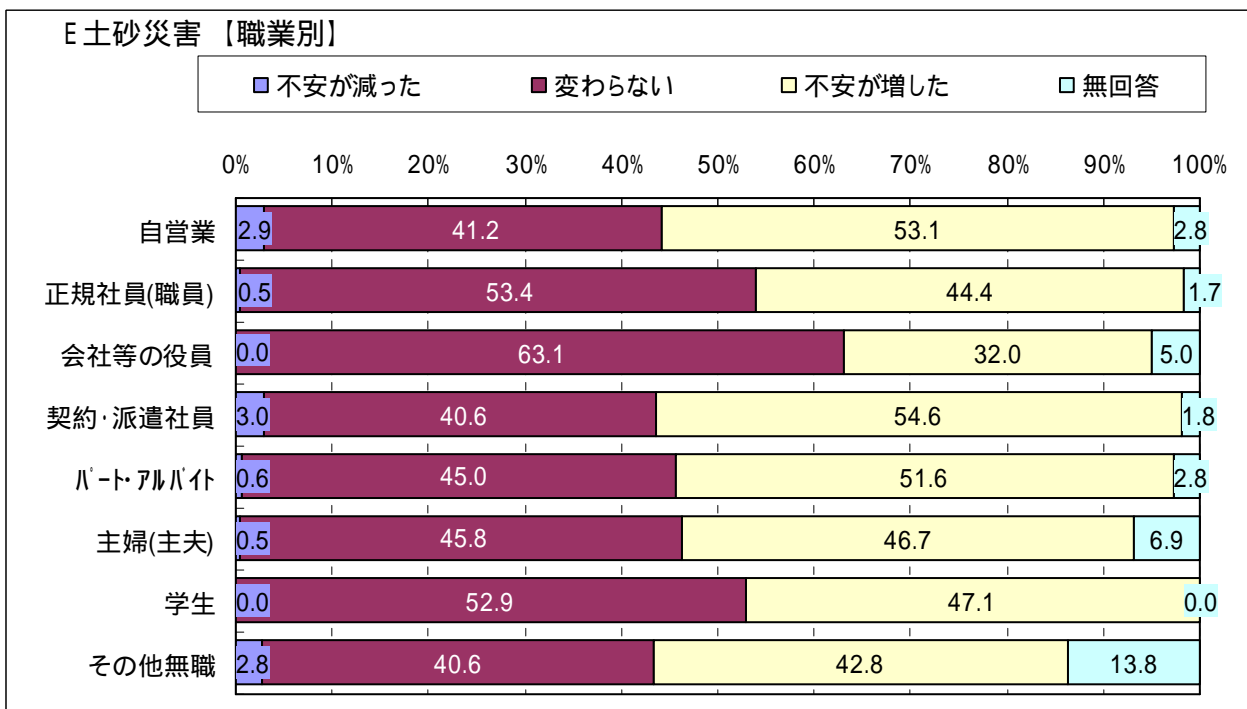


【性別 / 性・年代別】

性別では、女性の方が「不安が増した」が多い。



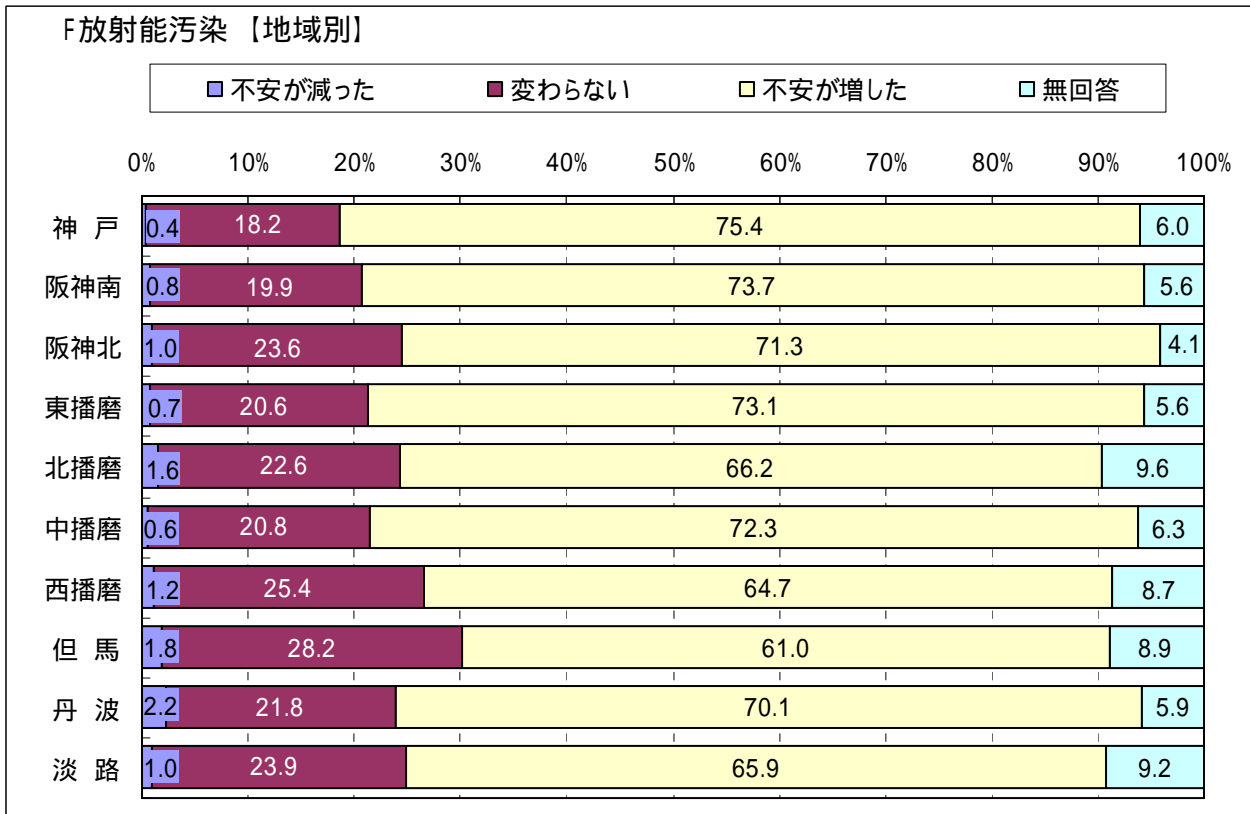
【職業別】



〔 F 放射能汚染 〕

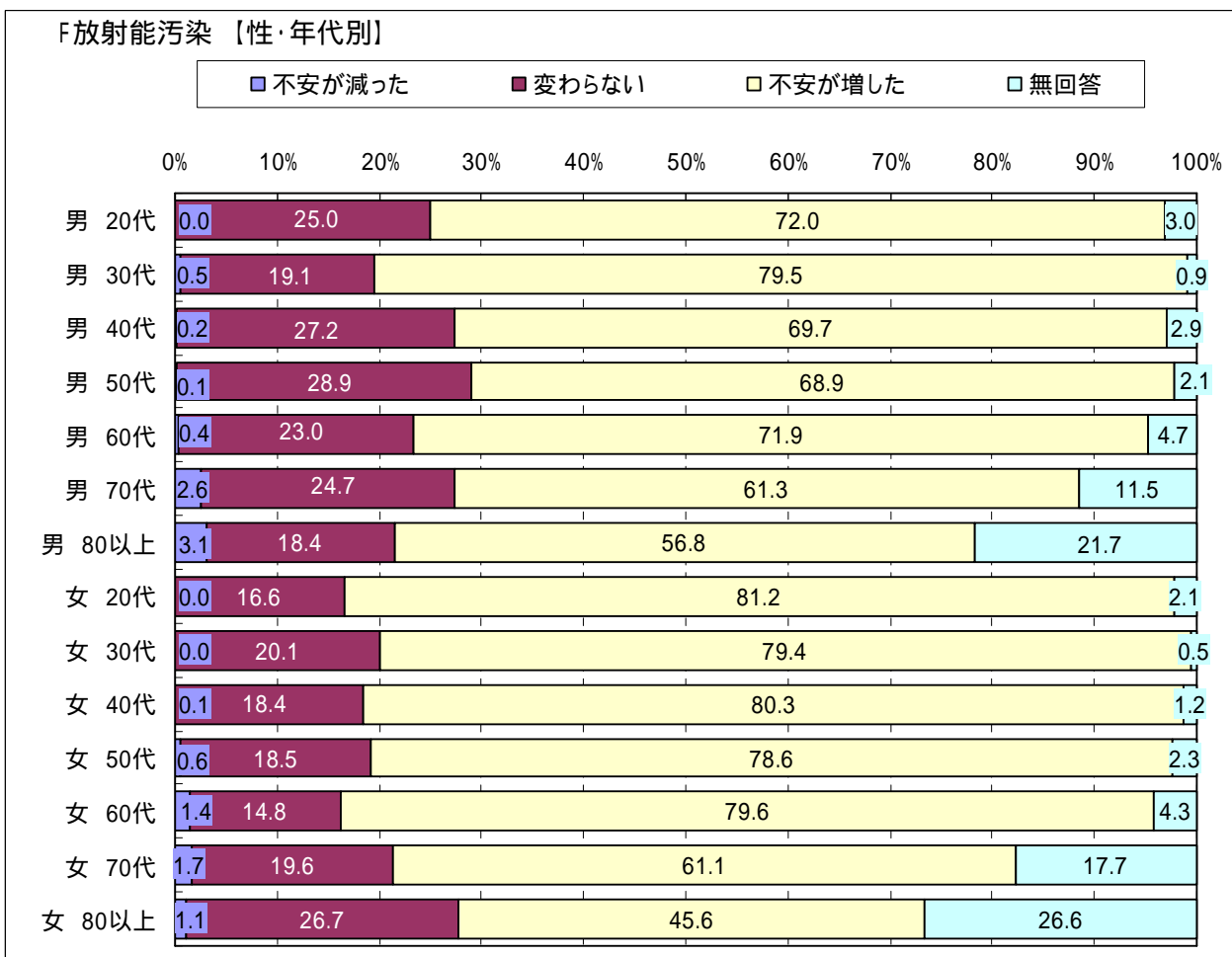
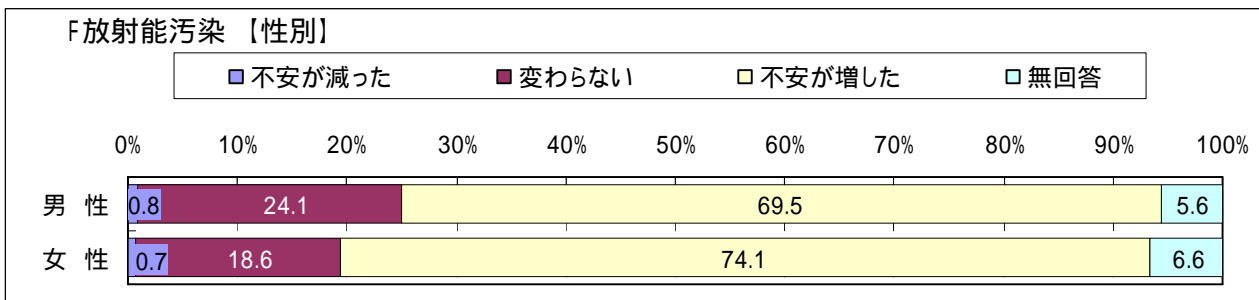
【地域別】

全地域で「不安が増した」が6～8割と多く、特に都市部において多い傾向がみられる。

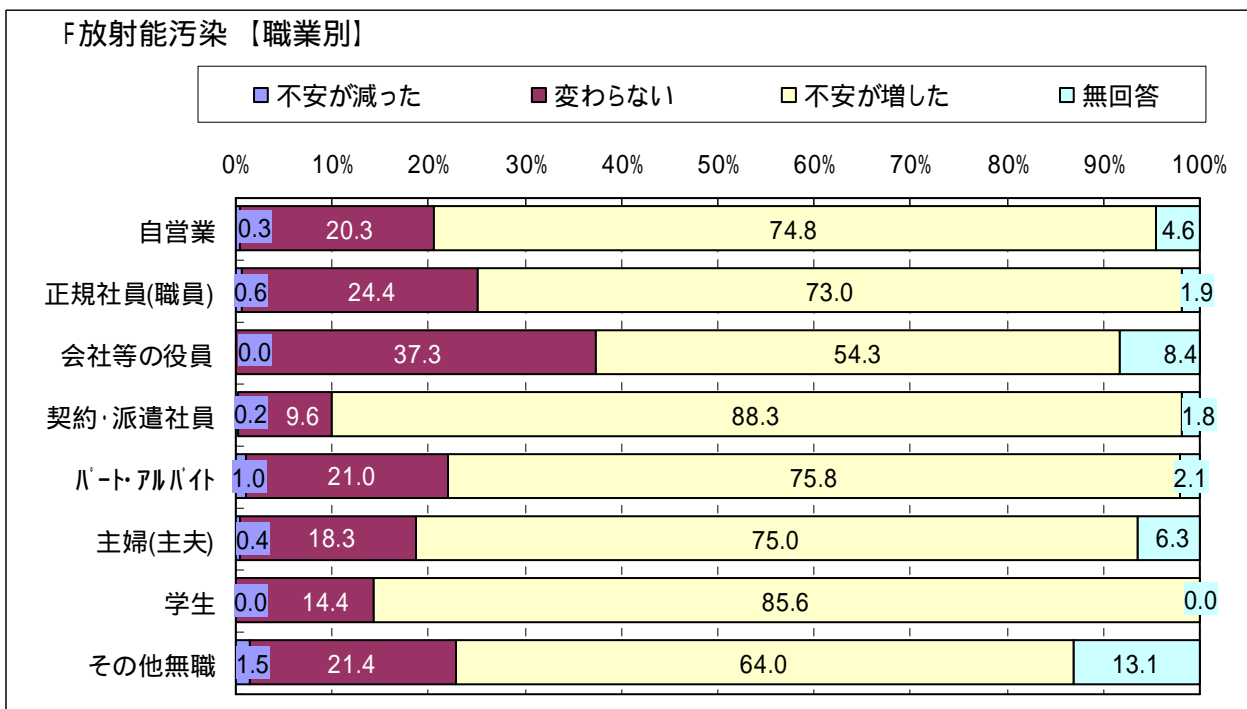


【性別 / 性・年代別】

性別では、女性の方が「不安が増した」が多く、年代別では全年代で「不安が増した」が最も多い。



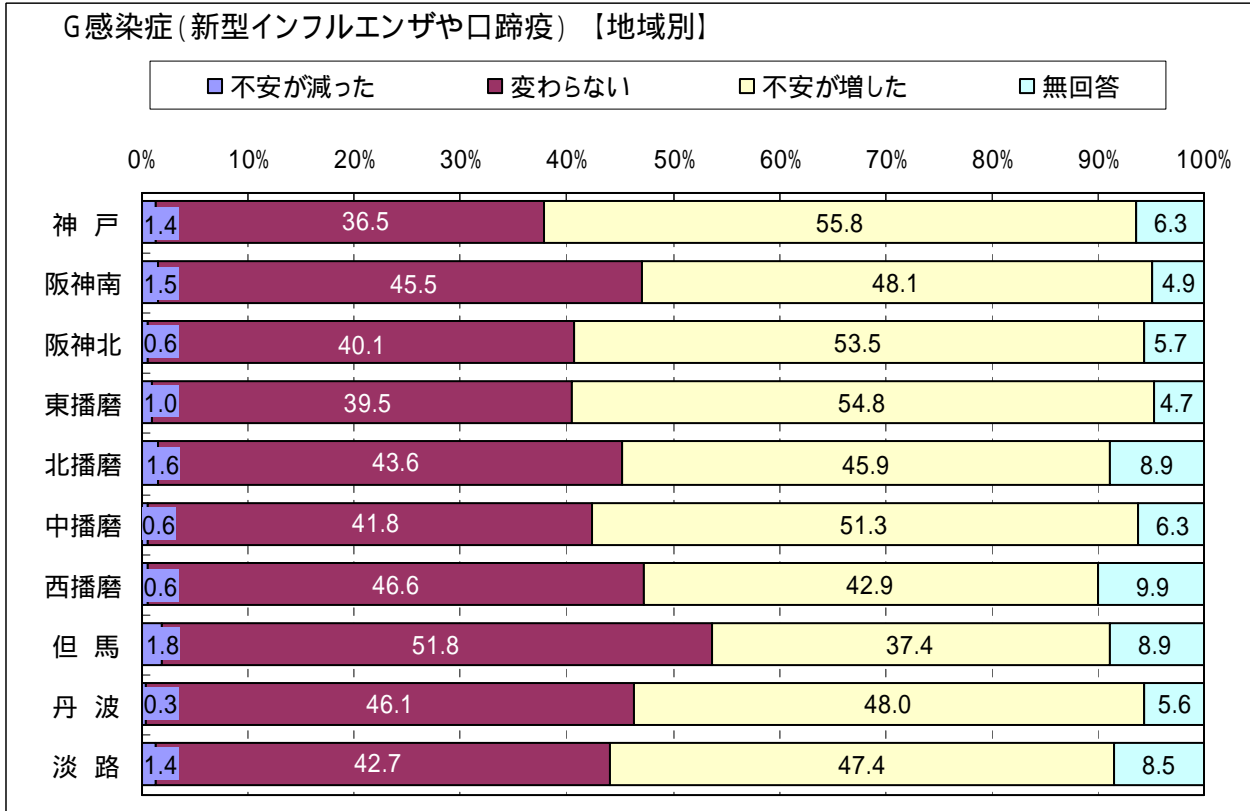
【職業別】



〔 G 感染症（新型インフルエンザや口蹄疫）〕

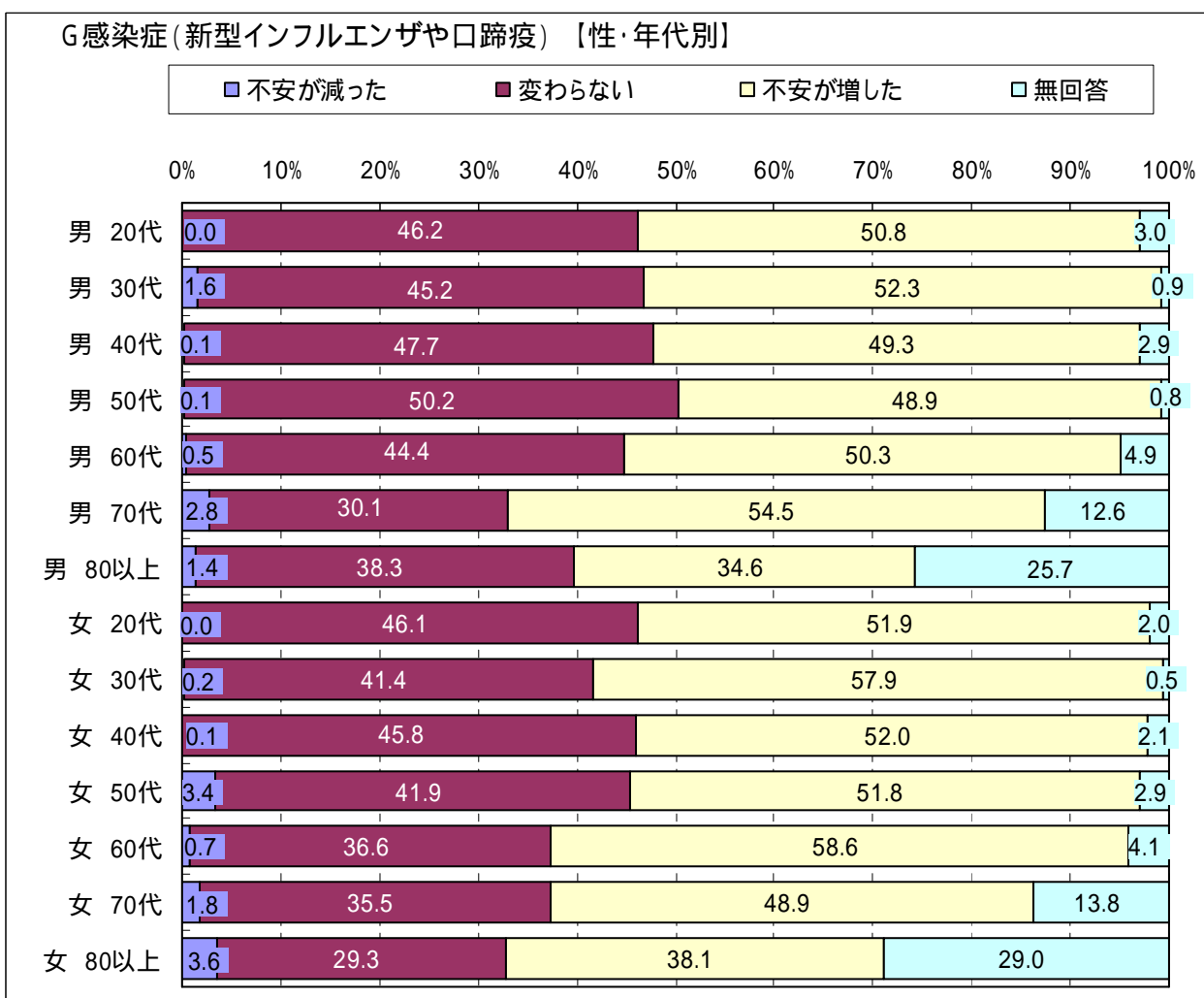
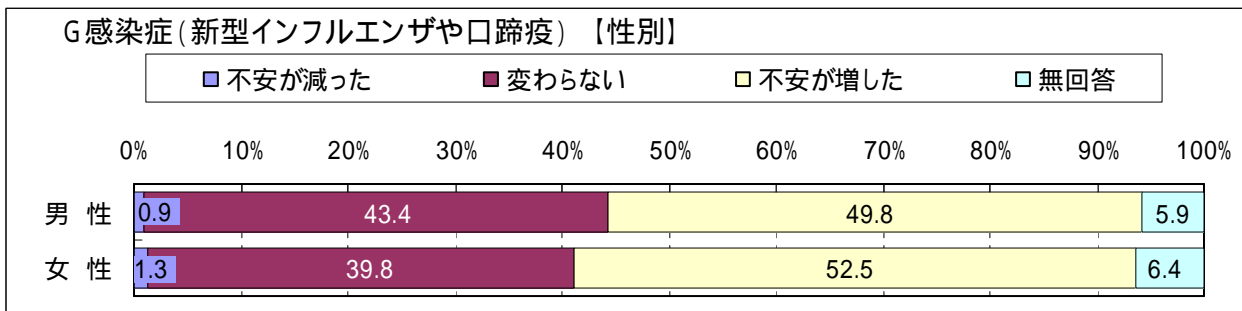
【地域別】

全地域で「変わらない」と「不安が増した」が概ね拮抗している。

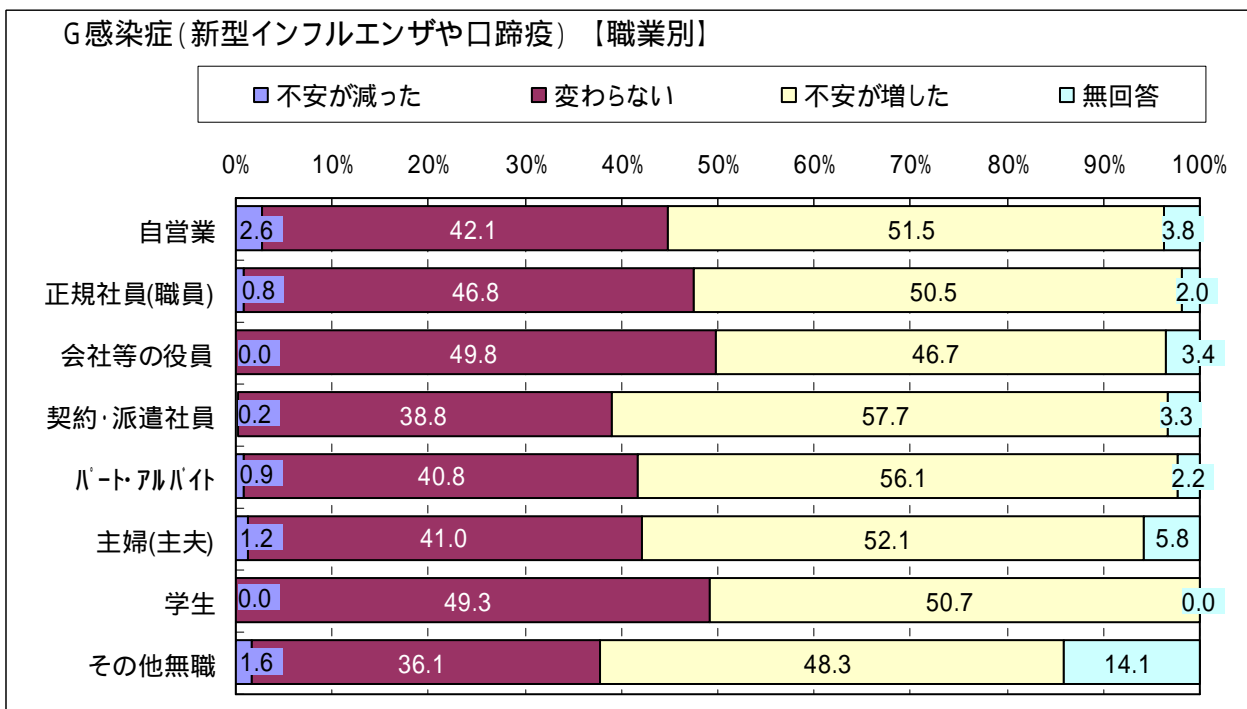


【性別 / 性・年代別】

性別では、女性の方が男性より「不安が増した」が多く、特に60代と30代の女性が多い。



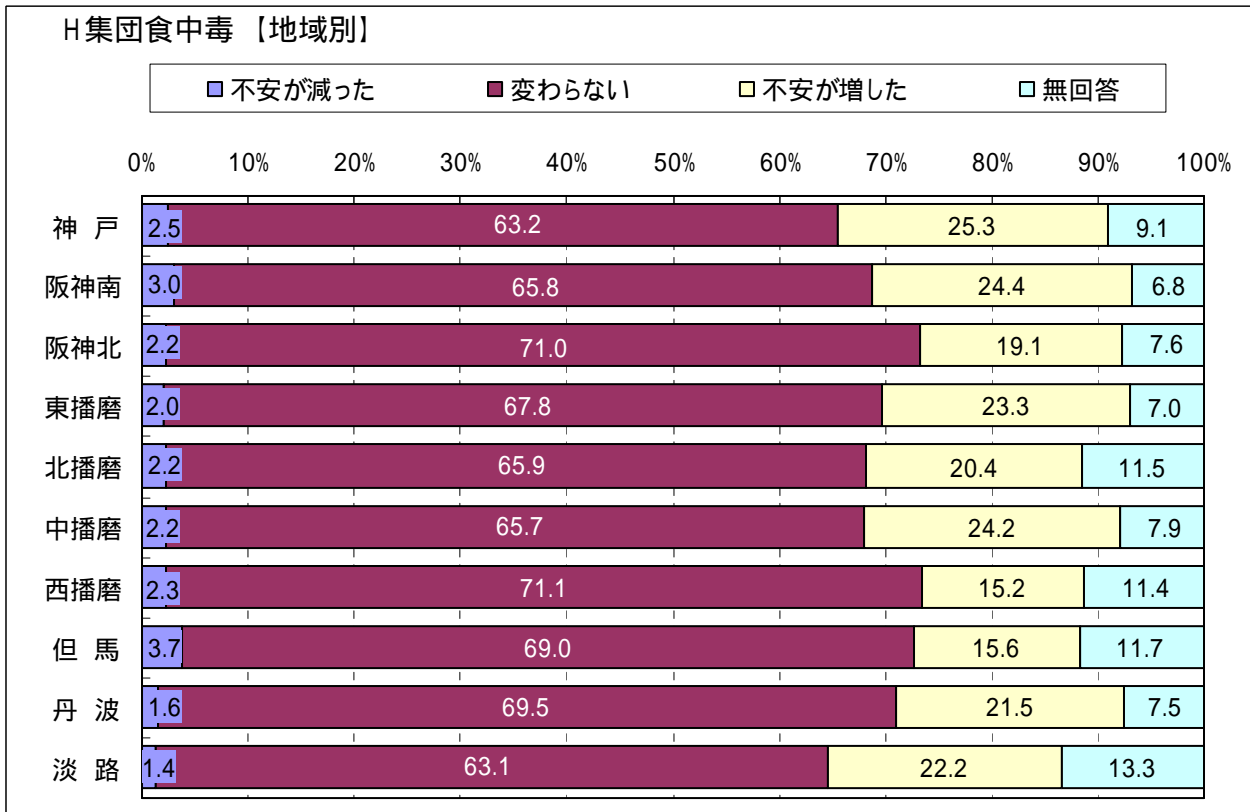
【職業別】



〔H 集団食中毒〕

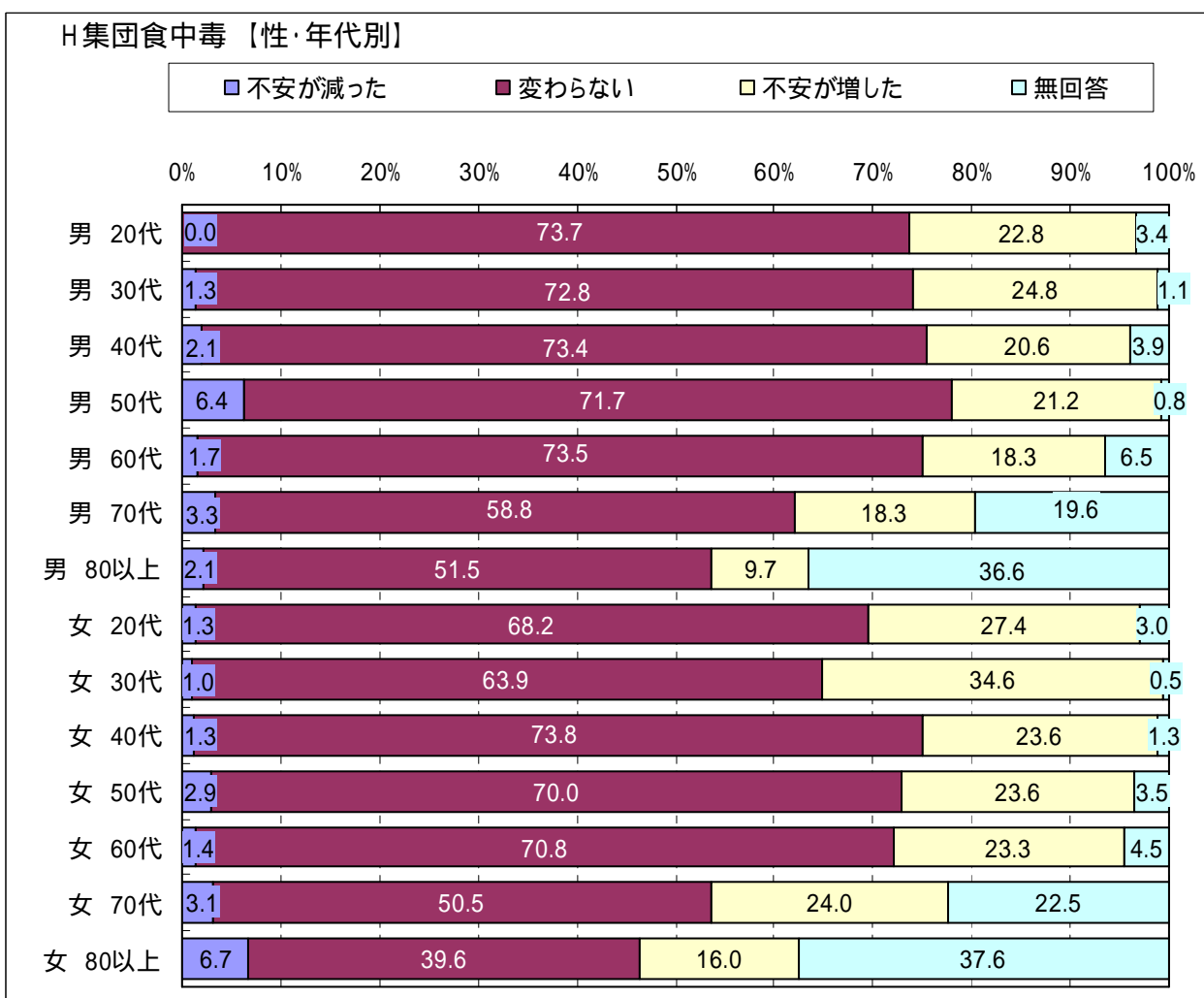
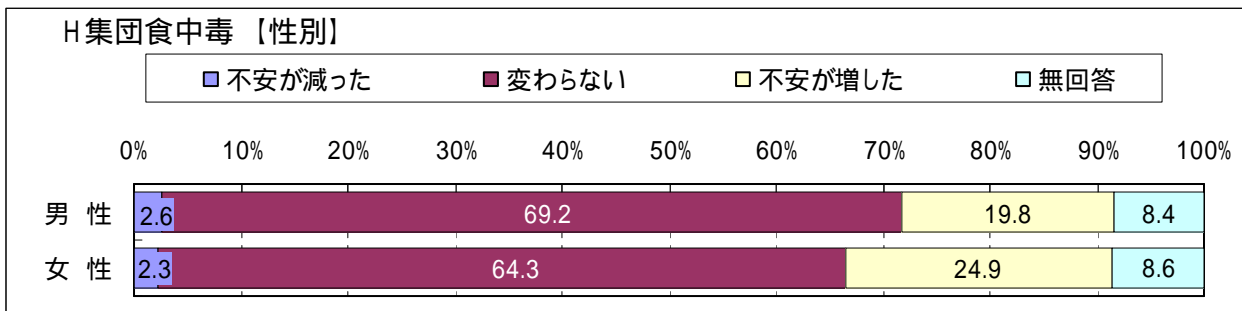
【地域別】

全地域で「変わらない」が6～7割程度と多い。

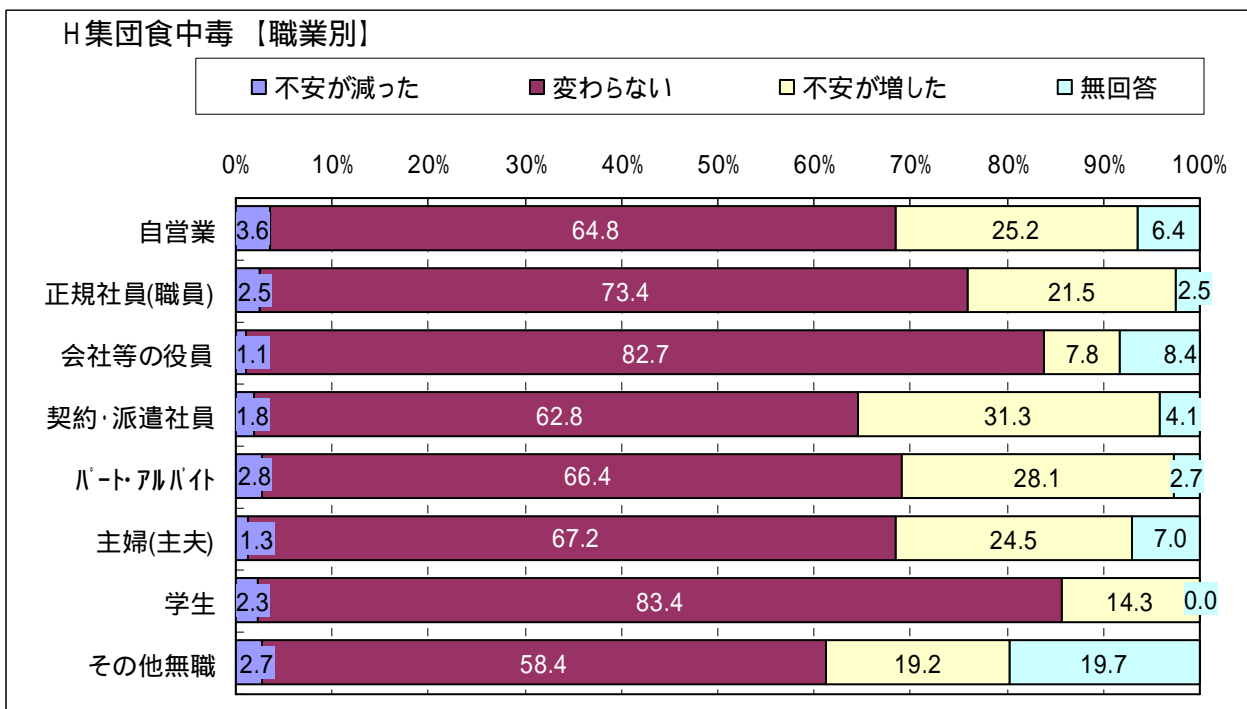


【性別 / 性・年代別】

性別、年代問わず「変わらない」が多いが、女性の方が「不安が増した」が多い。



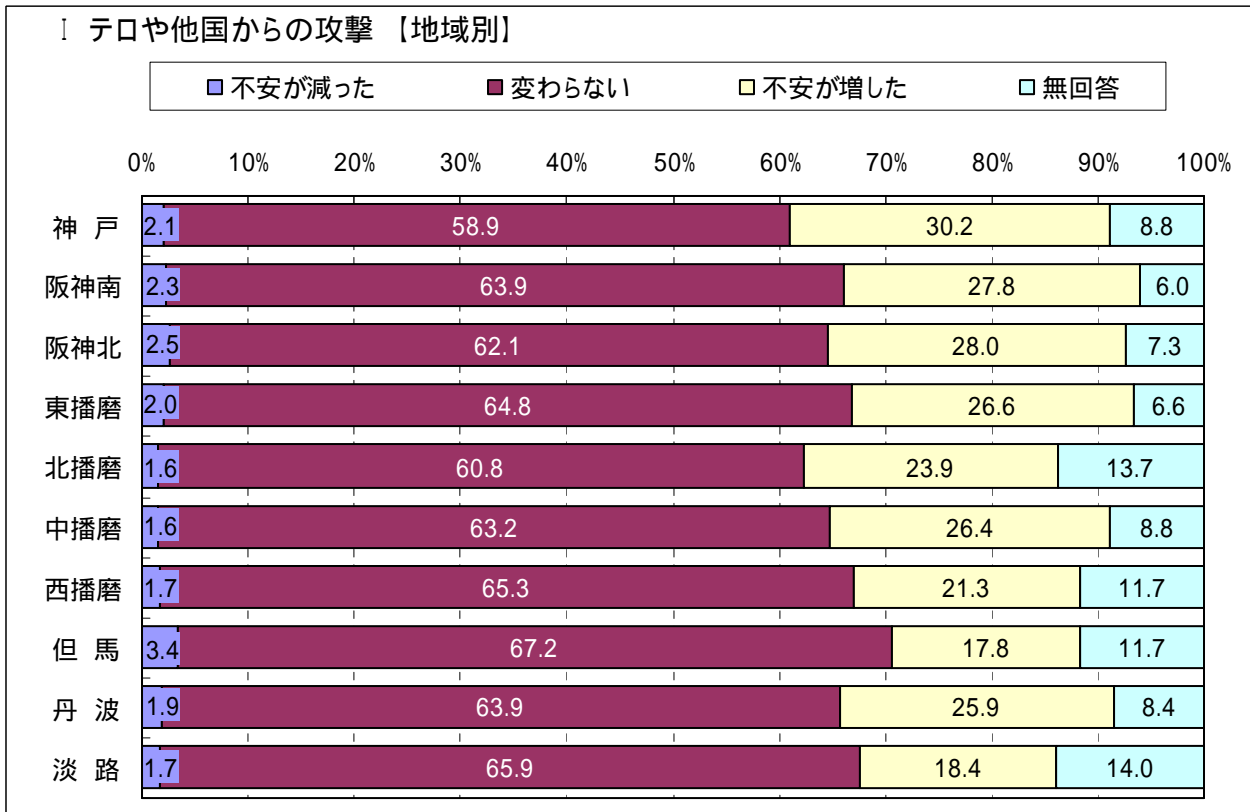
【職業別】



〔 I テロや他国からの攻撃 〕

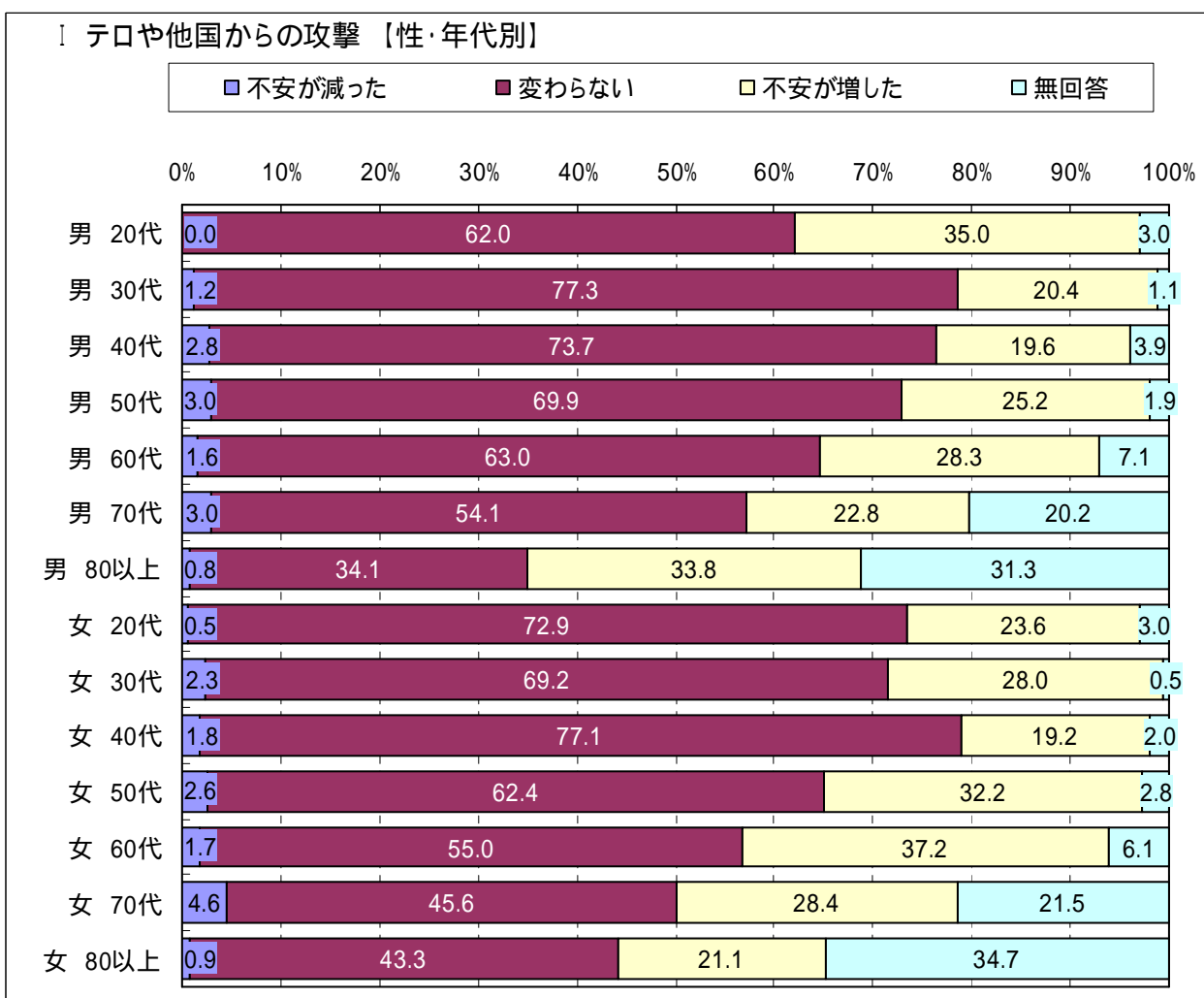
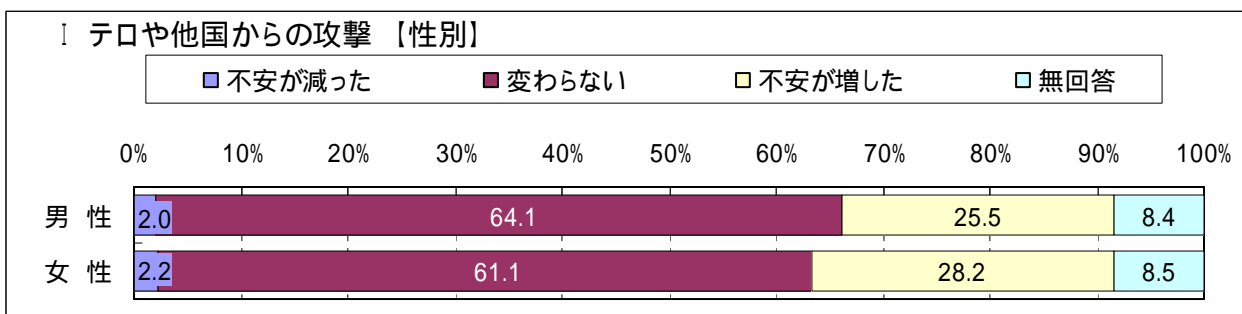
【地域別】

全地域で「変わらない」が多いが、都市部では「不安が増した」が多い。

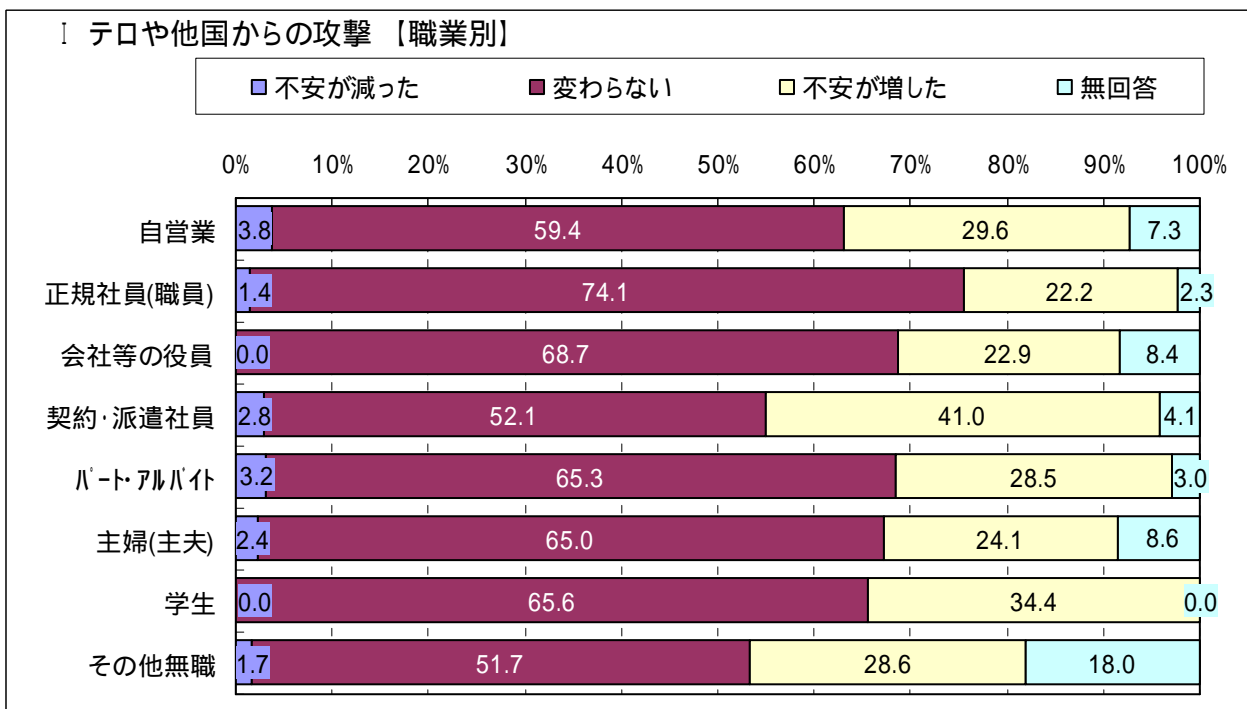


【性別／性・年代別】

性別、年代にかかわらず、「変わらない」が多い。



【職業別】



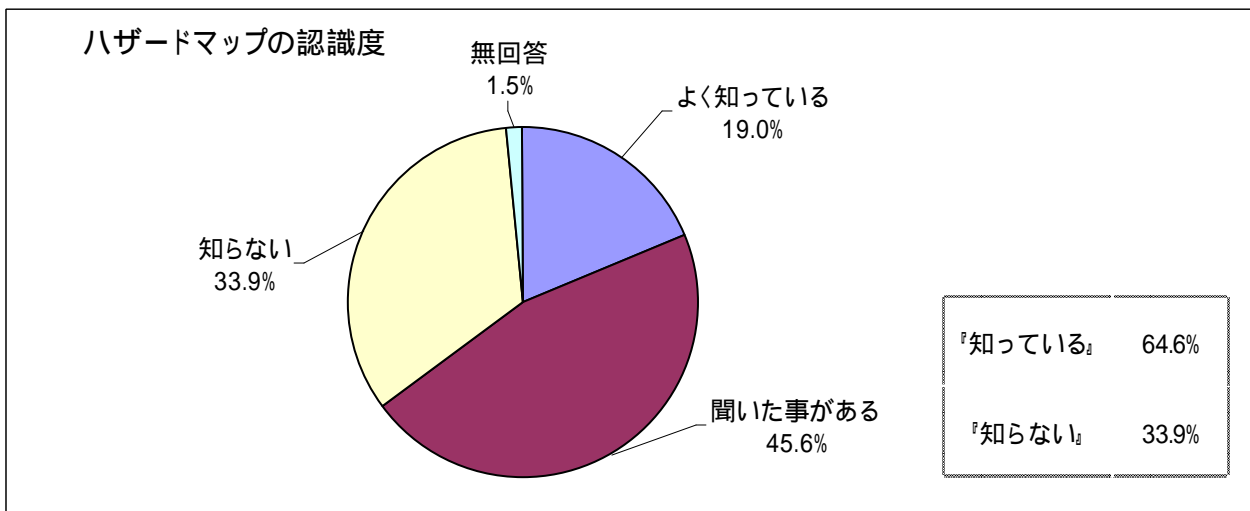
問3 ハザードマップの認識度

問3 あなたは、お住まいの地域の「風水害時の浸水想定区域や避難時に必要な情報」等を示したハザードマップ（災害予測地図）をご存じですか。次の中から1つ選んで番号に 印をつけて下さい。

- 1 よく知っている 2 聞いたことがある 3 知らない

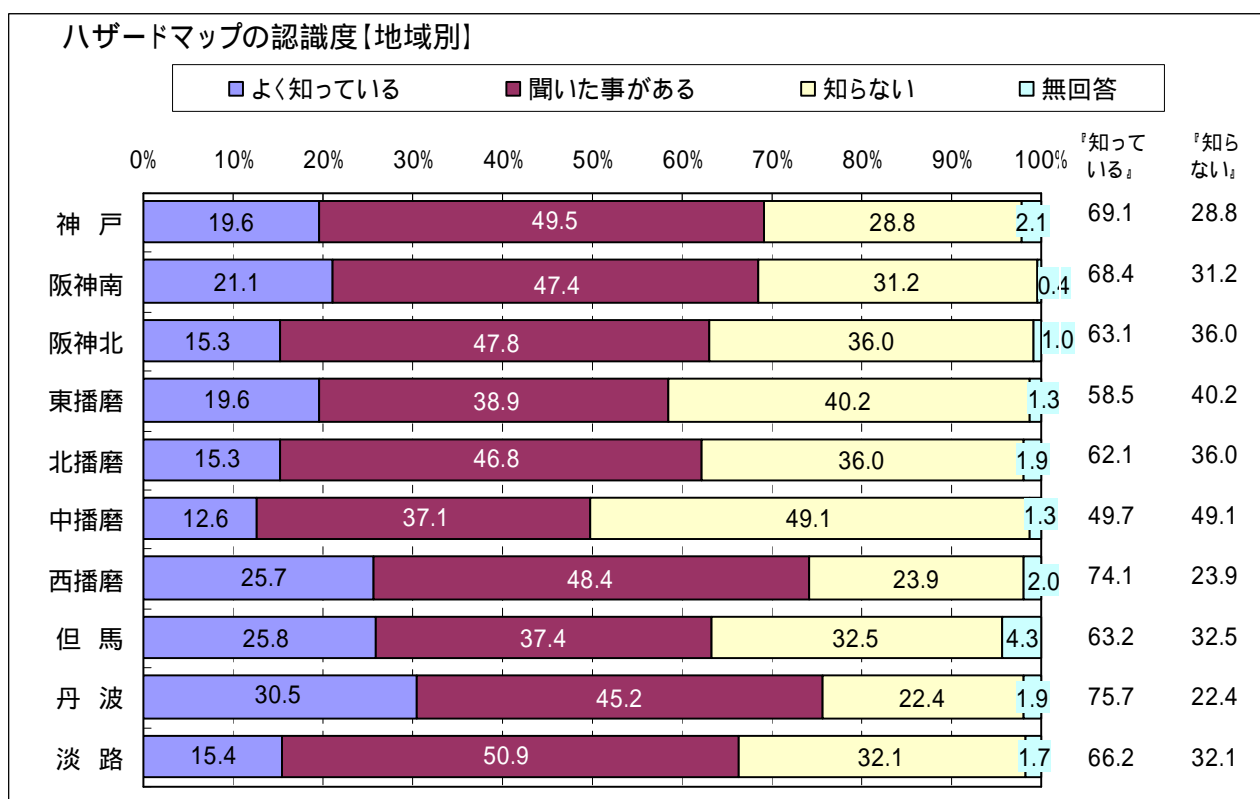
【全 県】

「よく知っている」と「聞いた事がある」を合わせると6割半ばで、概ね3人に2人が認識。



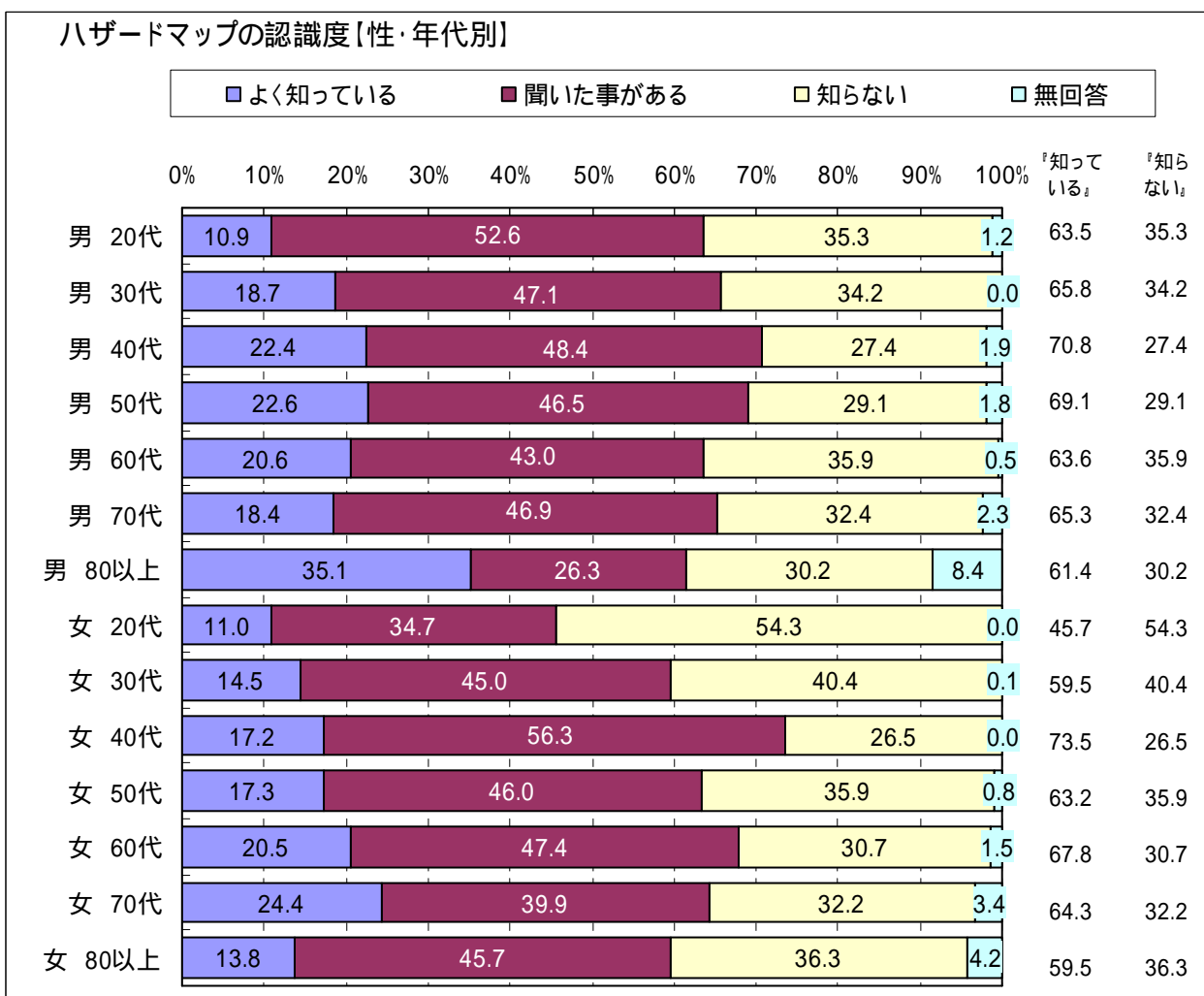
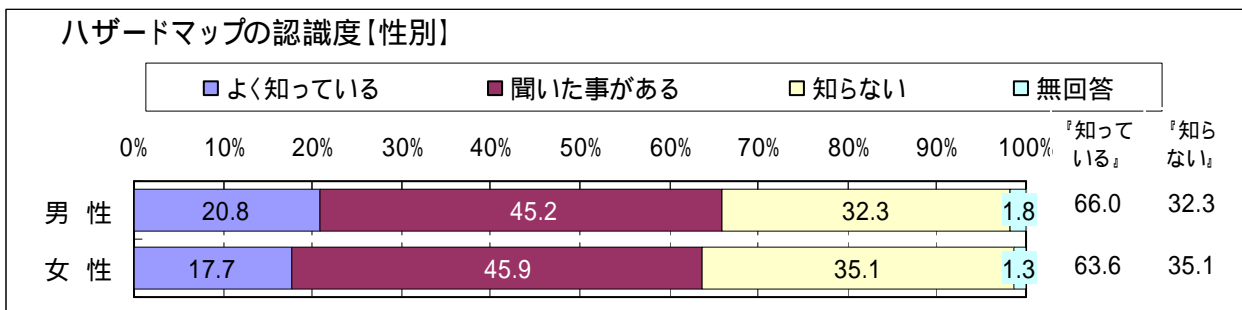
【地域別】

『知っている』は丹波と西播磨で7割を超え、特に多い。

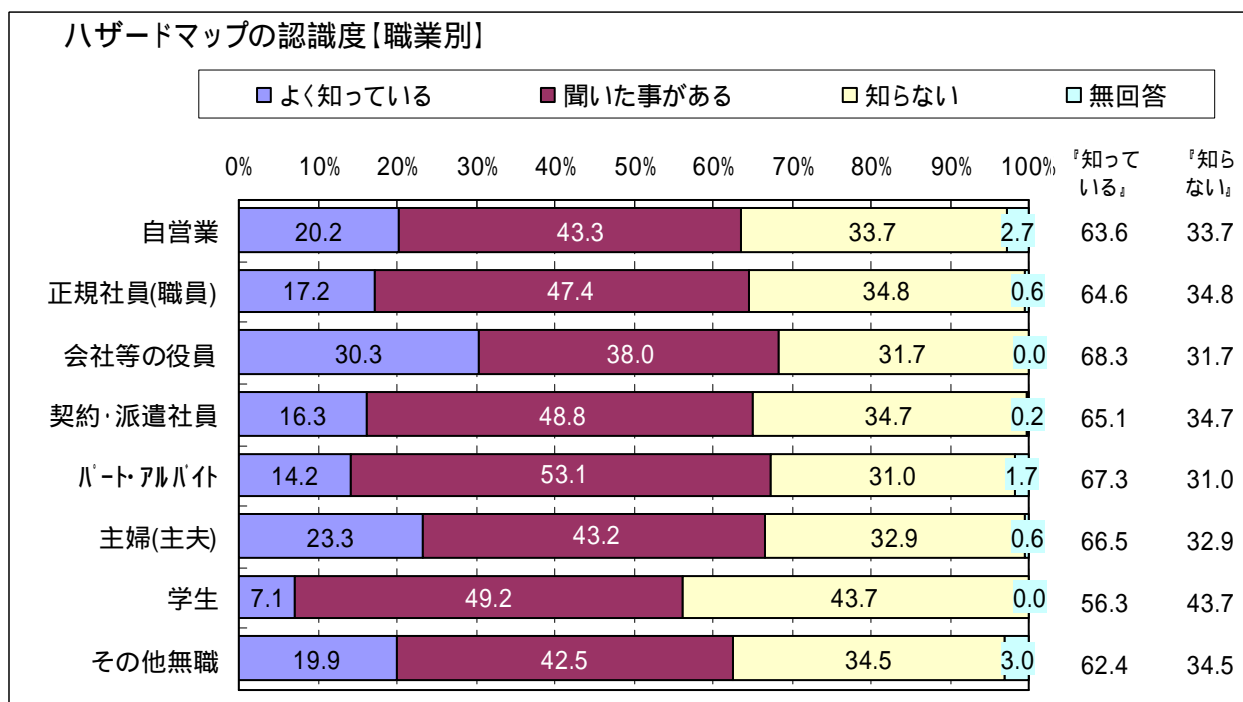


【性別 / 性・年代別】

性別では、男性の方がやや認知度が高く、年代別では、男女とも 40 代で『知っている』が7割を超え最も多い。



【職業別】



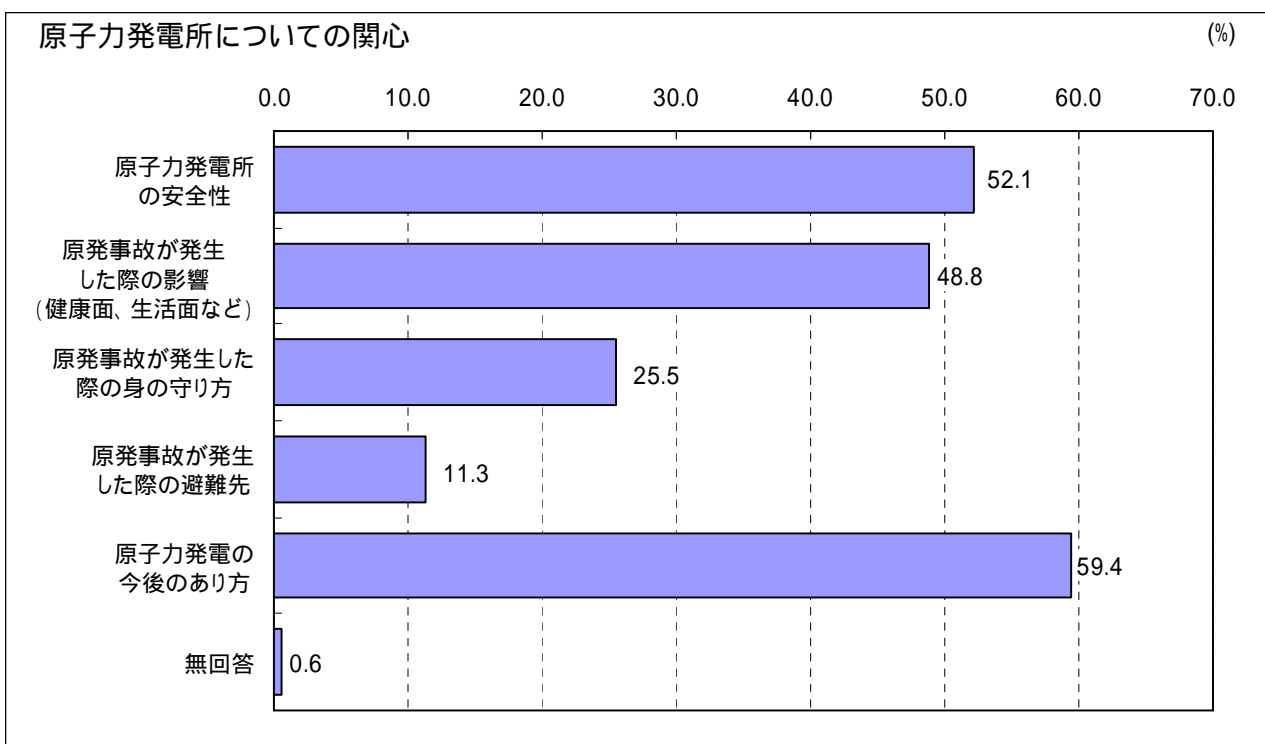
問4 原子力発電所についての関心

問4 原子力発電所について、あなたが特に関心の高い内容を次の中から2つ選んで番号に 印をつけて下さい。

- | | |
|----------------------------|------------------|
| 1 原子力発電所の安全性 | 4 原発事故が発生した際の避難先 |
| 2 原発事故が発生した際の影響（健康面、生活面など） | 5 原子力発電の今後のあり方 |
| 3 原発事故が発生した際の身の守り方 | |

【全 県】

「原子力発電の今後のあり方」、「原子力発電所の安全性」、「原発事故が発生した際の影響」が特に関心が高い。



【地域別】

原子力発電所についての関心【地域別】

	最大値		最小値		(%)
	原子力発電所の安全性	原発事故が発生した際の影響 (健康面、生活面など)	原発事故が発生した際の身の守り方	原発事故が発生した際の避難先	
全 県	52.1	48.8	25.5	11.3	59.4
地域別					
神 戸	54.0	45.3	22.8	8.8	65.3
阪神南	49.2	52.3	27.1	14.7	54.9
阪神北	55.1	46.5	24.8	10.5	62.1
東播磨	51.5	51.8	29.6	12.0	53.2
北播磨	48.4	51.3	30.6	13.4	50.3
中播磨	51.6	50.6	25.8	12.9	57.9
西播磨	49.9	49.9	20.4	7.6	67.3
但 馬	50.9	47.2	27.6	10.1	57.4
丹 波	51.1	46.4	25.9	15.0	59.5
淡 路	56.7	49.1	22.9	9.6	56.0
地域間の差	8.2	7.0	10.2	7.4	17.0

【性別 / 性・年代別】

「原子力発電所の安全性」への関心は、男性や高い年代で多く、「原発事故が発生した際の影響」への関心は、女性や20代～40代の年代が多い。

原子力発電所についての関心【性別】

	最大値		最小値		(%)
	原子力発電所の安全性	原発事故が発生した際の影響 (健康面、生活面など)	原発事故が発生した際の身の守り方	原発事故が発生した際の避難先	
全 県	52.1	48.8	25.5	11.3	59.4
性別					
男 性	59.2	43.5	20.9	8.9	63.9
女 性	47.1	52.6	28.8	13.0	56.1
性別間の差	12.1	9.1	8.0	4.0	7.8

原子力発電所についての関心【性・年代別、男性】 (%)

	原子力発電所の安全性	原発事故が発生した際の影響 (健康面、生活面など)	原発事故が発生した際の身の守り方	原発事故が発生した際の避難先	原子力発電の今後のあり方
全 県	52.1	48.8	25.5	11.3	59.4
性・年代別					
男 性					
20代	40.0	49.5	34.0	12.5	63.6
30代	48.9	56.3	22.6	8.7	62.0
40代	54.3	51.4	18.9	11.1	58.6
50代	57.6	44.9	18.5	5.8	69.4
60代	60.6	43.0	22.0	8.5	62.7
70代	76.9	31.6	17.5	9.1	60.7
80以上	72.8	20.7	14.5	10.0	76.1
年代間の差	36.9	35.6	19.4	6.8	17.5

原子力発電所についての関心【性・年代別、女性】 (%)

	原子力発電所の安全性	原発事故が発生した際の影響 (健康面、生活面など)	原発事故が発生した際の身の守り方	原発事故が発生した際の避難先	原子力発電の今後のあり方
全 県	52.1	48.8	25.5	11.3	59.4
性・年代別					
女 性					
20代	38.7	60.5	34.3	15.0	52.0
30代	38.7	63.5	30.2	12.7	54.8
40代	43.3	56.3	31.6	9.9	58.9
50代	41.9	50.5	37.0	12.5	56.6
60代	52.0	46.8	25.7	9.8	63.8
70代	59.0	46.5	21.6	16.0	50.1
80以上	54.7	47.5	19.4	20.4	48.8
年代間の差	20.3	17.0	17.5	10.7	15.0

【職業別】

原子力発電所についての関心【職業別】 (%)

	原子力発電所の安全性	原発事故が発生した際の影響 (健康面、生活面など)	原発事故が発生した際の身の守り方	原発事故が発生した際の避難先	原子力発電の今後のあり方
全 県	52.1	48.8	25.5	11.3	59.4
性・年代別					
自営業	52.5	52.4	19.9	8.8	62.3
正規社員(職員)	52.0	48.3	25.7	11.5	59.6
会社等の役員	64.7	32.2	16.9	9.0	74.1
契約・派遣社員	40.6	50.9	33.4	8.3	63.2
パートアルバイト	39.8	55.9	32.4	11.9	58.6
主婦(主夫)	51.4	52.0	26.6	10.9	58.2
学生	40.8	48.5	38.9	9.1	62.8
その他無職	62.0	42.9	20.8	12.3	57.7
職業間の差	24.9	23.7	22.0	4.1	16.4

2 家庭や地域における防災への取組について

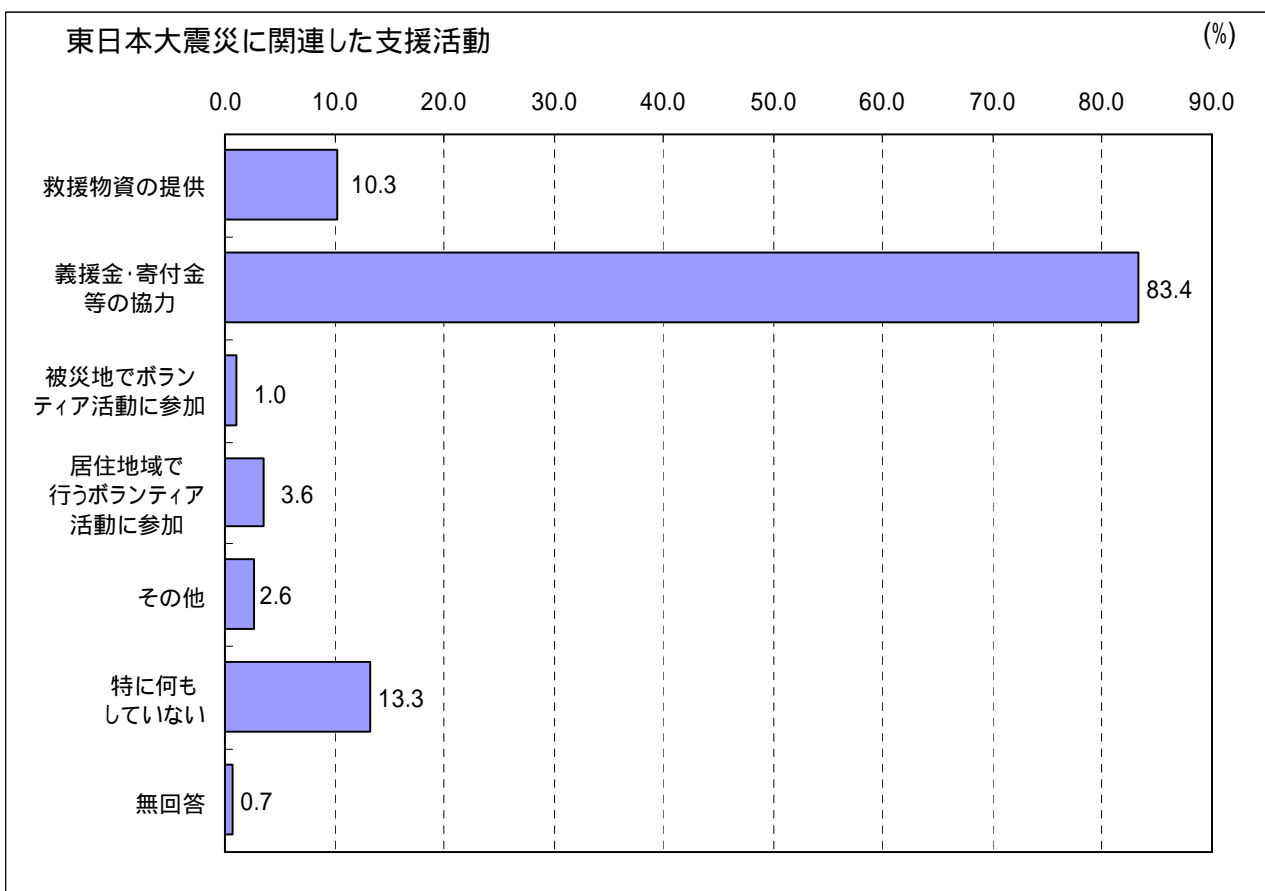
問5 東日本大震災に関連した支援活動

問5 あなたは、東日本大震災に関連して、何らかの支援活動をされましたか。次の中から該当するものを全て選んで番号に 印をつけてください。

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1 救援物資の提供 | 4 お住まいの地域で行うボランティア活動に参加 |
| 2 義援金・寄付金等の協力 | 5 その他（ ） |
| 3 被災地でボランティア活動に参加 | 6 特に何もしていない |

【全 県】

8割以上が「義援金・寄付金等の協力」をしており、9割近くが何らかの支援を行っている。



【地域別】

各地域とも、「義援金・寄付金等の協力」が多いが、但馬では「救援物資の提供」も2割を超えている。

東日本大震災に関連した支援活動【地域別】

	最大値			最小値			(%)
	救援物資の提供	義援金・寄付金等の協力	被災地でボランティア活動に参加	居住地域で行うボランティア活動に参加	その他	特に何もしていない	
全 県	10.3	83.4	1.0	3.6	2.6	13.3	
地域別							
神 戸	9.8	84.6	1.8	2.1	4.6	11.6	
阪神南	8.6	80.5	0.8	3.0	3.8	14.7	
阪神北	9.6	83.4	0.6	4.1	1.9	13.7	
東播磨	7.0	81.1	0.7	4.7	0.3	16.9	
北播磨	16.9	85.4	0.6	5.1	1.9	11.5	
中播磨	7.9	83.6	0.3	3.1	0.9	14.8	
西播磨	16.3	89.2	1.5	5.5	2.0	8.2	
但 馬	22.1	87.1	1.2	4.3	1.2	8.0	
丹 波	16.8	86.6	1.2	8.7	0.9	10.3	
淡 路	11.3	78.8	0.7	4.4	1.0	17.1	
地域間の差	15.1	10.4	1.4	6.6	4.2	9.1	

【性別、性・年代別】

性別、年代にかかわらず、「義援金・寄付金等の協力」が多いが、「被災地でボランティア活動に参加」は、30代、40代の男性が、「居住地域で行うボランティア活動に参加」は60代、70代の男女が多い。

東日本大震災に関連した支援活動【性別】

	(%)					
	救援物資の提供	義援金・寄付金等の協力	被災地でボランティア活動に参加	居住地域で行うボランティア活動に参加	その他	特に何もしていない
全 県	10.3	83.4	1.0	3.6	2.6	13.3
性別						
男 性	10.0	82.9	1.6	3.7	3.0	13.2
女 性	10.5	83.7	0.6	3.4	2.4	13.3
性別間の差	0.5	0.7	1.0	0.3	0.6	0.1

東日本大震災に関連した支援活動【性・年代別、男性】

(%)

	救援物資の提供	義援金・寄付金等の協力	被災地でボランティア活動に参加	居住地で行うボランティア活動に参加	その他	特に何もしていない
全 県	10.3	83.4	1.0	3.6	2.6	13.3
性・年代別						
男 性						
20代	2.9	87.1	0.7	2.4	1.6	11.3
30代	11.8	84.6	3.7	3.0	4.1	12.8
40代	17.8	87.8	3.4	2.7	5.0	8.6
50代	10.5	80.6	0.5	2.0	3.6	16.7
60代	6.9	80.2	1.5	4.7	3.1	16.6
70代	8.9	80.3	0.0	6.7	1.5	10.8
80以上	10.9	85.6	1.4	3.7	0.0	11.4
年代間の差	14.9	7.5	3.7	4.7	5.0	8.1

東日本大震災に関連した支援活動【性・年代別、女性】

(%)

	救援物資の提供	義援金・寄付金等の協力	被災地でボランティア活動に参加	居住地で行うボランティア活動に参加	その他	特に何もしていない
全 県	10.3	83.4	1.0	3.6	2.6	13.3
性・年代別						
女 性						
20代	7.1	81.2	0.0	0.3	3.3	15.2
30代	9.2	77.2	0.4	3.3	3.3	16.4
40代	11.3	87.4	0.7	2.8	1.2	10.6
50代	10.6	83.9	1.4	1.3	4.9	13.2
60代	9.6	88.6	0.8	6.4	2.1	9.1
70代	13.4	84.2	0.0	5.5	1.1	13.3
80以上	11.3	76.4	0.0	1.5	0.0	21.6
年代間の差	6.3	12.2	1.4	6.0	4.9	12.4

【職業別】

東日本大震災に関連した支援活動【職業別】

(%)

	救援物資の提供	義援金・寄付金等の協力	被災地でボランティア活動に参加	居住地で行うボランティア活動に参加	その他	特に何もしていない
全 県	10.3	83.4	1.0	3.6	2.6	13.3
性・年代別						
自営業	13.5	85.8	1.3	7.1	4.1	10.9
正規社員(職員)	10.5	85.0	2.4	1.4	3.7	11.3
会社等の役員	14.9	87.3	1.6	2.4	2.1	10.6
契約・派遣社員	13.0	89.8	0.0	3.9	2.5	8.4
パート・アルバイト	8.6	86.5	0.0	4.9	2.4	11.8
主婦(主夫)	11.8	81.7	0.6	3.4	2.6	14.7
学生	0.8	84.9	0.0	0.0	4.0	11.2
その他無職	8.4	78.4	0.7	4.0	1.3	17.4
職業間の差	14.1	11.4	2.4	7.1	2.8	9.0

問6 家庭内での防災対策の取り組み

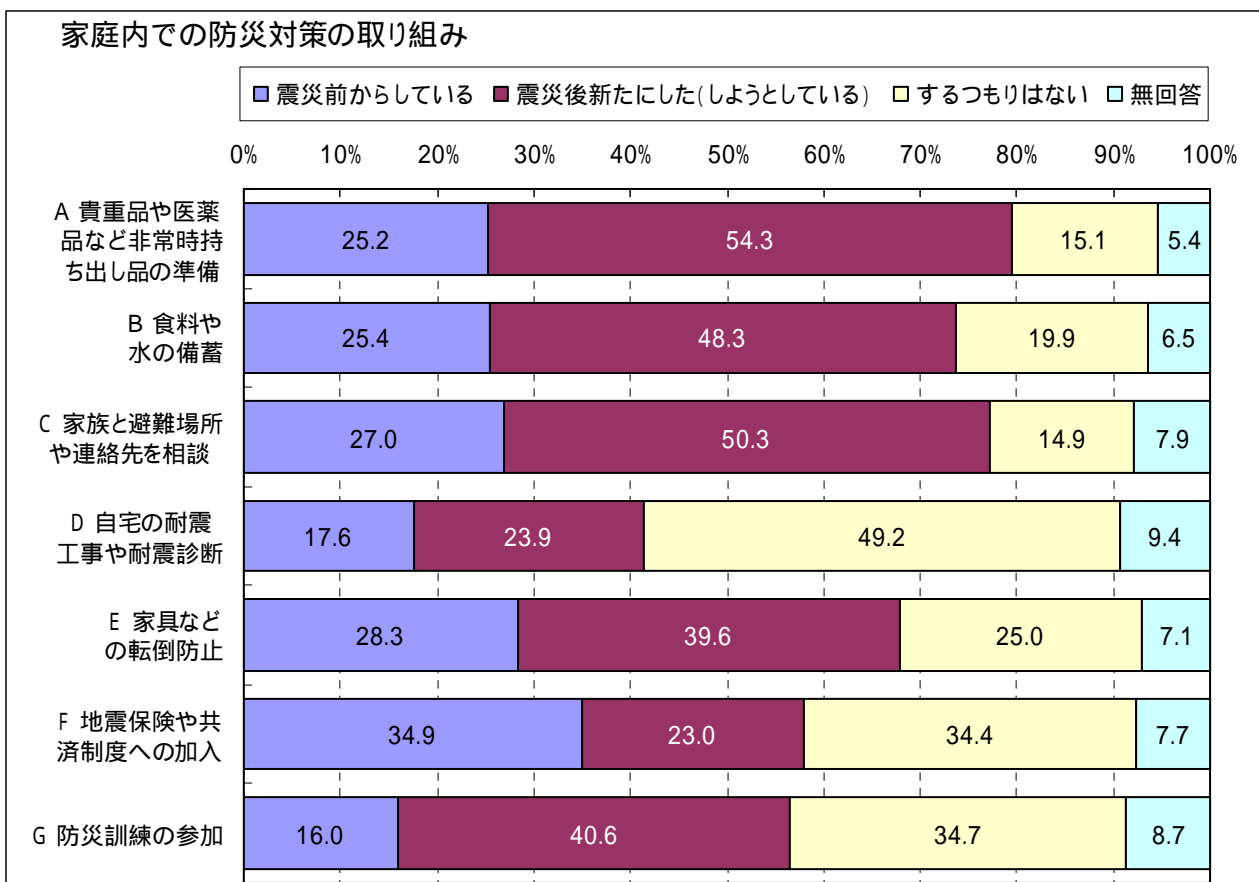
問6 東日本大震災後、家庭内における防災対策について変化がありましたか。A～Gそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に 印をつけてください。

- A 貴重品や医薬品など非常時持ち出し品の準備
- B 食料や水の備蓄
- C 家族と避難場所や連絡先を相談
- D 自宅の耐震工事や耐震診断
- E 家具などの転倒防止
- F 地震保険や共済制度への加入
- G 防災訓練への参加

- 1：震災前からしている
- 2：震災後に新たにした(しようとしている)
- 3：するつもりはない

【全 県】

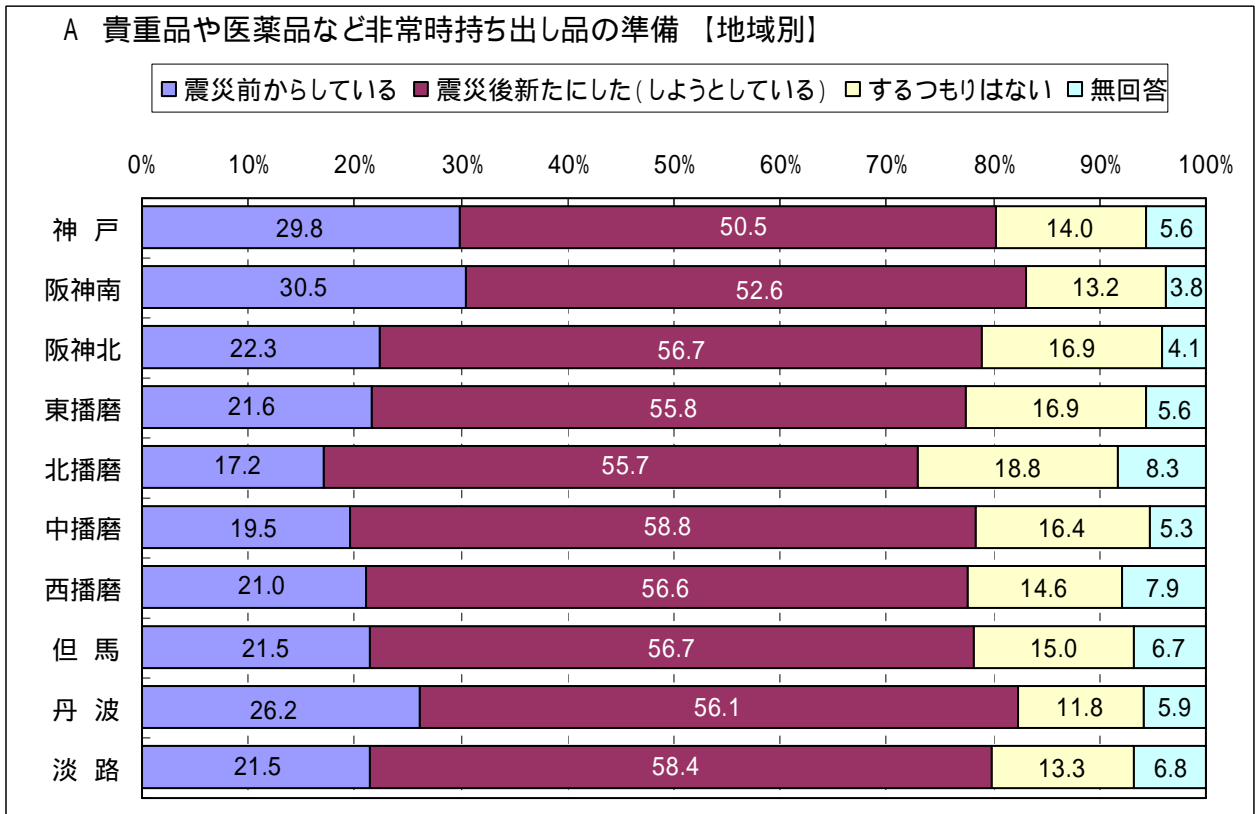
東日本大震災の発生を受け、経費負担が少ない〔非常時持ち出し品の準備〕〔家族と避難場所や連絡先を相談〕〔食料や水の備蓄〕は、「震災前からしている」と合わせると、7～8割に達している。



〔 A 貴重品や医薬品など非常時持ち出し品の準備 〕

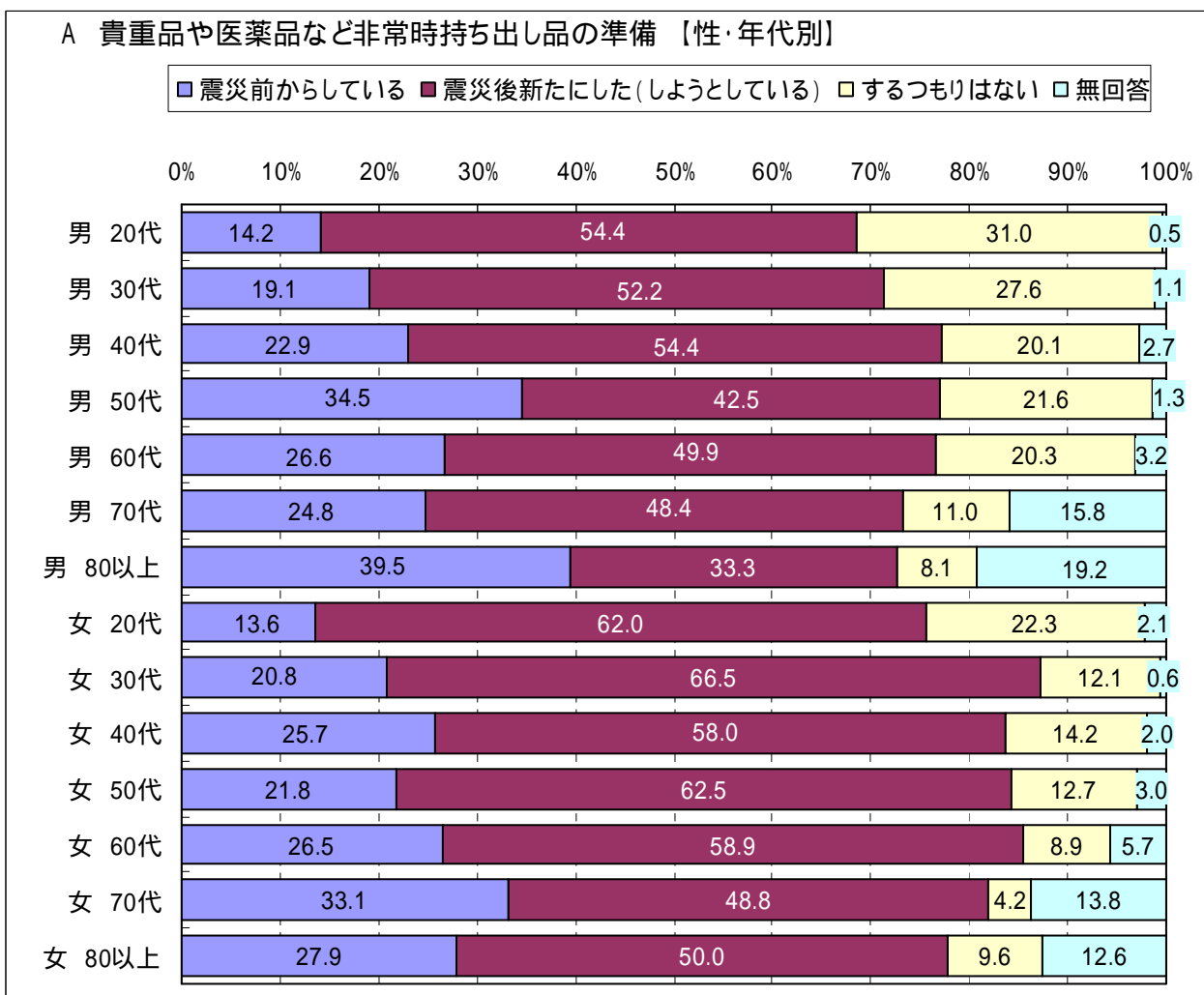
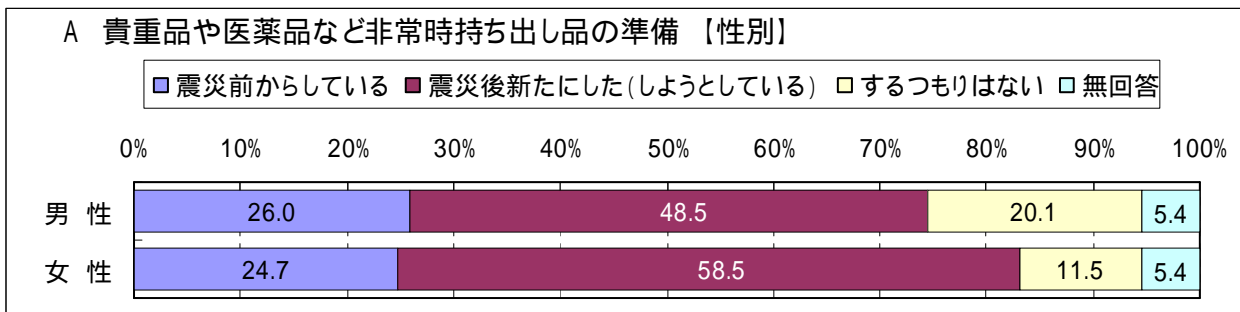
【地域別】

全地域で「震災後新たにした（しようとしている）」が5割以上と多い。

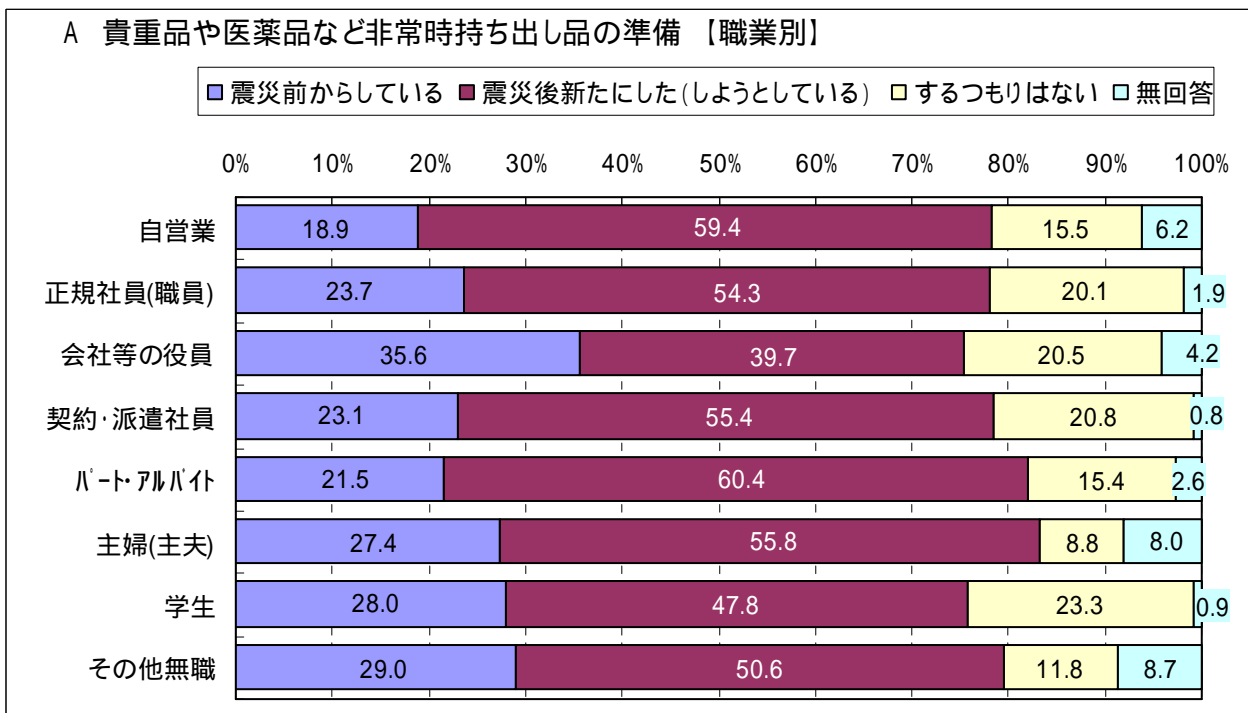


【性別／性・年代別】

性別、年代にかかわらず、「震災後新たにした(しようとしている)」が多いが、特に女性に顕著である。



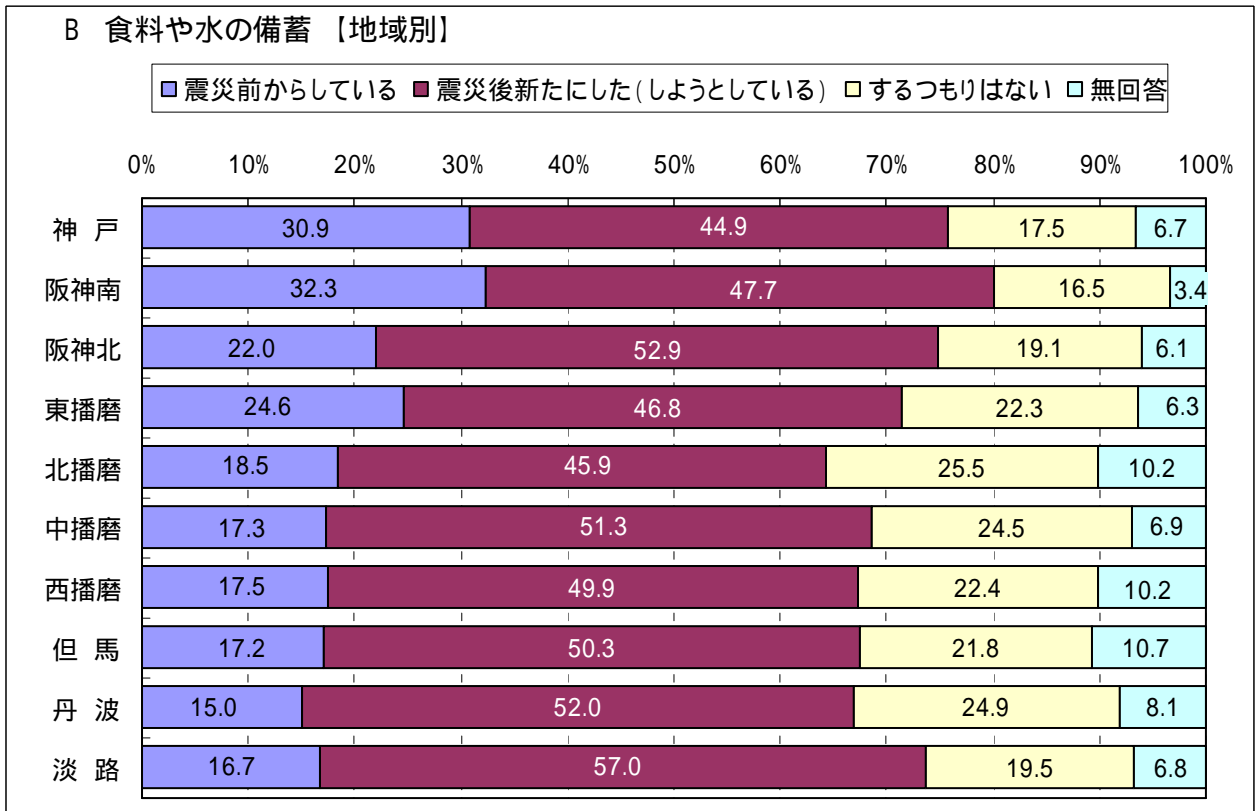
【職業別】



(B 食料や水の備蓄)

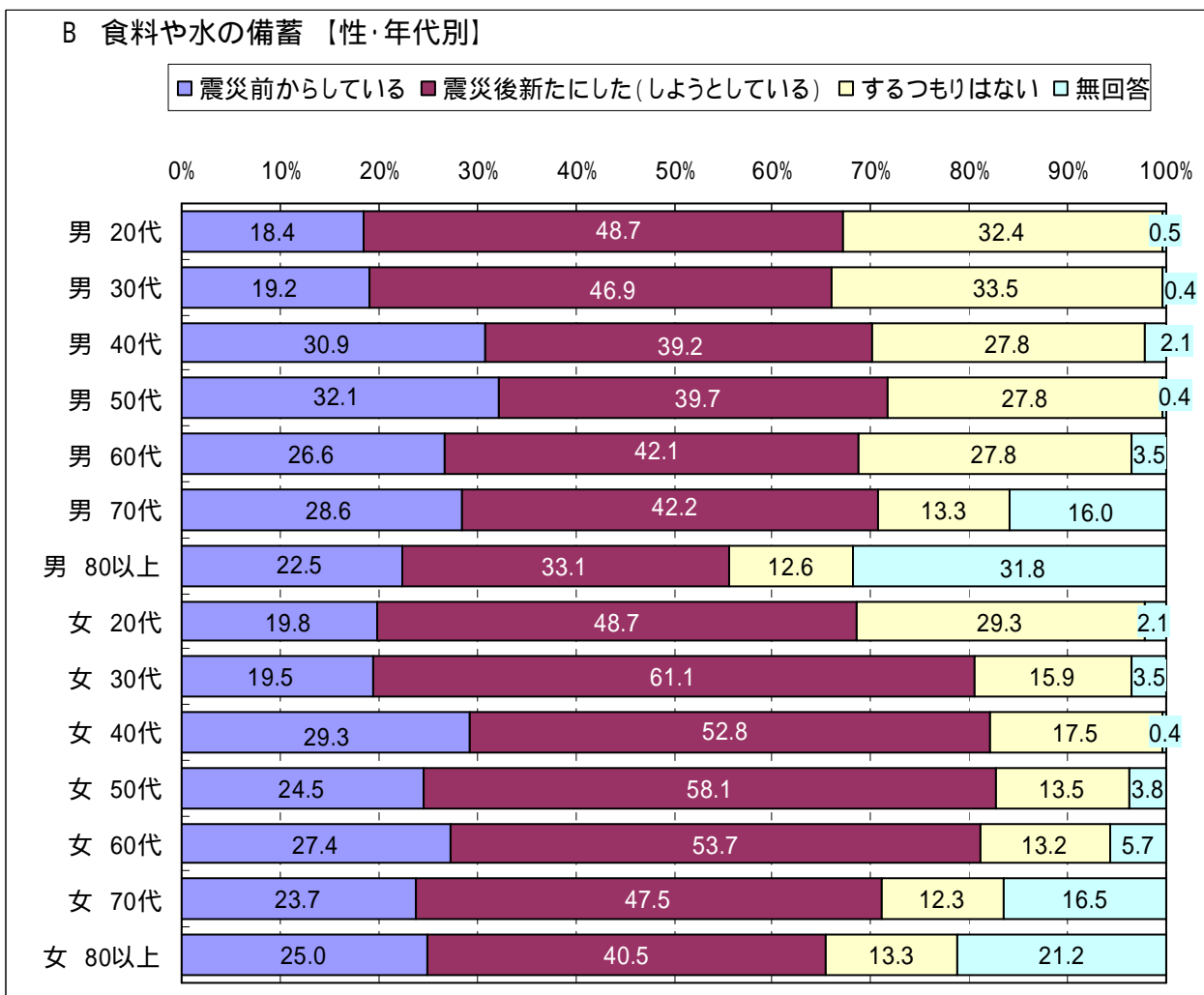
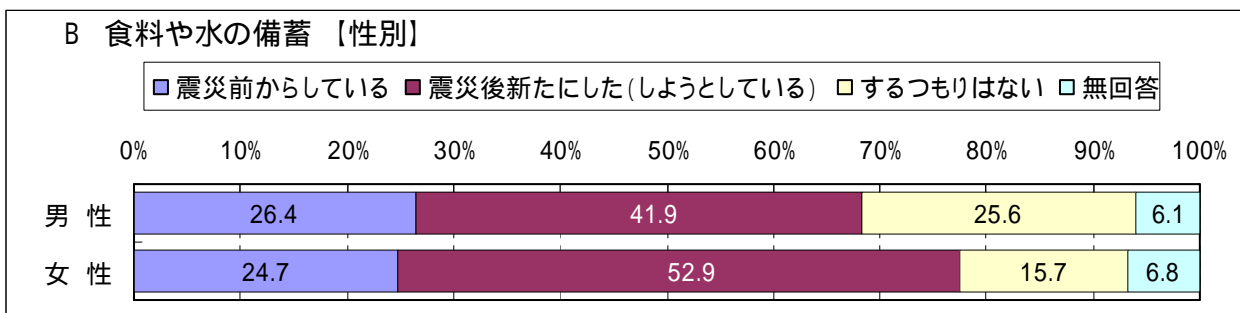
【地域別】

全地域で、「震災後新たにした(しようとしている)」が多いが、神戸、阪神南は「震災前からしている」も3割を超えている。

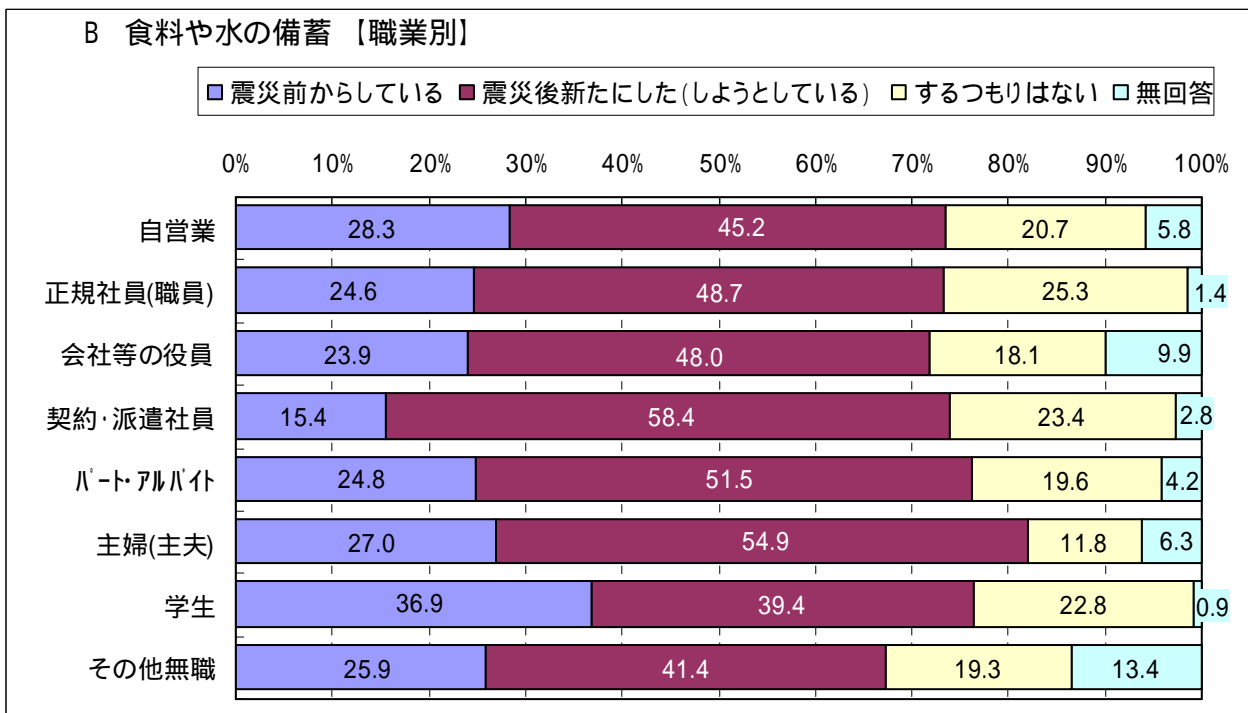


【性別 / 性・年代別】

性別、年代にかかわらず、「震災後新たにした(しようとしている)」が多いが、特に女性に顕著である。



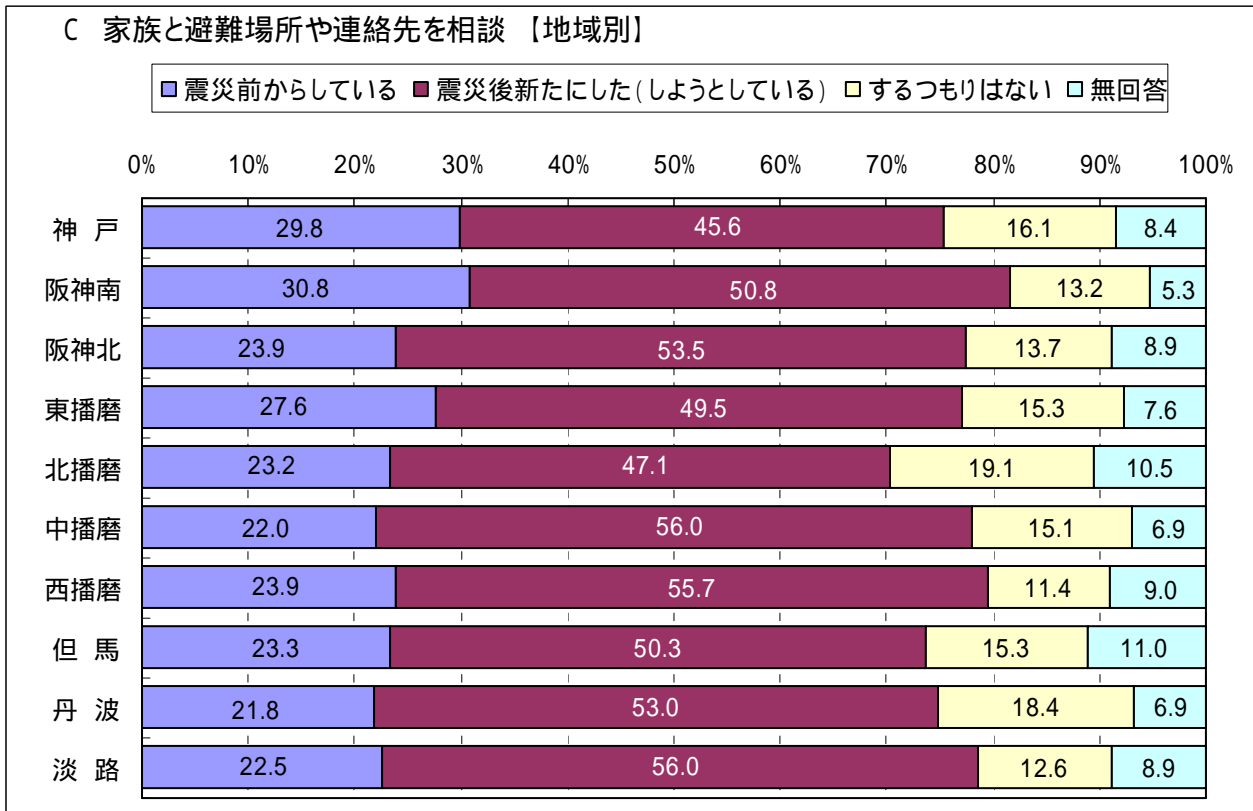
【職業別】



〔C 家族と避難場所や連絡先を相談〕

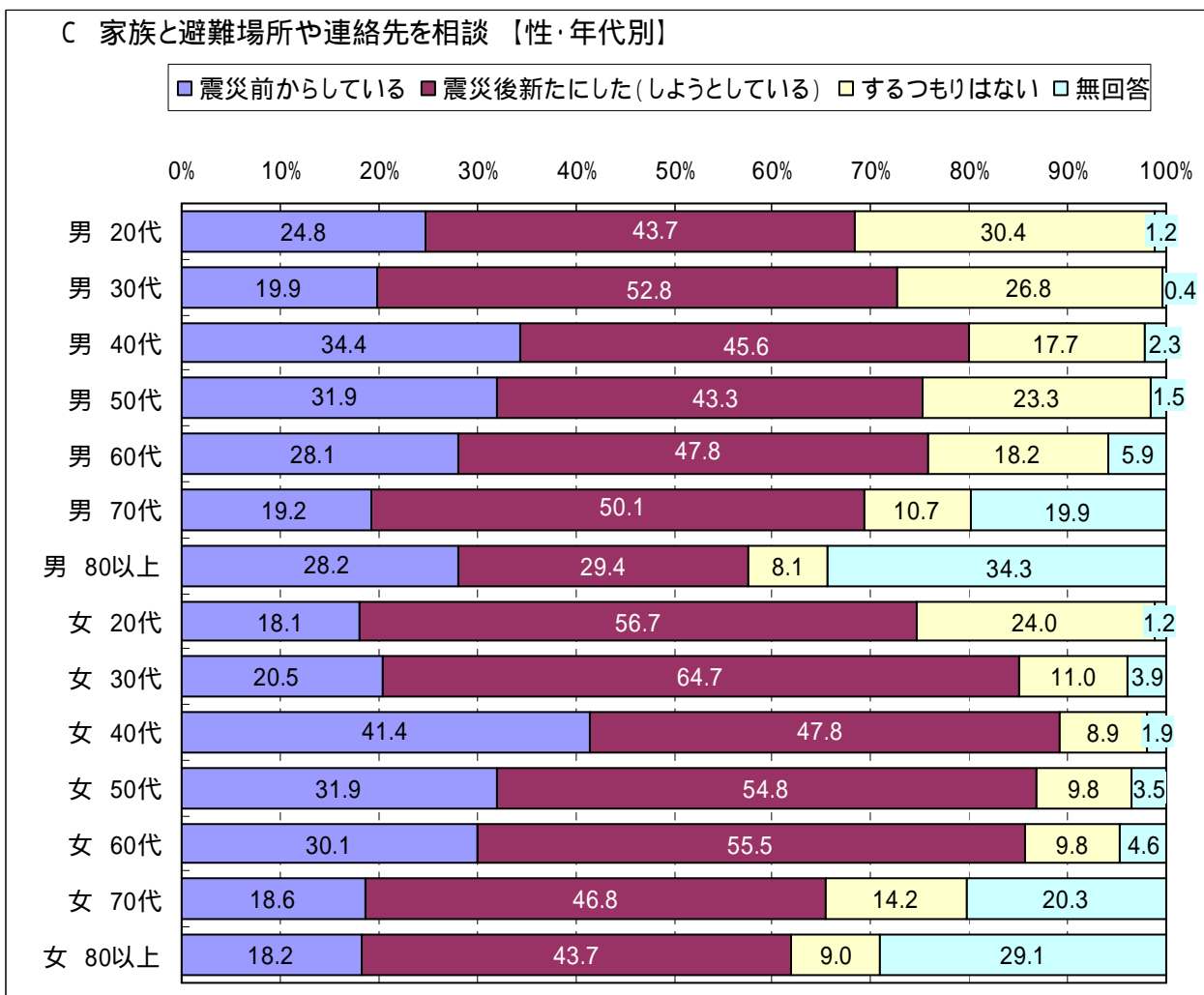
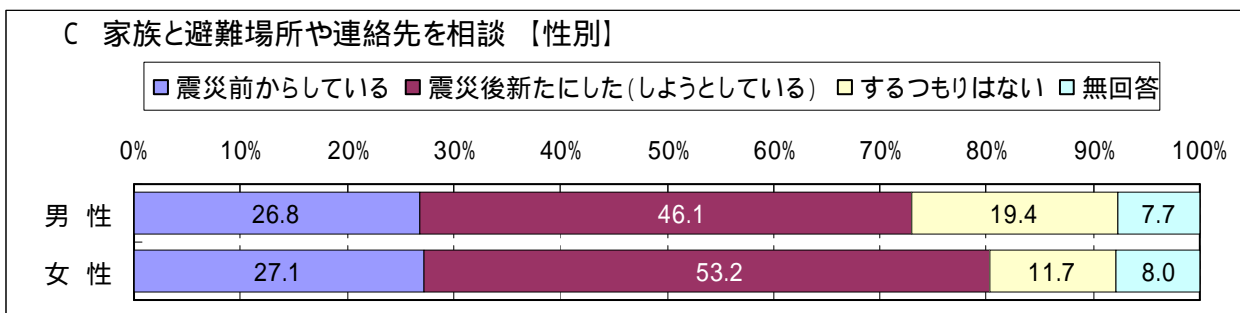
【地域別】

全地域で「震災後新たにした(しようとしている)」が多いが、神戸、阪神南では「震災前からしている」も約3割ある。

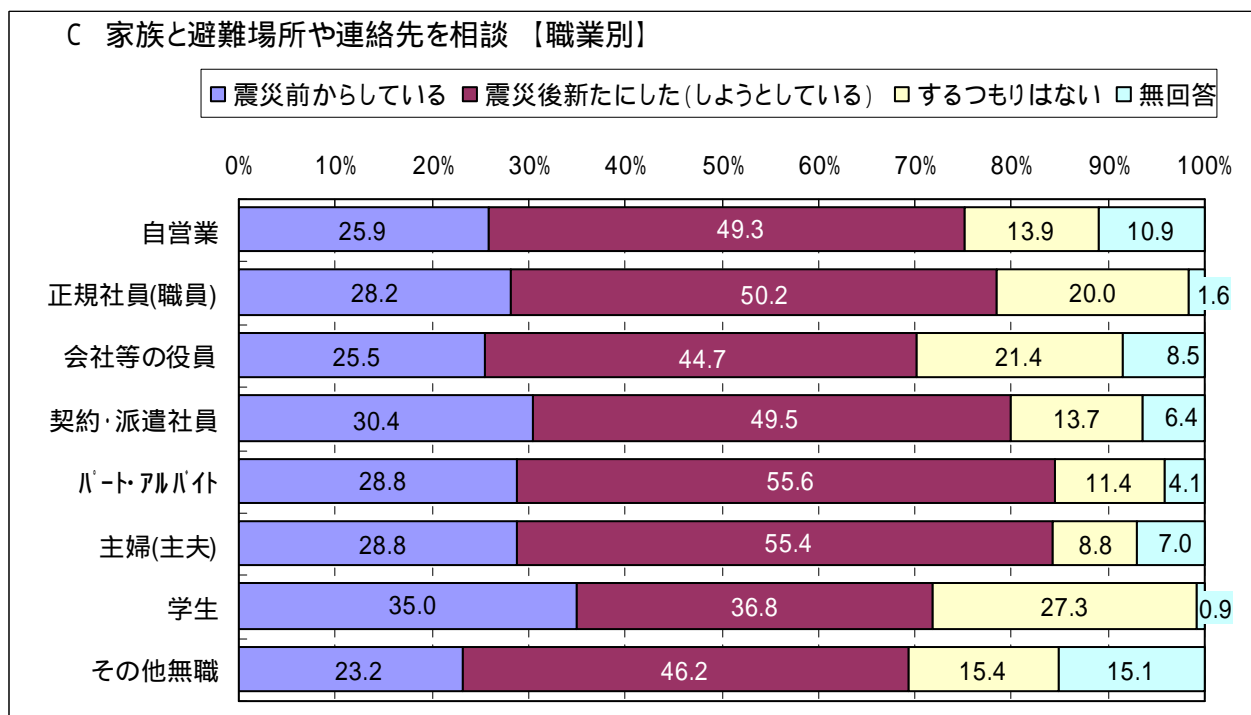


【性別 / 性・年代別】

性別、年代にかかわらず、「震災後新たにした(しようとしている)」が多いが、特に女性に顕著である。一方で、男女ともに40代で「震災前からしている」が最も多い。



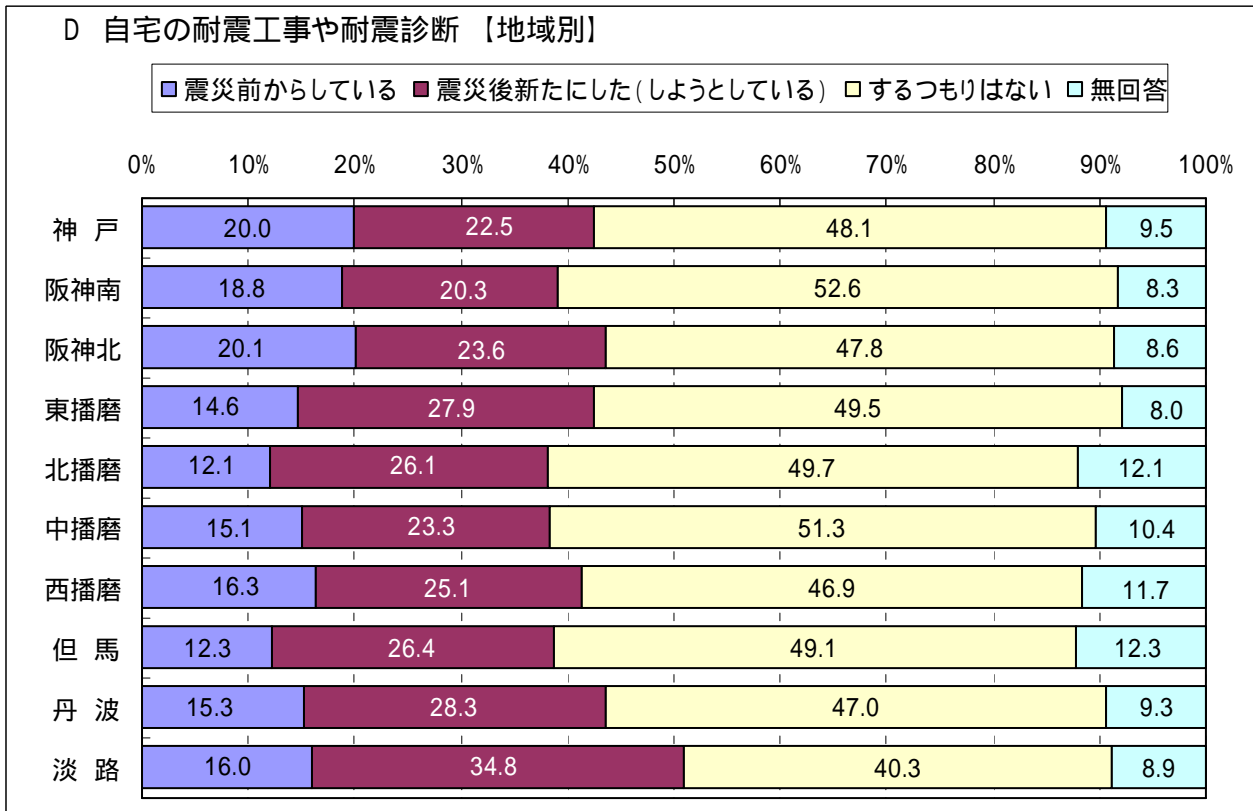
【職業別】



(D 自宅の耐震工事や耐震診断)

【地域別】

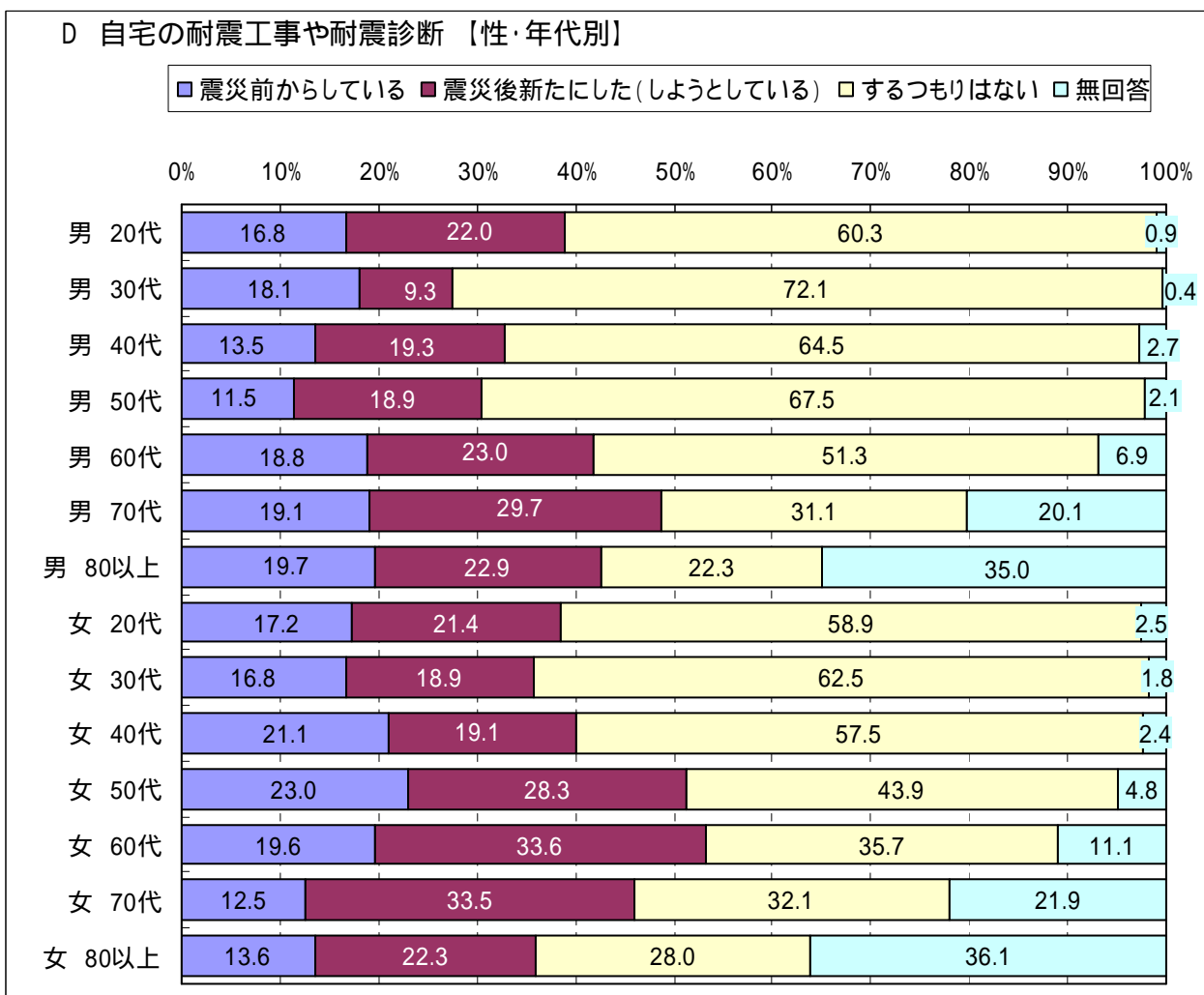
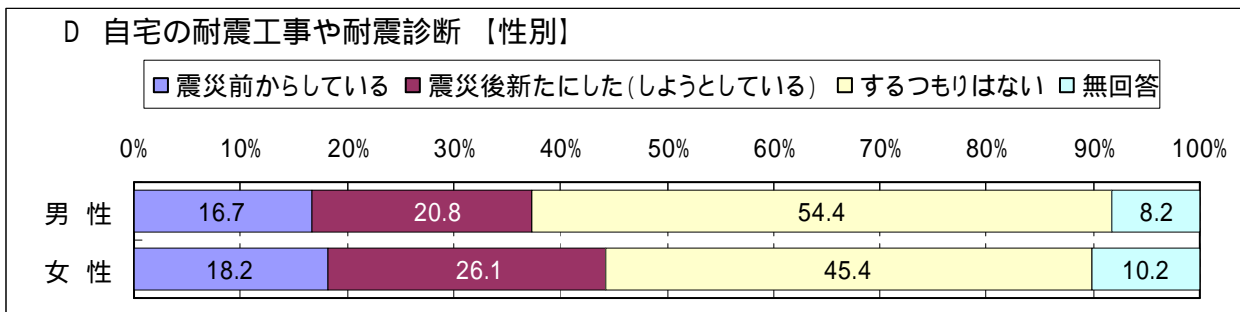
全地域で「震災後新たにした(しようとしている)」2割を超えているが、「するつもりはない」も4割以上ある。



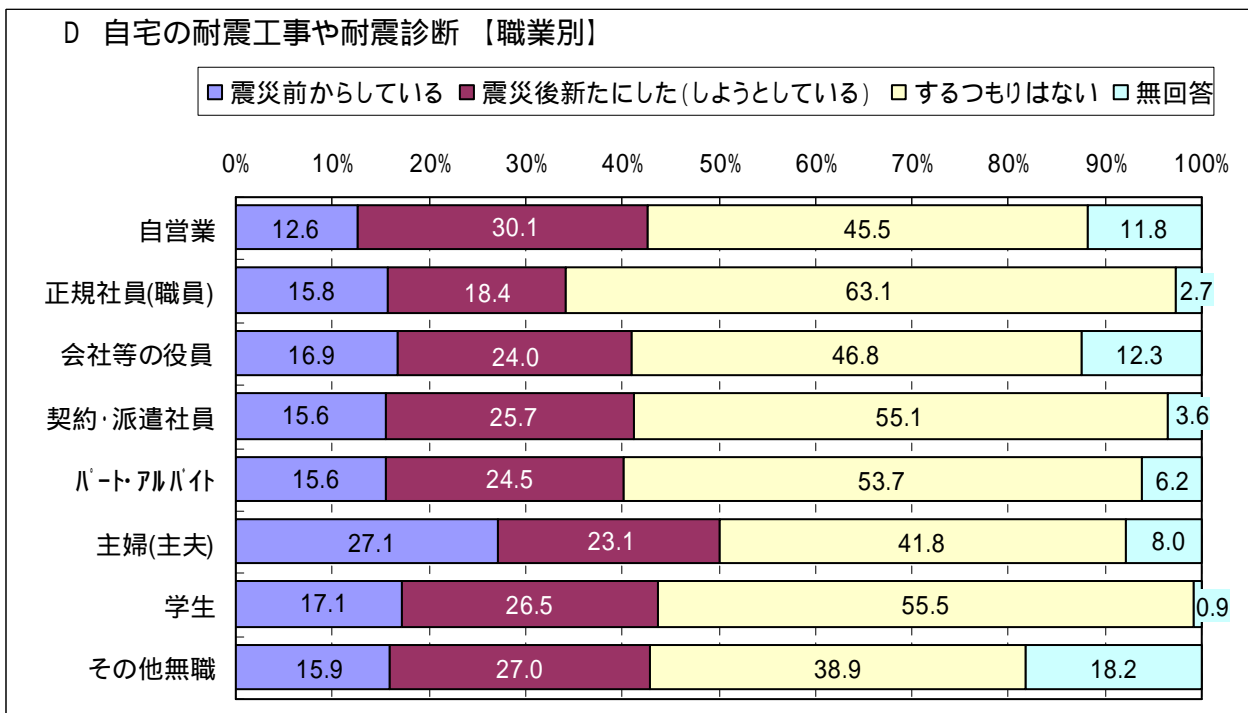
【性別／性・年代別】

男性の方が「するつもりはない」が多く、男女とも30代で最も多い。

また、女性の方が「震災後新たにした(しようとしている)」が多く、特に60代、70代でその傾向が顕著である。



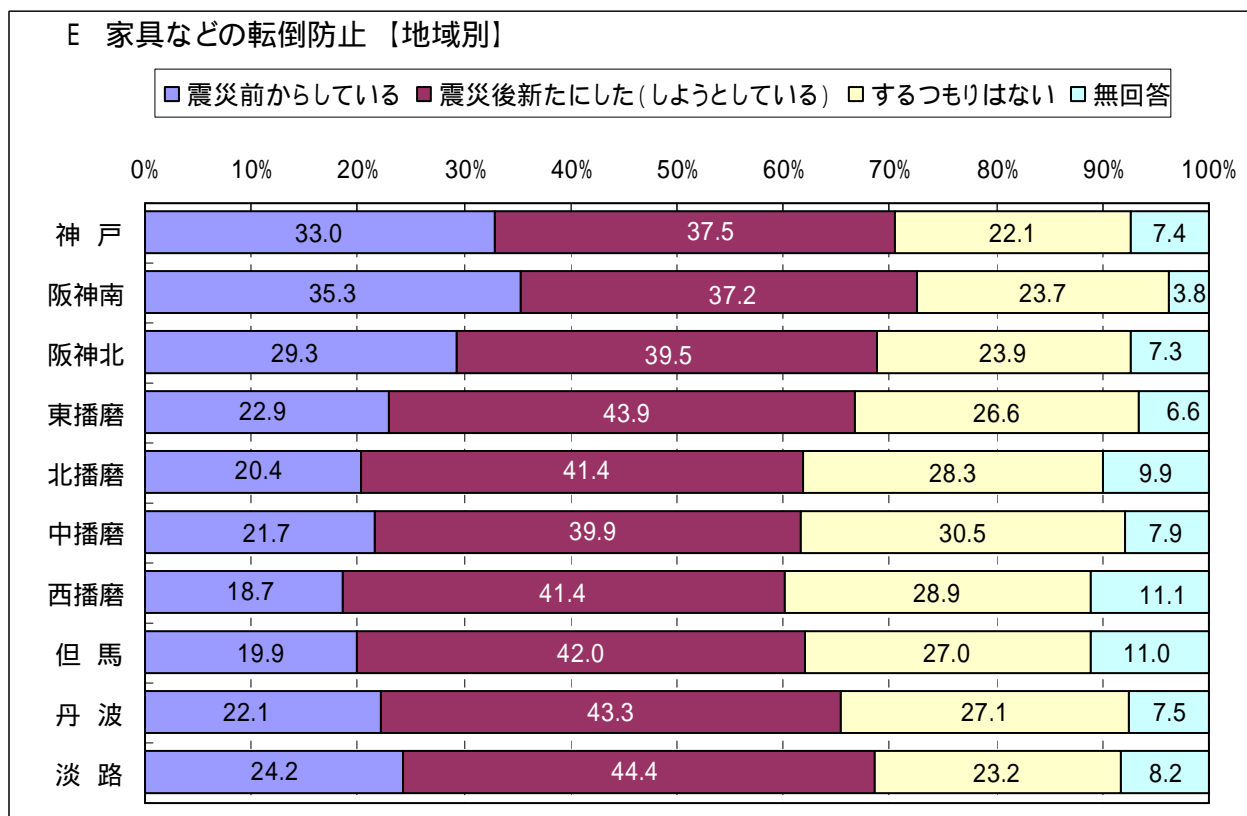
【職業別】



(E 家具などの転倒防止)

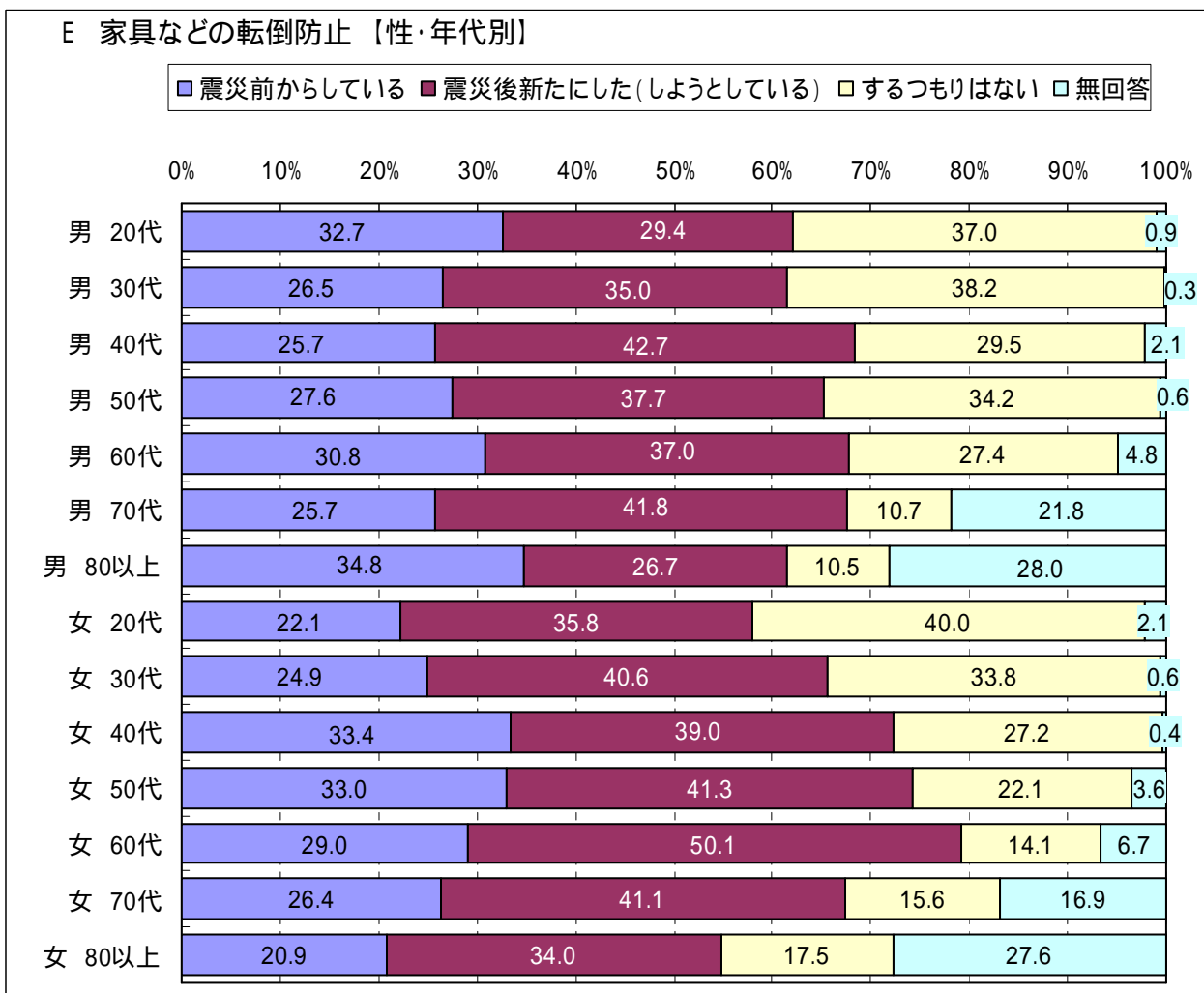
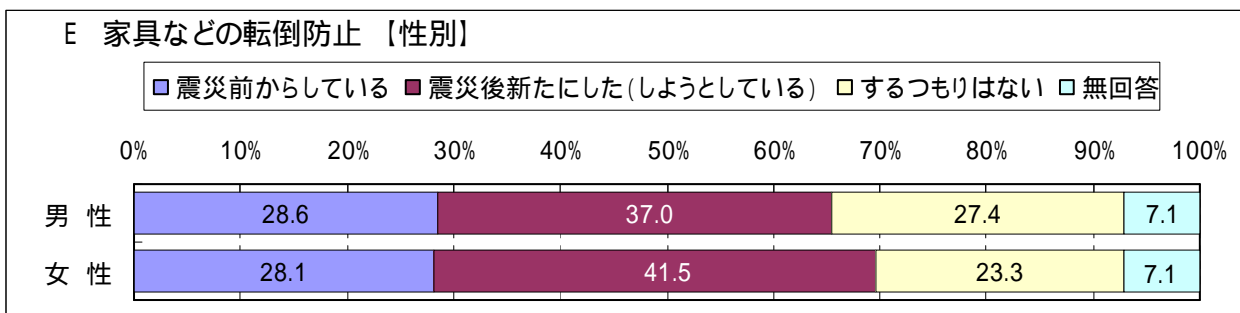
【地域別】

全地域で「震災後新たにしている(しようとしている)」が4割前後に達しているが、神戸、阪神南は「震災前からしている」も3割を超えている。

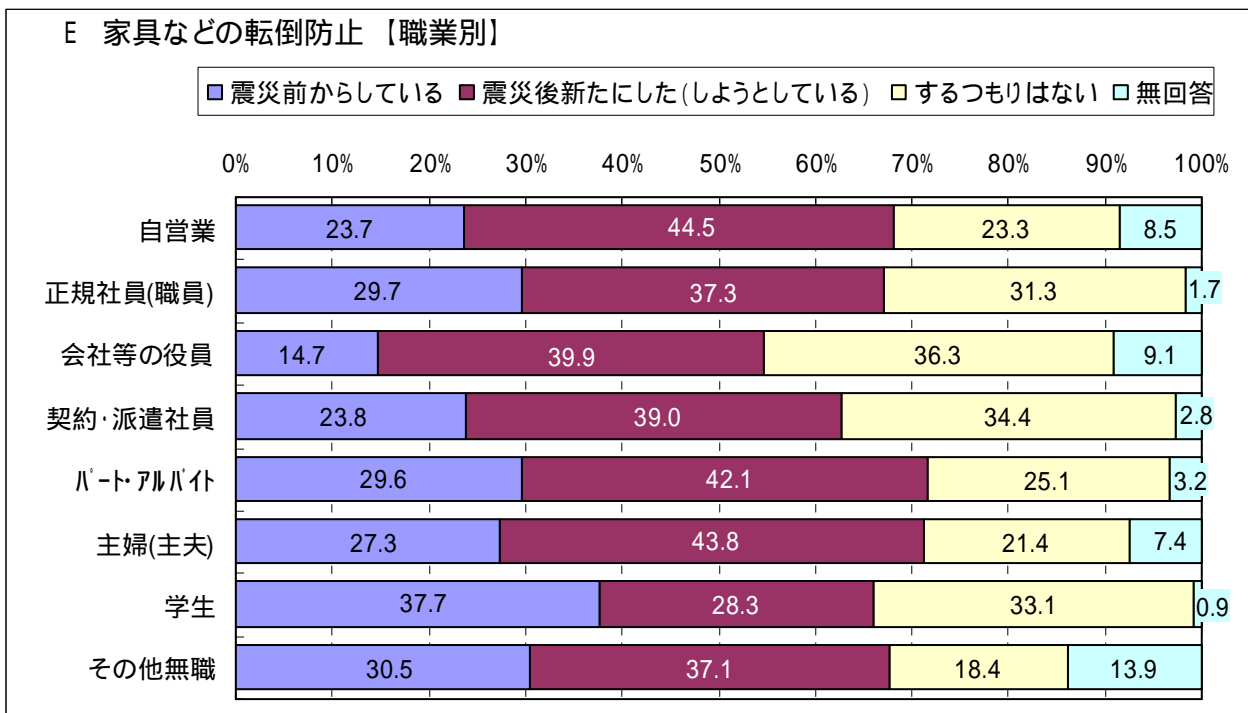


【性別 / 性・年代別】

女性の方が「震災後新たにしている（しようとしている）」が多く、特に 60 代でその傾向が顕著である。



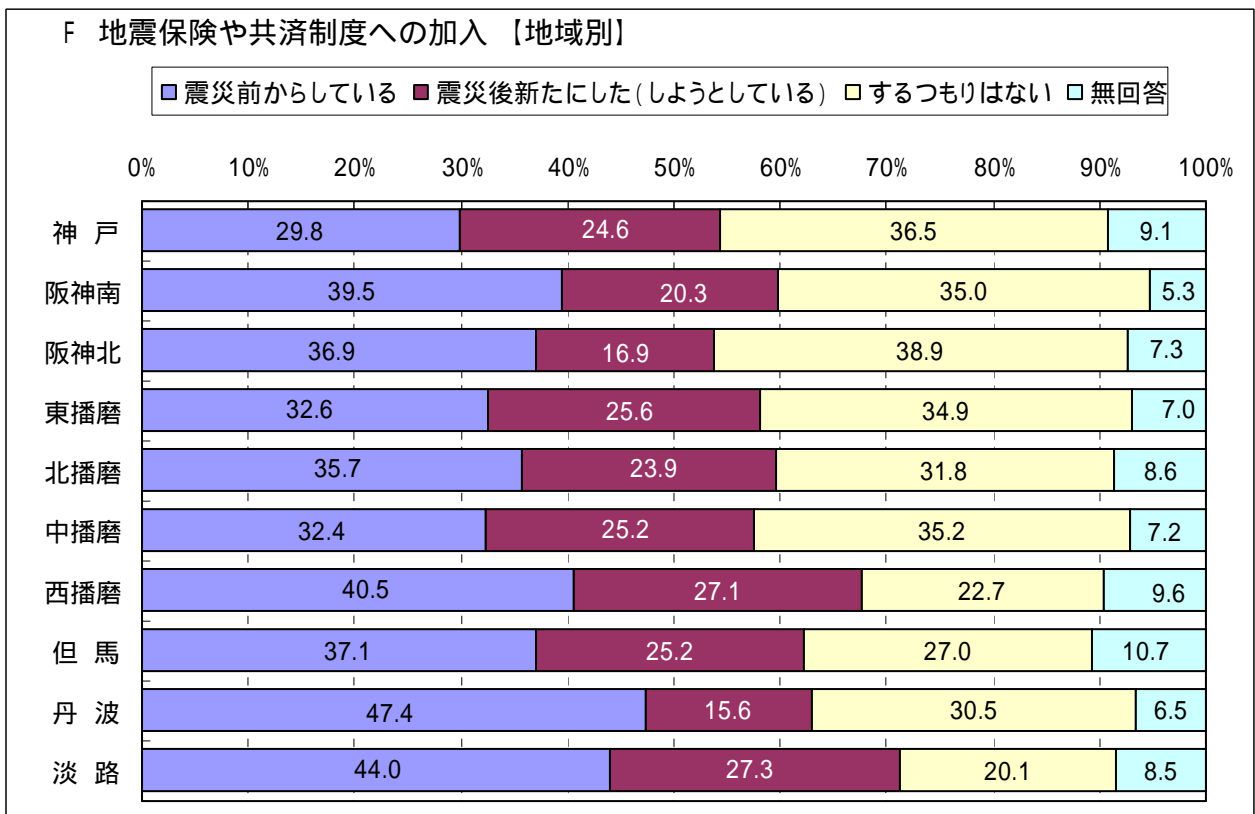
【職業別】



〔F 地震保険や共済制度への加入〕

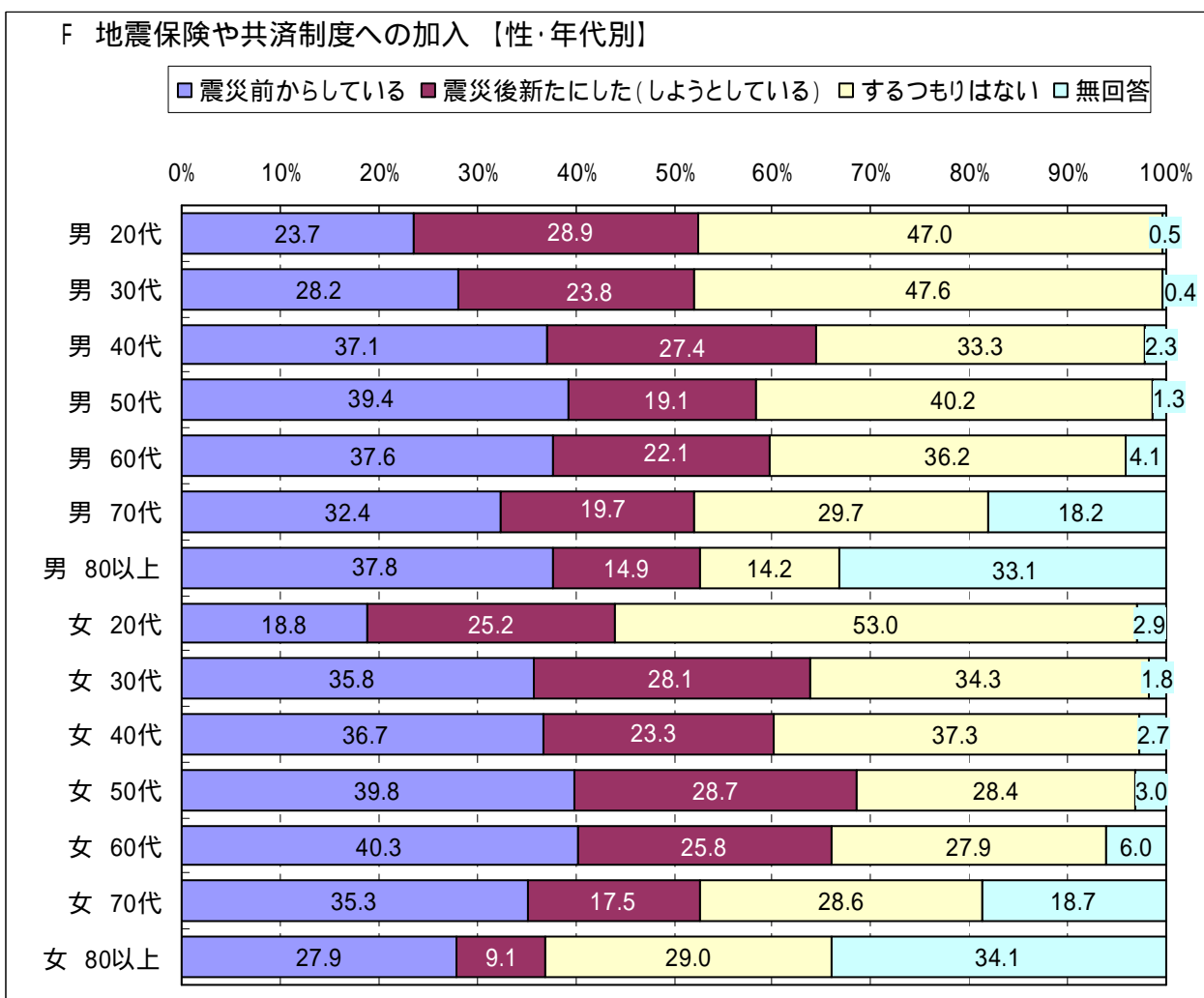
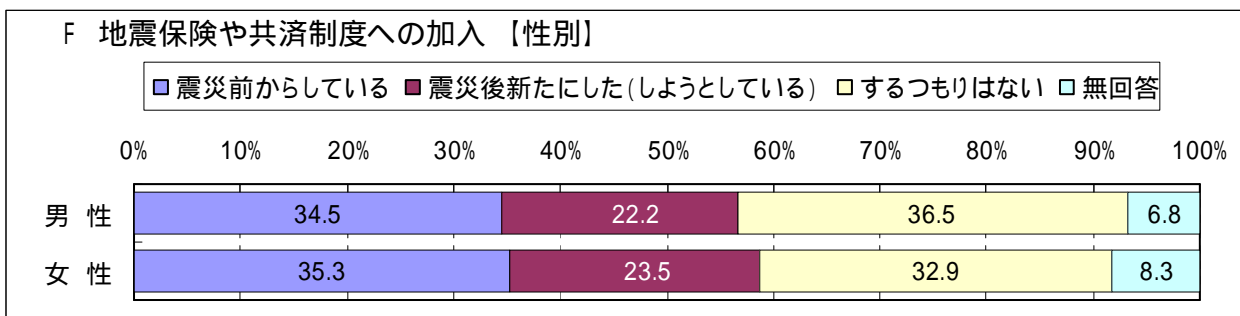
【地域別】

丹波、淡路、西播磨は、「震災前からしている」が4割を超えている。「震災前からしている」と「震災後新たにした(しようとしている)」を合わせると、全地域で5割を超えている。

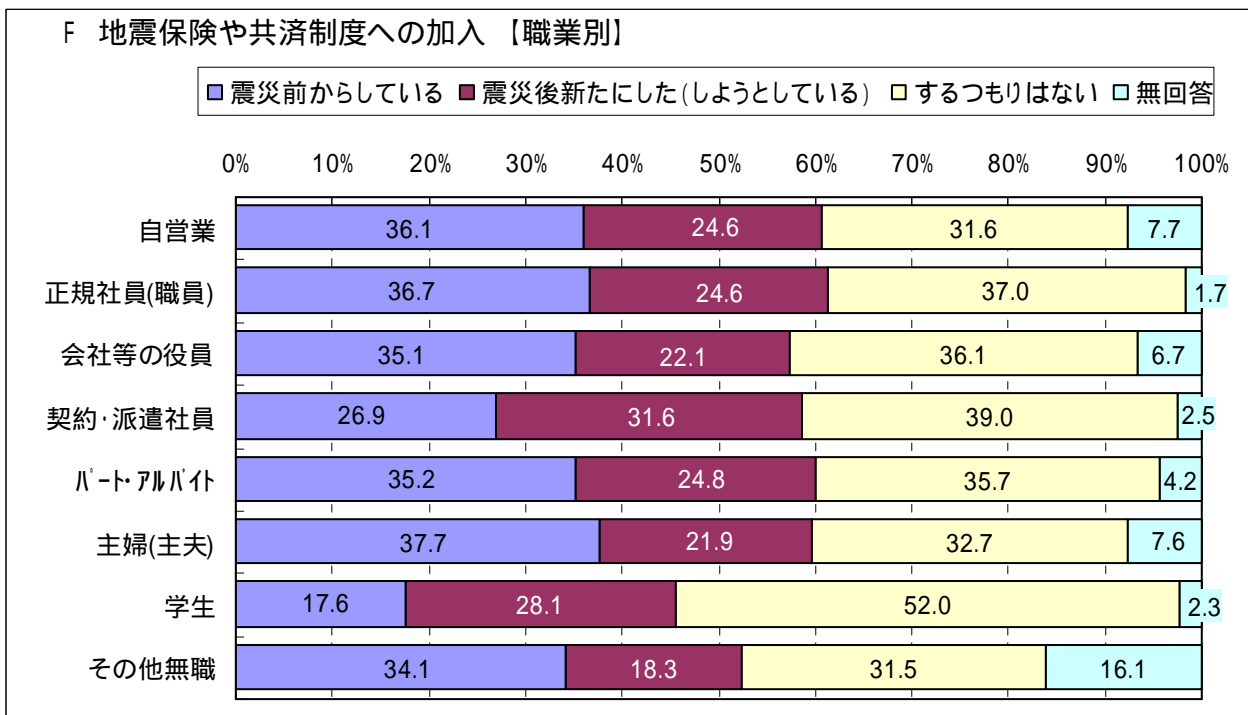


【性別／性・年代別】

若い年代ほど「するつもりはない」が多い傾向がみられる。



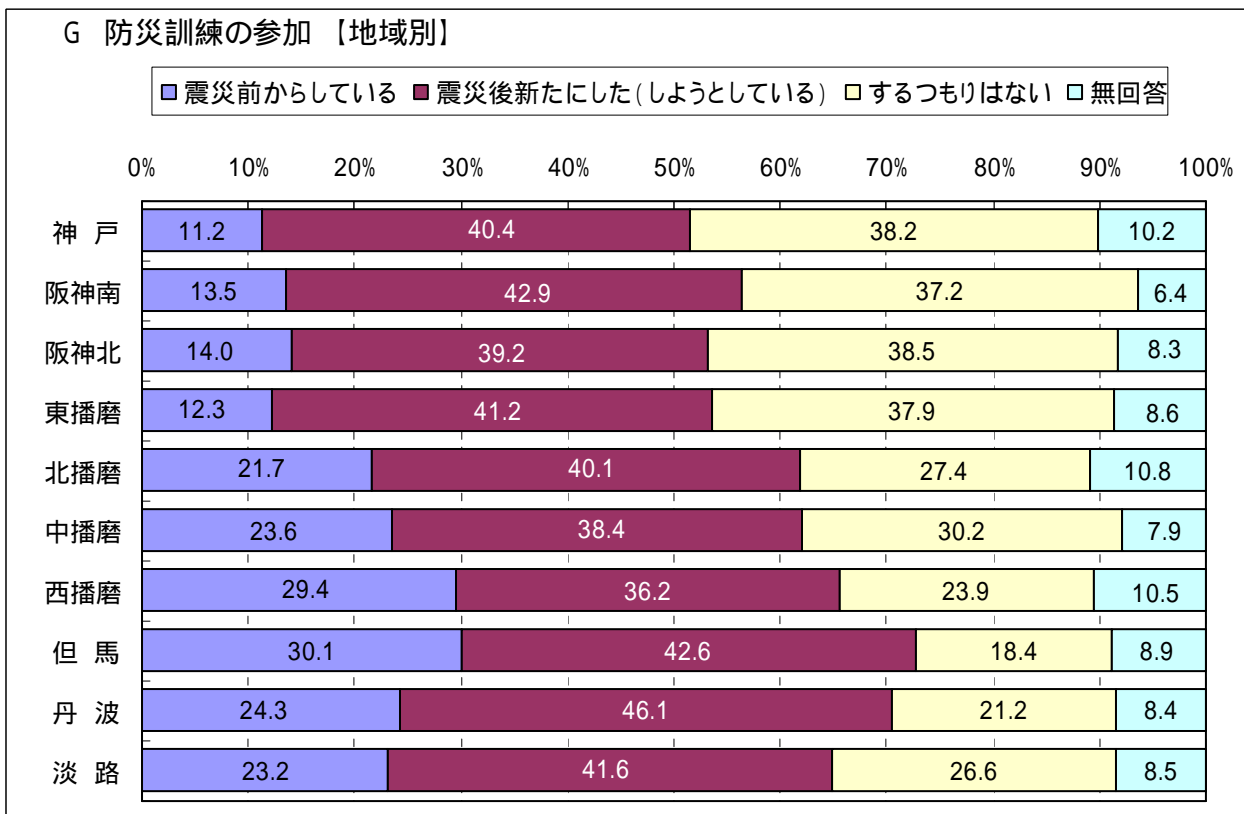
【職業別】



〔 G 防災訓練の参加 〕

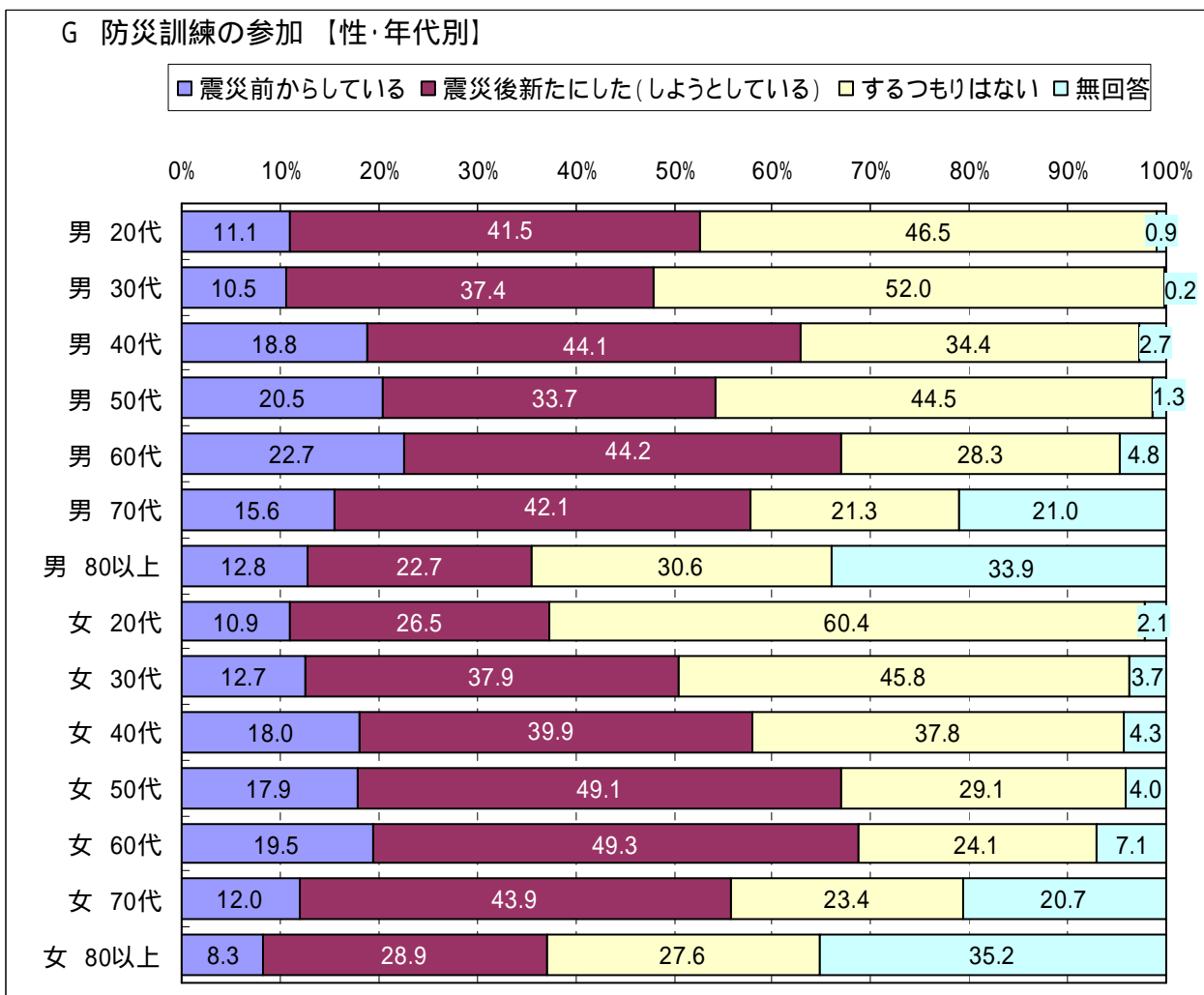
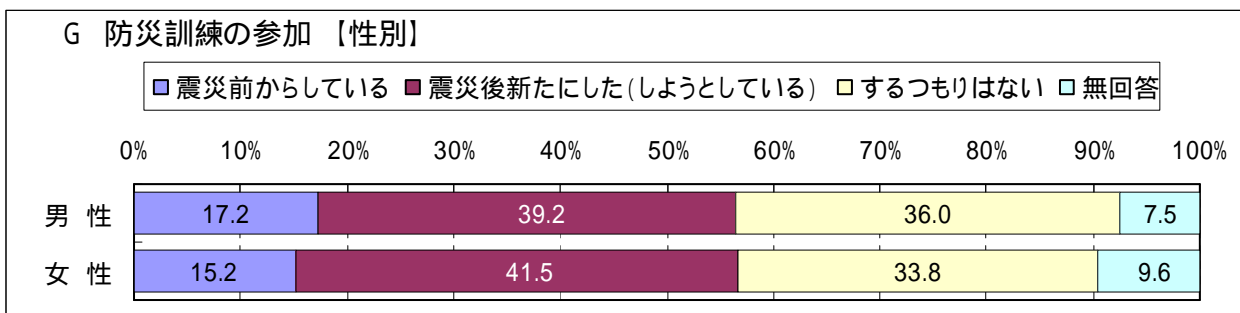
【地域別】

都市部は「震災前からしている」が少ないが、「震災後新たにした(しようとしている)」は、各地域とも4割前後ある。

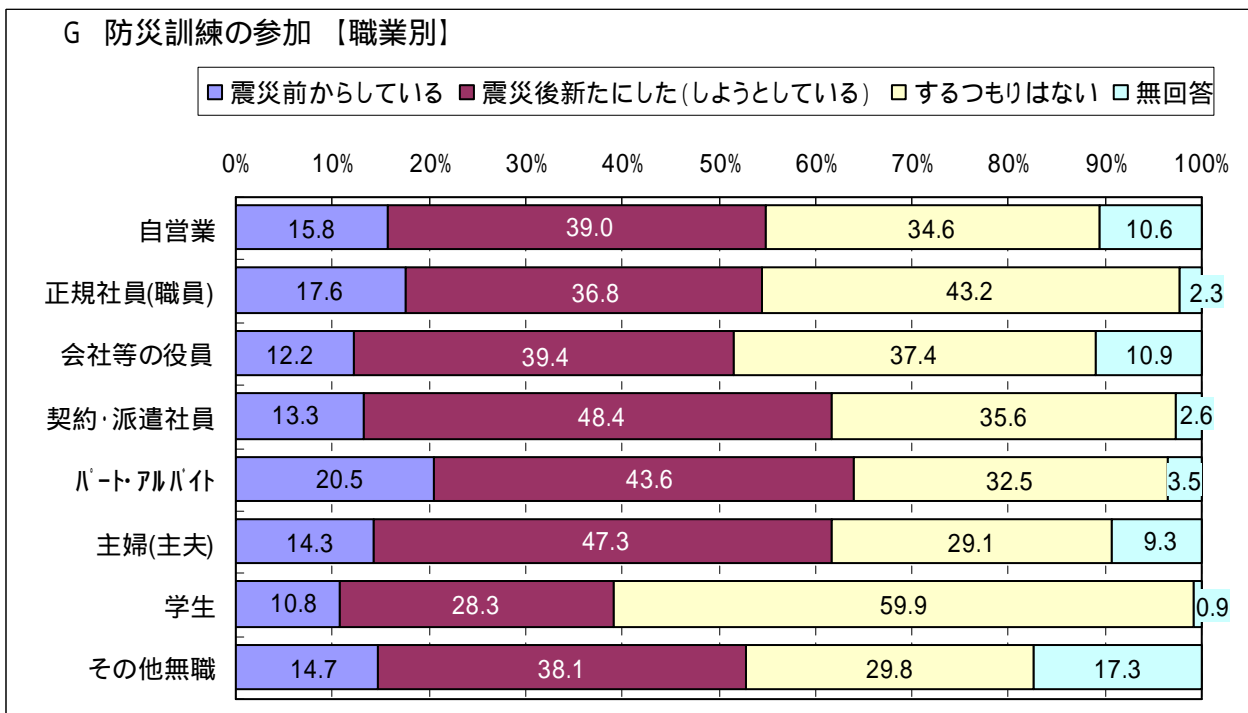


【性別 / 性・年代別】

男女とも、20代と30代で「するつもりはない」が多い。



【職業別】



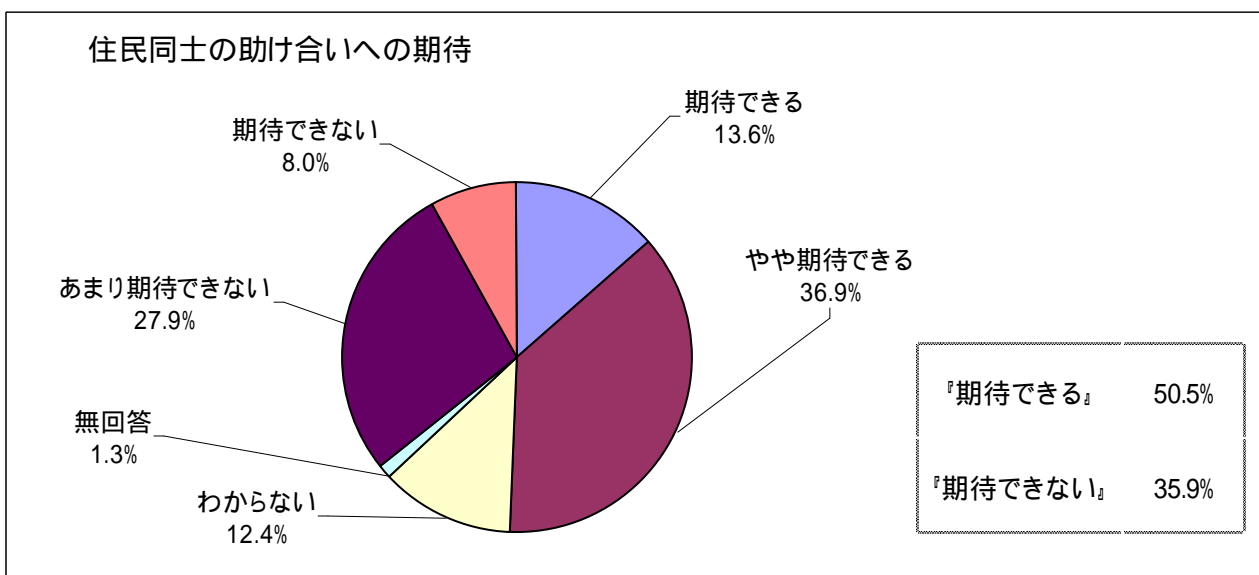
問7 住民同士の助け合いへの期待

問7 あなたのお住まいの地域では、大規模災害が発生した際に、住民同士の助け合いはどの程度期待できますか。次の中から1つ選んで番号に 印をつけてください。

- | | |
|-------------|----------|
| 1 期待できる | 4 期待できない |
| 2 やや期待できる | 5 わからない |
| 3 あまり期待できない | |

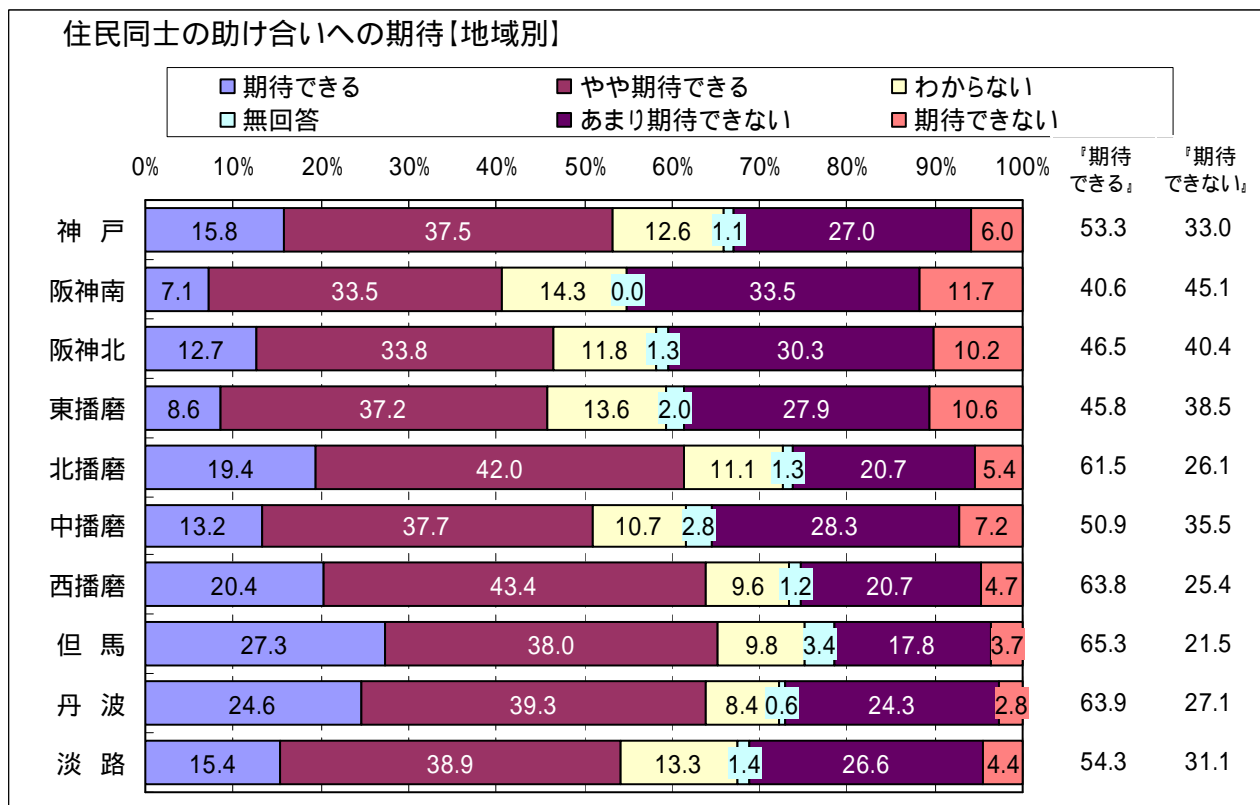
【全 県】

「期待できる」「やや期待できる」を合わせた『期待できる』が約5割で、概ね農村部の方が都市部より高い。



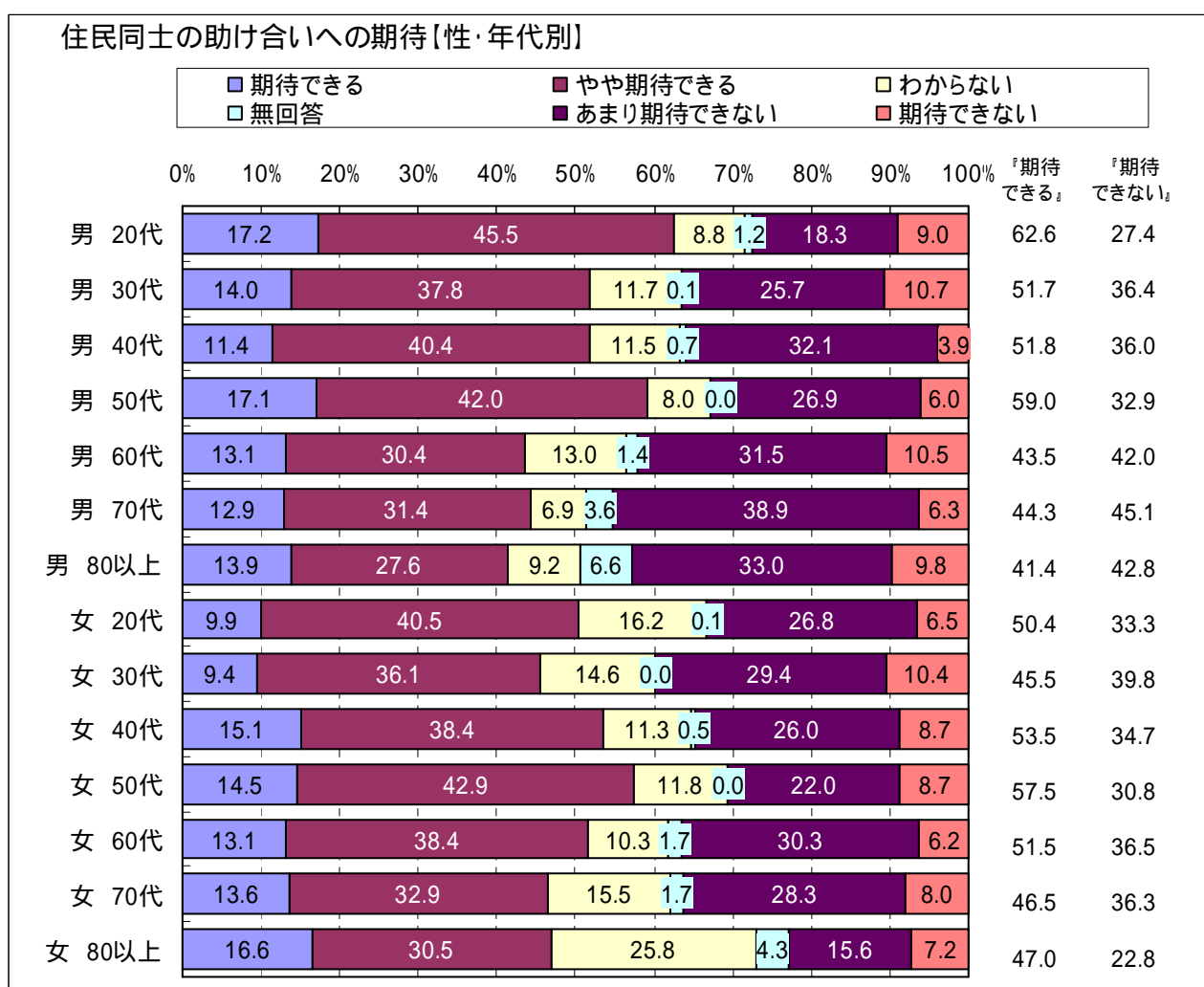
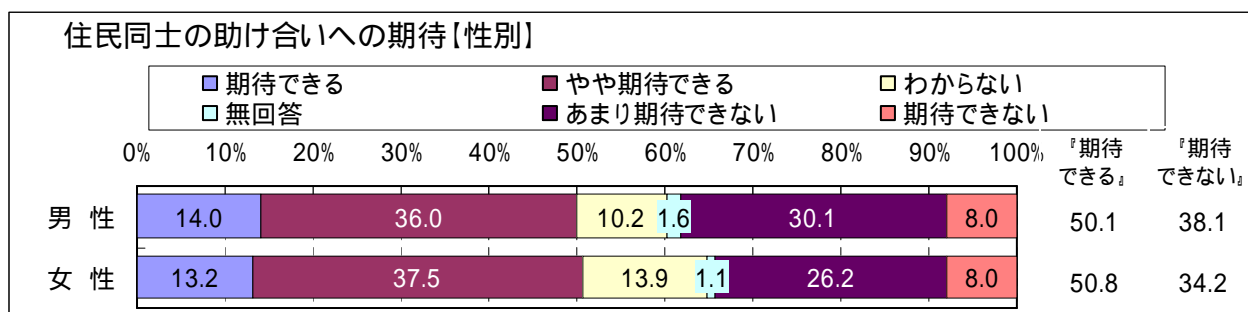
【地域別】

阪神南以外の9地域で『期待できる』が『期待できない』を上回っている。

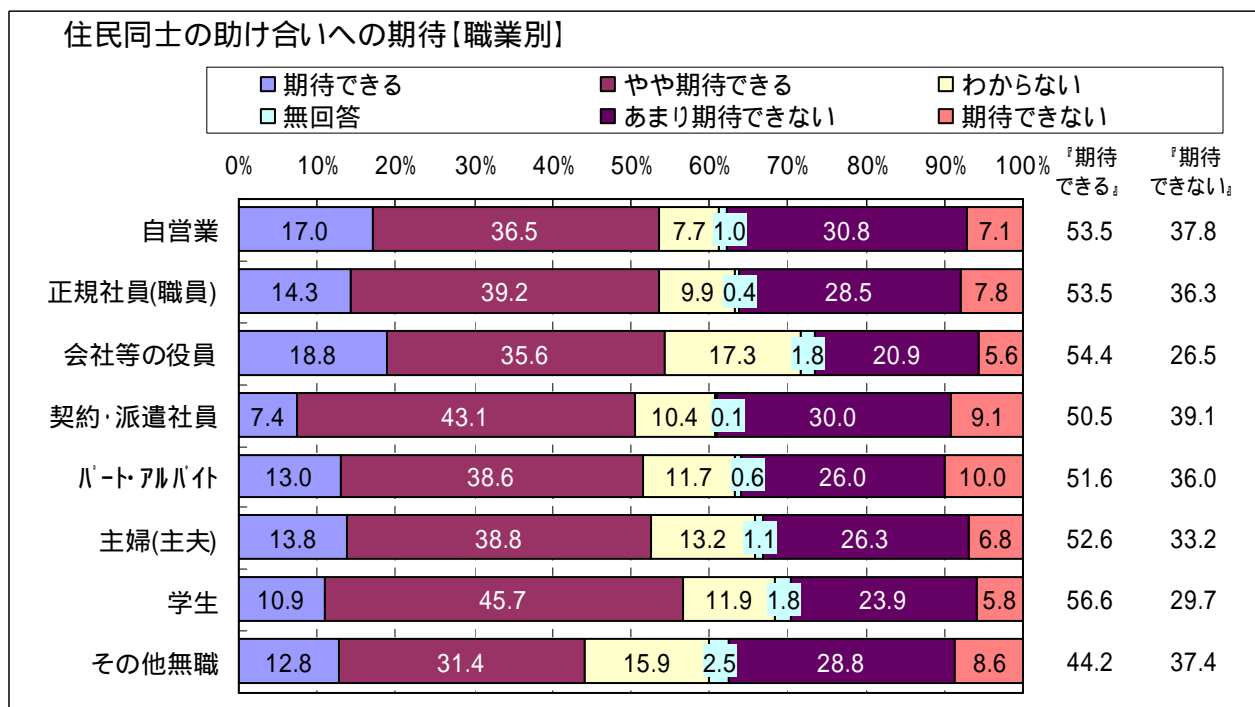


【性別 / 性・年代別】

男性の70代、80代のみ『期待できない』が『期待できる』を上回っている。



【職業別】



問8 地域の防災対策への取り組み

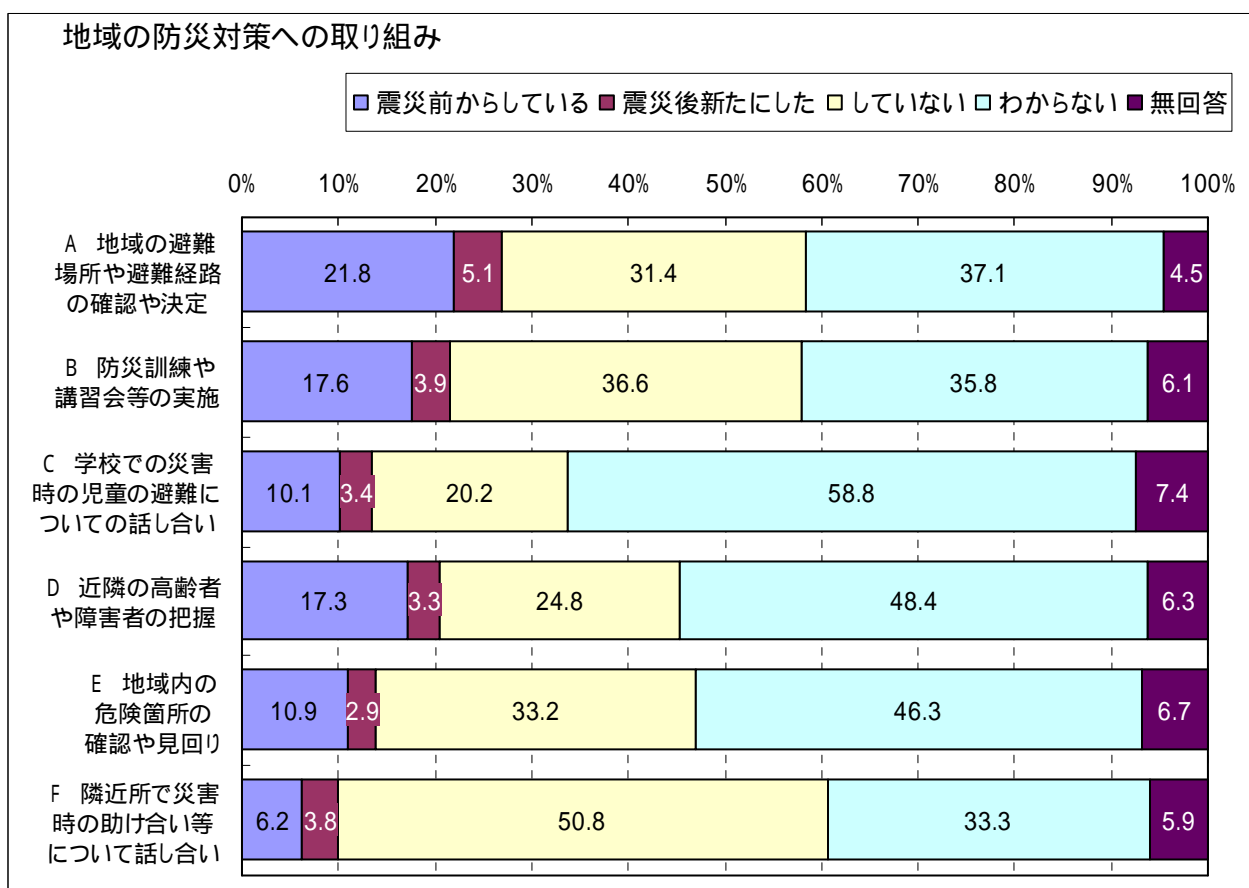
問8 あなたのお住まいの地域では、東日本大震災後、自治会やPTAなど、地域で取り組む防災対策について変化がありましたか。A～Fそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に印をつけてください。

- A 地域内の避難場所や避難経路の確認や決定
- B 防災訓練や講習会等の実施
- C 学校での災害時の児童の避難についての話し合い
- D 近隣の高齢者や障害者の把握
- E 地域内の危険箇所の確認や見回り
- F 隣近所で災害時の助け合い等について話し合い

1 : 震災前からしている 3 : していない
 2 : 震災後に新たにした（しようとしている） 4 : わからない

【全 県】

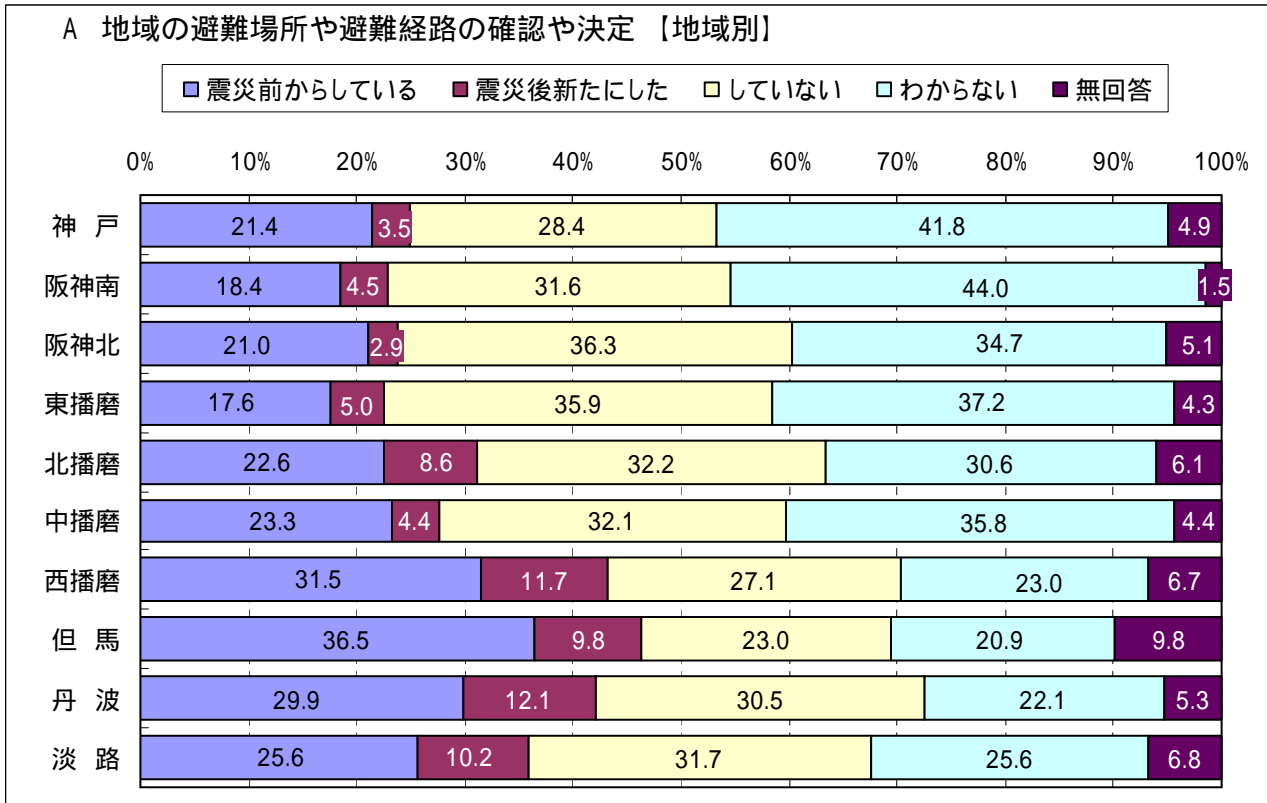
家庭内の防災対策と比較すると、「震災後新たにした（しようとしている）」は各項目とも少なく、更なる取り組みが求められる。



〔 A 地域の避難場所や避難経路の確認や決定〕

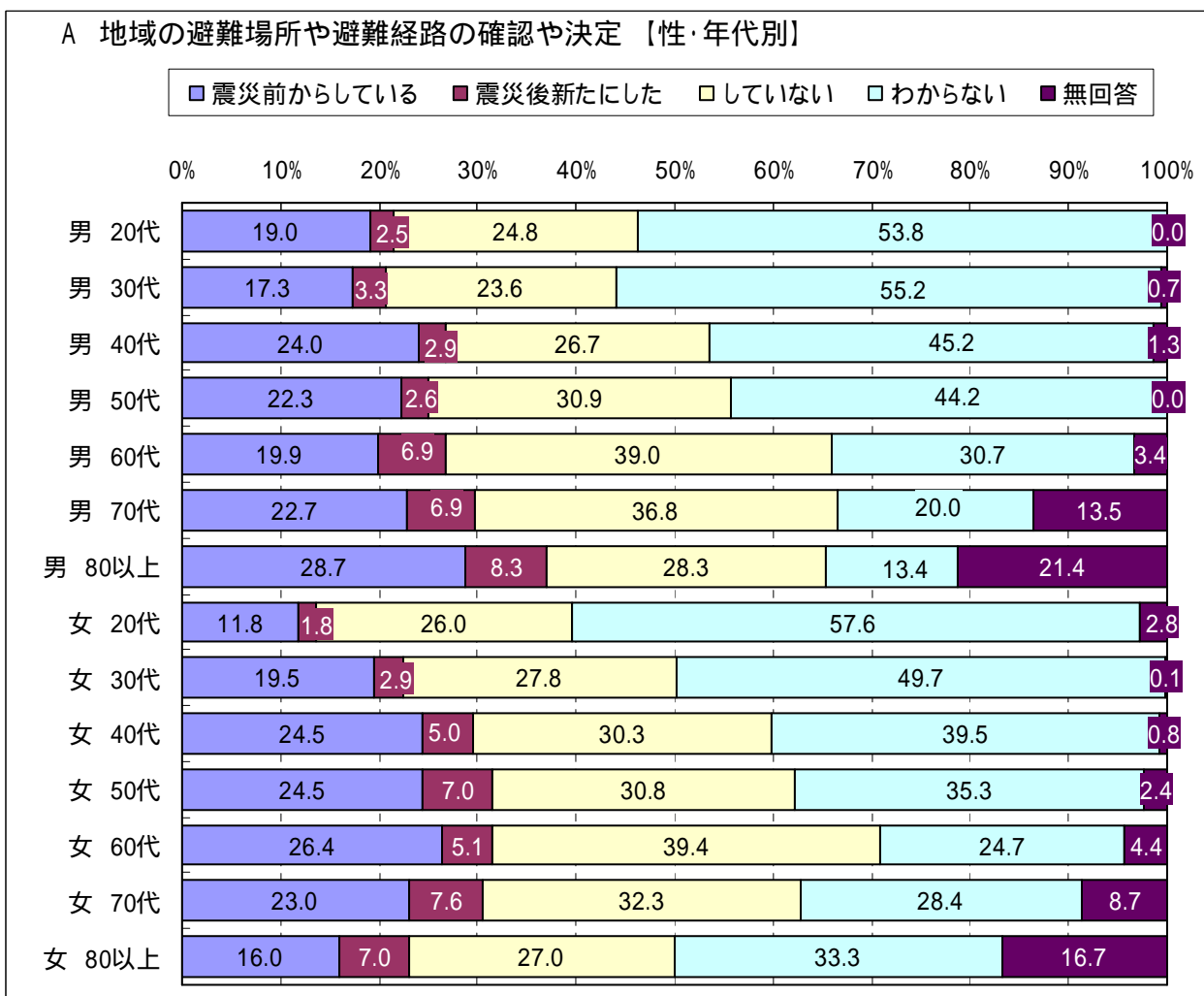
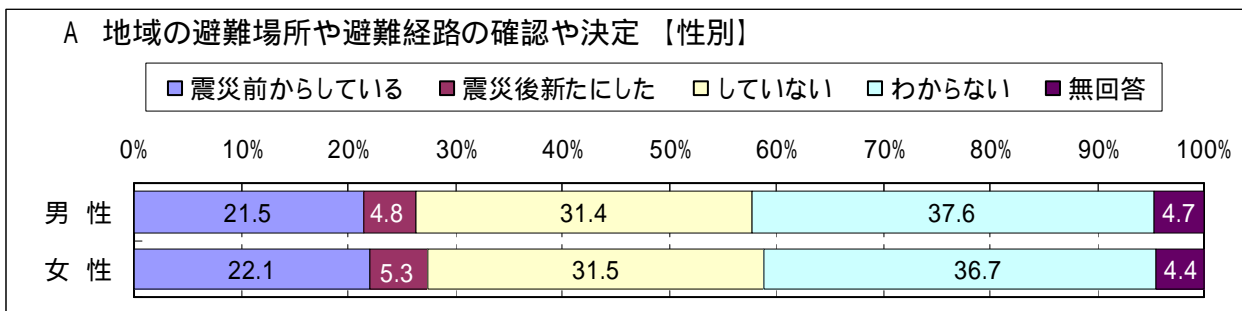
【地域別】

「震災前からしている」と「震災後新たにした（しようとしている）」を合わせると、但馬、西播磨、丹波で4割を超えているが、都市部では少ない。

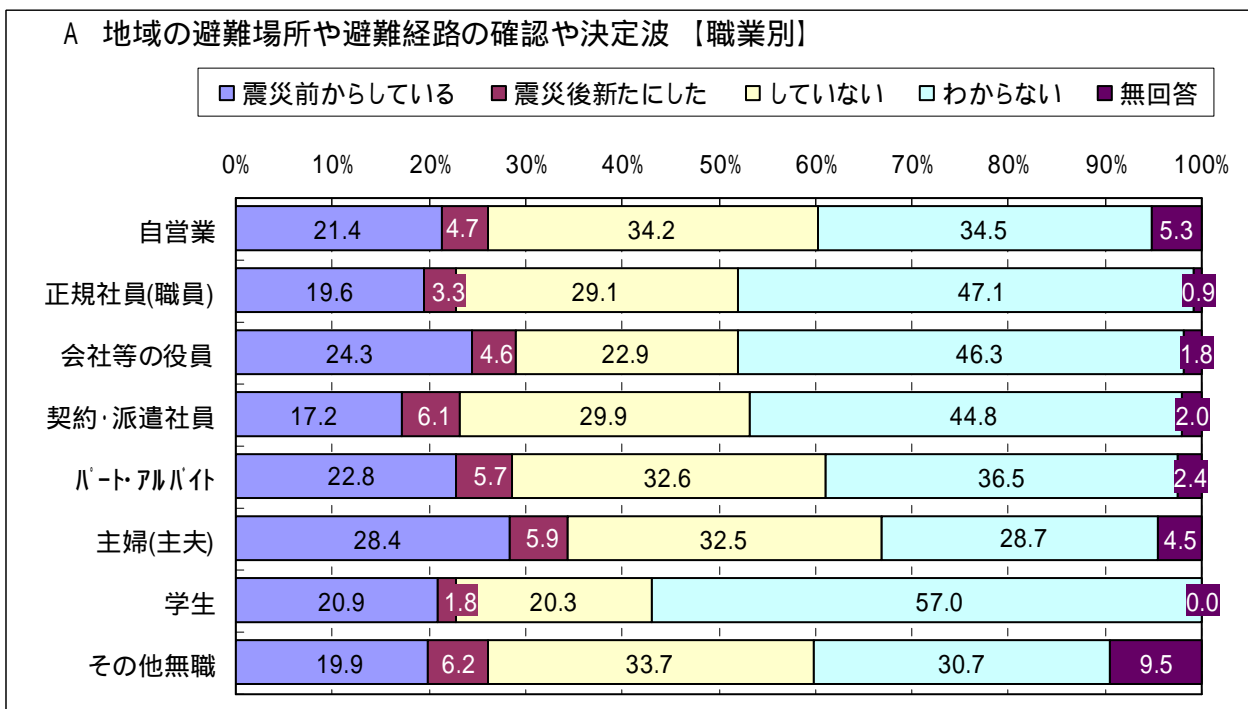


【性別／性・年代別】

男女とも 20 代、30 代は「震災前からしている」と「震災後新たにした（しようとしている）」
いずれも少なく、「わからない」が多い。



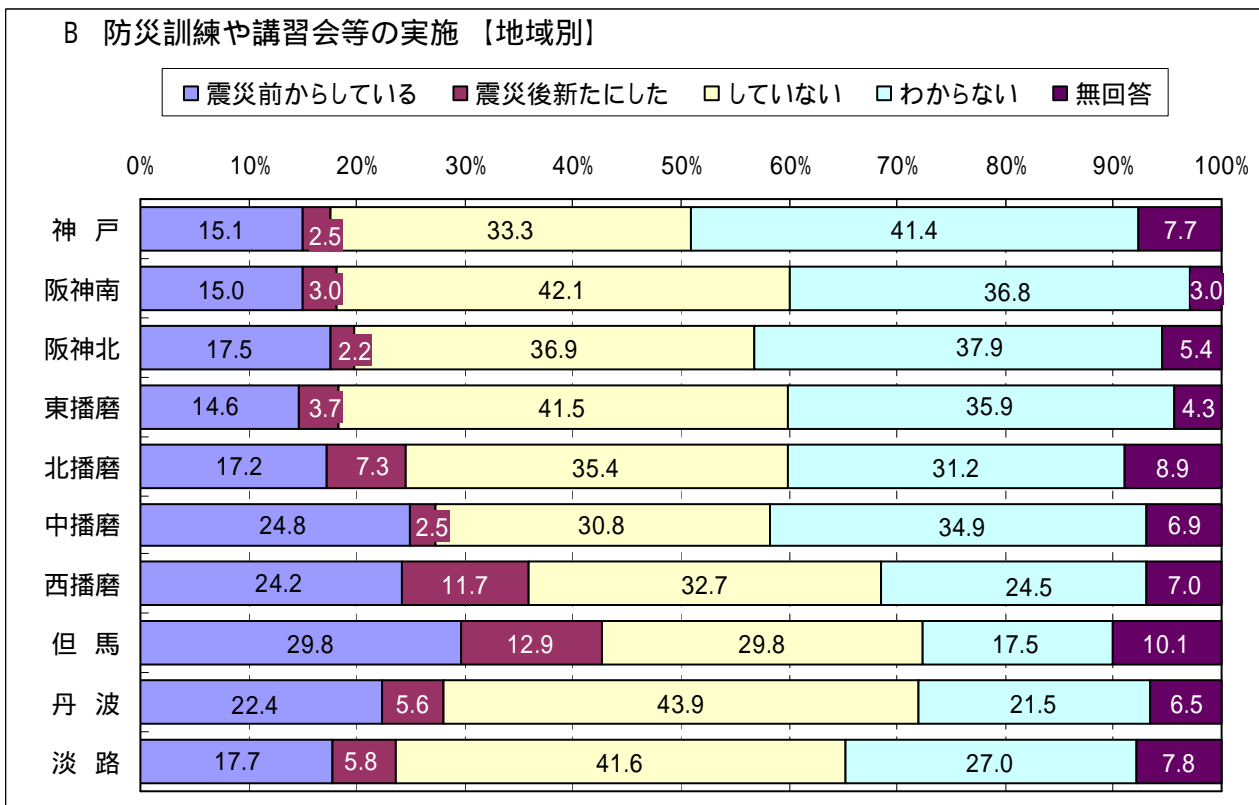
【職業別】



〔 B 防災訓練や講習会等の実施〕

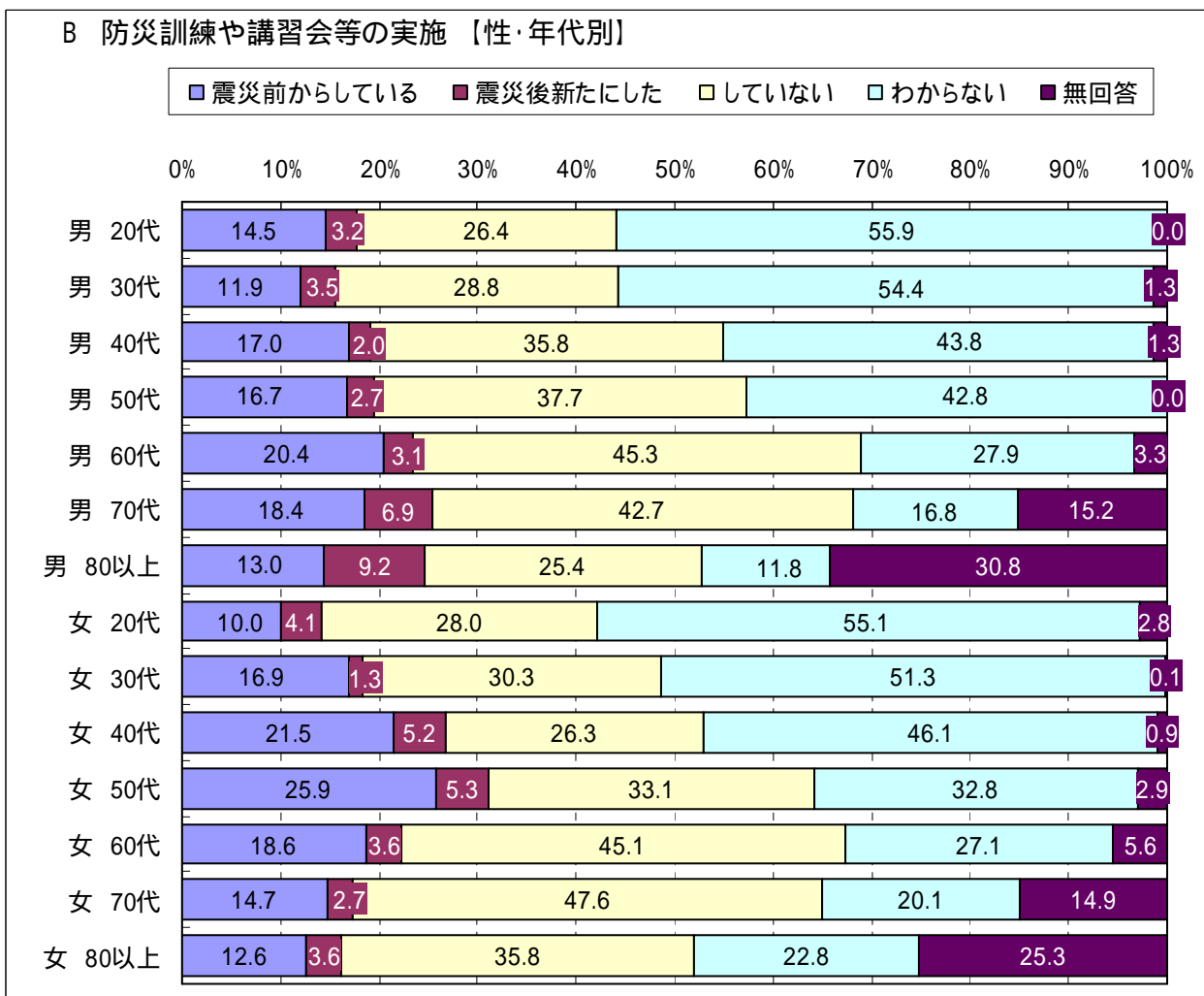
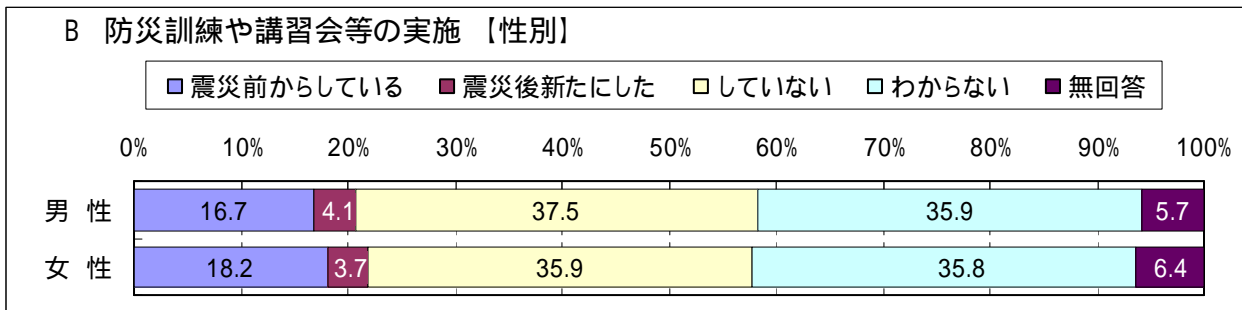
【地域別】

「震災前からしている」と「震災後新たにした(しようとしている)」を合わせると、但馬、西播磨で4割前後と多いが、都市部は少ない傾向がみられる。

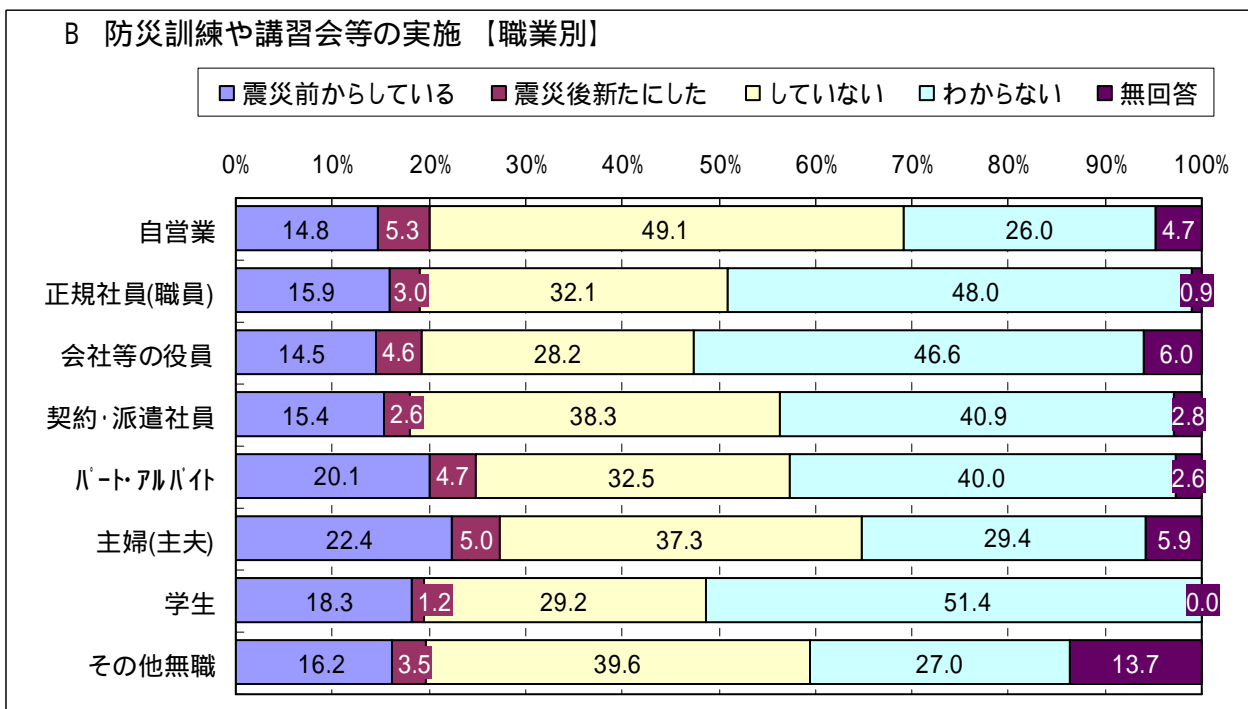


【性別／性・年代別】

男女とも20代、30代は「震災前からしている」と「震災後新たにした(しようとしている)」のいずれも少なく、「わからない」が多い。



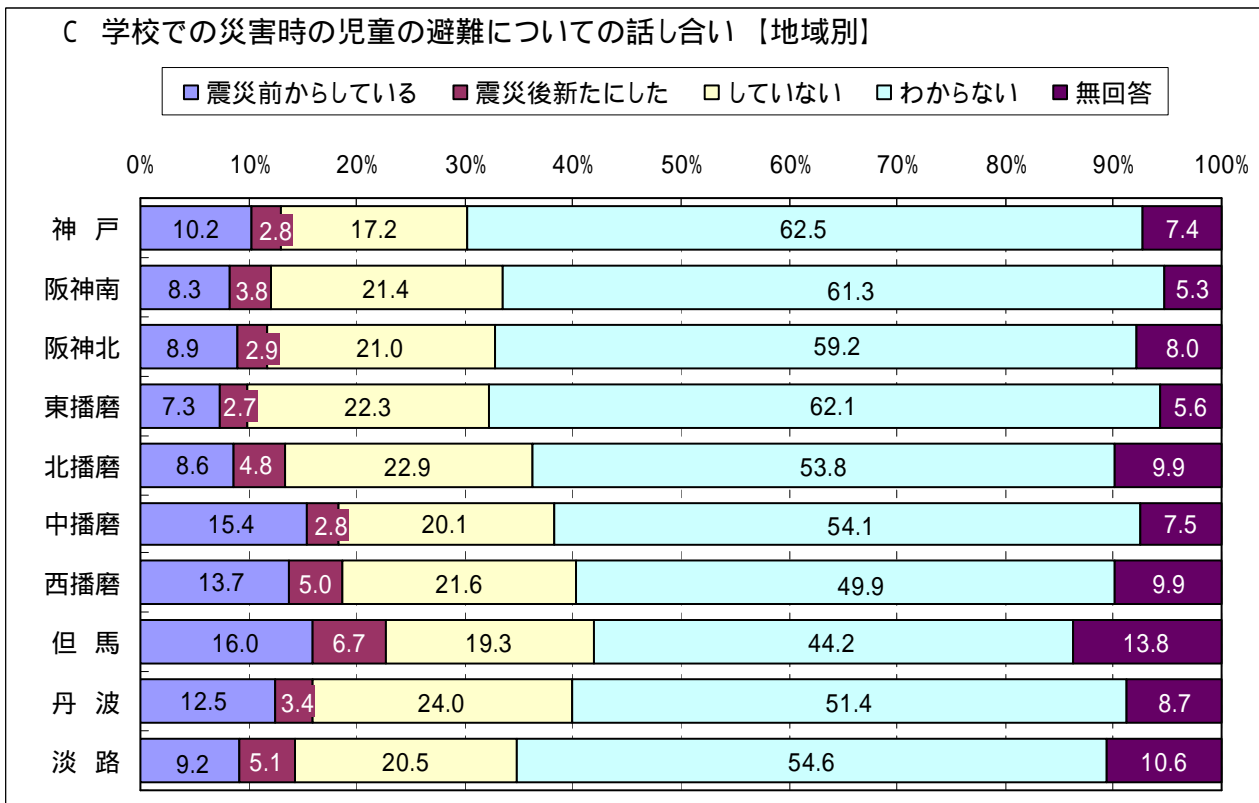
【職業別】



〔C 学校での災害時の児童の避難についての話し合い〕

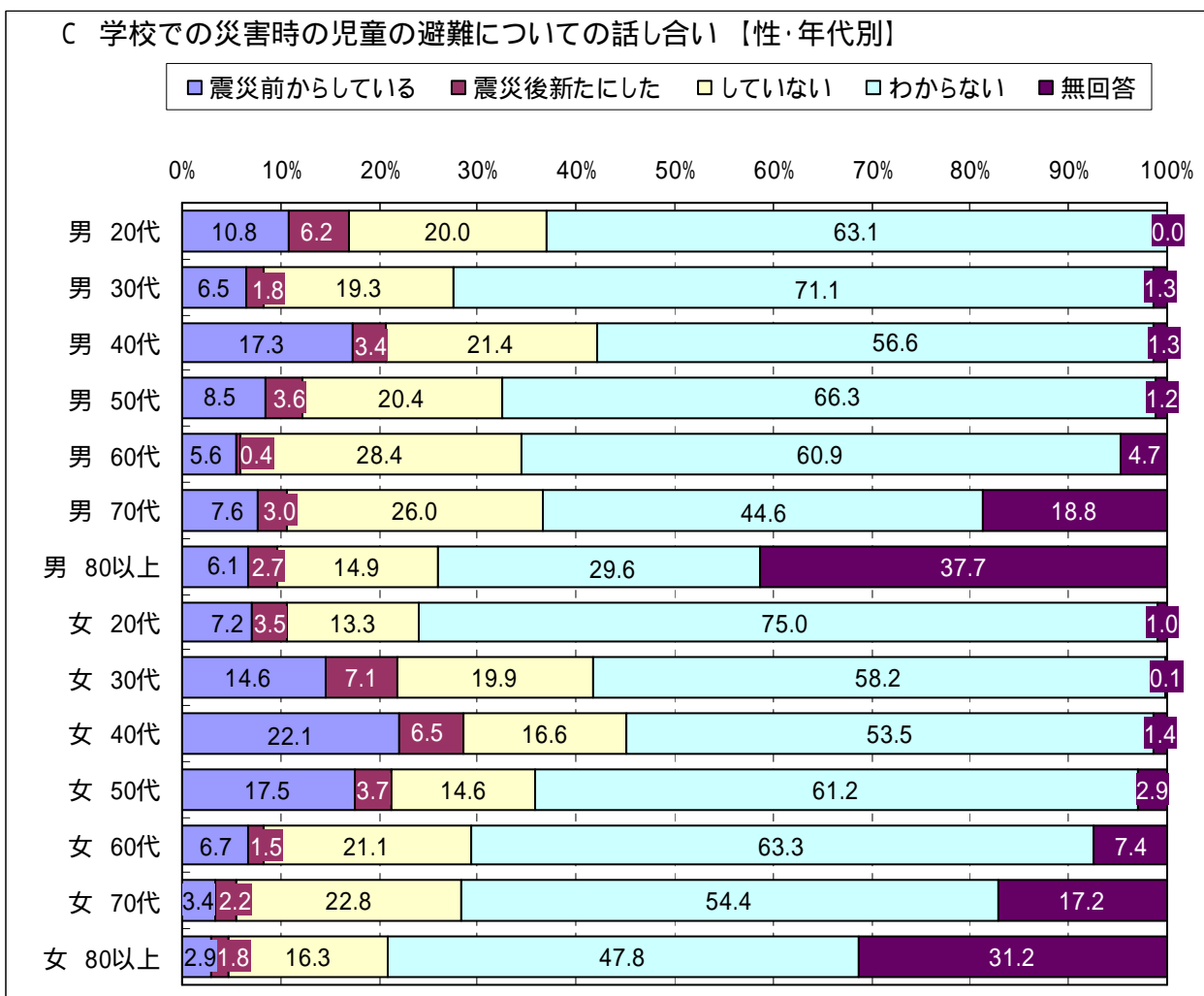
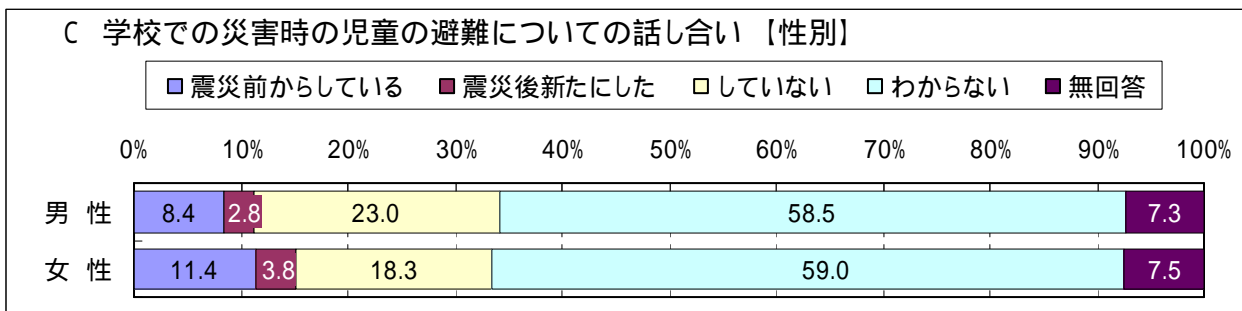
【地域別】

全地域で「わからない」が多いが、但馬では「震災前からしている」と「震災後新たにした（しようとしている）」を合わせると2割を上回っている。

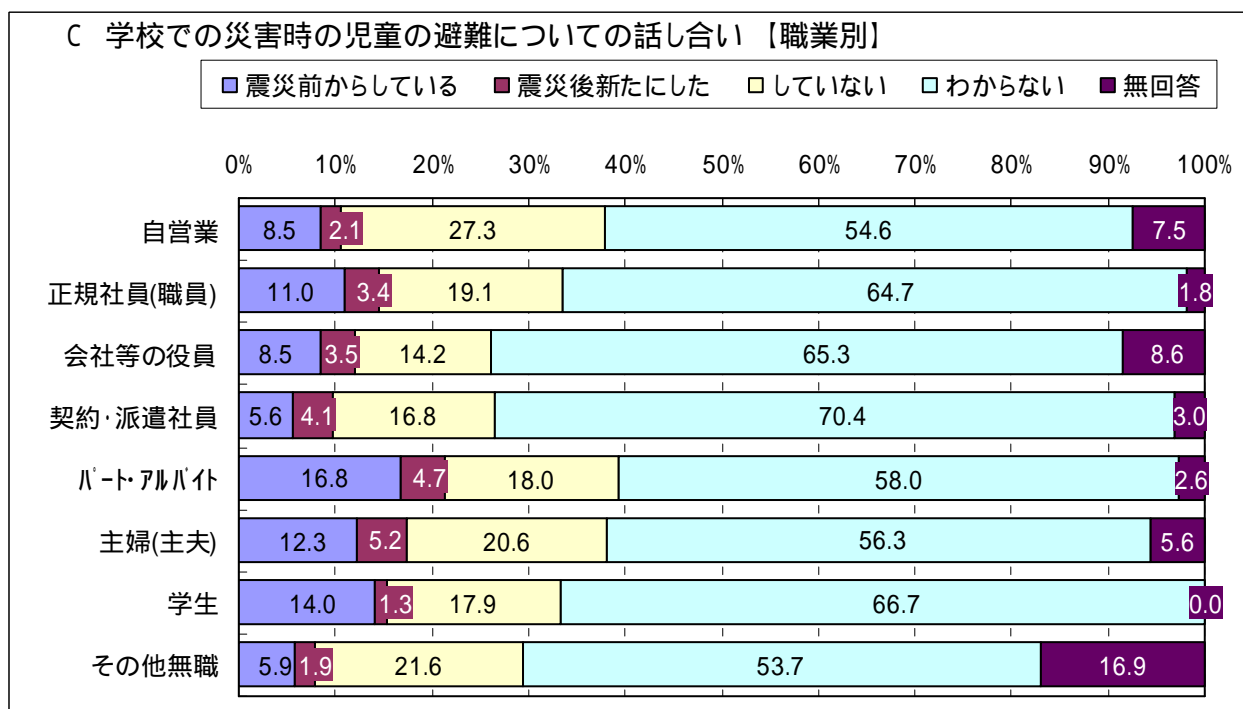


【性別 / 性・年代別】

「震災前からしている」と「震災後新たにした(しようとしている)」を合わせると、40代男性と30代~50代女性が多く2割を上回っている。



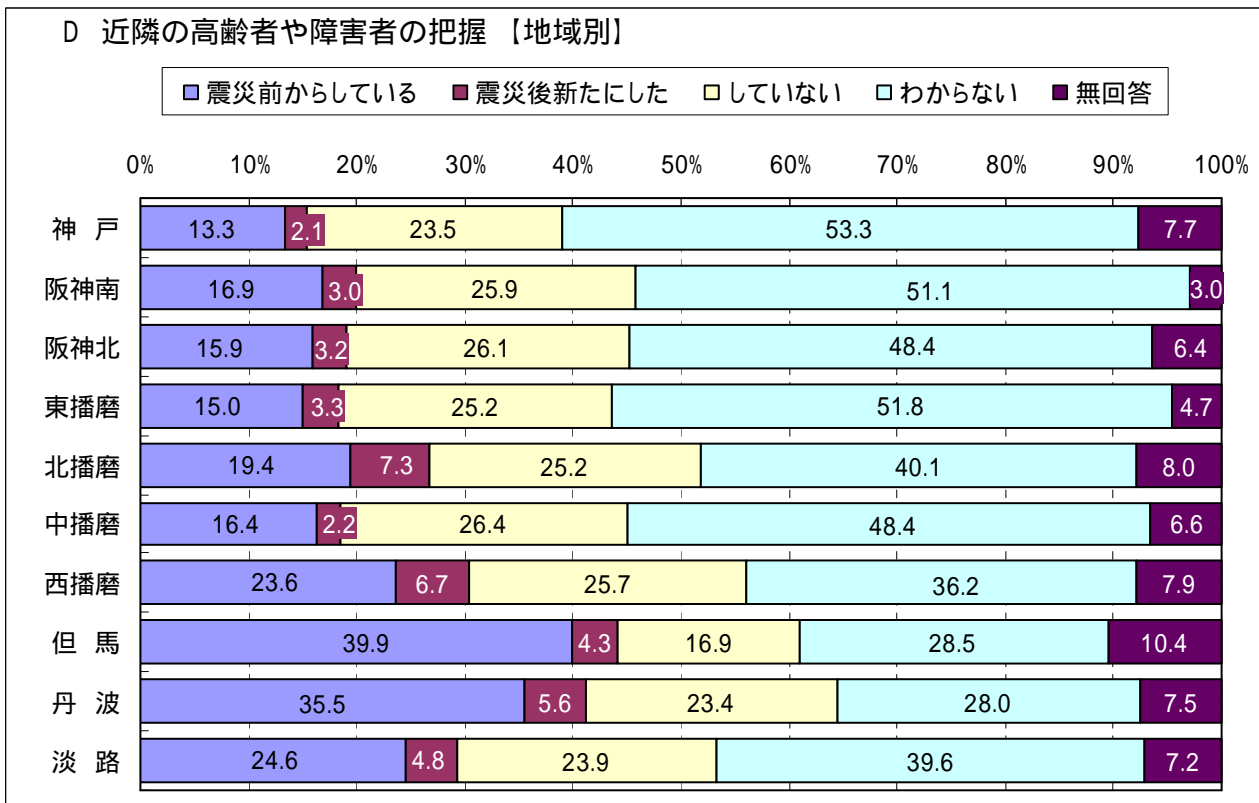
【職業別】



〔D 近隣の高齢者や障害者の把握〕

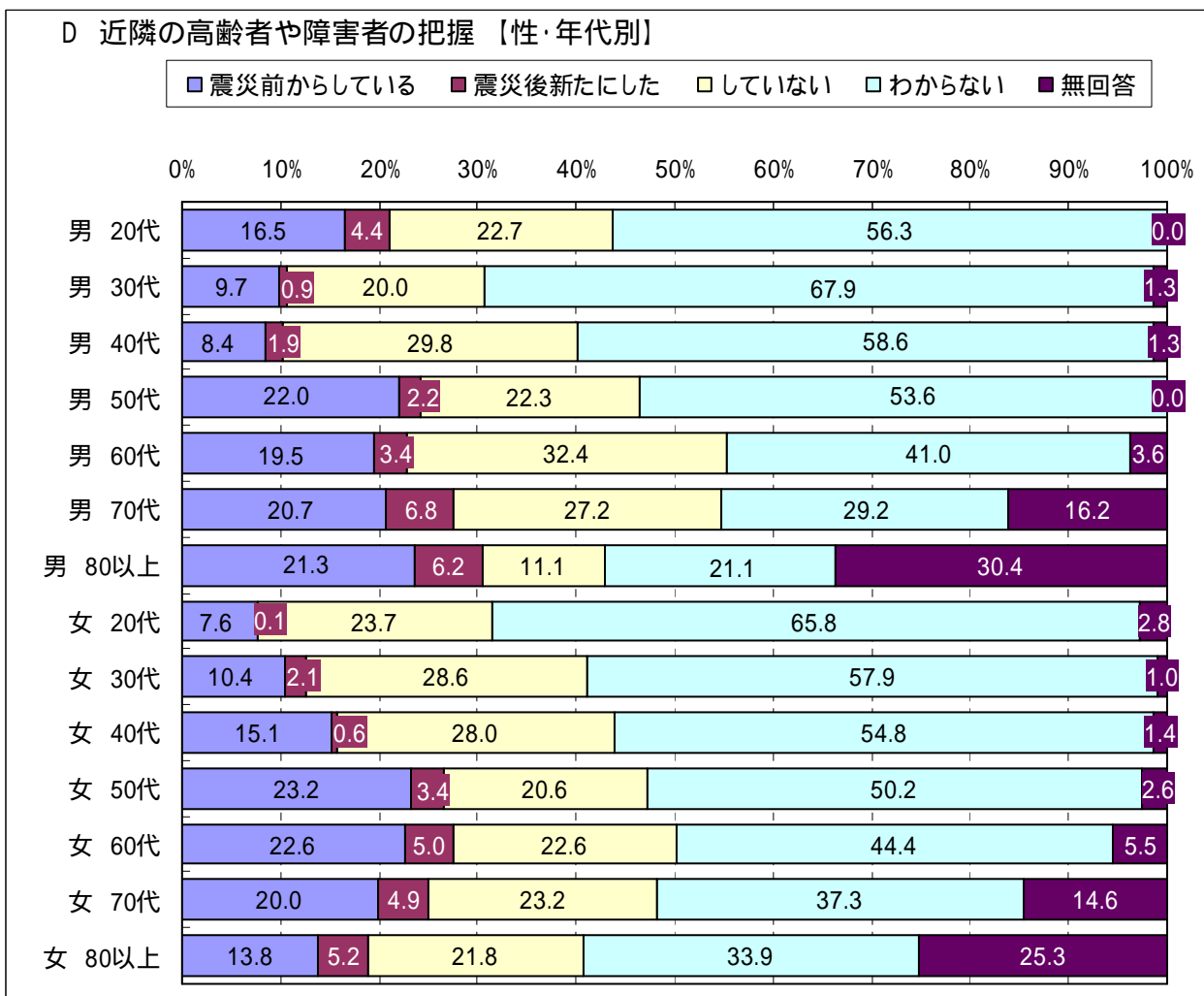
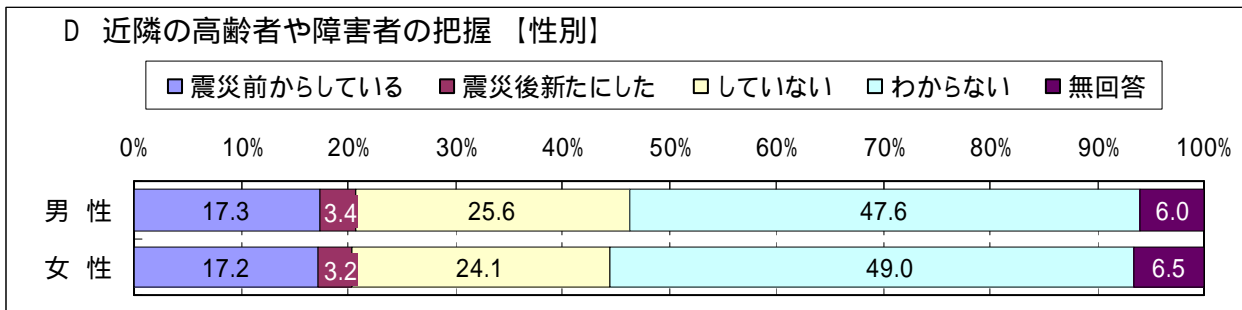
【地域別】

「震災前からしている」と「震災後新たにした（しようとしている）」を合わせると、但馬、丹波で4割を上回っているが、都市部では少ない。

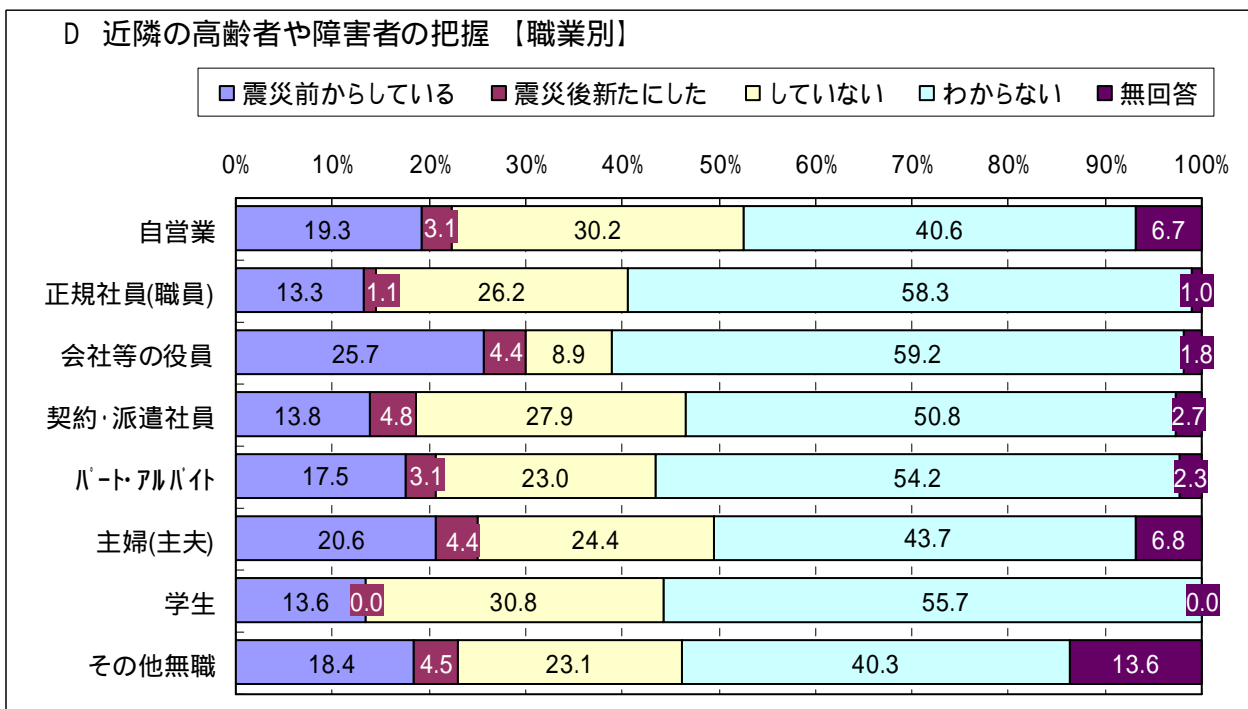


【性別 / 性・年代別】

男女とも、「震災前からしている」と「震災後新たにした」のいずれも年代が高くなるほど多くなる傾向がみられる。



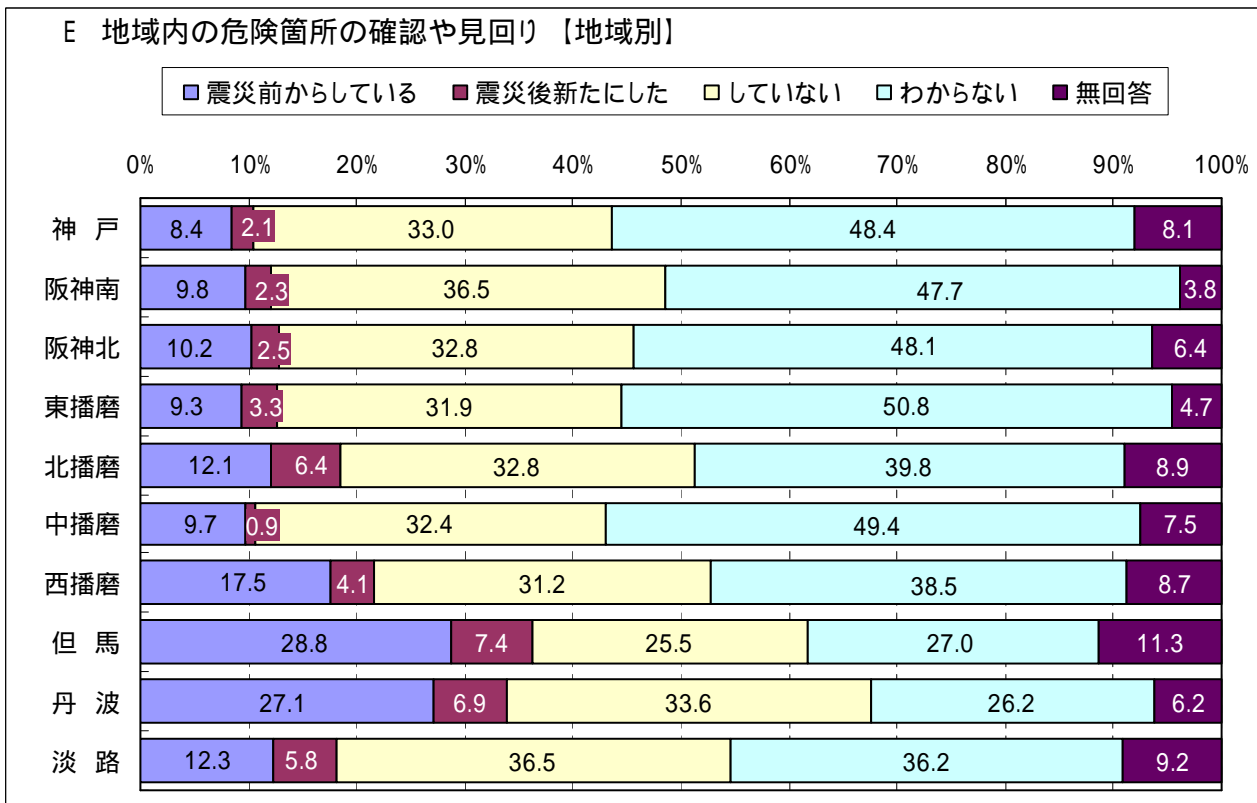
【職業別】



〔 E 地域内の危険箇所の確認や見回り 〕

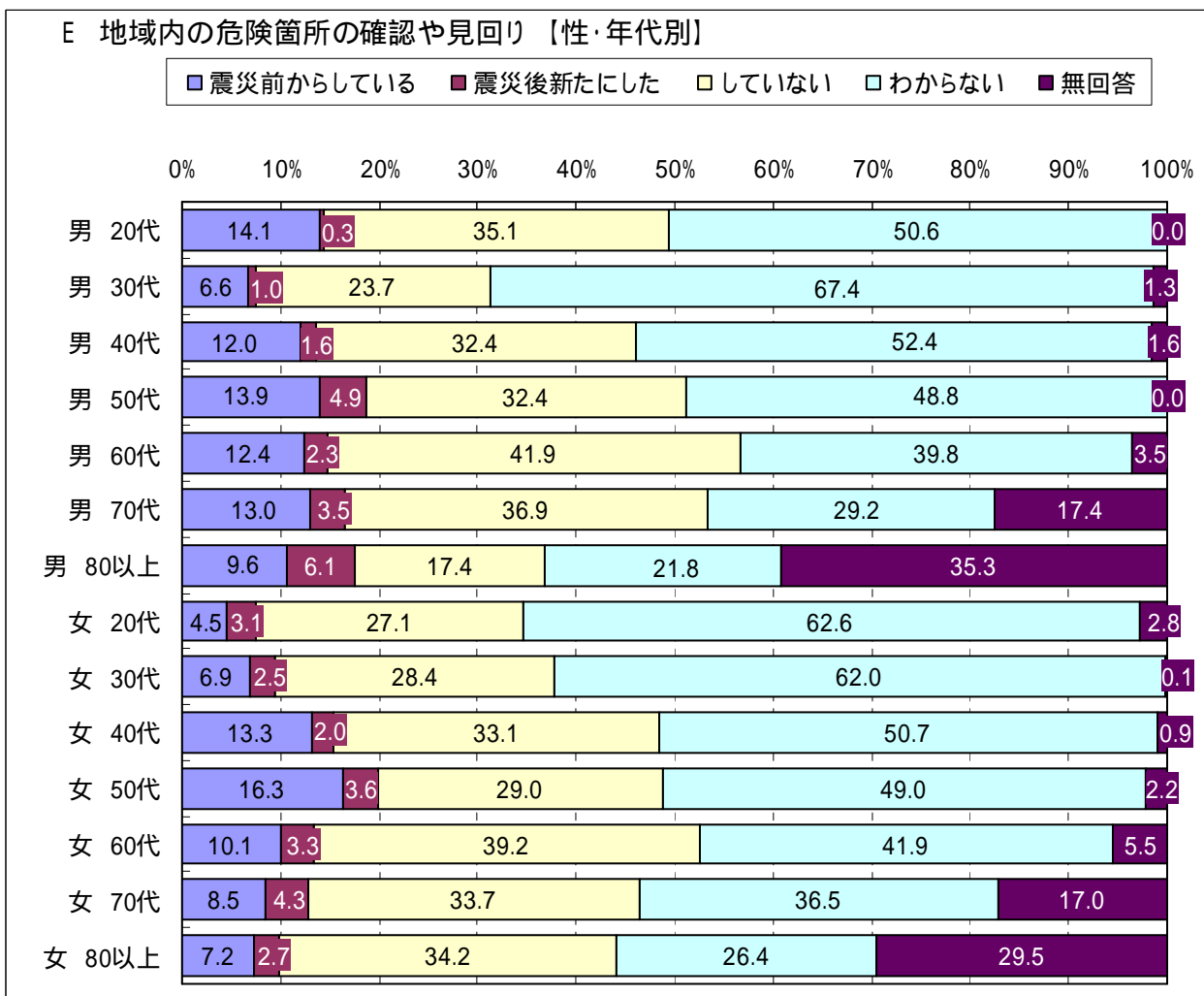
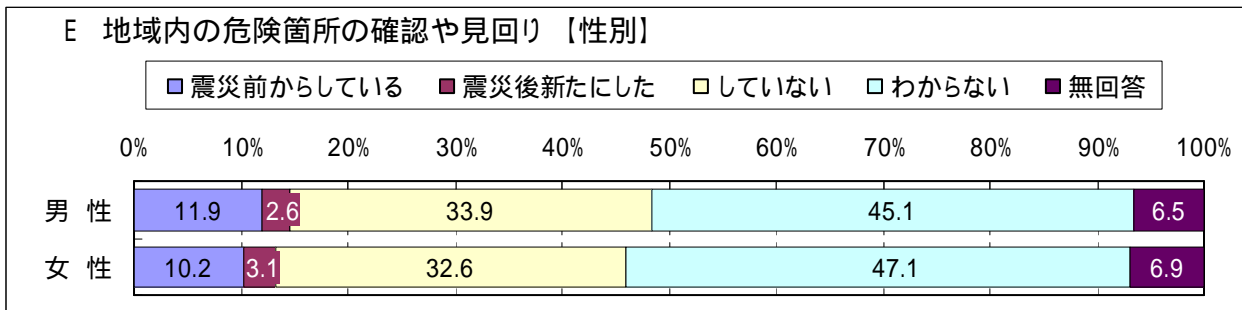
【地域別】

「震災前からしている」と「震災後新たにした（しようとしている）」を合わせると、但馬、丹波で3割を上回っているが、都市部では少ない。

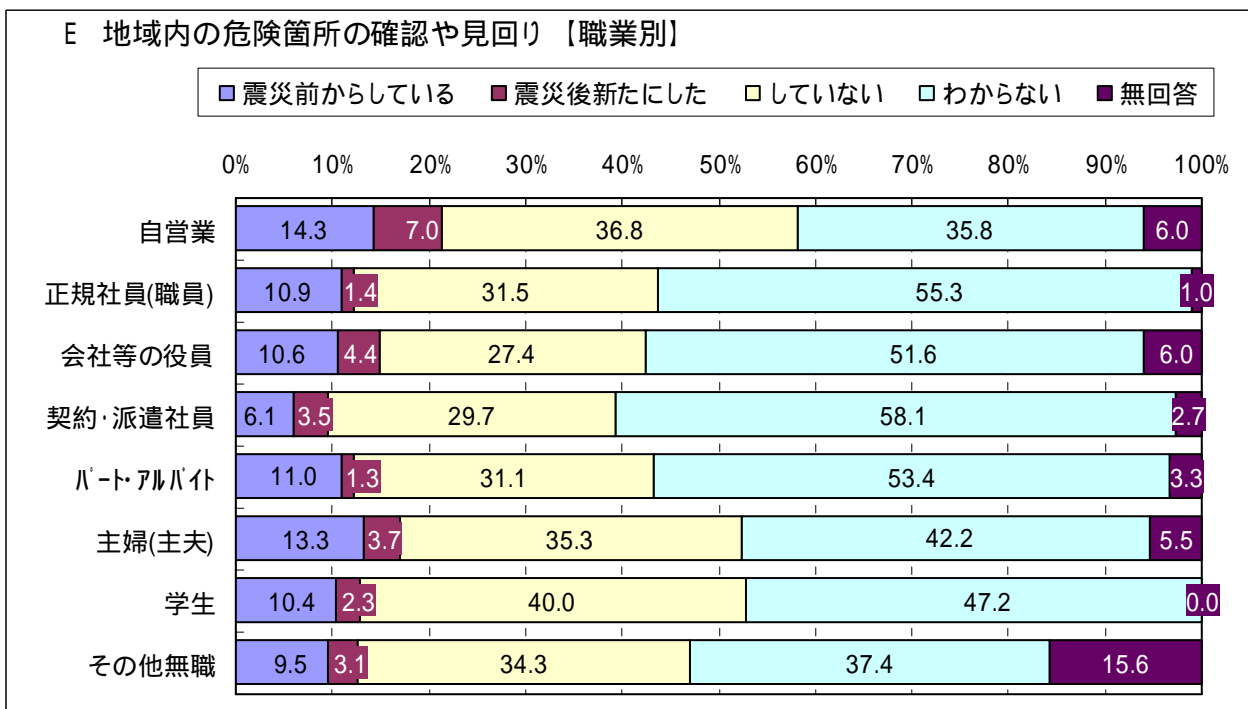


【性別 / 性・年代別】

男女とも、「震災前からしている」と「震災後新たにした（しようとしている）」を合わせると、50代が最も多い。



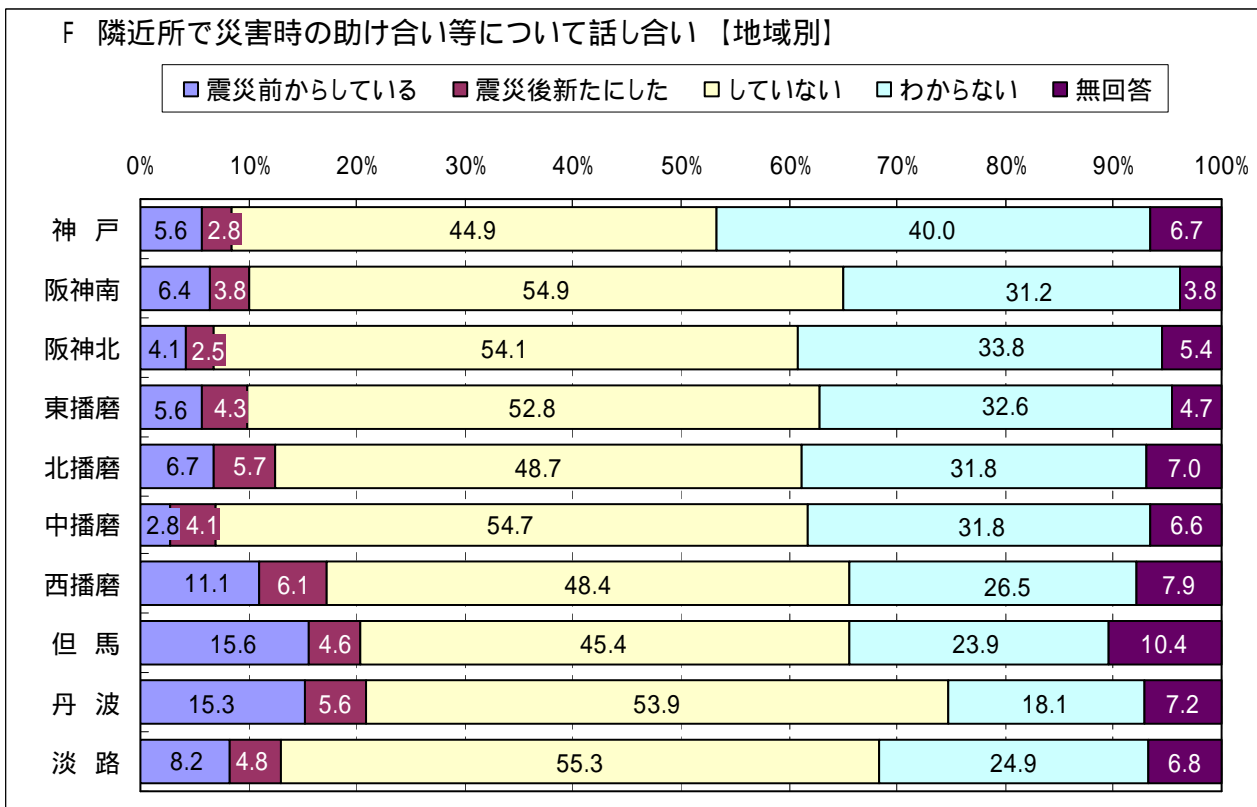
【職業別】



〔 F 隣近所で災害時の助け合い等について話し合い〕

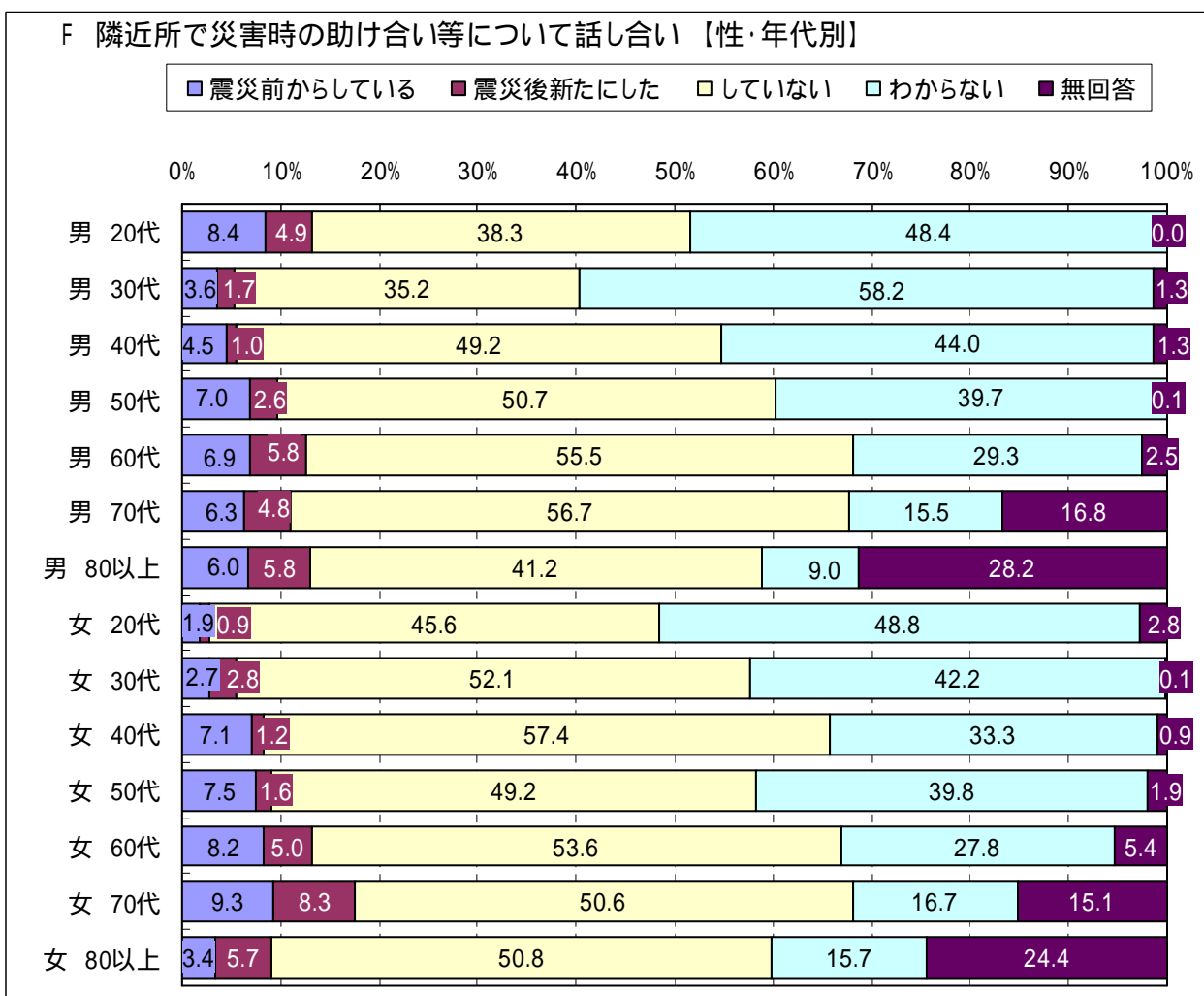
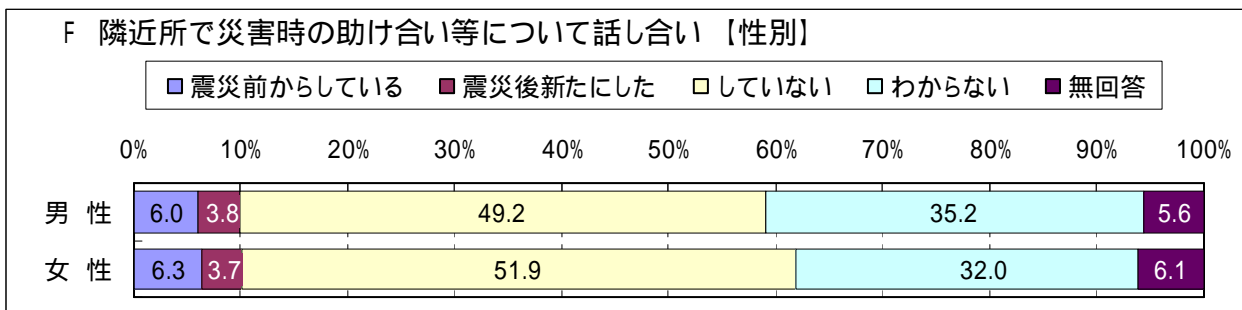
【地域別】

「震災前からしている」と「震災後新たにした（しようとしている）」を合わせると、但馬、丹波で2割を上回っているが、都市部は少ない。

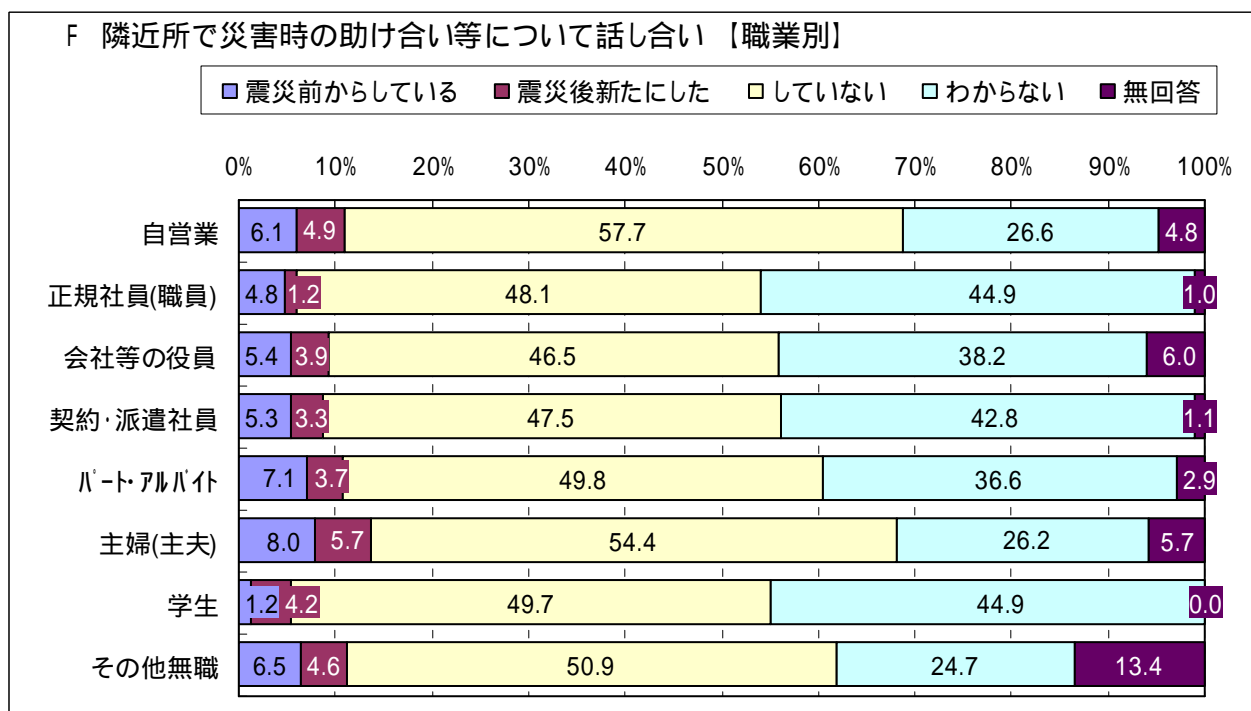


【性別／性・年代別】

「震災前からしている」と「震災後新たにした」を合わせた割合では、男女ともに年代が高くなるほど多い傾向がみられる。



【職業別】



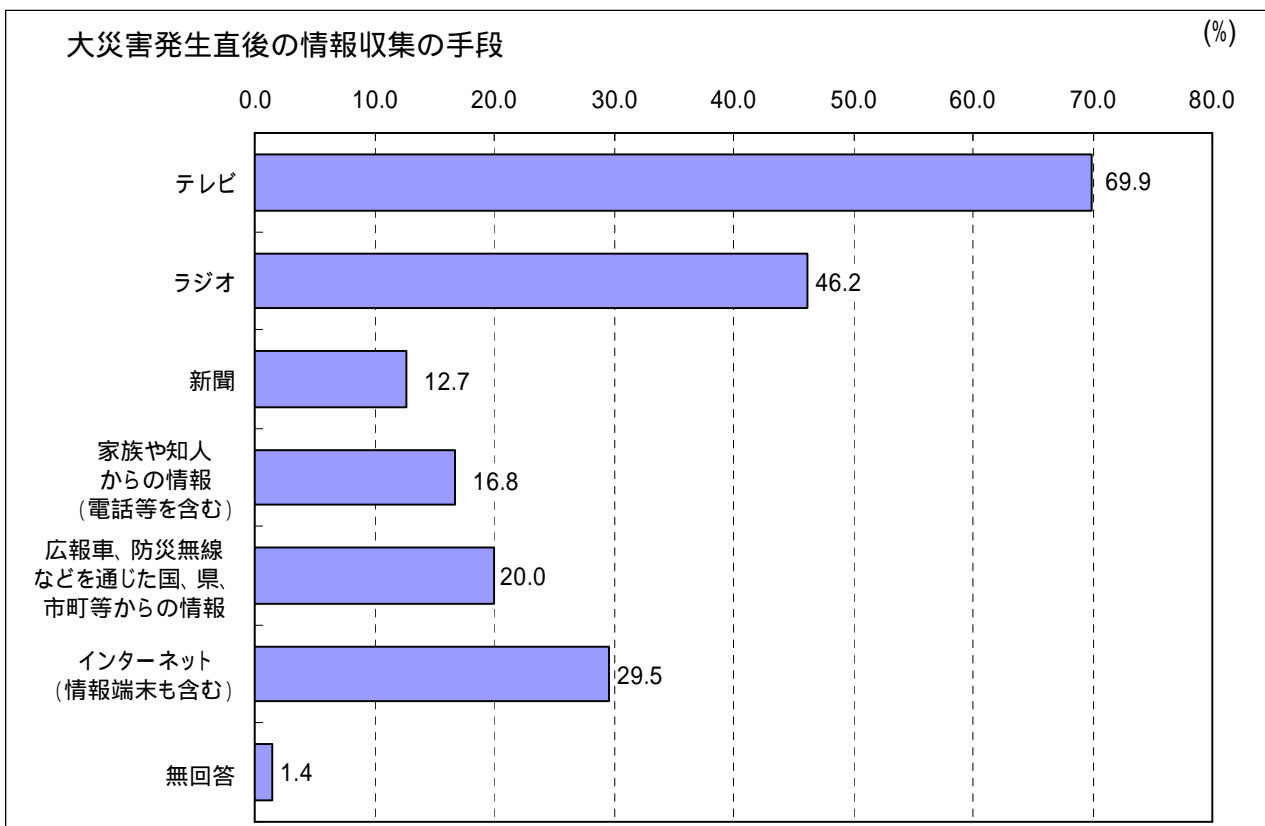
問9 大災害発生直後の情報収集の手段

問9 大災害発生直後における情報収集の手段として、あなたが積極的に利用すると思われる方法を次の中から2つ選んで番号に 印をつけてください。

- | | |
|-------|------------------------------|
| 1 テレビ | 4 家族や知人からの情報（電話等を含む） |
| 2 ラジオ | 5 広報車、防災無線などを通じた国、県、市町等からの情報 |
| 3 新聞 | 6 インターネット（携帯端末も含む） |

【全 県】

即時性の高い「テレビ」、 「ラジオ」、 「インターネット」が上位を占めている。



【地域別】

「広報車、防災無線などを通じた国、県、市町等からの情報」は但馬など、防災行政無線の全戸配備が進んでいる地域が多い。

また、「ラジオ」は、神戸と但馬で大きな差がみられる。

大災害発生直後における情報収集の手段【地域別】

	最大値			最小値			(%)
	テレビ	ラジオ	新聞	家族や知人からの情報（電話等を含む）	広報車、防災無線などを通じた国、県、市町等からの情報	インターネット（情報端末も含む）	
全 県	69.9	46.2	12.7	16.8	20.0	29.5	
地域別							
神 戸	66.7	52.6	13.3	19.3	11.6	31.2	
阪神南	70.7	48.1	11.3	16.2	18.4	32.0	
阪神北	71.0	44.6	10.5	18.5	18.8	32.5	
東播磨	74.1	47.5	15.0	12.3	17.6	27.6	
北播磨	67.5	45.5	13.4	12.4	28.7	26.4	
中播磨	69.2	39.6	14.2	19.8	25.2	27.0	
西播磨	74.1	37.6	10.8	14.0	30.6	30.3	
但 馬	74.5	24.5	12.6	15.0	44.8	19.9	
丹 波	73.2	34.9	15.6	14.0	36.1	20.2	
淡 路	63.8	44.0	10.9	14.7	37.2	23.5	
地域間の差	10.7	28.1	5.1	7.5	33.2	12.5	

【性別、性・年代別】

「インターネット」については、男女とも20代を中心に若い年代が多い。

大災害発生直後における情報収集の手段【性別】 (%)

	テレビ	ラジオ	新聞	家族や知人からの情報（電話等を含む）	広報車、防災無線などを通じた国、県、市町等からの情報	インターネット（情報端末も含む）
全 県	69.9	46.2	12.7	16.8	20.0	29.5
性別						
男 性	67.5	51.0	12.1	13.3	19.2	31.3
女 性	71.7	42.7	13.2	19.2	20.6	28.3
性別間の差	4.2	8.3	1.1	5.9	1.5	3.0

大災害発生直後における情報収集の手段【性・年代別、男性】 (%)

	テレビ	ラジオ	新聞	家族や知人からの情報（電話等を含む）	広報車、防災無線などを通じた国、県、市町等からの情報	インターネット（情報端末も含む）
全 県	69.9	46.2	12.7	16.8	20.0	29.5
性・年代別						
男 性						
20代	56.5	41.2	3.2	12.1	16.2	69.1
30代	56.8	49.6	8.3	9.8	11.2	60.1
40代	61.8	52.1	6.4	13.3	19.1	44.9
50代	72.2	47.7	13.4	13.7	15.8	35.0
60代	73.2	54.7	15.1	15.7	21.7	14.5
70代	71.8	54.5	15.9	15.2	24.6	6.1
80以上	73.5	50.9	19.6	9.8	26.9	3.6
年代間の差	17.1	13.5	16.3	5.9	15.7	65.6

大災害発生直後における情報収集の手段【性・年代別、女性】 (%)

	テレビ	ラジオ	新聞	家族や知人からの情報（電話等を含む）	広報車、防災無線などを通じた国、県、市町等からの情報	インターネット（情報端末も含む）
全 県	69.9	46.2	12.7	16.8	20.0	29.5
性・年代別						
女 性						
20代	68.8	25.0	5.8	18.0	9.7	71.8
30代	67.8	40.2	8.3	17.3	18.3	48.1
40代	62.2	46.3	9.8	19.7	19.1	41.3
50代	70.4	44.8	9.2	18.6	25.8	29.1
60代	75.3	47.0	17.7	15.3	23.7	12.9
70代	79.7	44.2	19.8	22.3	21.4	3.2
80以上	79.5	41.2	21.4	28.0	20.1	2.6
年代間の差	17.5	22.0	15.6	12.8	16.1	69.1

【職業別】

大災害発生直後における情報収集の手段【職業別】

(%)

	テレビ	ラジオ	新聞	家族や知人からの情報（電話等を含む）	広報車、防災無線などを通じた国、県、市町等からの情報	インターネット（情報端末も含む）
全 県	69.9	46.2	12.7	16.8	20.0	29.5
職業別						
自営業	71.5	47.2	12.2	13.6	24.9	25.2
正規社員(職員)	64.2	46.6	8.8	12.3	16.9	48.4
会社等の役員	72.2	43.4	19.7	18.2	10.5	31.2
契約・派遣社員	66.0	44.3	14.4	12.7	17.7	44.3
パート・アルバイト	66.5	45.0	9.0	14.9	22.1	37.0
主婦(主夫)	73.1	43.8	14.9	22.8	21.6	18.4
学生	50.6	35.1	5.6	18.0	11.3	79.5
その他無職	76.7	49.1	16.4	19.9	20.8	10.0
職業間の差	26.1	14.0	14.2	10.5	14.4	69.5

3 防災対策における行政等の対応について

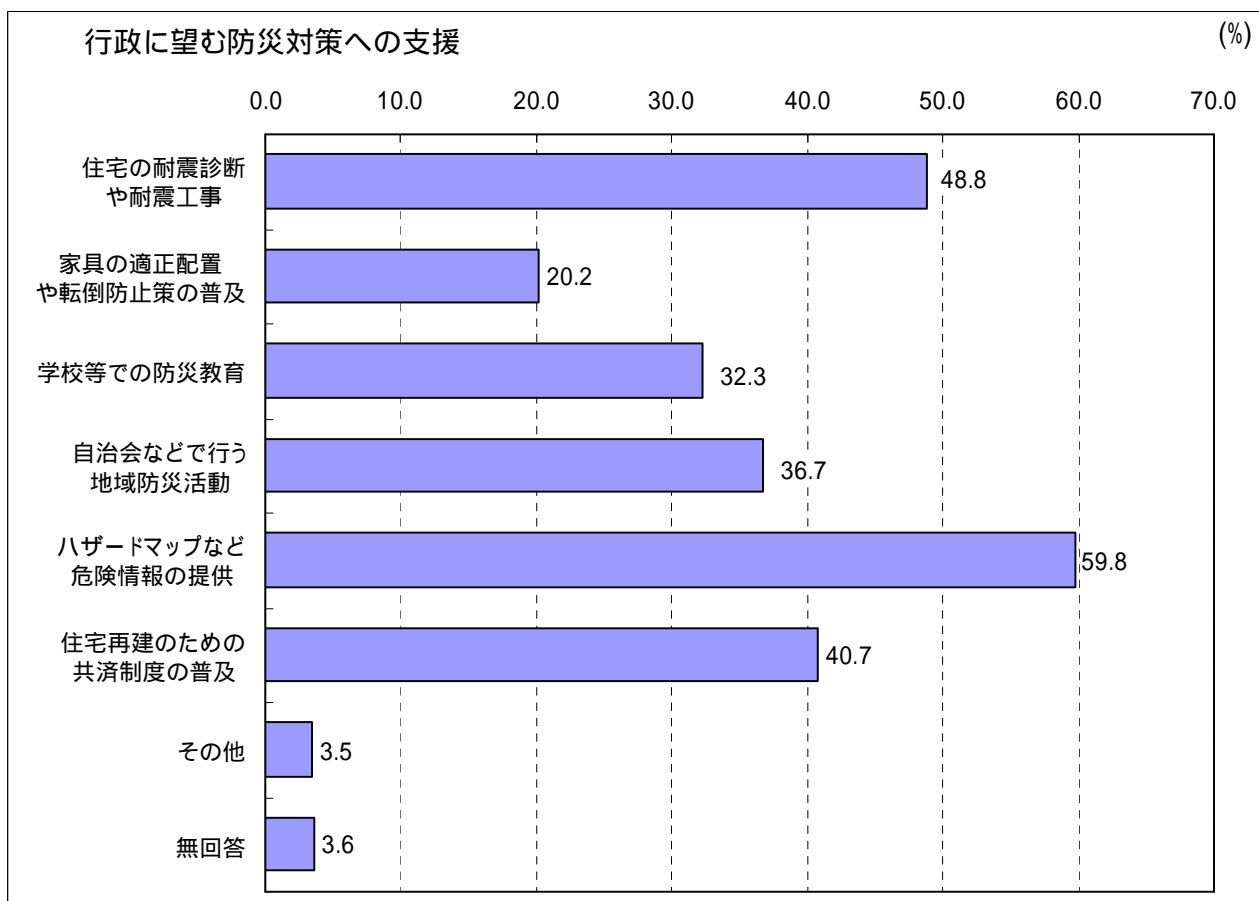
問10 行政に支援を望む防災対策

問10 災害に対する家庭や地域の備えの中で、あなたが行政に支援してほしいことはありますか。次の中から該当するものを全て選んで番号に 印をつけてください。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 住宅の耐震診断や耐震工事 | 5 ハザードマップなど危険情報の提供 |
| 2 家具の適正配置や転倒防止策の普及 | 6 住宅再建のための共済制度の普及 |
| 3 学校等での防災教育 | 7 その他() |
| 4 自治会などで行う地域防災活動 | |

【全 県】

「ハザードマップなど危険情報の提供」が約6割と最も多く、「耐震診断や耐震工事」「住宅再建のための共済制度の普及」など住宅に関する支援を望む声も多い。



【地域別】

全地域で「ハザードマップなど危険情報の提供」が最も多い。

行政に望む防災対策への支援【地域別】

	最大値				最小値			(%)
	住宅の耐震診断や耐震工事	家具の適正配置や転倒防止策の普及	学校等での防災教育	自治会などで行う地域防災活動	ハザードマップなど危険情報の提供	住宅再建のための共済制度の普及	その他	
全 県	48.8	20.2	32.3	36.7	59.8	40.7	3.5	
地域別								
神 戸	49.1	21.4	29.8	34.0	55.1	37.9	4.9	
阪神南	50.4	21.8	33.1	33.8	63.5	41.7	3.0	
阪神北	50.6	21.0	39.8	39.5	62.4	42.0	4.1	
東播磨	49.2	18.3	30.9	41.2	63.8	39.5	3.3	
北播磨	50.3	19.7	33.1	33.8	53.2	42.0	2.2	
中播磨	46.9	18.6	31.1	33.3	67.3	46.5	2.5	
西播磨	46.1	21.3	31.2	46.4	56.3	43.4	2.0	
但 馬	41.4	14.4	29.1	39.6	54.3	36.8	2.5	
丹 波	48.0	17.1	33.0	48.6	54.2	34.9	2.2	
淡 路	45.1	17.4	29.7	38.6	51.9	41.3	1.7	
地域間の差	9.2	7.4	10.7	15.3	15.4	11.6	3.2	

【性別、性・年代別】

「住宅の耐震診断や耐震工事」と「家具の適正配置や転倒防止策の普及」については、女性の方が男性を上回っている。

「学校等での防災教育」は男女ともに20代～40代が多く、「住宅再建のための共済制度の普及」は、男女とも20代が多い。

行政に望む防災対策への支援【性別】

(%)

	住宅の耐震診断や耐震工事	家具の適正配置や転倒防止策の普及	学校等での防災教育	自治会などで行う地域防災活動	ハザードマップなど危険情報の提供	住宅再建のための共済制度の普及	その他
全 県	48.8	20.2	32.3	36.7	59.8	40.7	3.5
性別							
男 性	44.5	16.7	32.3	37.4	61.0	41.8	4.7
女 性	52.0	22.8	32.2	36.3	59.0	40.0	2.7
性別間の差	7.5	6.1	0.1	1.1	2.0	1.8	2.0

行政に望む防災対策への支援【性・年代別、男性】

(%)

	住宅の耐震診断や耐震工事	家具の適正配置や転倒防止策の普及	学校等での防災教育	自治会などで行う地域防災活動	ハザードマップなど危険情報の提供	住宅再建のための共済制度の普及	その他
全 県	48.8	20.2	32.3	36.7	59.8	40.7	3.5
性・年代別							
男 性							
20代	44.0	15.7	33.1	24.5	63.9	54.8	4.7
30代	41.9	18.9	44.3	25.4	63.0	50.3	5.6
40代	52.6	18.2	50.6	34.8	66.9	51.0	6.9
50代	44.9	13.4	25.3	35.4	60.9	50.3	2.7
60代	43.9	15.6	26.1	46.1	63.0	34.1	4.0
70代	43.7	18.2	27.7	49.7	59.5	24.4	4.3
80以上	38.3	18.7	19.8	31.4	39.1	33.5	6.8
年代間の差	14.4	5.5	30.7	25.2	27.8	30.4	4.2

行政に望む防災対策への支援【性・年代別、女性】

(%)

	住宅の耐震診断や耐震工事	家具の適正配置や転倒防止策の普及	学校等での防災教育	自治会などで行う地域防災活動	ハザードマップなど危険情報の提供	住宅再建のための共済制度の普及	その他
全 県	48.8	20.2	32.3	36.7	59.8	40.7	3.5
性・年代別							
女 性							
20代	65.3	35.0	38.1	34.6	63.5	54.4	4.3
30代	56.9	21.0	53.0	27.7	63.5	46.8	4.4
40代	49.7	16.1	32.4	24.2	55.0	49.3	1.8
50代	48.8	16.7	31.3	41.3	66.2	49.9	3.1
60代	47.6	23.8	26.4	42.3	65.1	29.9	1.0
70代	55.5	24.6	26.8	43.4	47.5	24.6	0.6
80以上	44.6	32.5	15.2	39.4	45.3	25.7	6.6
年代間の差	20.7	18.9	37.8	19.2	21.0	29.7	6.1

【職業別】

行政に望む防災対策への支援【職業別】

(%)

	住宅の耐震診断や耐震工事	家具の適正配置や転倒防止策の普及	学校等での防災教育	自治会などで行う地域防災活動	ハザードマップなど危険情報の提供	住宅再建のための共済制度の普及	その他
全 県	48.8	20.2	32.3	36.7	59.8	40.7	3.5
職業別							
自営業	42.3	15.6	40.8	41.3	61.3	42.6	4.7
正規社員(職員)	48.2	17.2	36.4	32.3	64.1	49.6	4.6
会社等の役員	46.6	12.6	37.8	34.0	65.8	33.8	1.8
契約・派遣社員	56.6	22.9	27.8	39.0	59.8	42.8	4.0
パートアルバイト	52.1	20.8	32.7	31.2	65.4	49.5	1.2
主婦(主夫)	47.9	21.6	36.7	42.5	56.8	36.2	1.9
学生	50.0	19.8	31.2	16.6	79.3	53.8	0.0
その他無職	49.6	23.6	23.1	40.0	53.1	29.6	4.8
職業間の差	14.3	11.0	17.7	26.0	26.2	24.3	4.8

問 1 1 東日本大震災における関西広域連合の支援活動の認識

問 1 1 東日本大震災では、宮城、岩手、福島の三県に対して、関西広域連合構成 7 府県が分担して特定の被災県を支援する「カウンターパート」方式を導入し、兵庫県は徳島県、鳥取県とともに宮城県に対し、様々な支援を続けています。あなたは、こうした取り組みをご存じでしたか。A・Bそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に 印をつけて下さい。

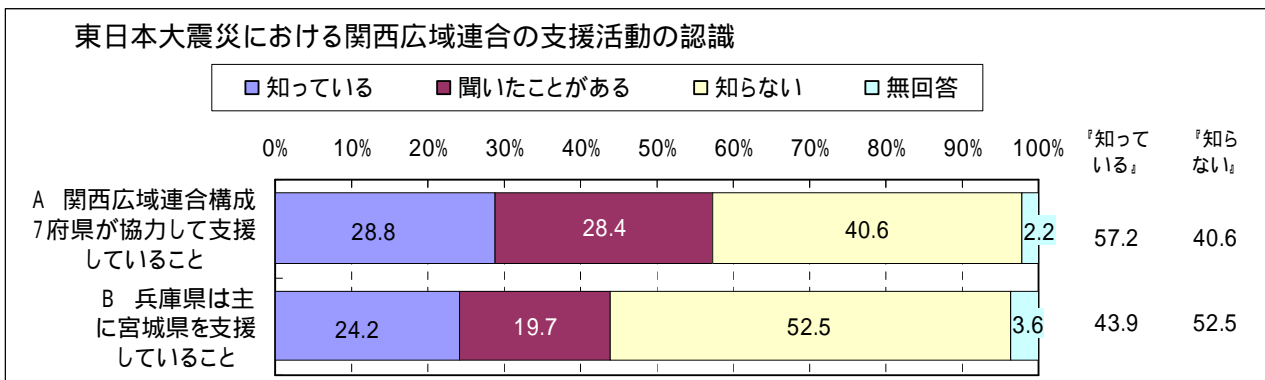
- A 関西広域連合構成 7 府県が協力して支援に取り組んでいること
- B 兵庫県は主に宮城県を支援していること

1 : 知っている 2 : 聞いたことがある 3 : 知らない

【全 県】

「知っている」と「聞いた事がある」を合わせた『知っている』では、6割近くが〔関西広域連合による支援活動〕を認識している。

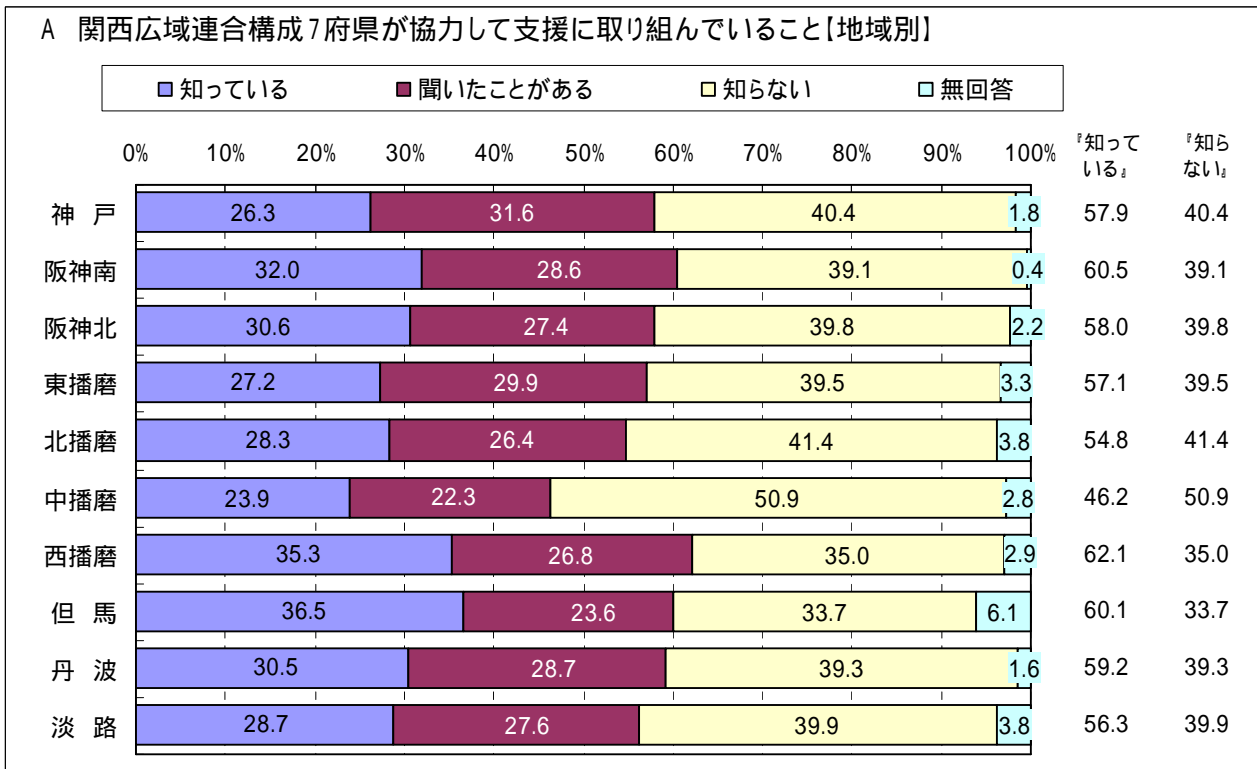
また、〔本県が主に宮城県を支援していること〕についても、4割以上が認識している。



〔 A 関西広域連合構成 7 府県が協力して支援に取り組んでいること 〕

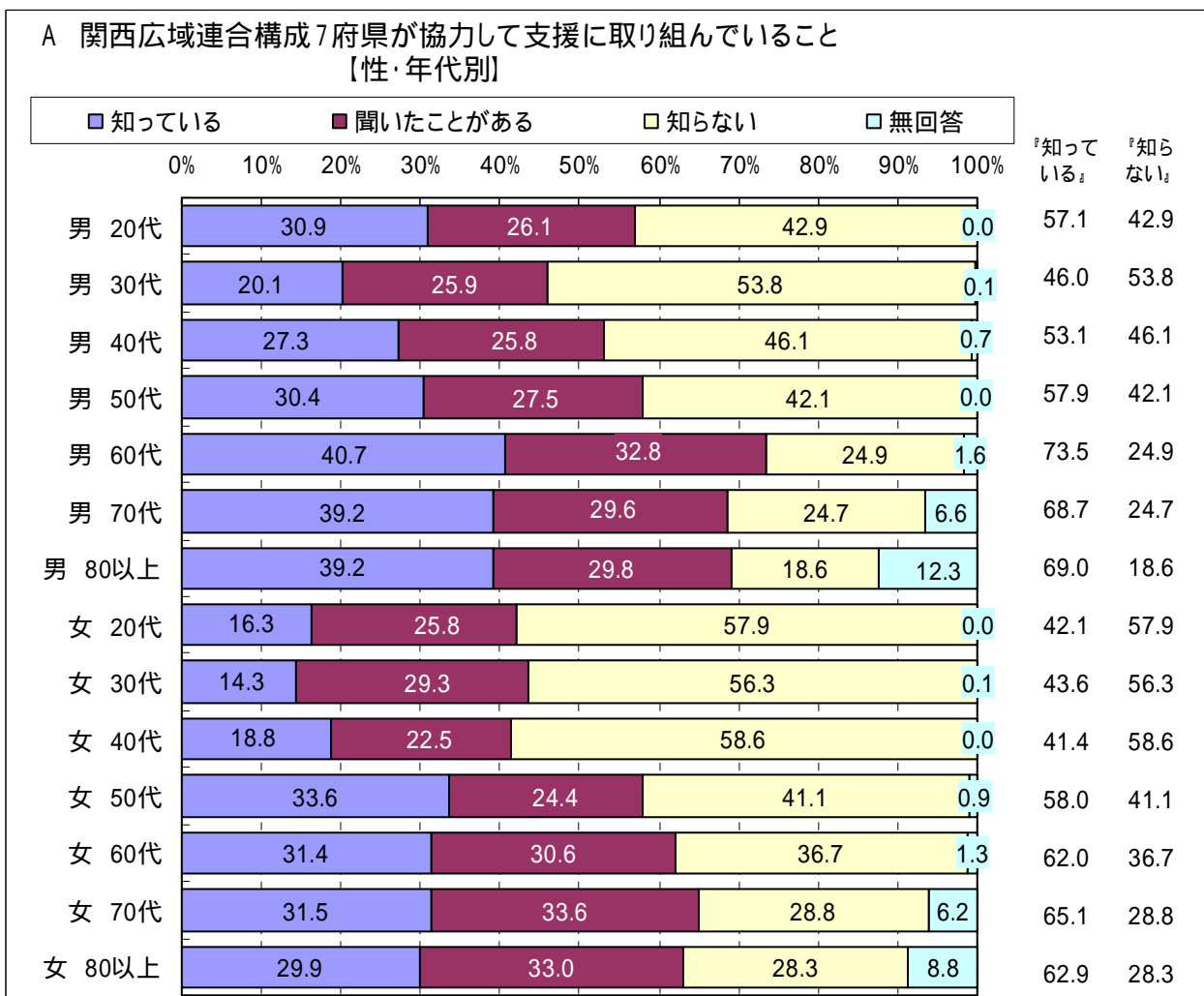
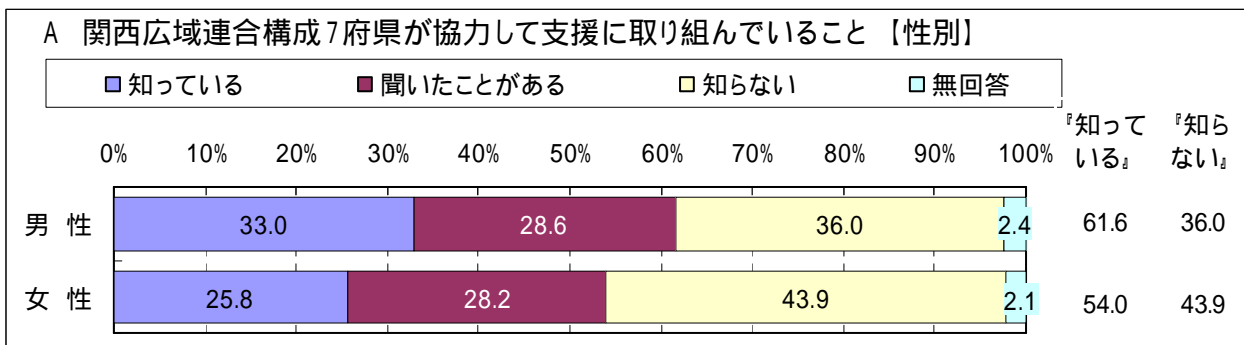
【地域別】

中播磨以外の 9 地域では、『知っている』が 5 割を超え、概ね 5 割後半～ 6 割前後となっている。

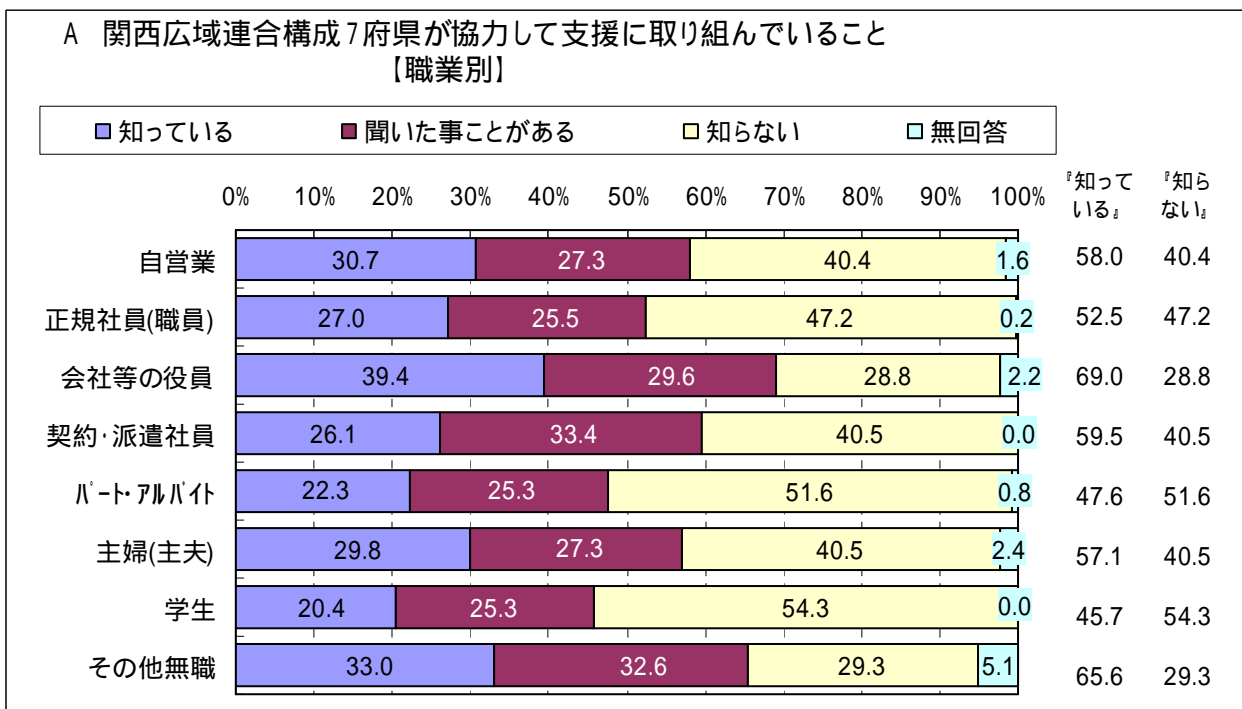


【性別、性・年代別】

『知っている』は男性の方が多く、男女とも年代が高くなるほど多くなる傾向がみられる。



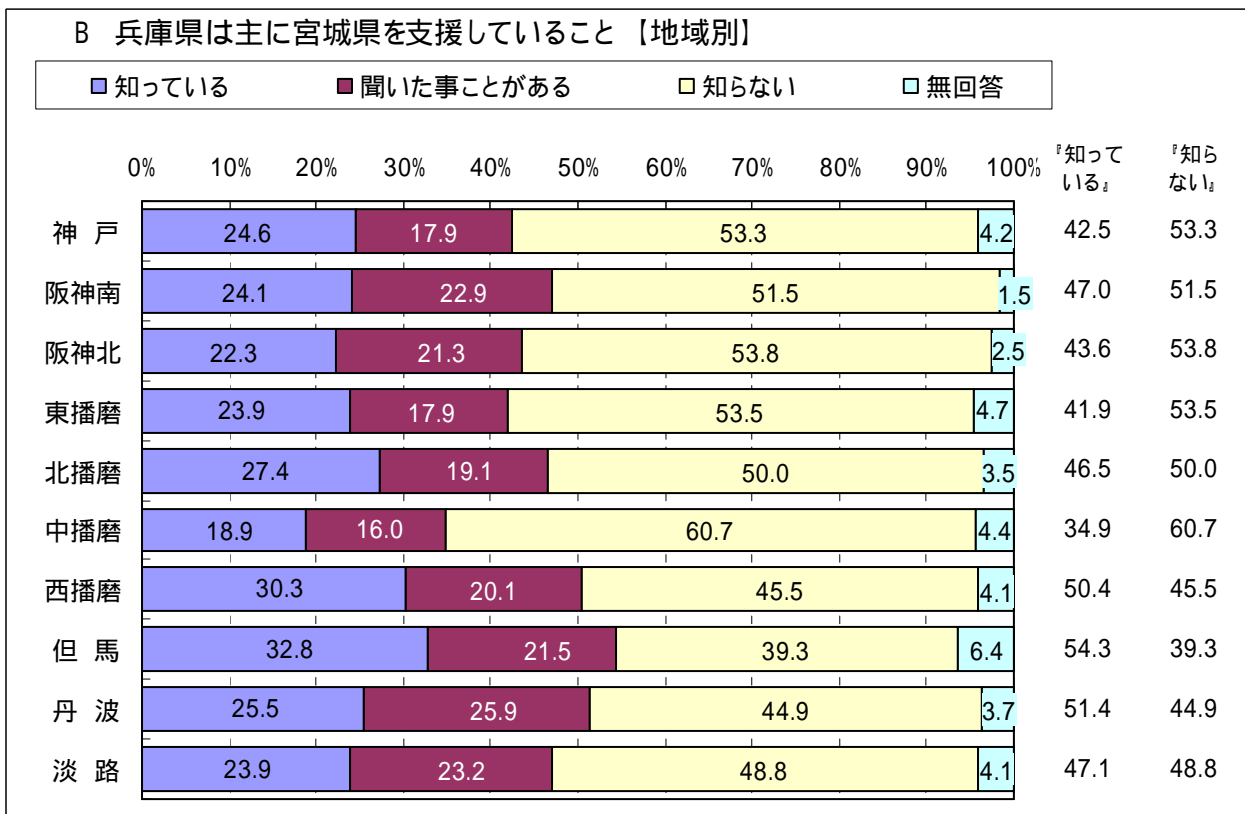
【職業別】



〔 B 兵庫県は主に宮城県を支援していること 〕

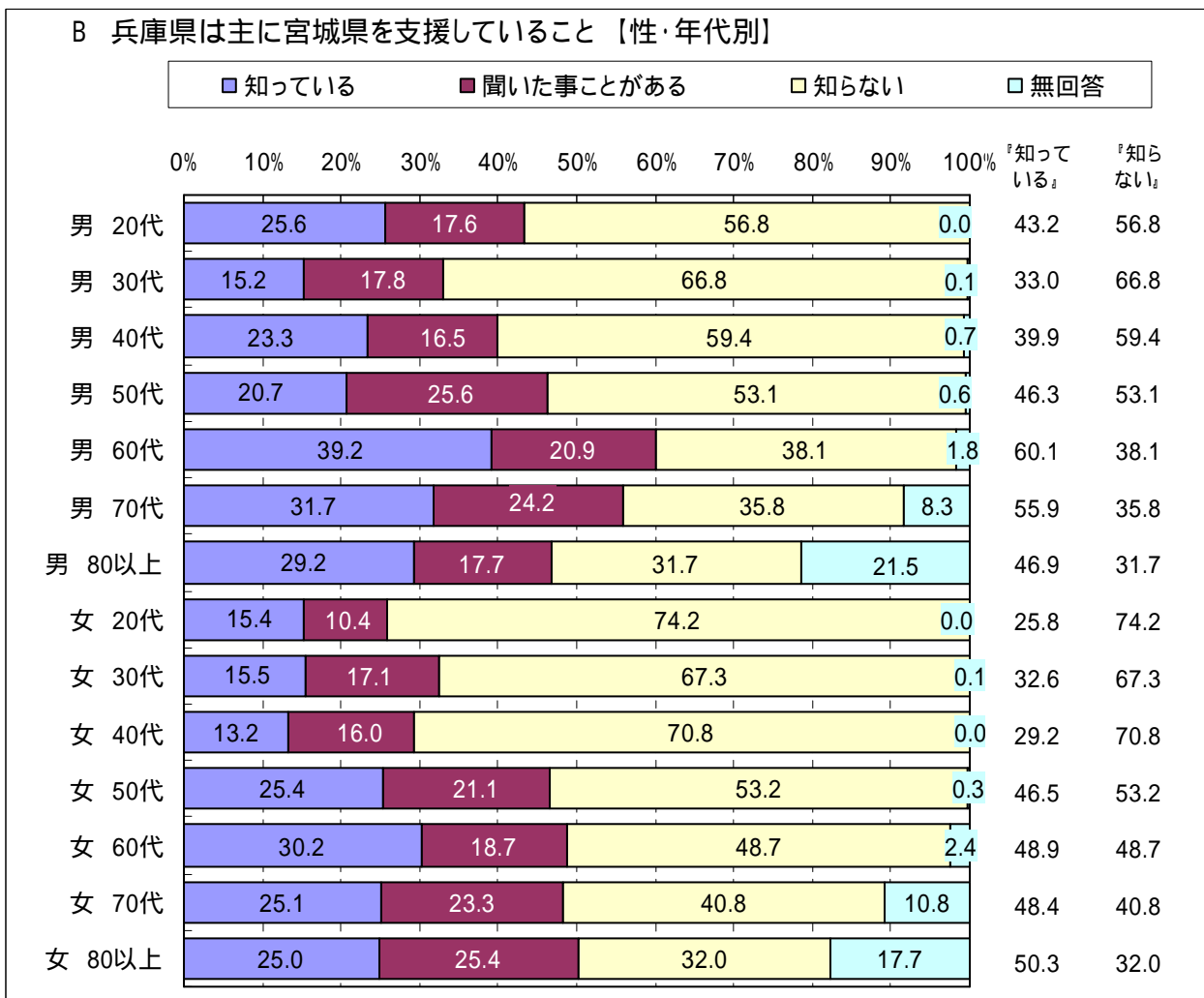
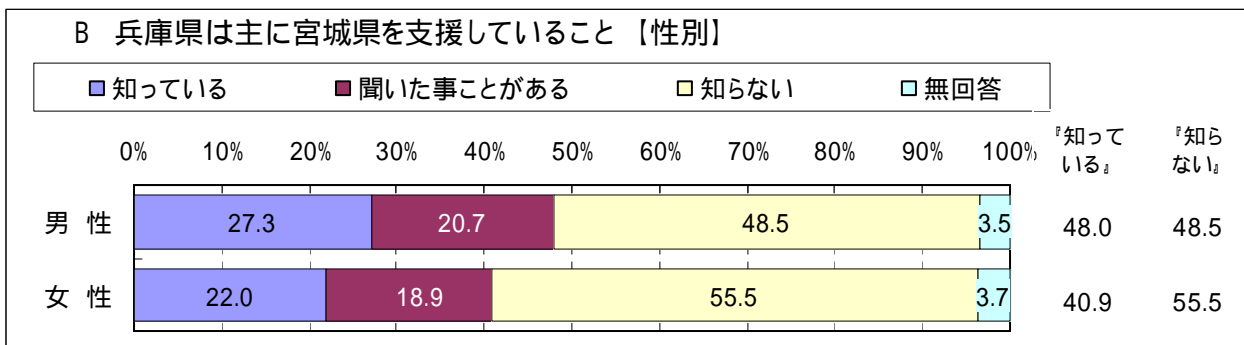
【地域別】

中播磨以外の9地域では、『知っている』が4割を超えている。

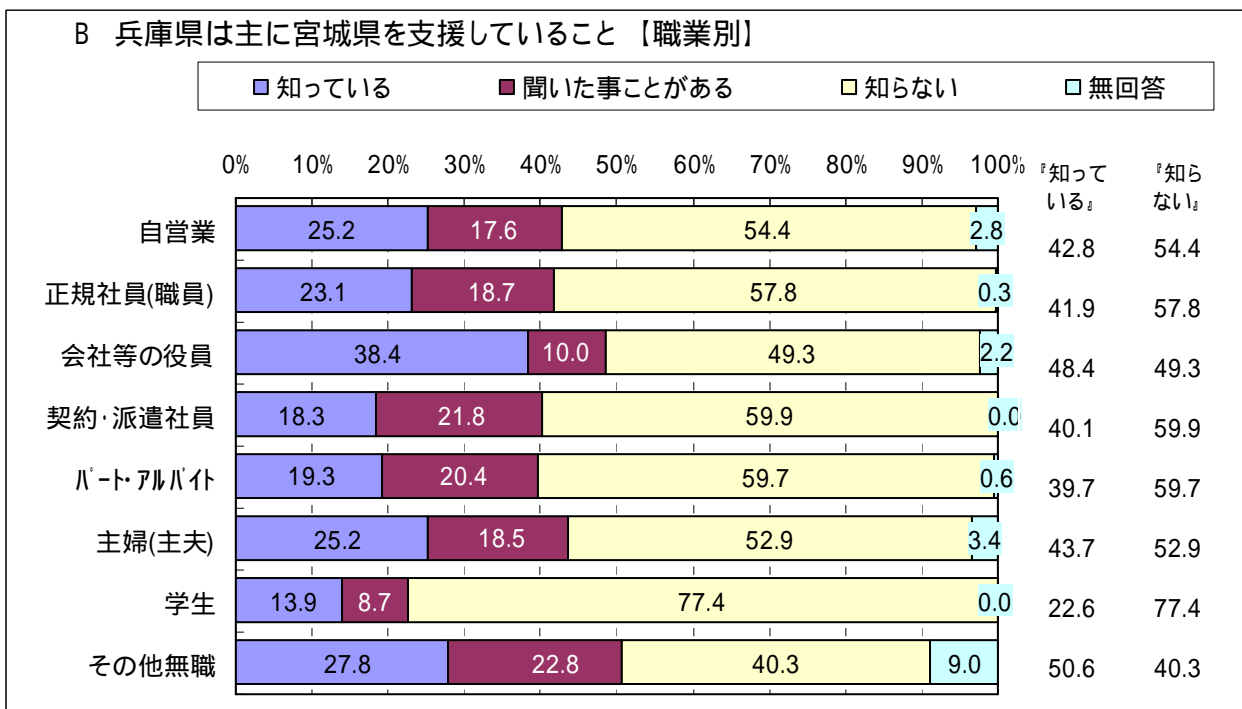


【性別、性・年代別】

『知っている』は男性の方が多く、男女とも年代が高くなるほど多くなる傾向がみられる。



【職業別】



問 1 2 大規模災害時の高齢者や障害者などの情報提供の是非

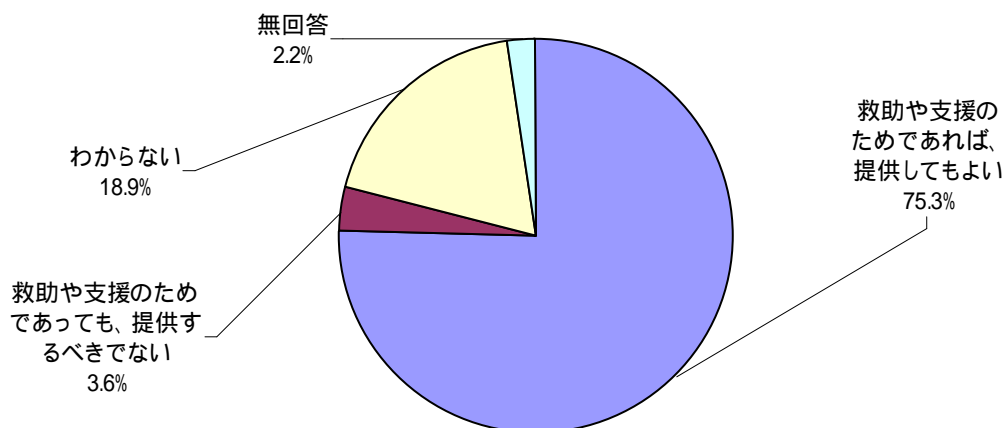
問 1 2 大規模な災害が発生した時に、速やかに高齢者や障害者などの救助活動が行えるよう、行政から自治会やボランティア団体に、そうした方の名簿などの情報を緊急に提供することについて、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に 印をつけてください。

- 1 救助や支援のためであれば、提供してもよい
- 2 救助や支援のためであっても、提供すべきでない
- 3 わからない

【全 県】

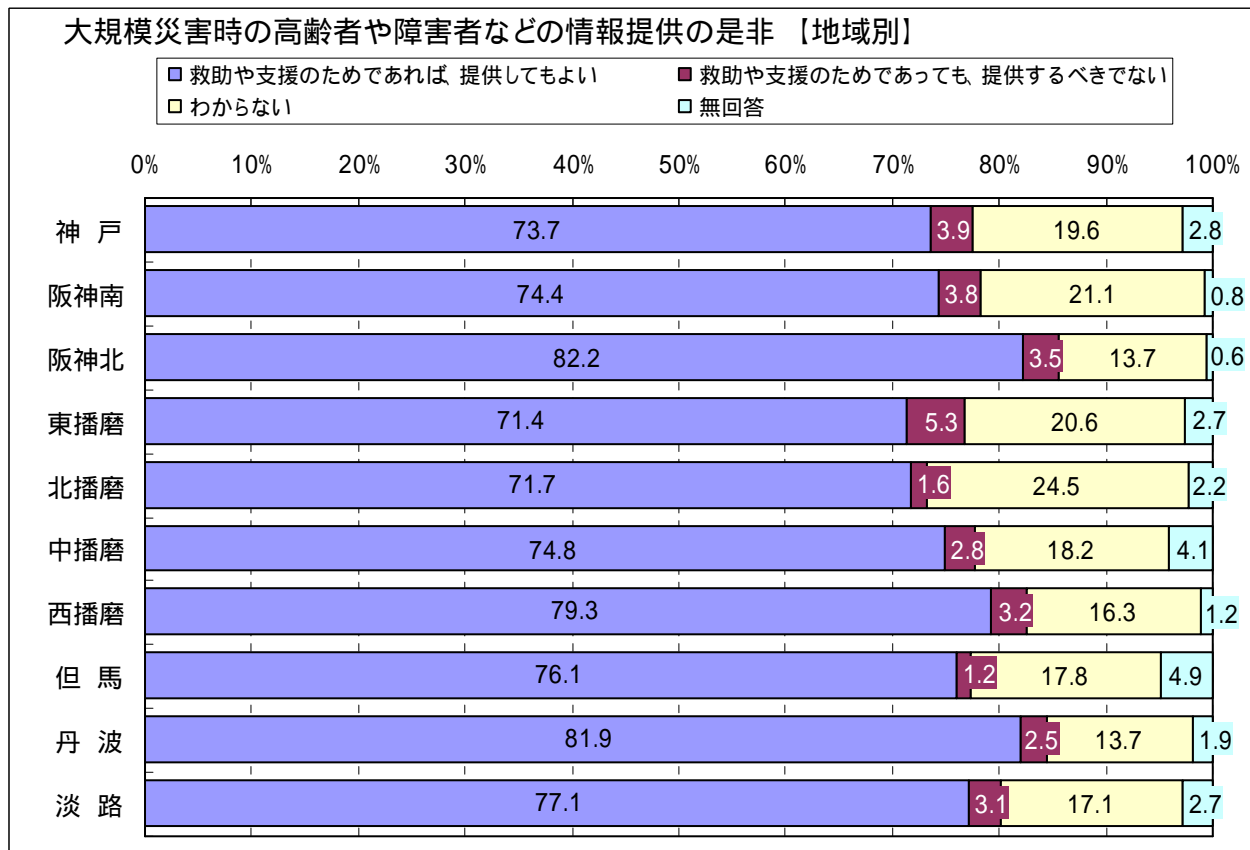
「救助や支援のためであれば、提供してもよい」が多数であり、「提供すべきでない」は非常に少ないが、「わからない」も一定数ある。

大規模災害時の高齢者や障害者などの情報提供の是非



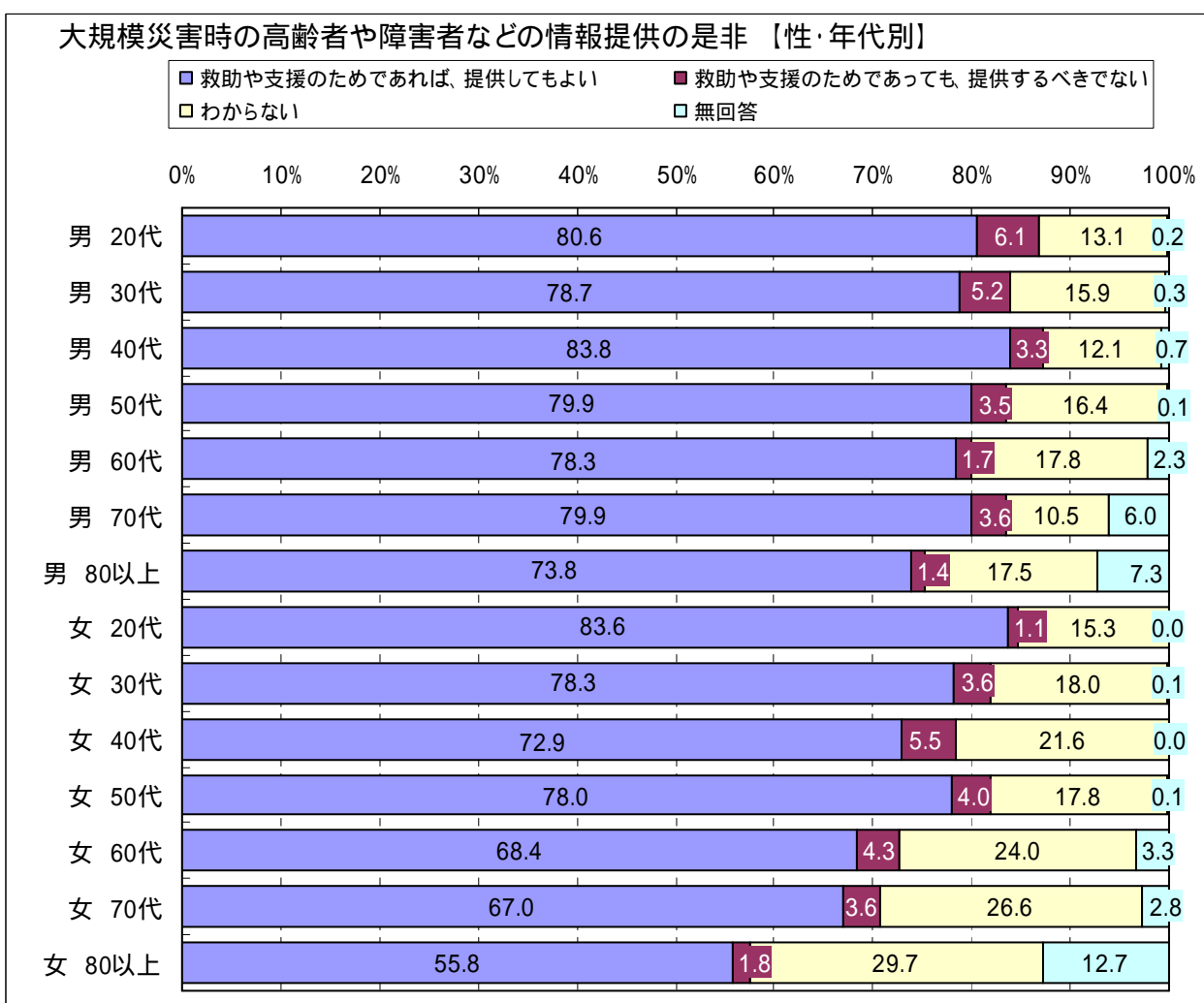
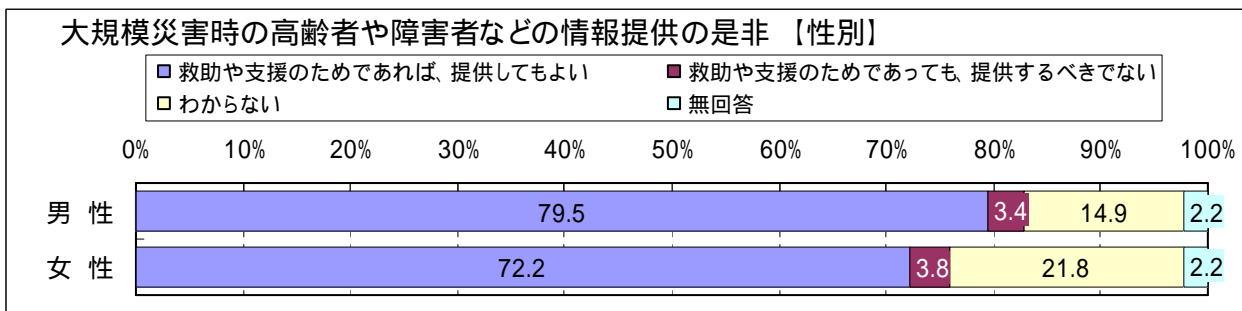
【地域別】

全地域で「救助や支援のためであれば、提供してもよい」が7割を超えている。

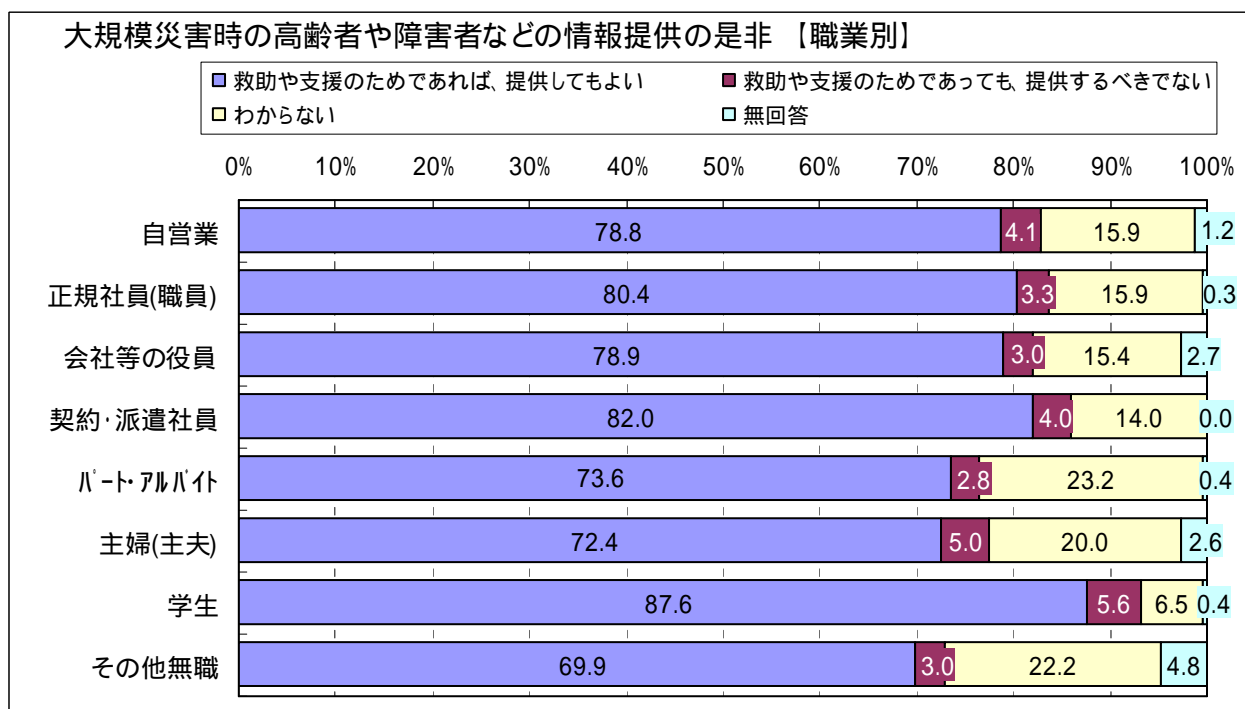


【性別、性・年代別】

全体的に女性の方が「わからない」が多く、年代が高くなるほど多くなる傾向がみられる。



【職業別】



4 毎年調査項目

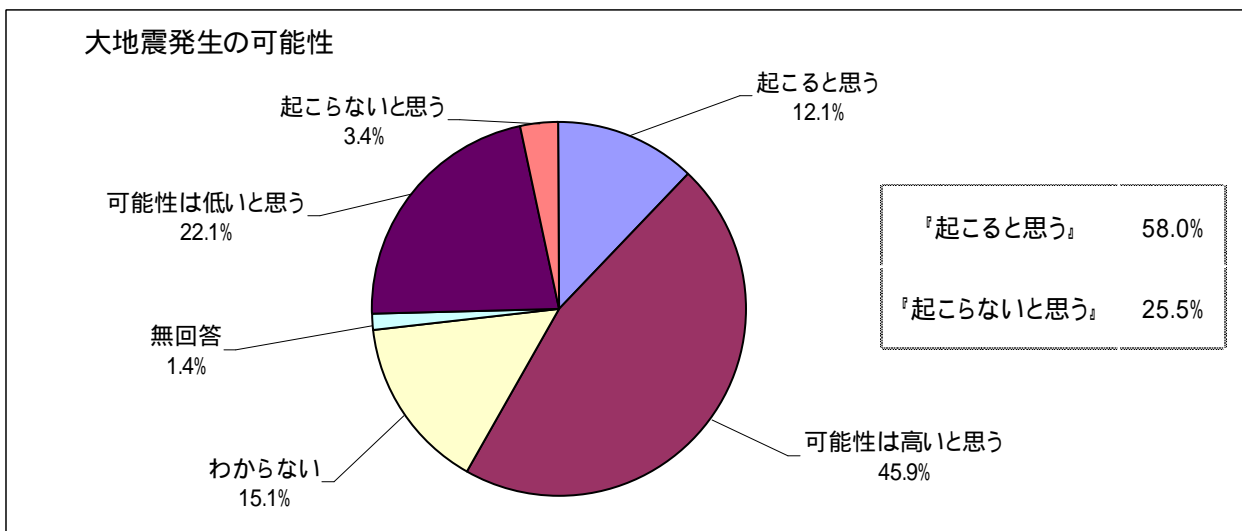
問13 大地震発生の可能性

問13 あなたの住んでいる地域で、今後10年くらいの間に大地震が起こると思いますか。次の中から1つ選んで番号に印をつけてください。

- | | |
|-------------|------------|
| 1 起こると思う | 4 起こらないと思う |
| 2 可能性は高いと思う | 5 わからない |
| 3 可能性は低いと思う | |

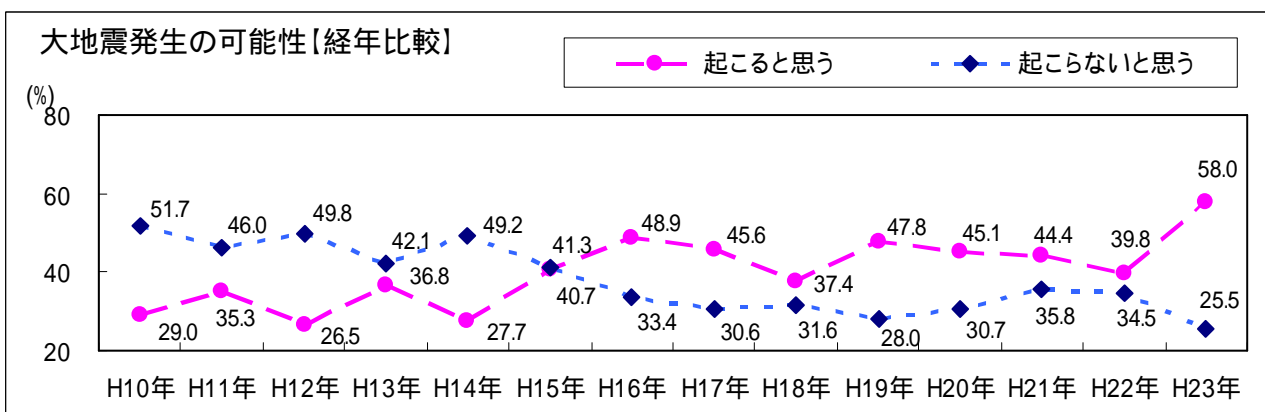
【全 県】

「起こると思う」、「可能性は高いと思う」を合わせた『起こると思う』は6割弱で、一方「起こらないと思う」、「可能性は低いと思う」を合わせた『起こらないと思う』は2割台半ばとなっている。



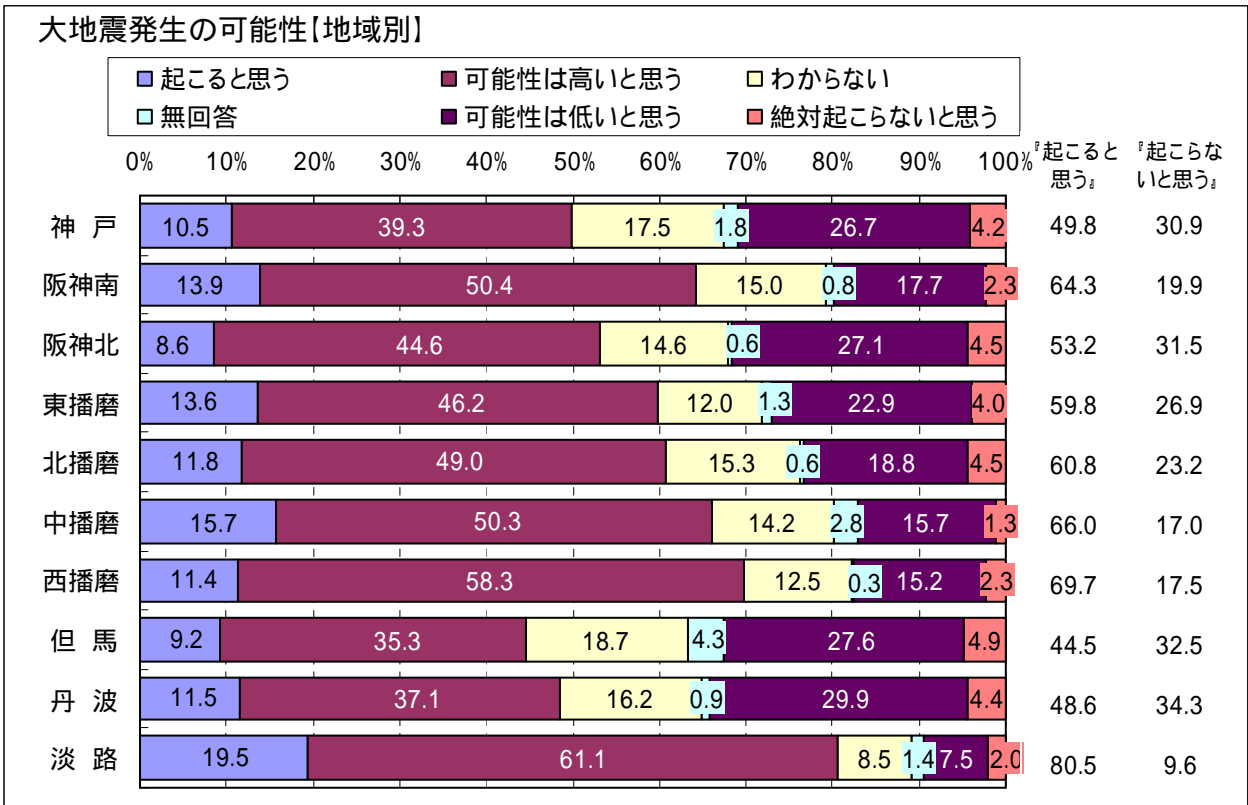
【経年比較】

東日本大震災の発生を受け、『起こると思う』が近年の減少傾向から一転して、前年より18.2ポイント増加し、『起こらないと思う』は、前年より9ポイント減少している。

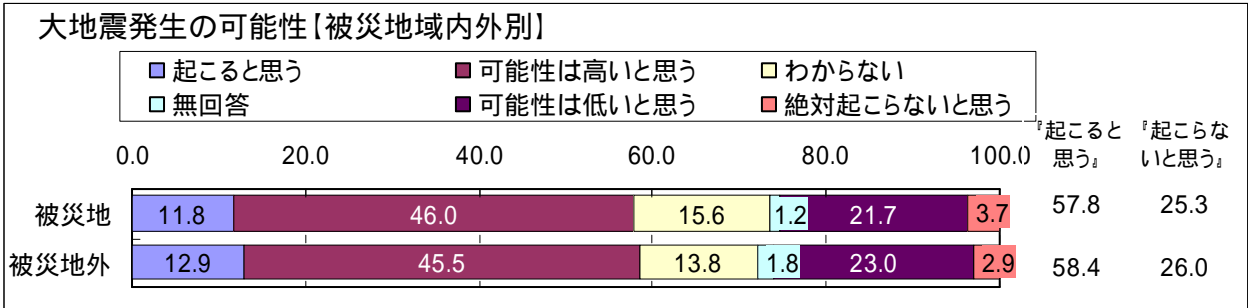


【地域別】

「起こると思う」は淡路が突出して多く、逆に但馬、丹波、神戸は5割を下回っている。

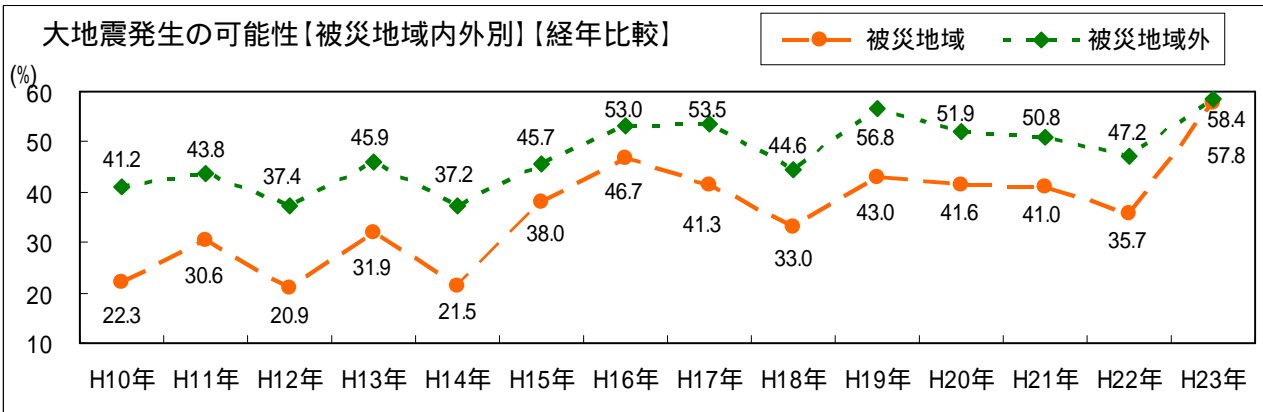


【被災地域・被災地域外別】



【被災地域・被災地域外別（経年比較）】

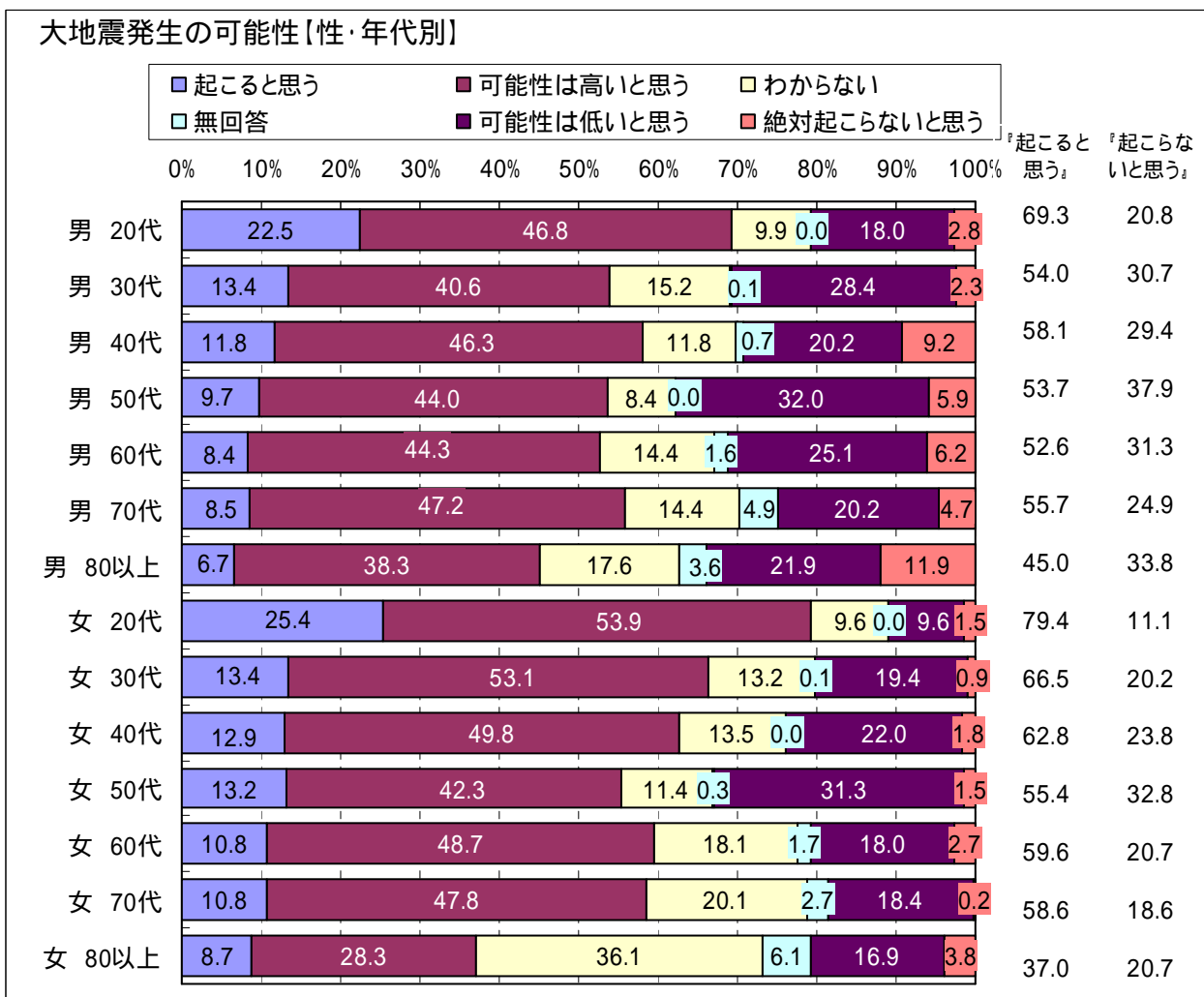
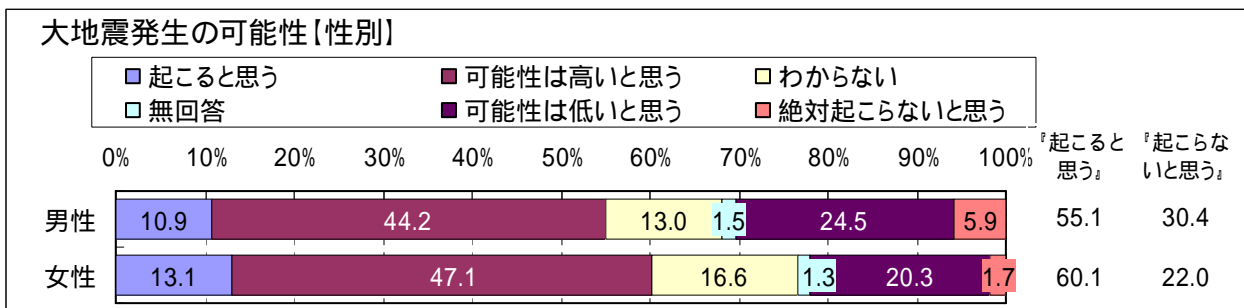
昨年までは被災地内外で一定の差があったが、今回、東日本大震災の発生を受け、両者の間にほとんど差がみられなくなっている。



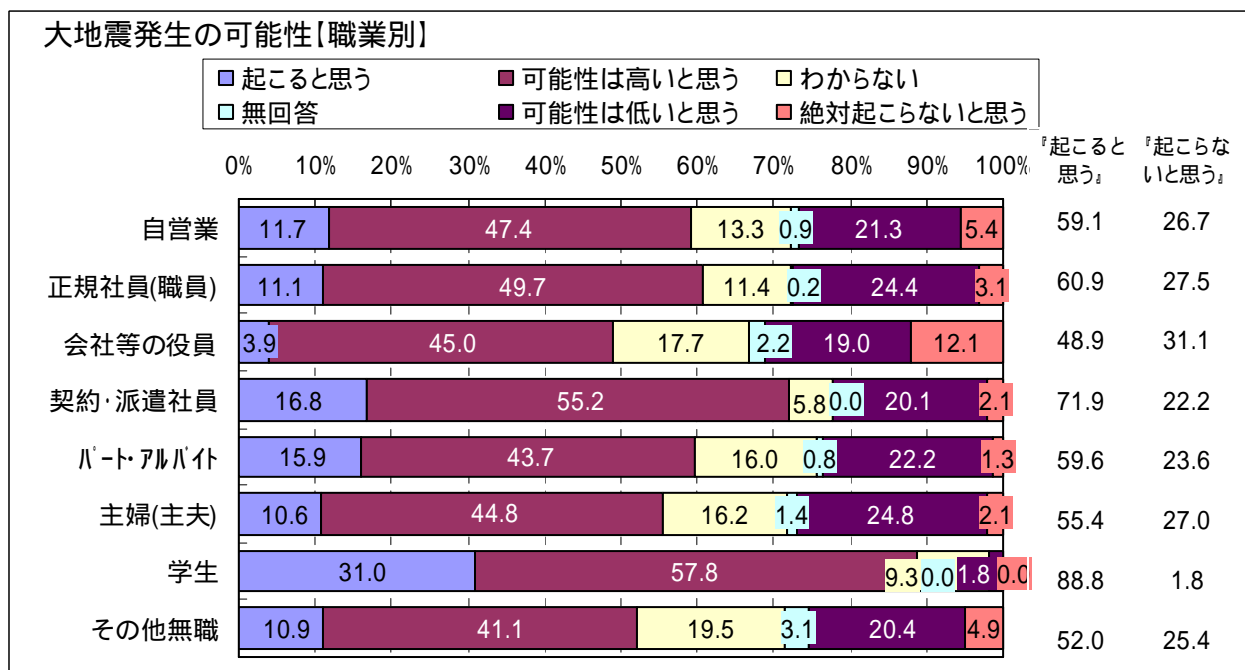
【性別、性・年代別】

性別では、女性の方が『起こると思う』が多い。

男女とも全ての年代で『起こると思う』が『起こらないと思う』を上回っているが、男女ともに20代で最も『起こると思う』が多い。



【職業別】



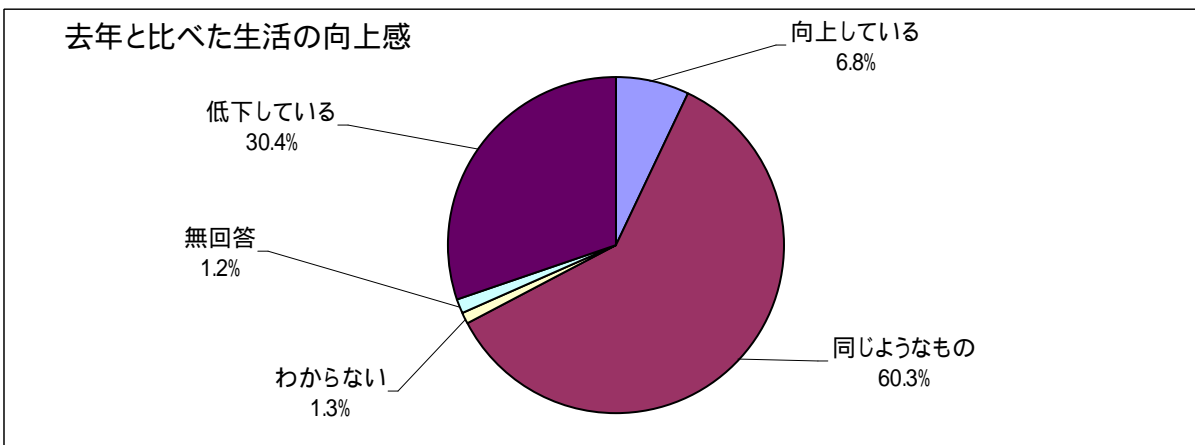
問14 去年と比べた生活の向上感

問14 あなたが、今の生活をどう思っておられるかお聞きします。あなたの生活は、去年の今頃と比べてどうでしょうか。次の中から1つ選んで番号に 印をつけてください。

- | | |
|-----------|----------|
| 1 向上している | 3 低下している |
| 2 同じようなもの | 4 わからない |

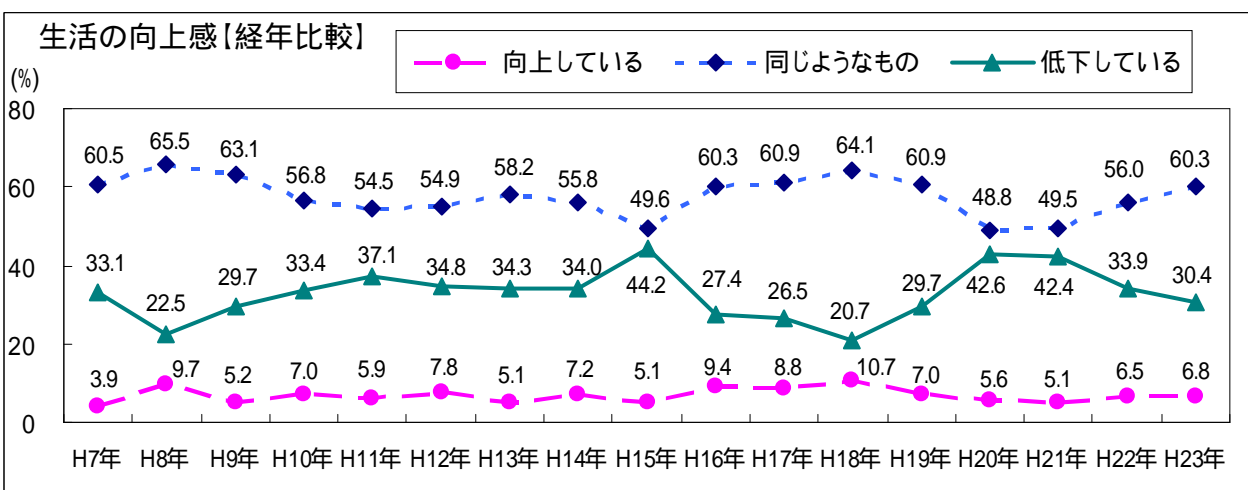
【全 県】

「同じようなもの」が6割と最も多く、「低下している」も3割、「向上している」は1割を下回る。

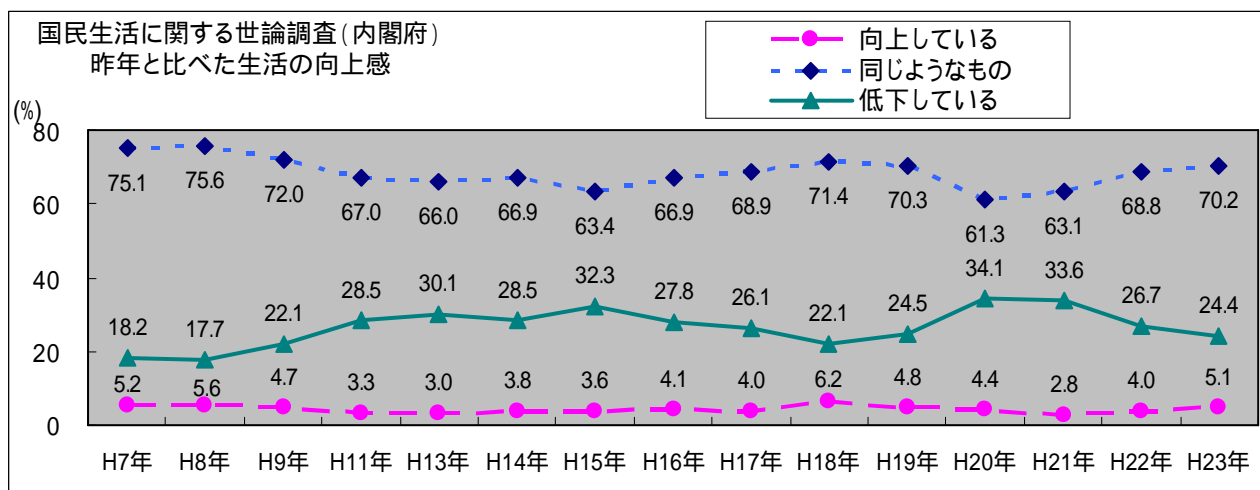


【経年比較】

前年度調査と比較すると、「低下している」は3.5ポイント減少し、「向上している」は0.3ポイント増加している。

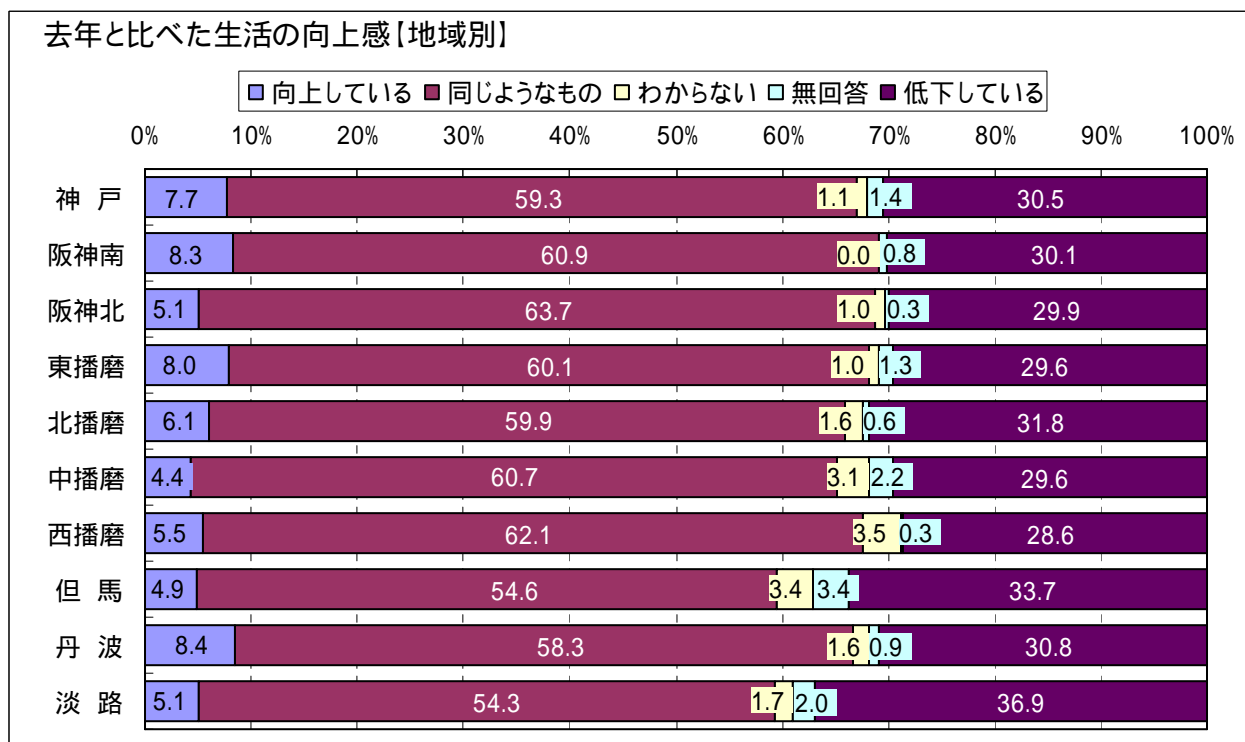


【参考：平成 23 年の全国調査】



【地域別】

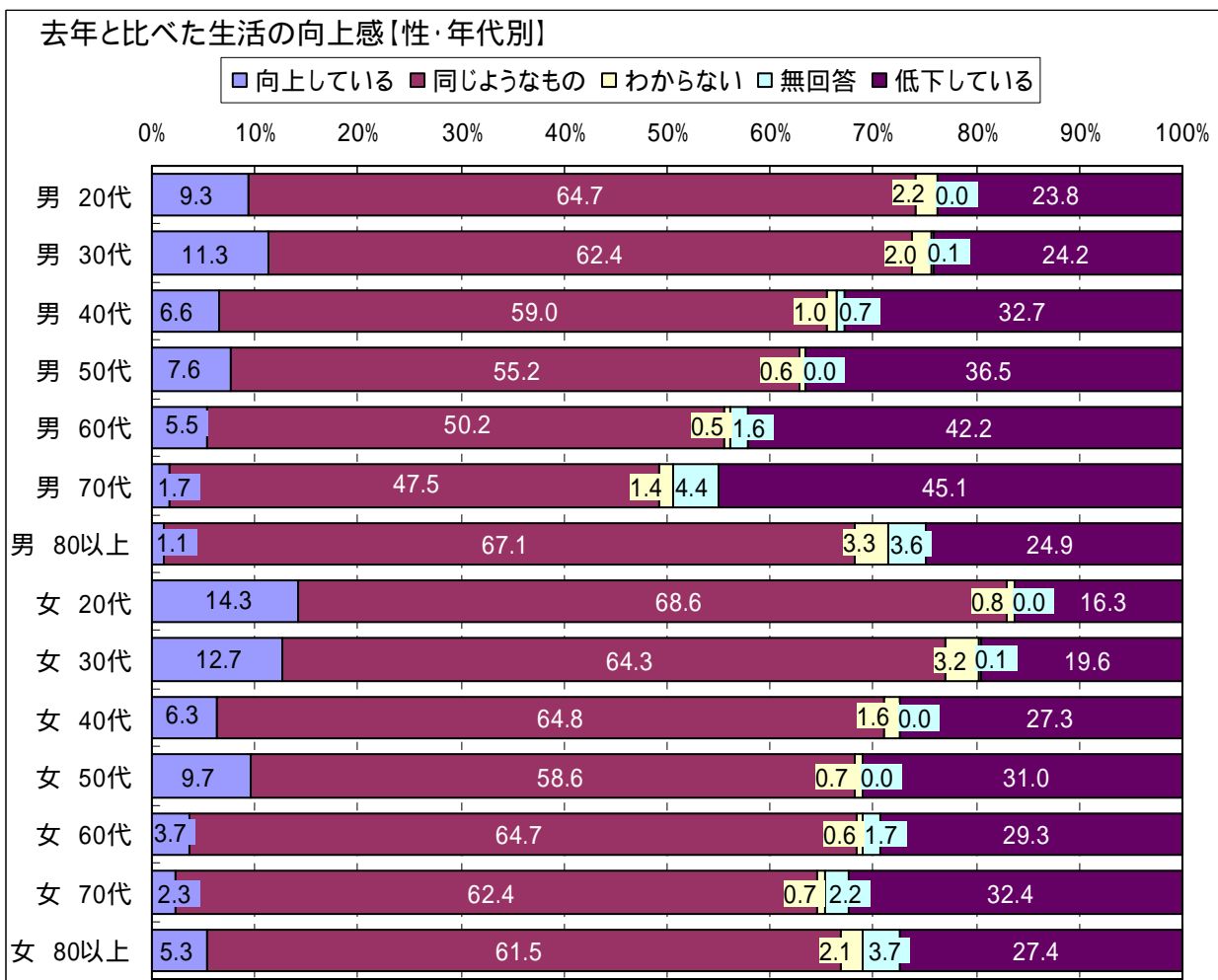
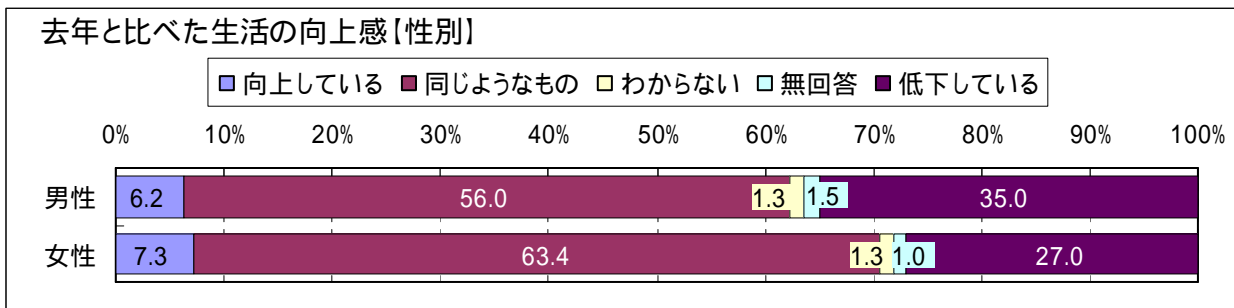
全地域で「同じようなもの」、「低下している」、「向上している」の順となっており、地域による差はあまりみられない。



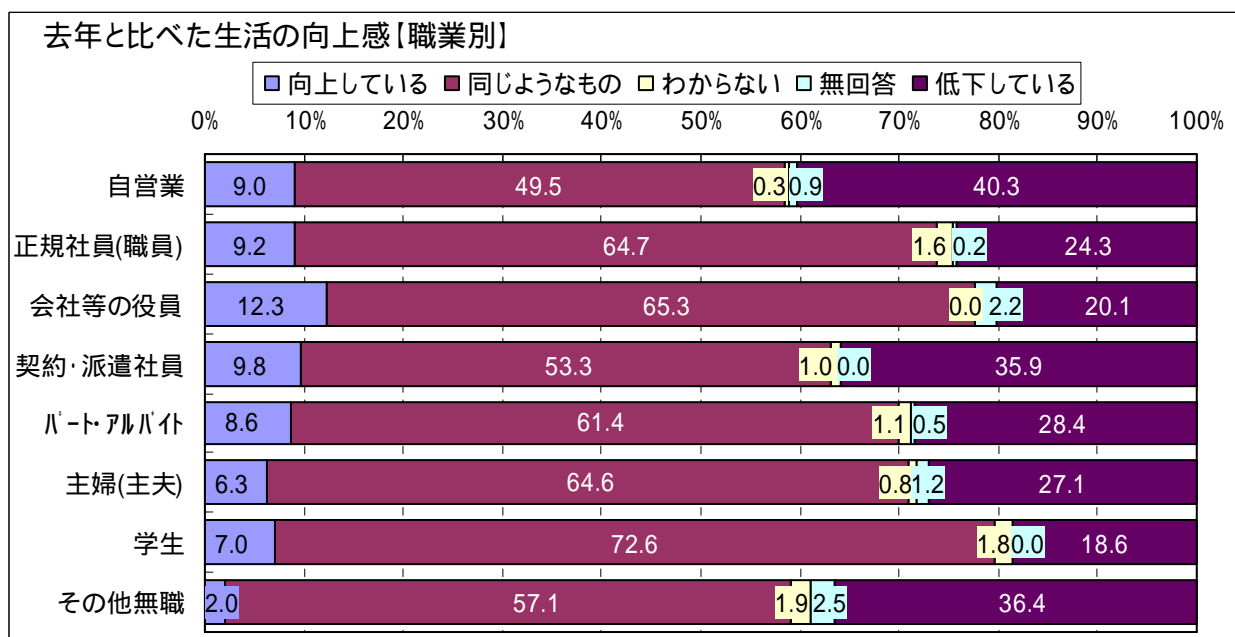
【性別、性・年代別】

性別では、男性の方が「低下している」が多い。

年代別では、男女とも若い年代の方が「向上している」が多く、年代が高くなるほど「低下している」が多くなる傾向がみられる。



【職業別】



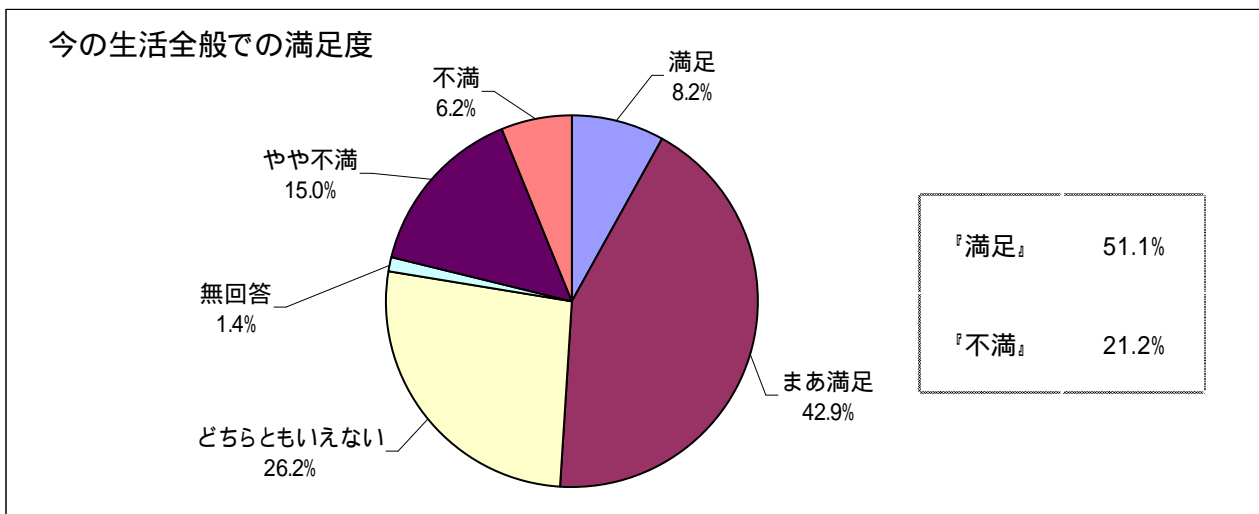
問15 今の生活全般での満足度

問15 あなたは、全体として、今の生活にどの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に印をつけてください。

- 1 満足 2 まあ満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満

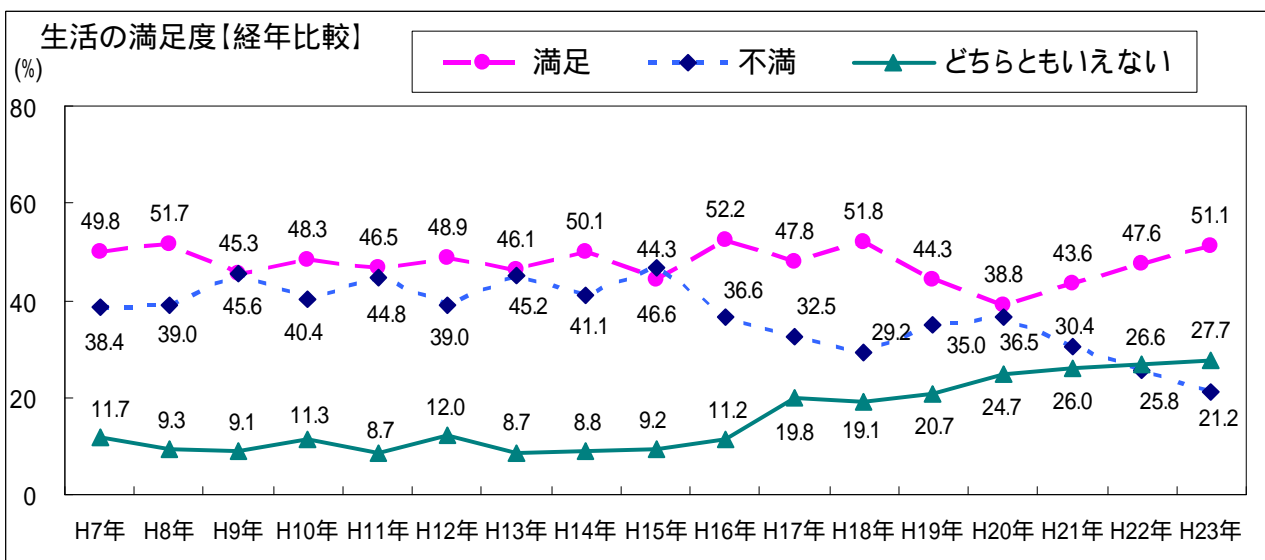
【全 県】

「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』を29.9ポイント上回っている。

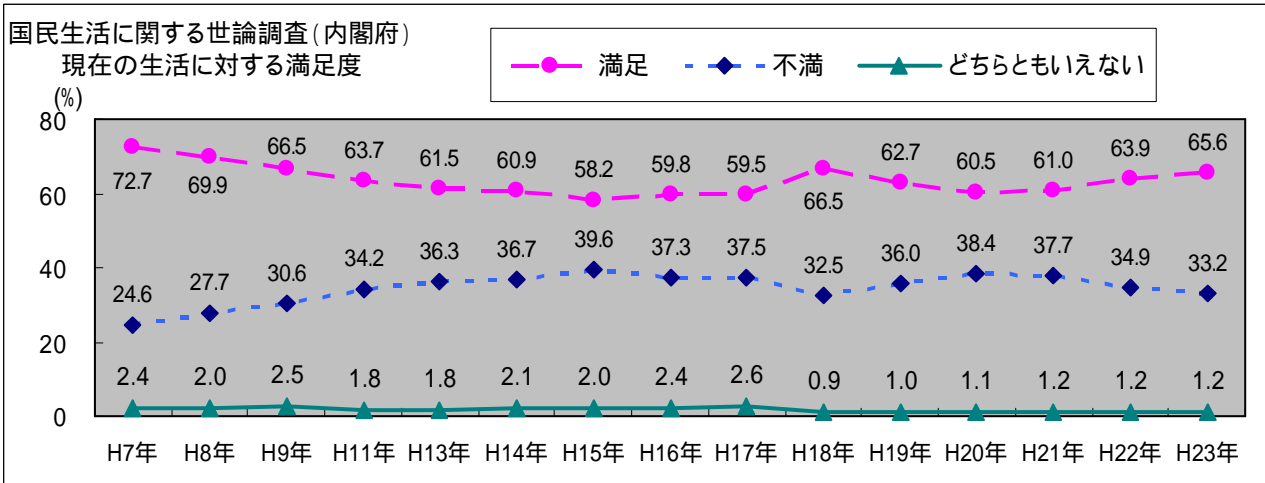


【経年比較】

『満足』は前年より3.5ポイント増加し、3年連続で増加している一方、『不満』は前年より4.6ポイント減少し、前年に引き続き過去最低を更新している。

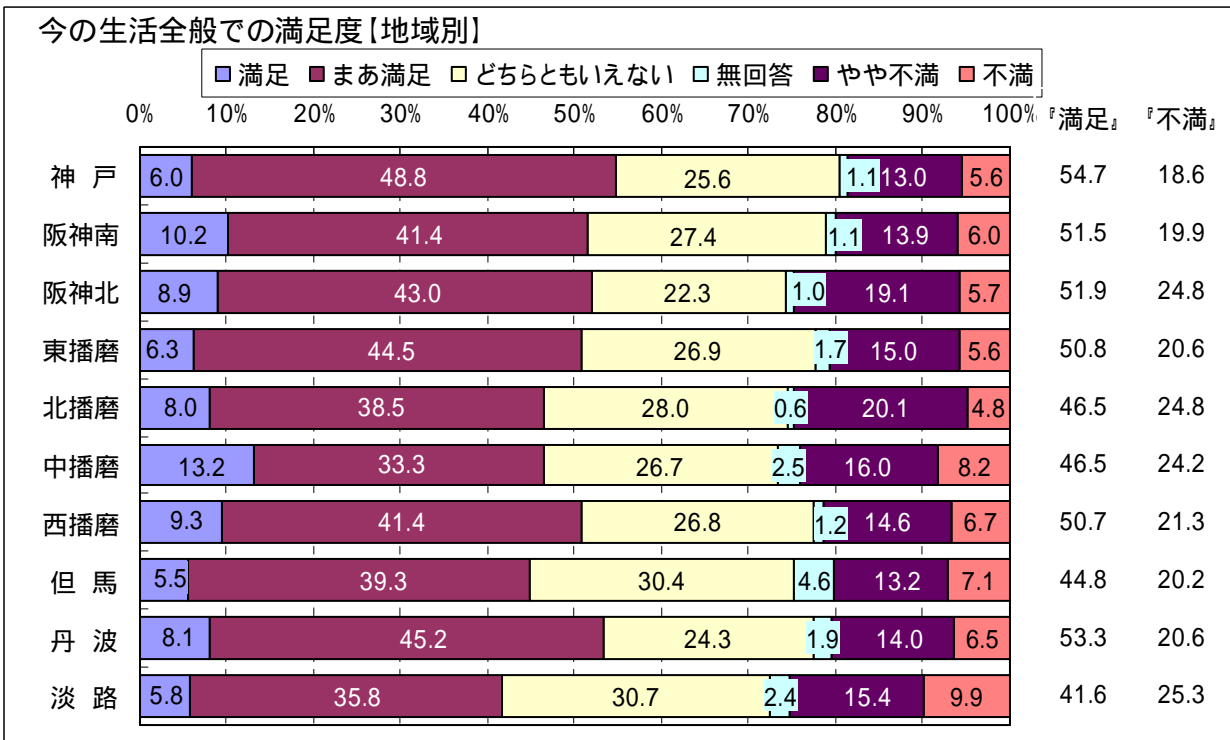


【参考：平成 23 年の全国調査】



【地域別】

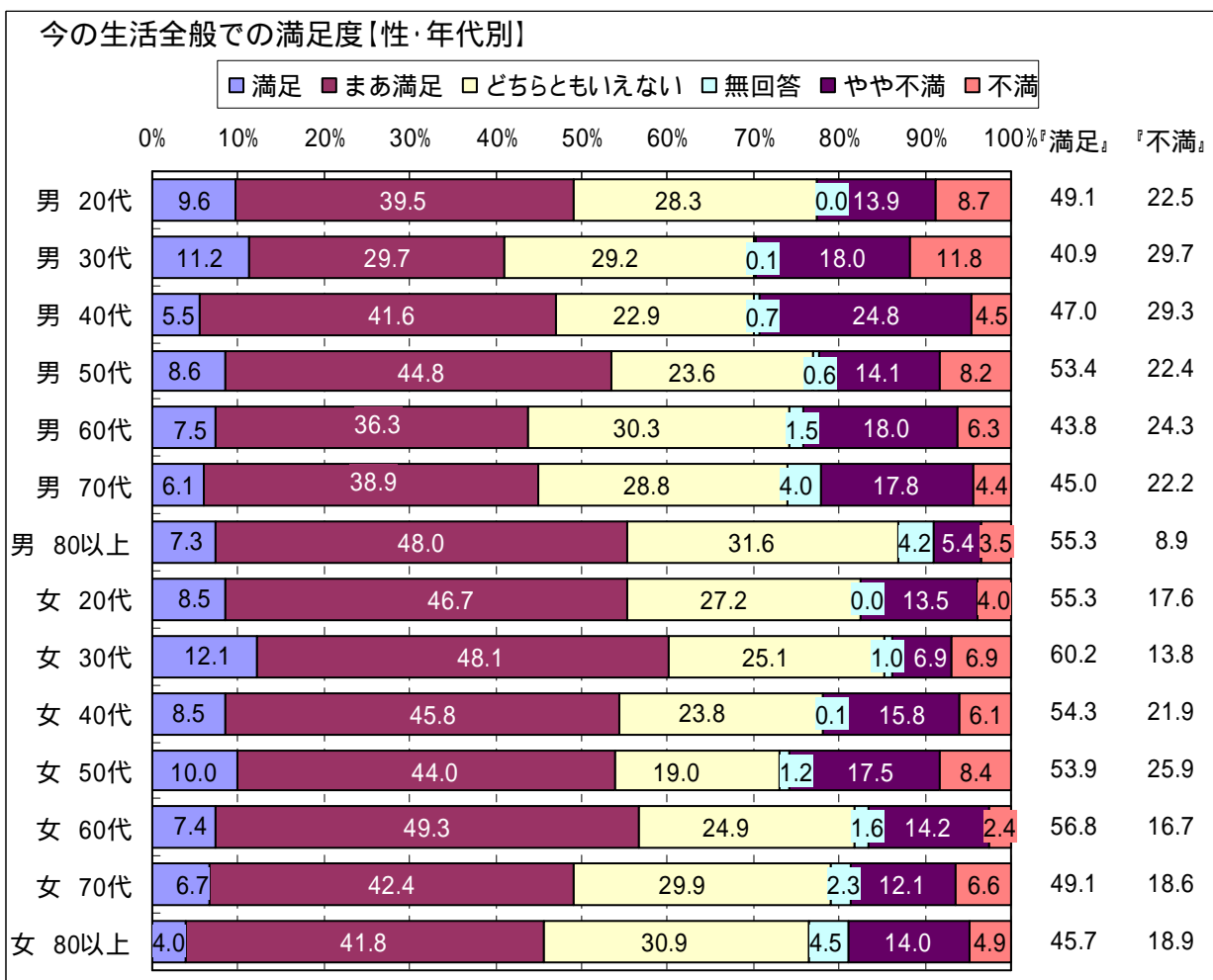
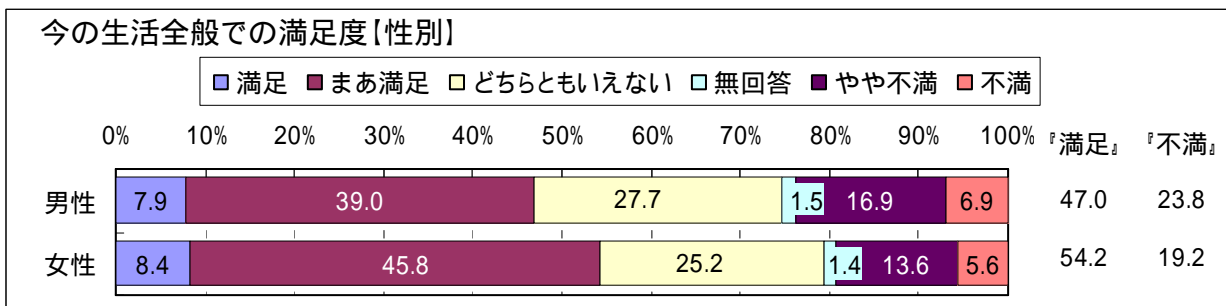
神戸、丹波など6地域で『満足』が5割を上回っている。



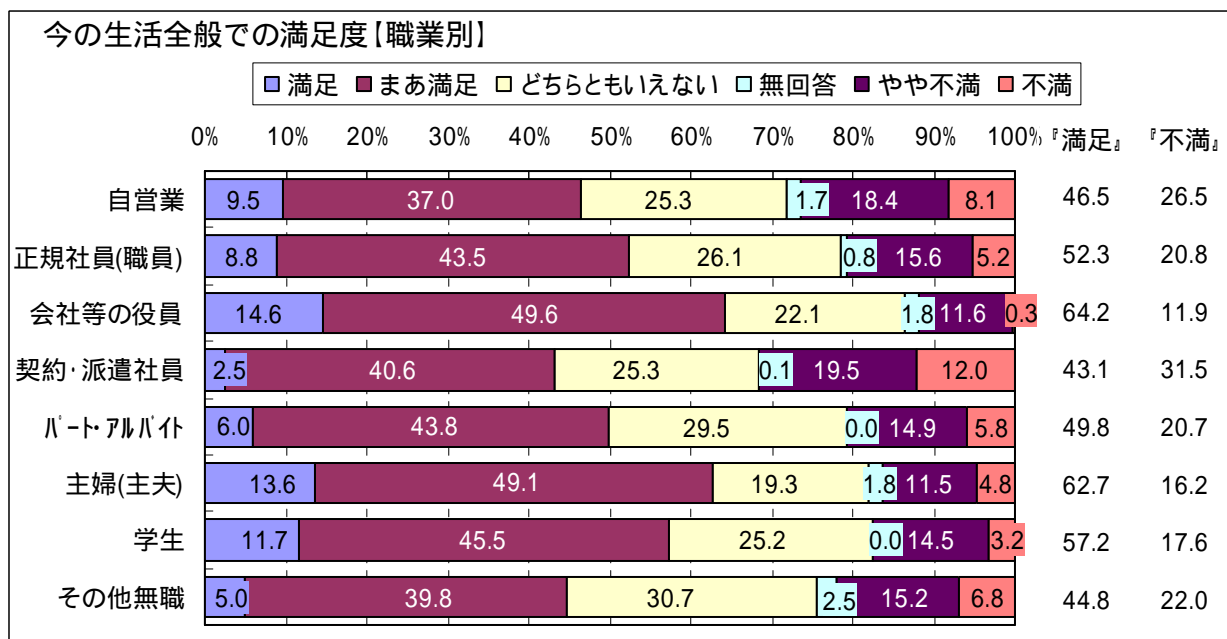
【性別、性・年代別】

性別では、女性の方が満足度が高い。

男女ともに、全ての年代で『満足』が『不満』を上回っているが、最上位は女性 30 代で最下位は男性 30 代である。



【職業別】



問16 今の生活の個別側面での満足度

問16 あなたは、今の生活の次のような面では、どの程度満足していますか。それぞれの項目ごとに1つ選んで番号に印をつけてください。

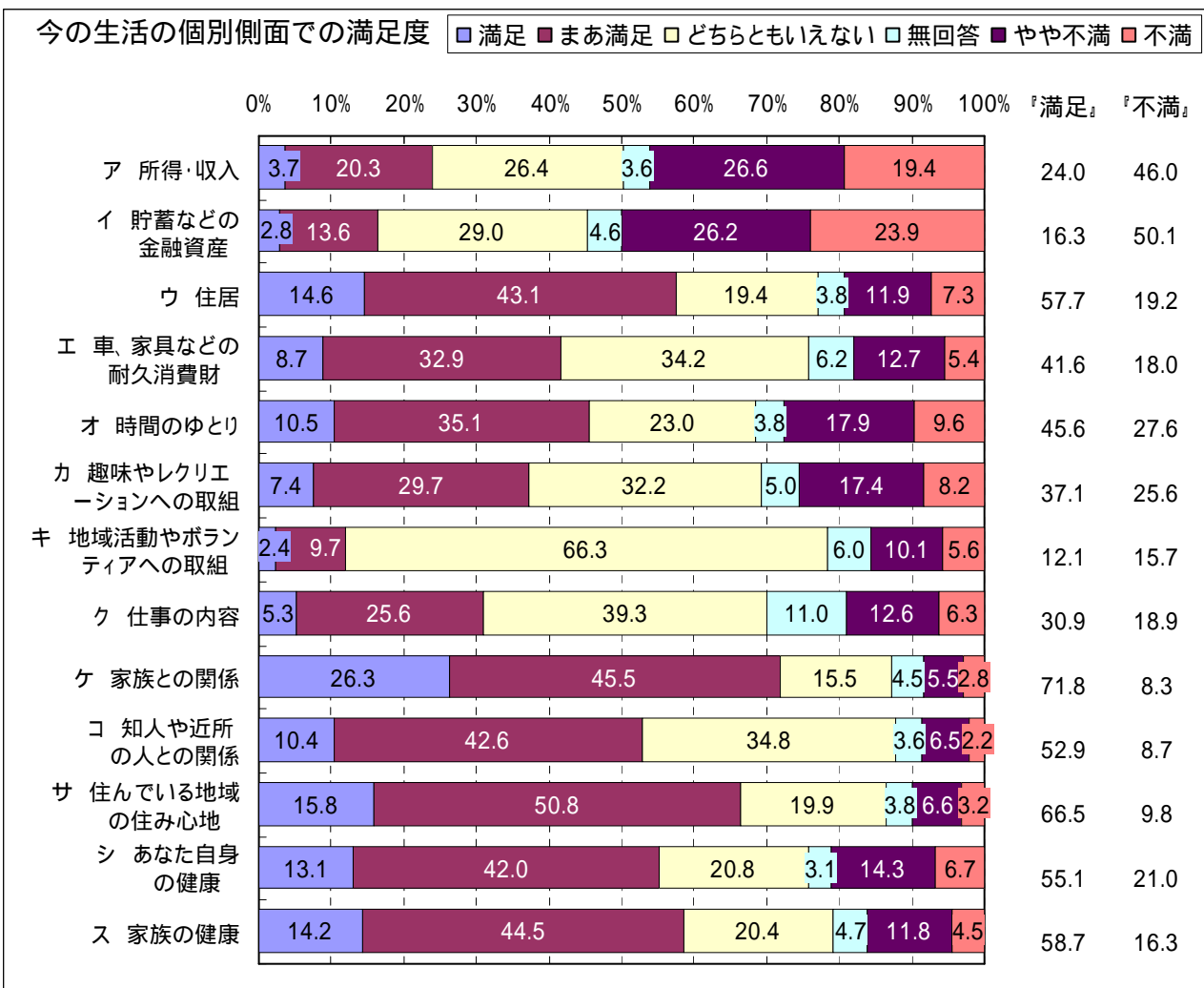
- | | |
|-------------------|----------------|
| ア 所得・収入 | ク 仕事の内容 |
| イ 貯蓄などの金融資産 | ケ 家族との関係 |
| ウ 住居 | コ 知人や近所の人との関係 |
| エ 車、家具などの耐久消費財 | サ 住んでいる地域の住み心地 |
| オ 時間のゆとり | シ あなた自身の健康 |
| カ 趣味やレクリエーションへの取組 | ス 家族の健康 |
| キ 地域活動やボランティアへの取組 | |

1 満足 2 まあ満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満

【全 県】

「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』は、〔家族との関係〕で最も多く、次いで〔住んでいる地域の住み心地〕、〔家族の健康〕、〔住居〕、〔自身の健康〕、〔知人や近所の人との関係〕の順となっており、13項目中6項目で『満足』が5割を超えている。

「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』は、〔貯蓄などの金融資産〕、〔所得・収入〕の順に多く、いずれも4割半ば～5割に達している。これら2つと〔地域活動やボランティアへの取組〕を合わせた3項目で『不満』が『満足』を上回っている。



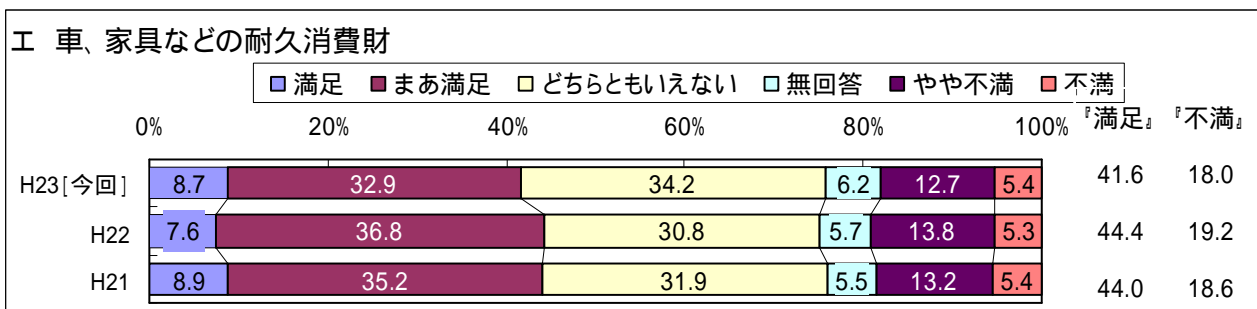
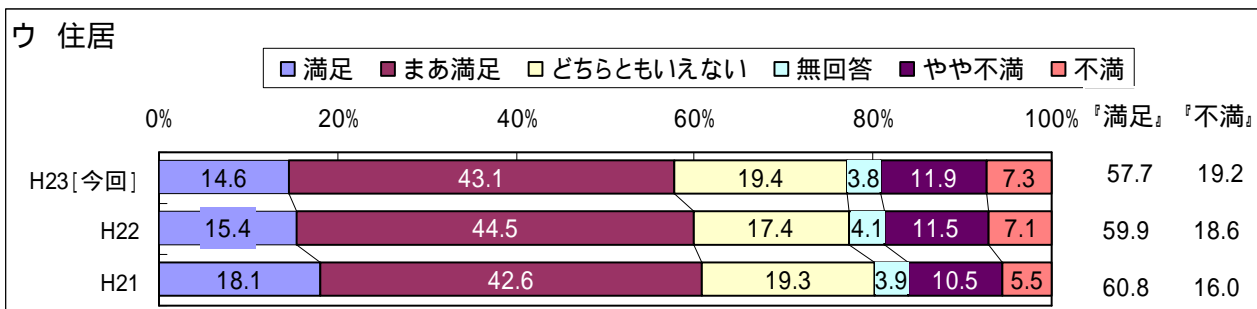
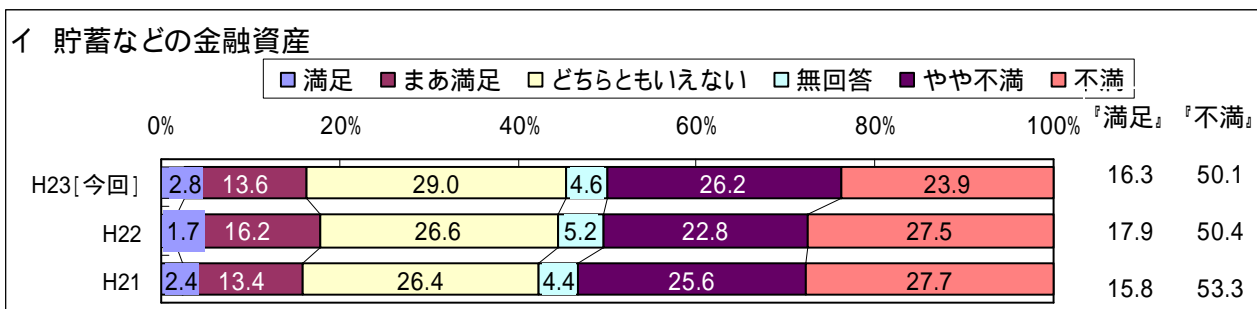
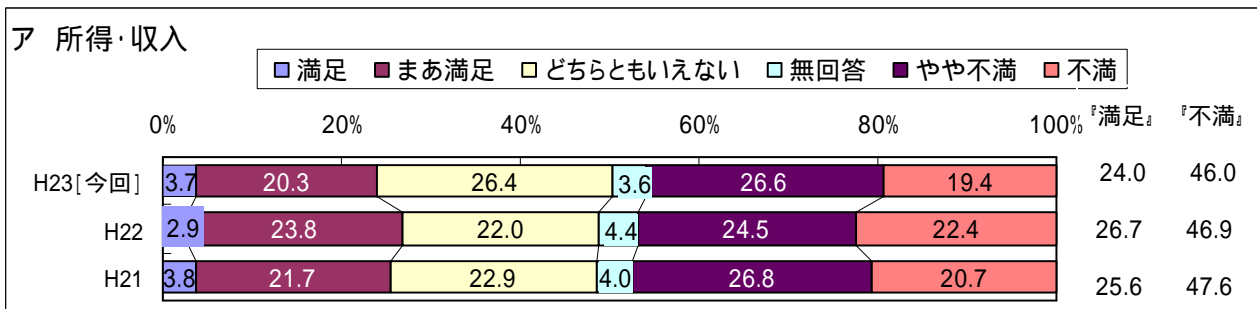
【経年比較】

前年度調査との比較では、『満足』は13項目中6項目で増加し7項目で減少している。

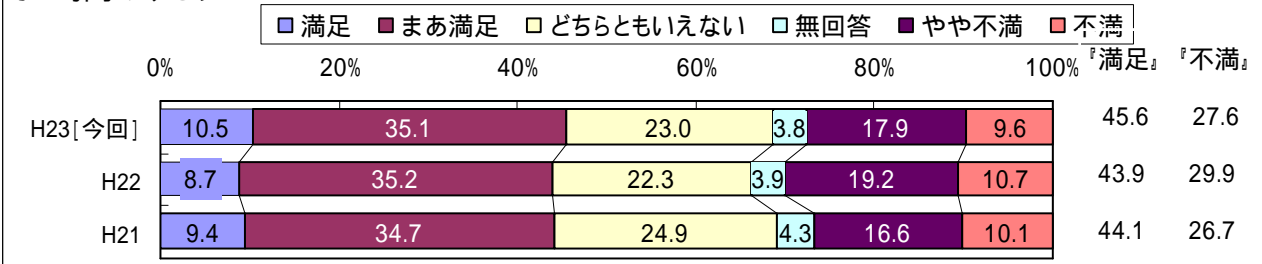
最も増加したのは「趣味やレクリエーションへの取組」で、最も減少したのは〔車、家具などの耐久消費財〕である。

一方、『不満』は13項目中4項目で増加し8項目で減少、1項目で増減なしとなっている。

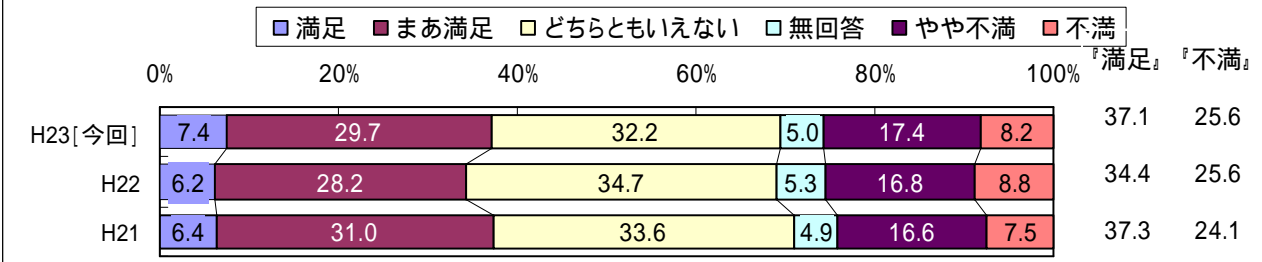
最も増加したのは、〔知人や近所との関係〕で、最も減少したのは〔時間のゆとり〕である。



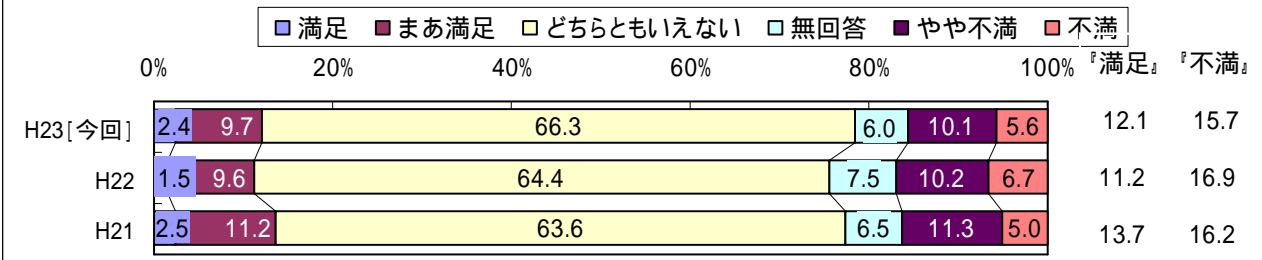
オ 時間のゆとり



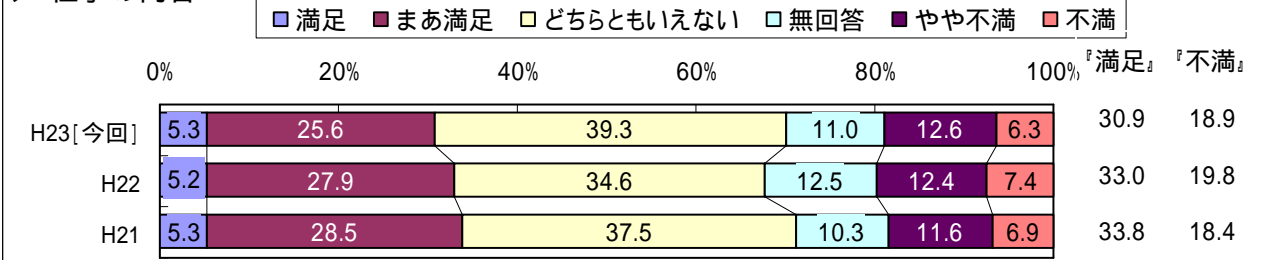
カ 趣味やレクリエーションへの取組



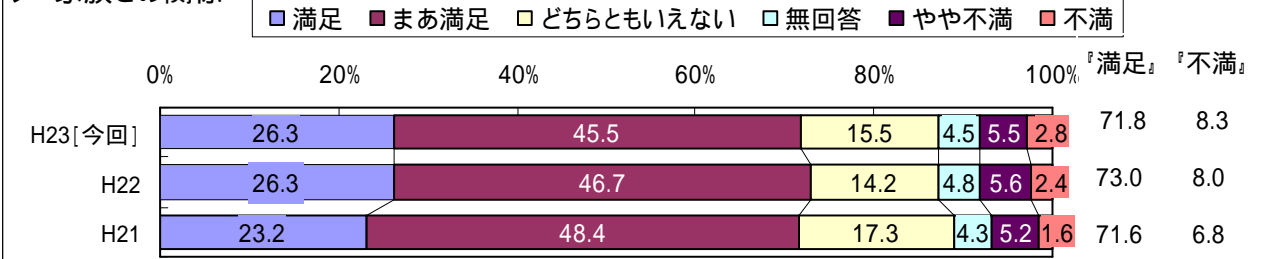
キ 地域活動やボランティアへの取組



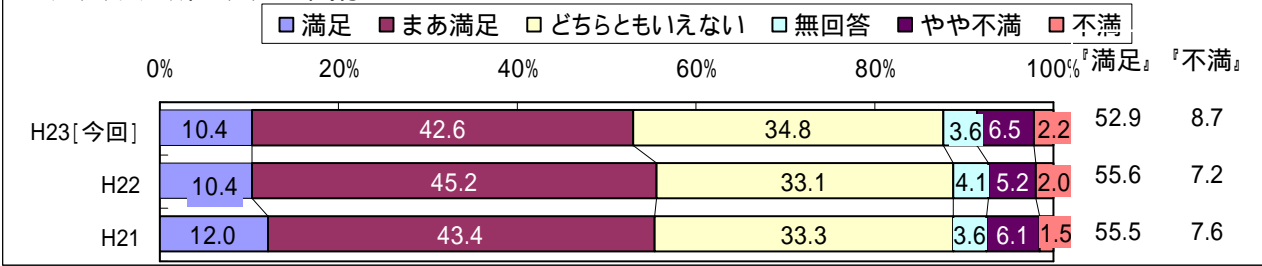
ク 仕事の内容



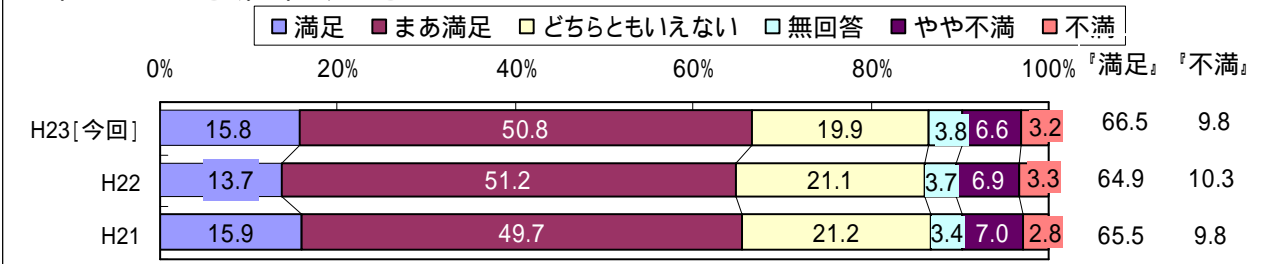
ケ 家族との関係



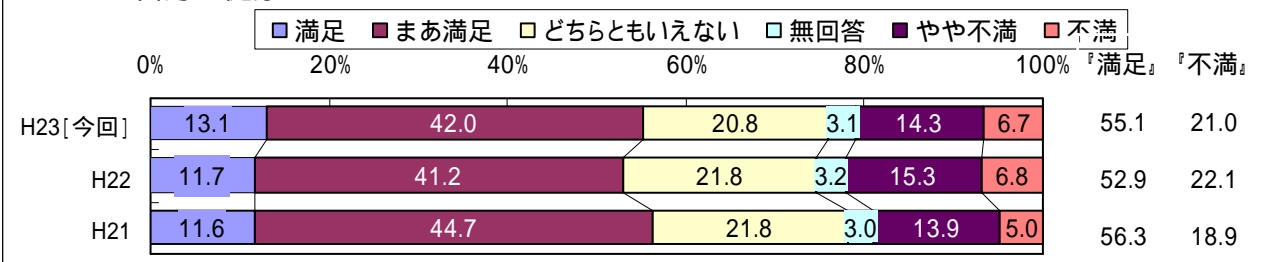
コ 知人や近所の人との関係



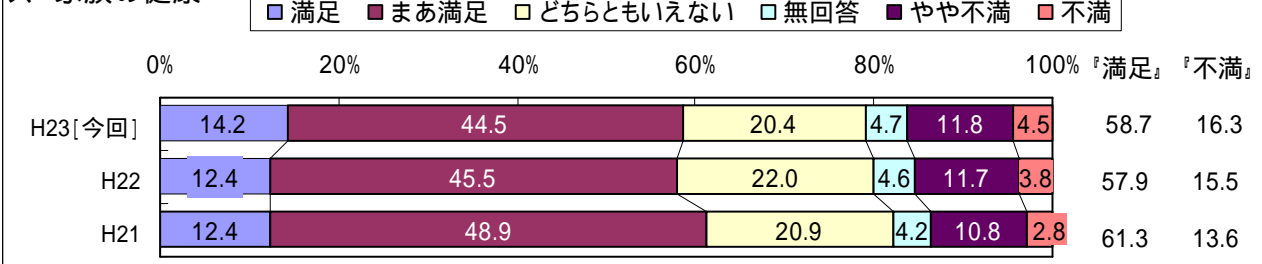
サ 住んでいる地域の住み心地



シ あなた自身の健康



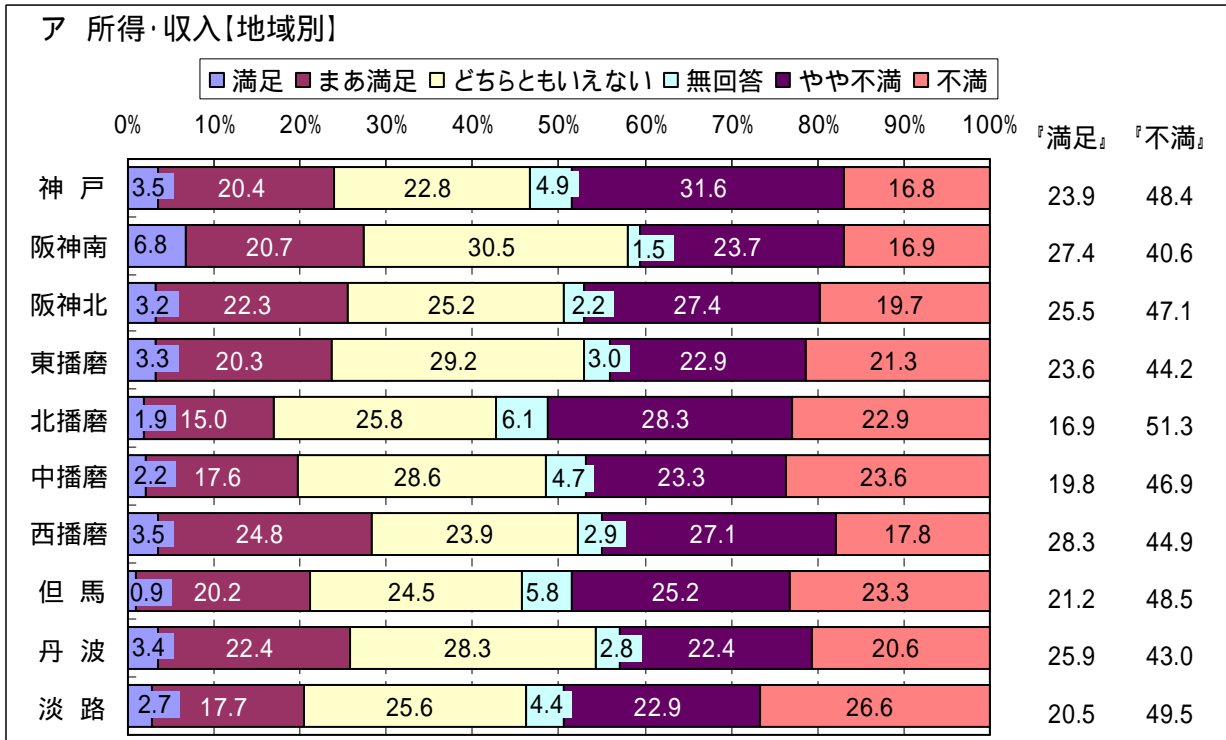
ス 家族の健康



〔ア 所得・収入〕

【地域別】

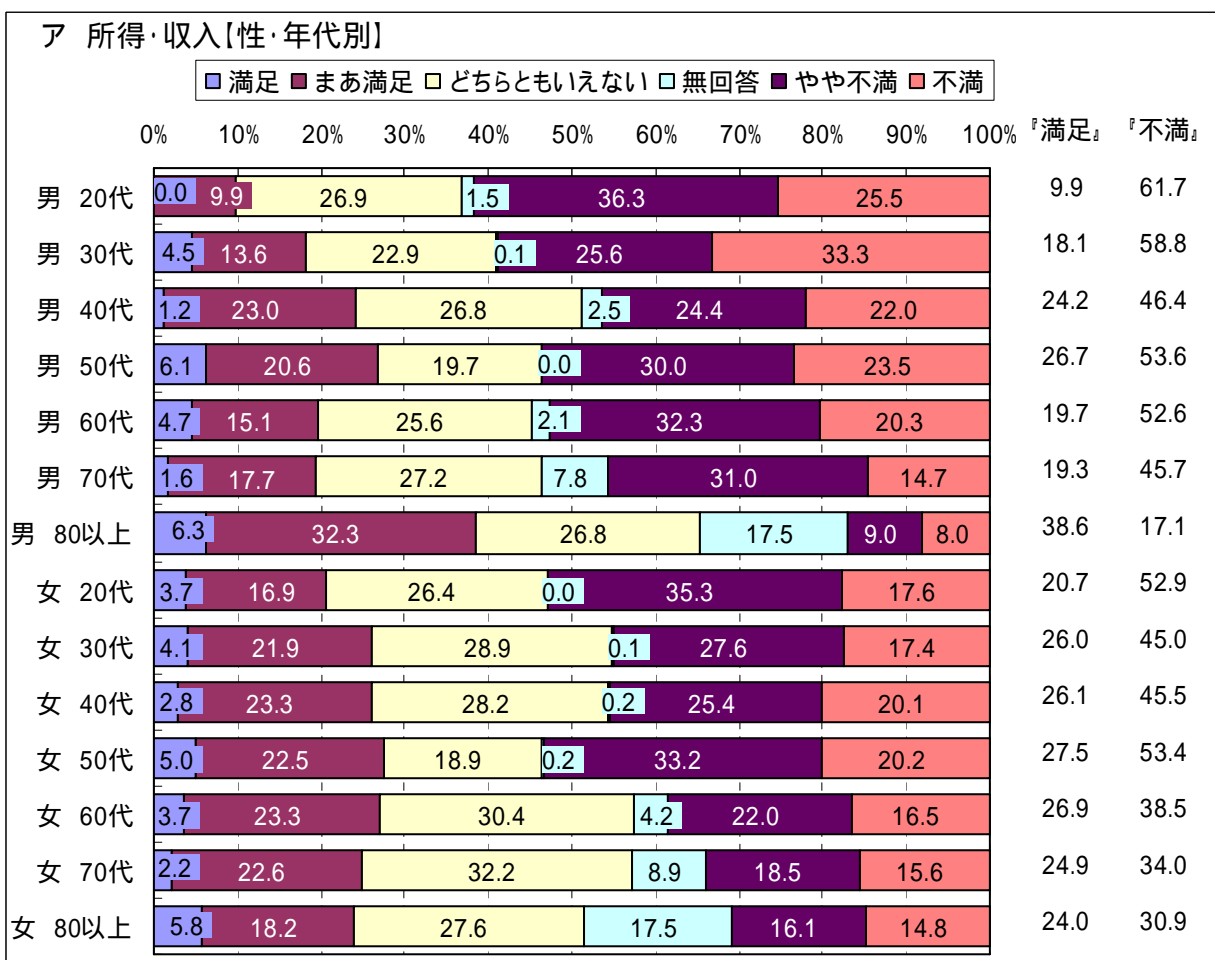
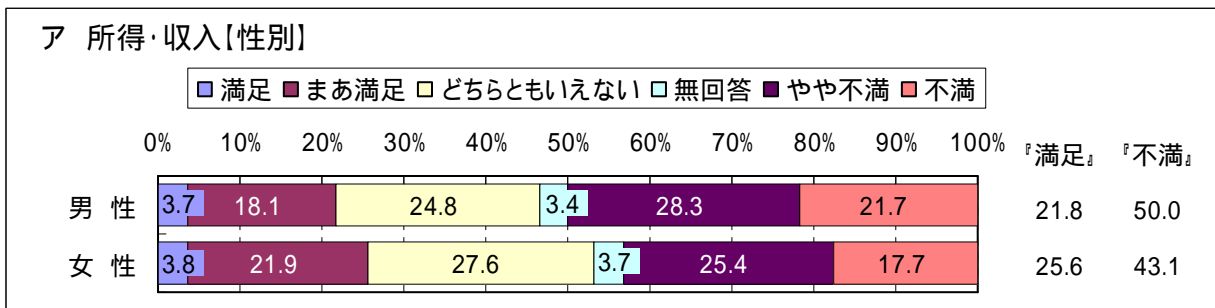
全地域で『不満』が『満足』を上回っている。



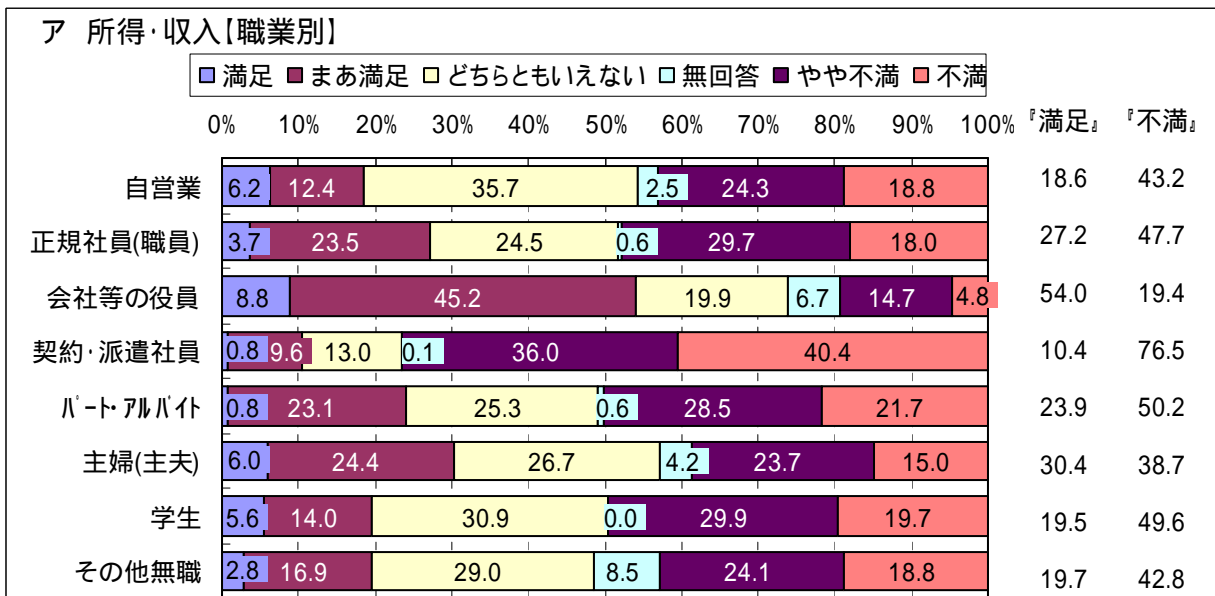
【性別、性・年代別】

女性の方が『満足』が多く『不満』が少ない。

男性 80 以上以外は、男女とも全年代で『不満』が『満足』を上回っており、男性 20 代で最も差が大きい。



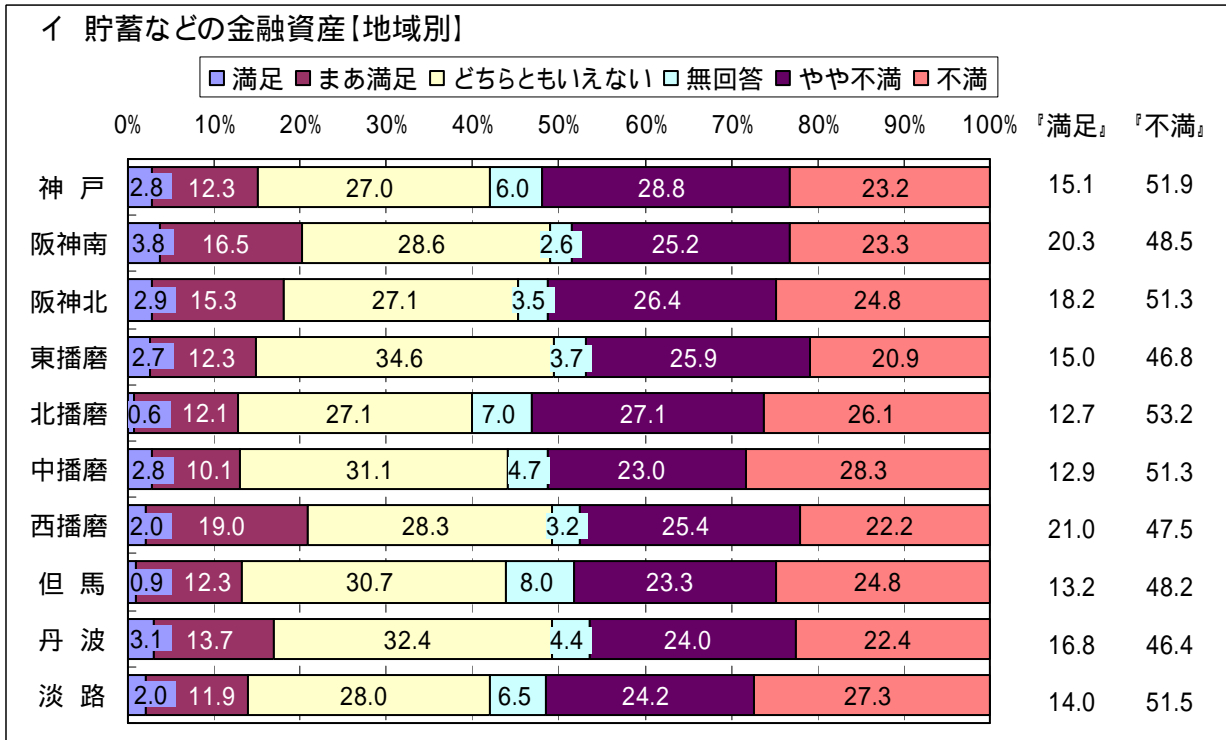
【職業別】



〔イ 貯蓄などの金融資産〕

【地域別】

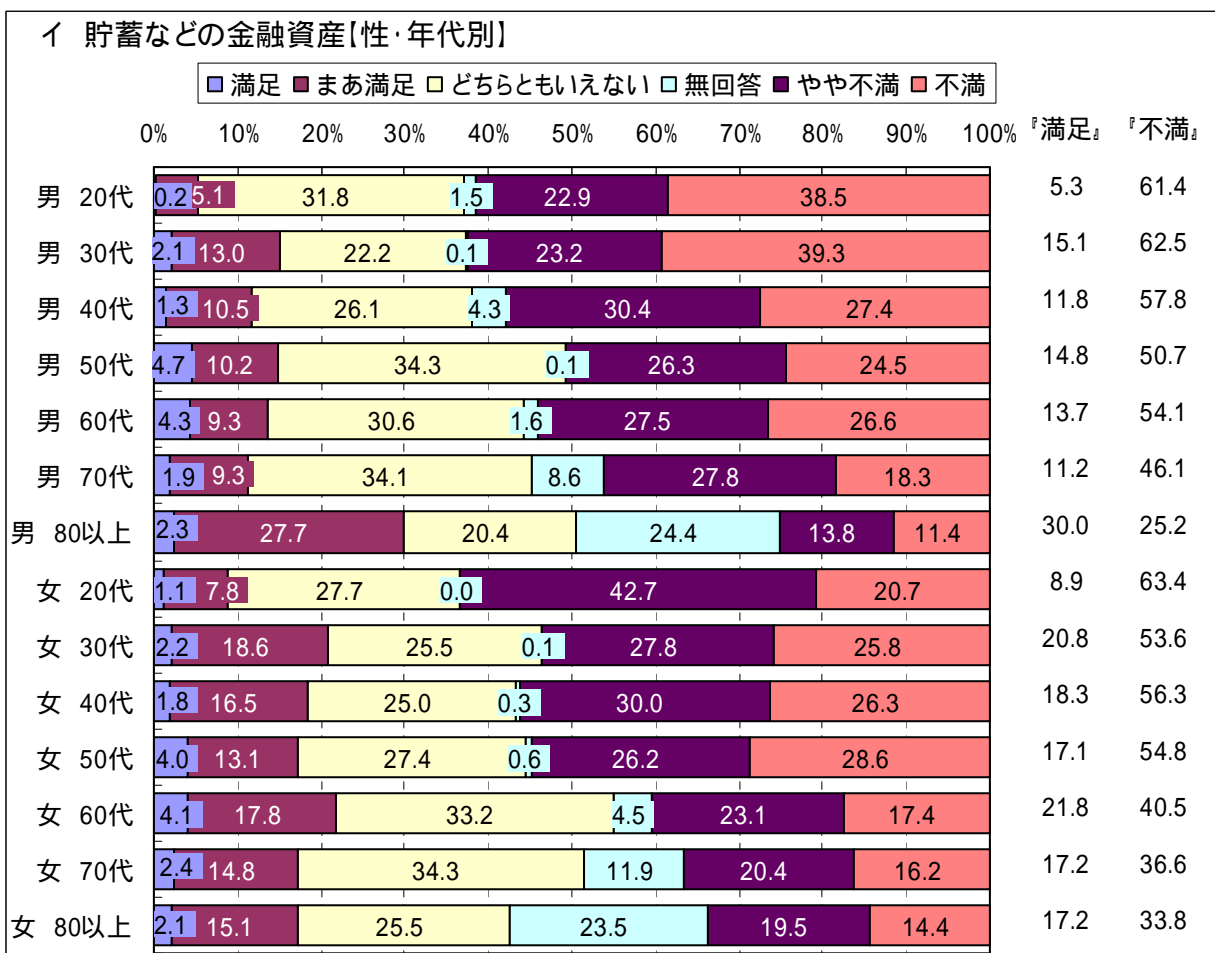
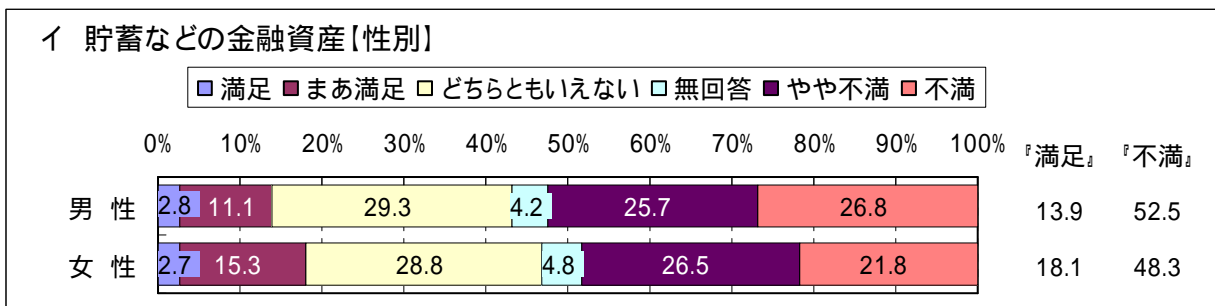
全地域で『不満』が『満足』を上回っている。



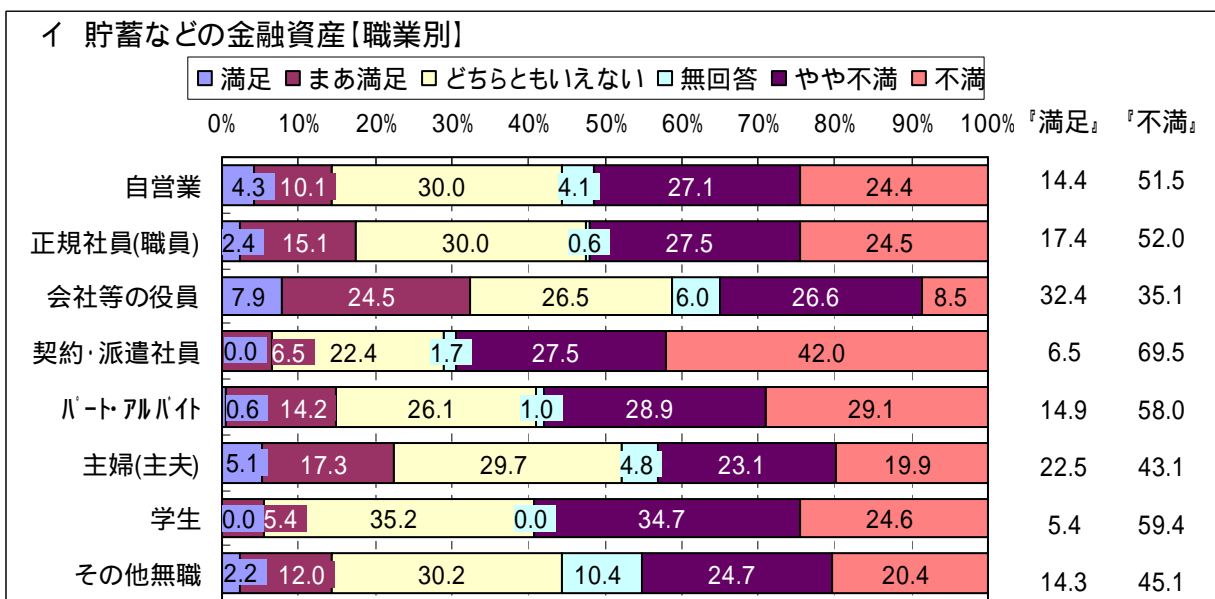
【性別、性・年代別】

女性の方が『満足』が多く『不満』が少ない。

男性 80 以上を除き、男女とも全年代で『不満』が『満足』を上回っており、男性 20 代で最も差が大きい。



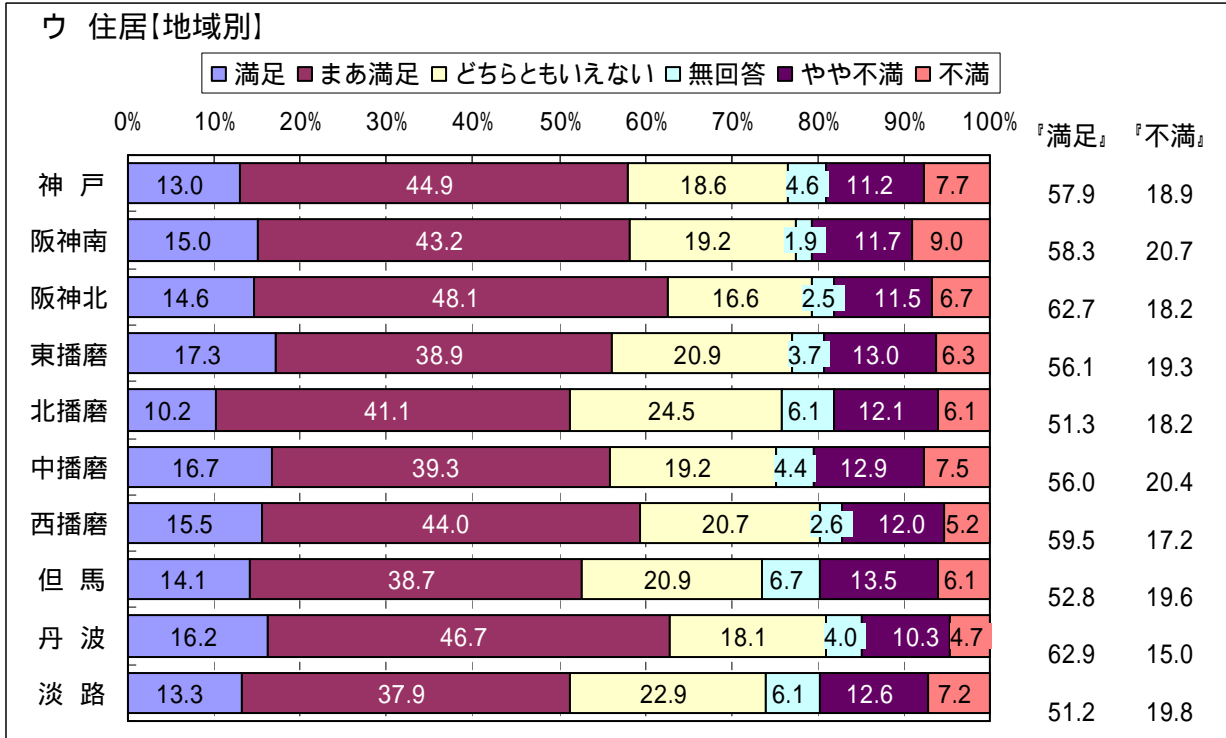
【職業別】



〔ウ 住居〕

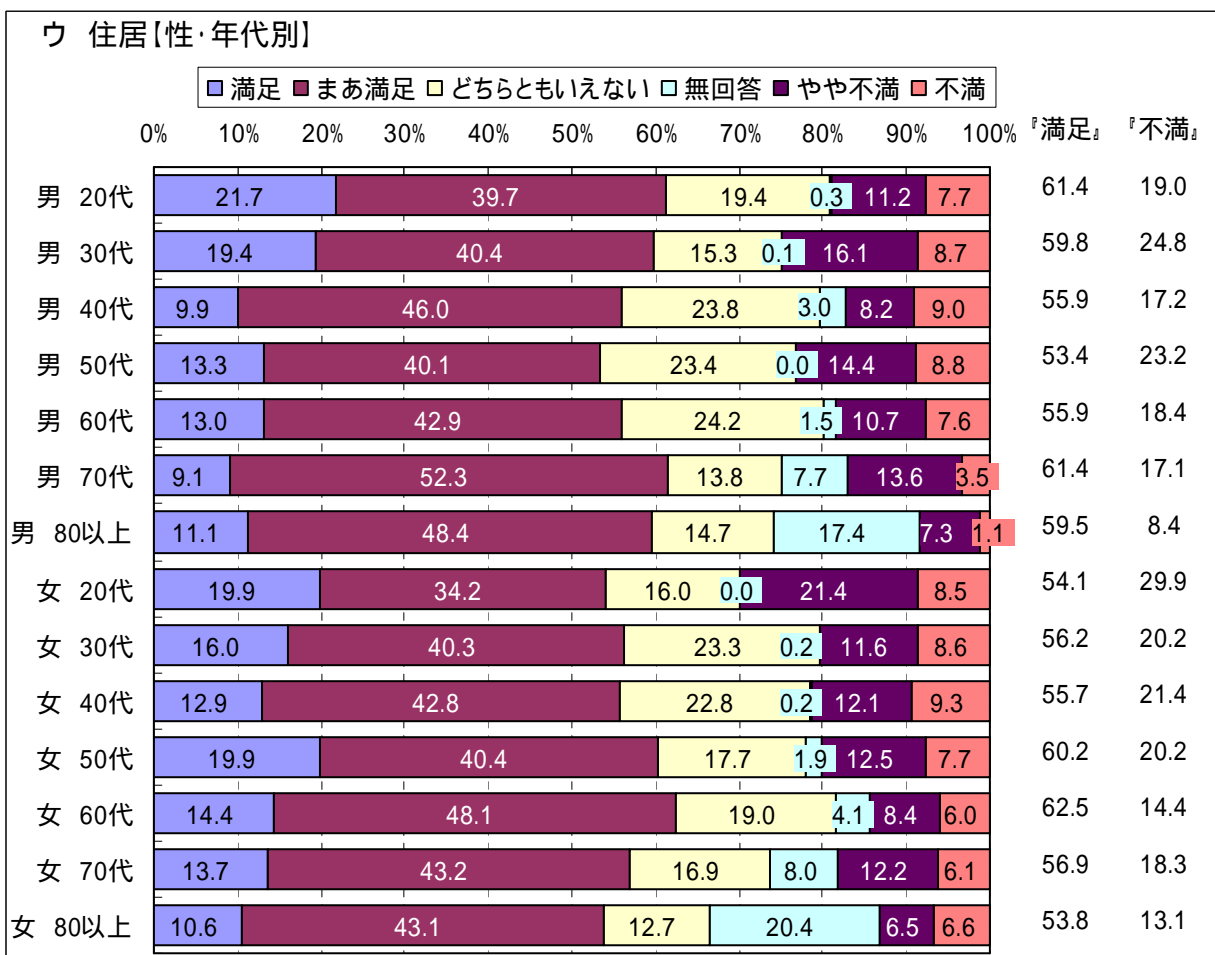
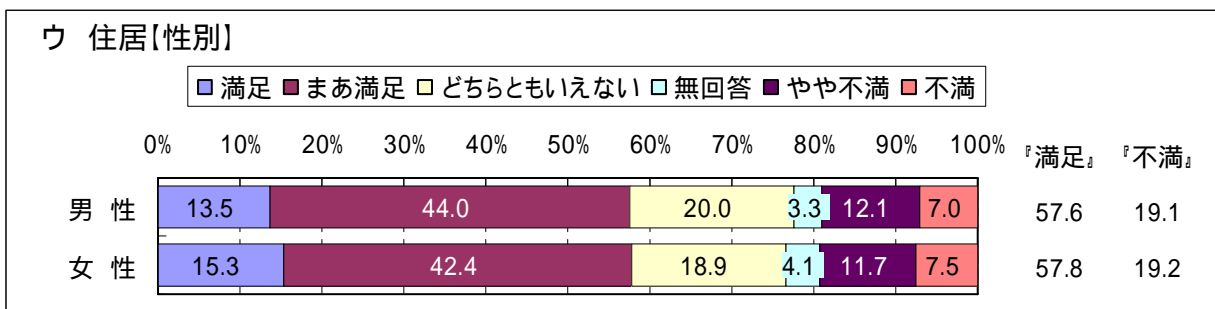
【地域別】

全ての地域で『満足』が『不満』を30ポイント以上上回っている。

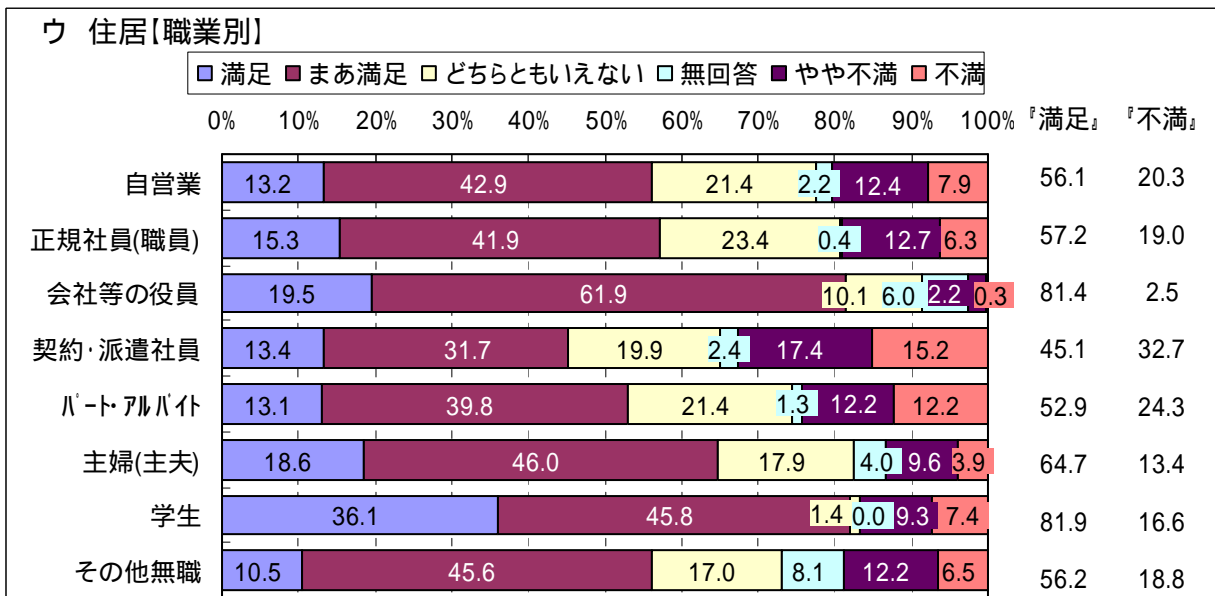


【性別、性・年代別】

性別による差はあまりみられず、男女とも全年代で『満足』が『不満』を20ポイント以上上回っているが、女性20代では『不満』が多く約3割ある。



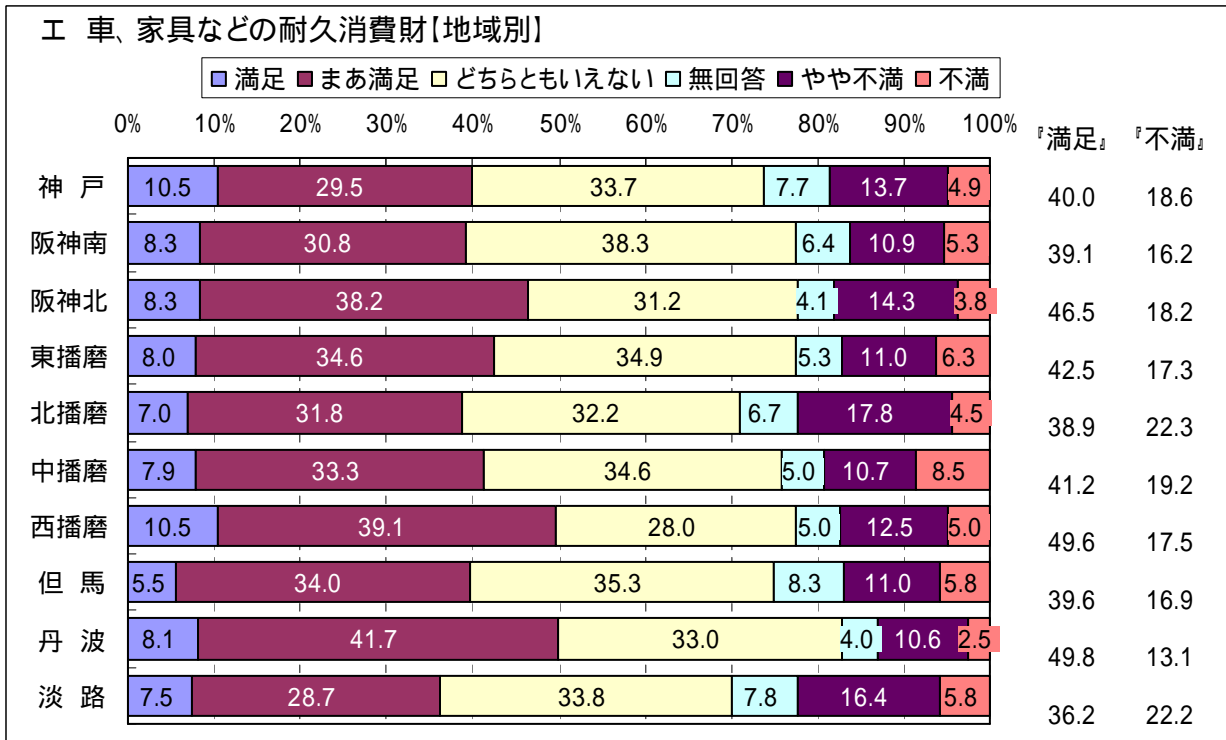
【職業別】



〔工 車、家具などの耐久消費財〕

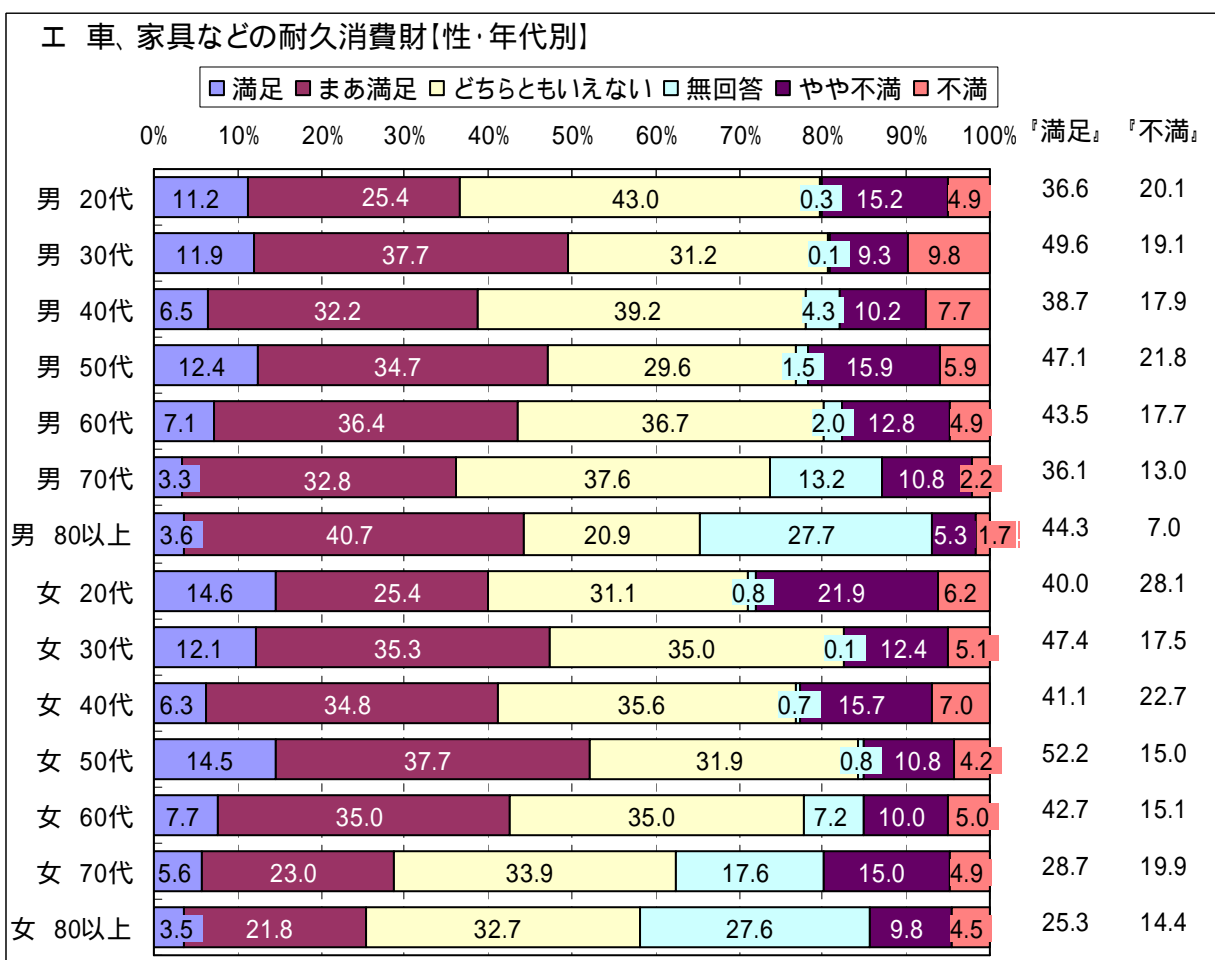
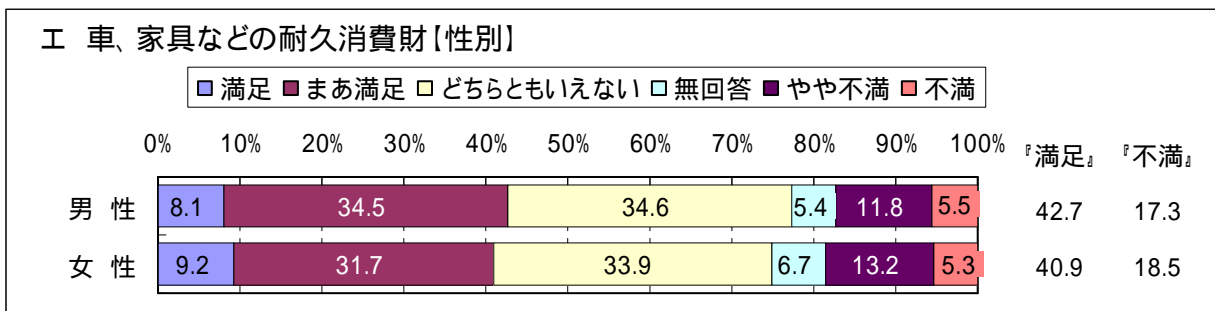
【地域別】

全地域で『満足』が『不満』を上回っている。

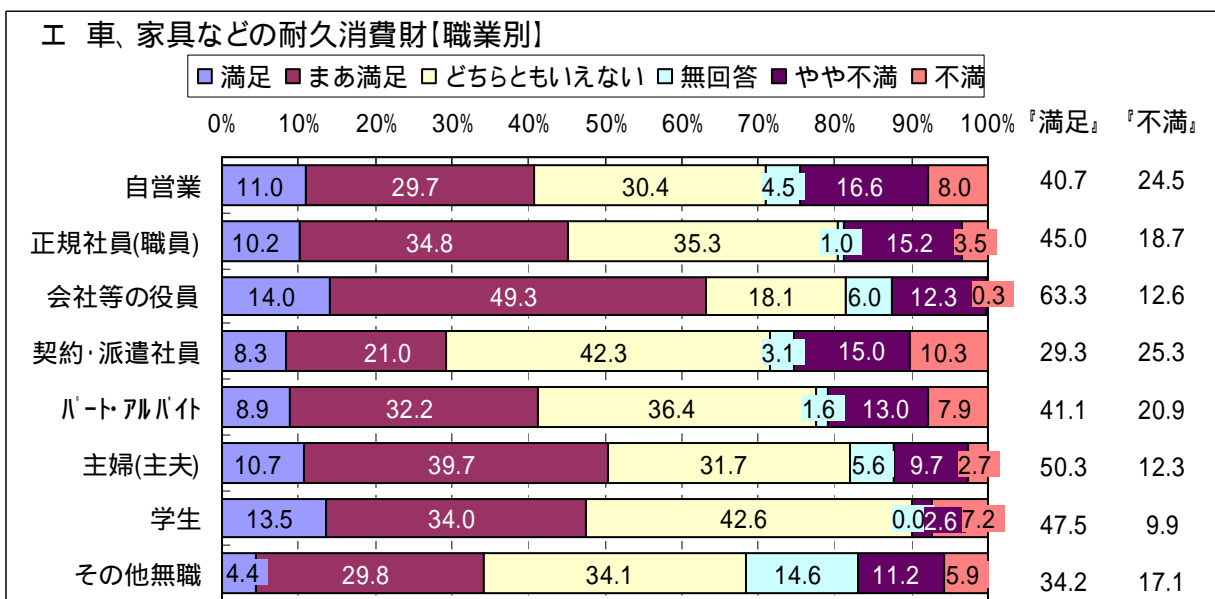


【性別、性・年代別】

男女とも、全年代で『満足』が『不満』を上回っている。



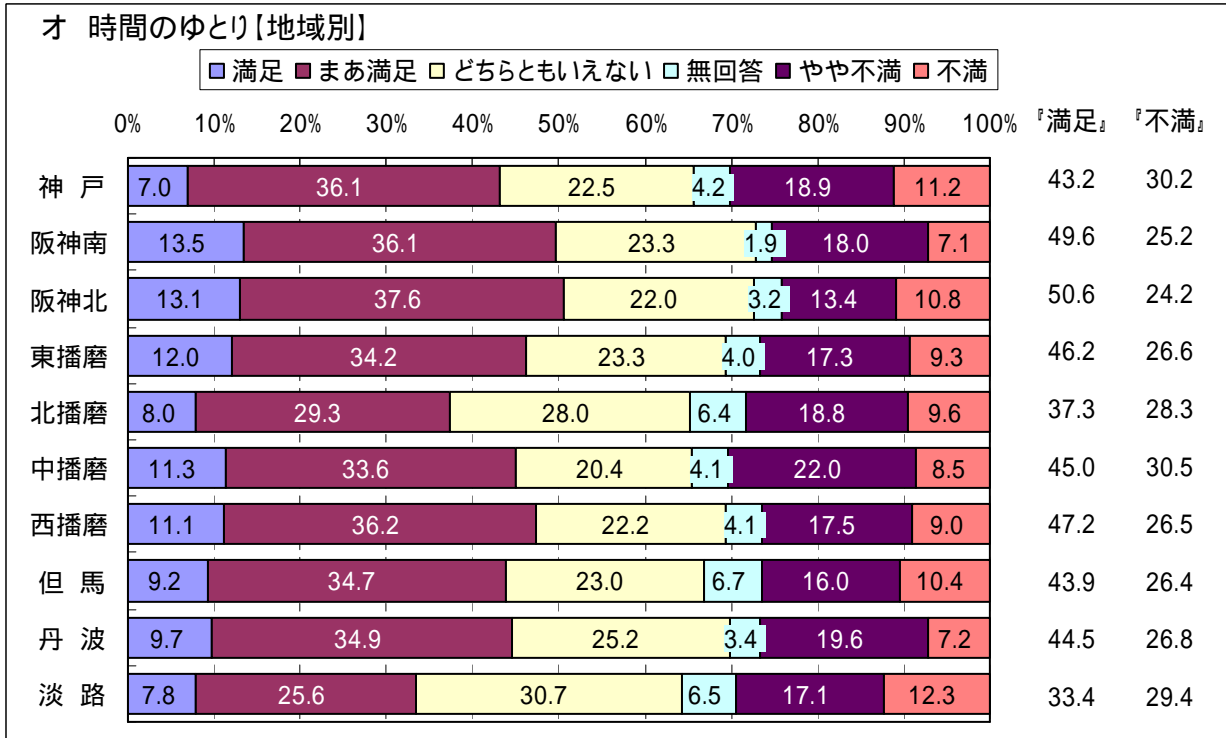
【職業別】



〔オ 時間のゆとり〕

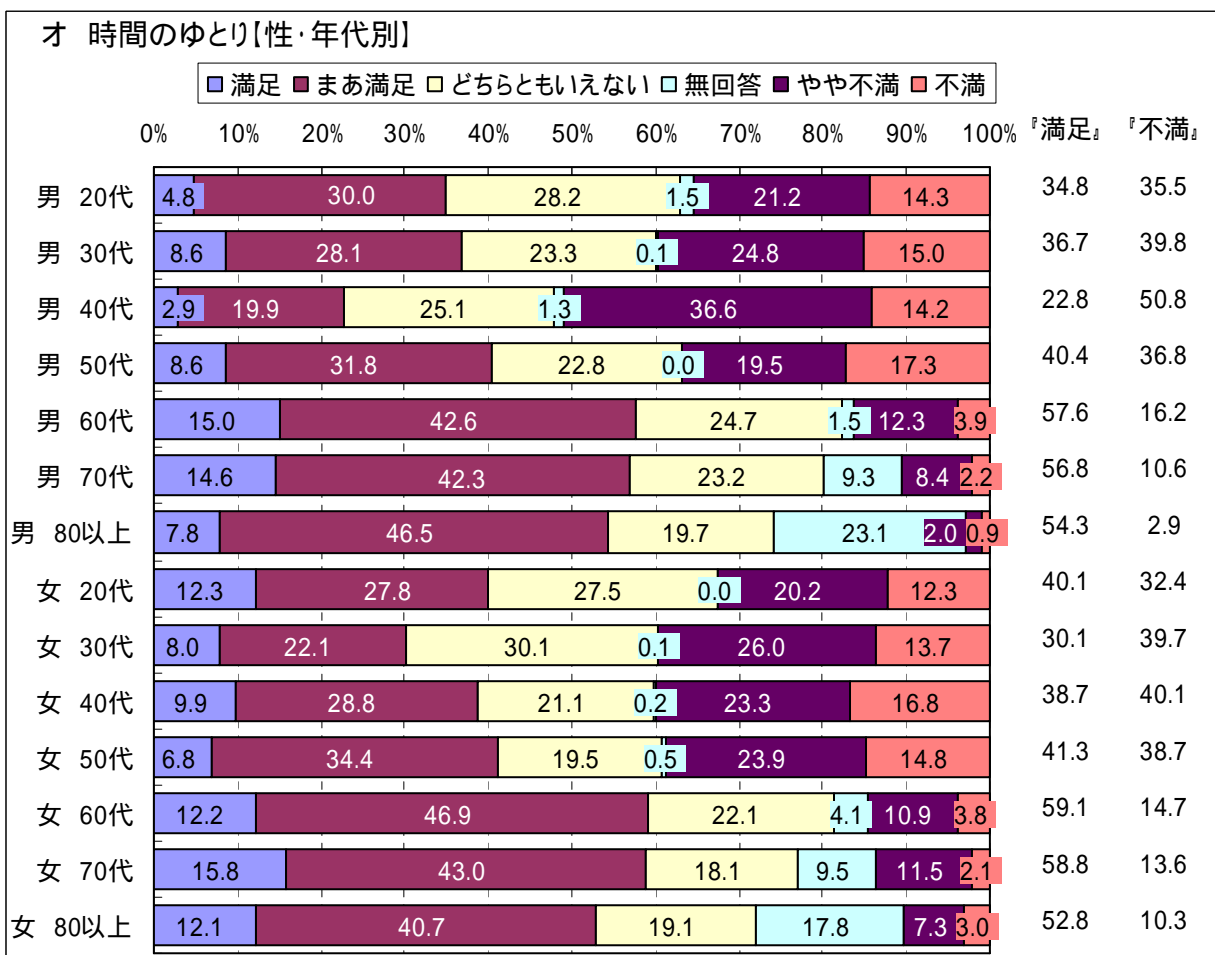
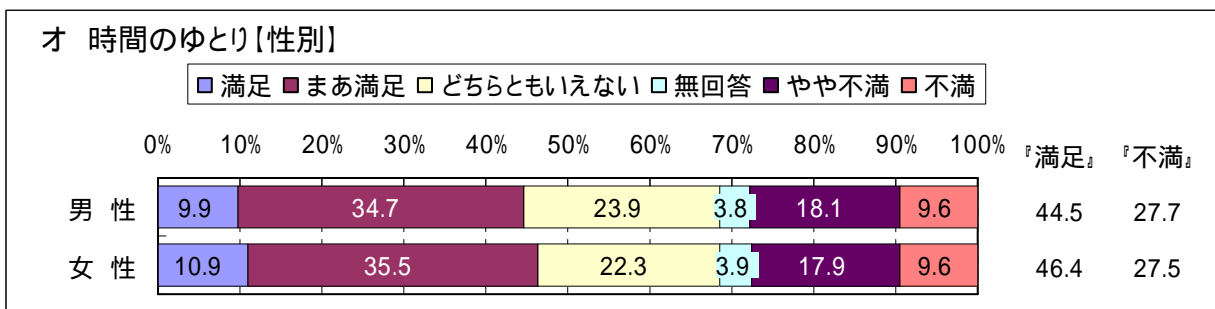
【地域別】

全地域で『満足』が『不満』を上回っている。

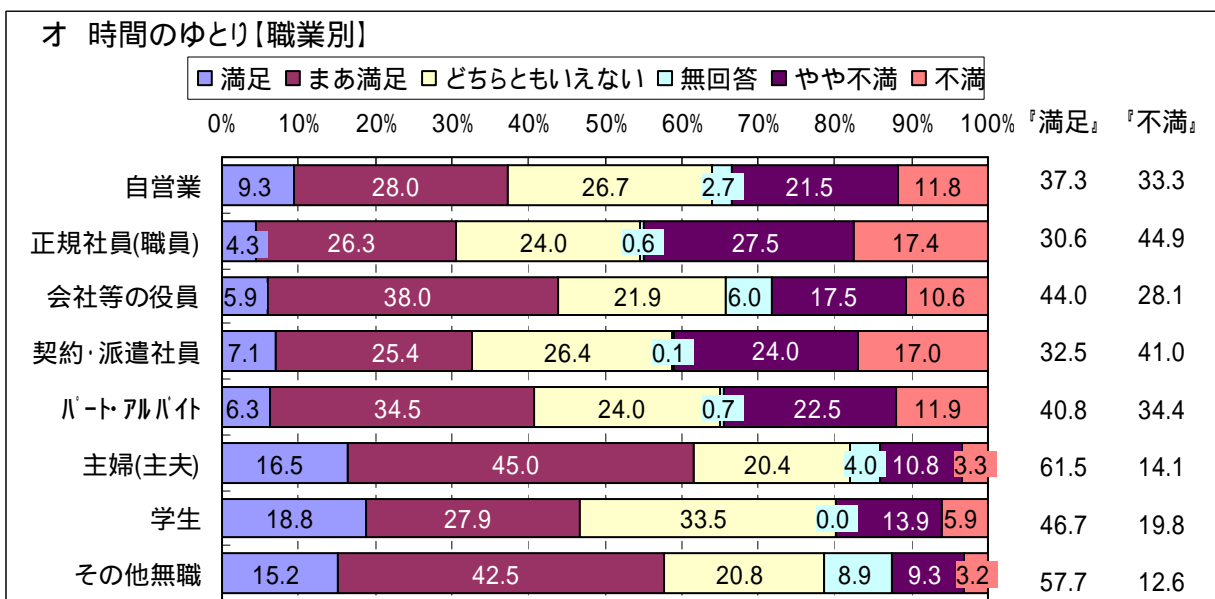


【性別、性・年代別】

男女ともに、60代以上の年代は『満足』が多く『不満』が少ない。男性40代は『満足』が最も少なく『不満』が最も多い。



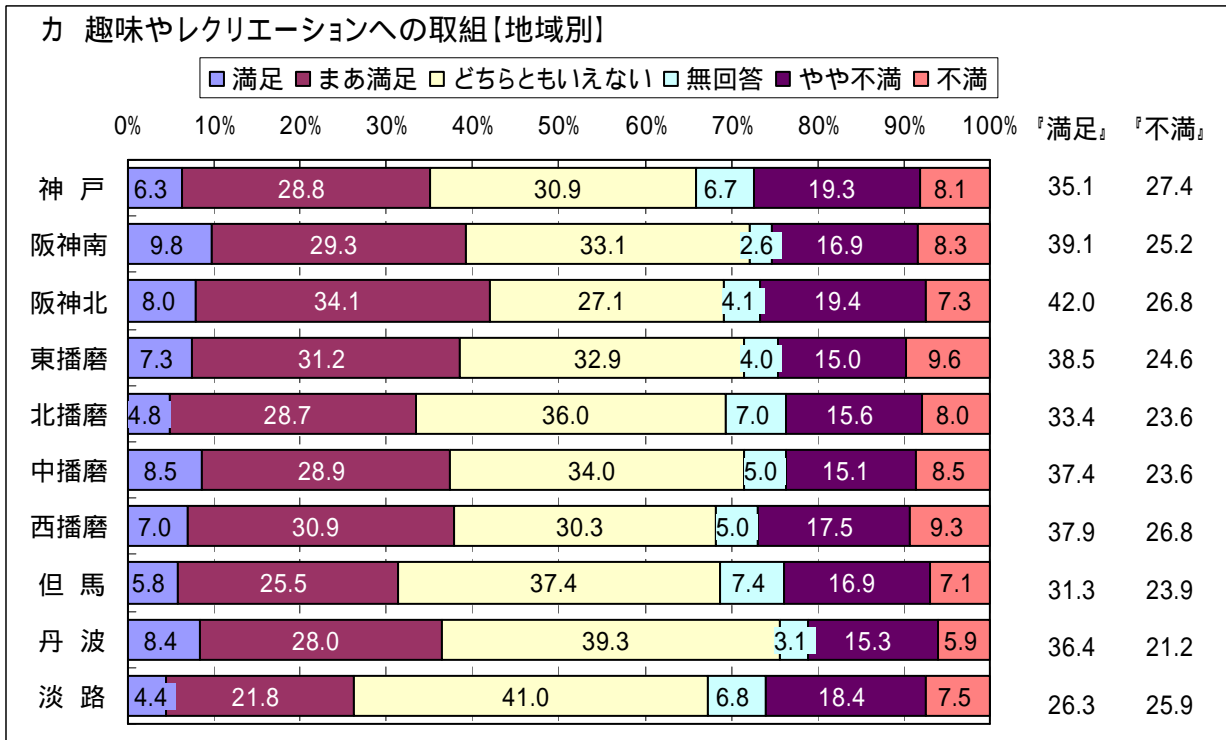
【職業別】



〔カ 趣味やレクリエーションへの取組〕

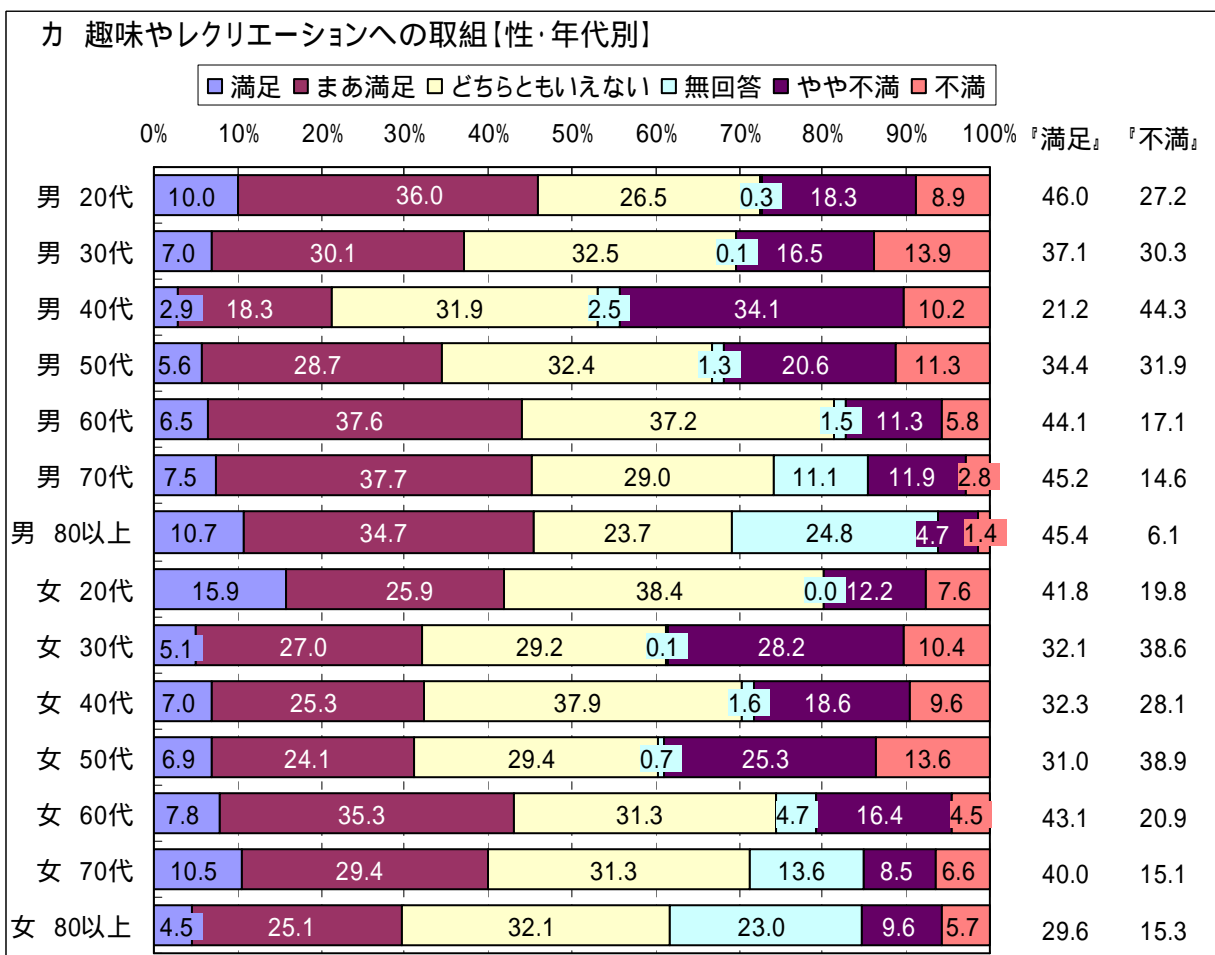
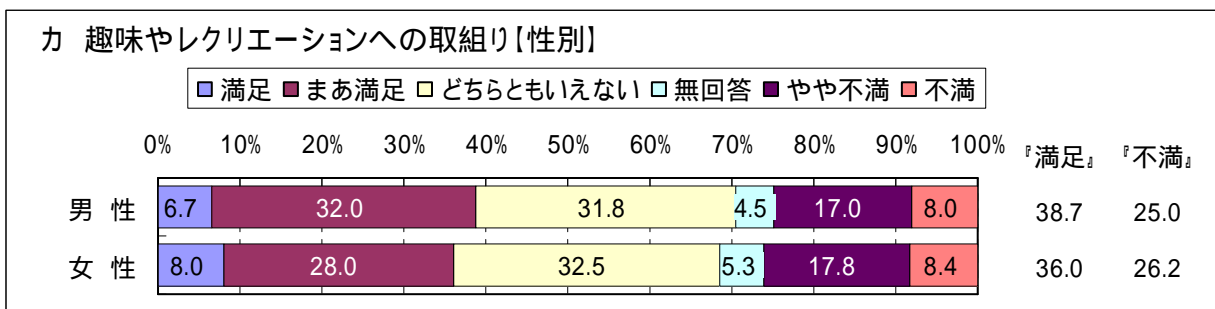
【地域別】

全地域で『満足』が『不満』を上回っている。

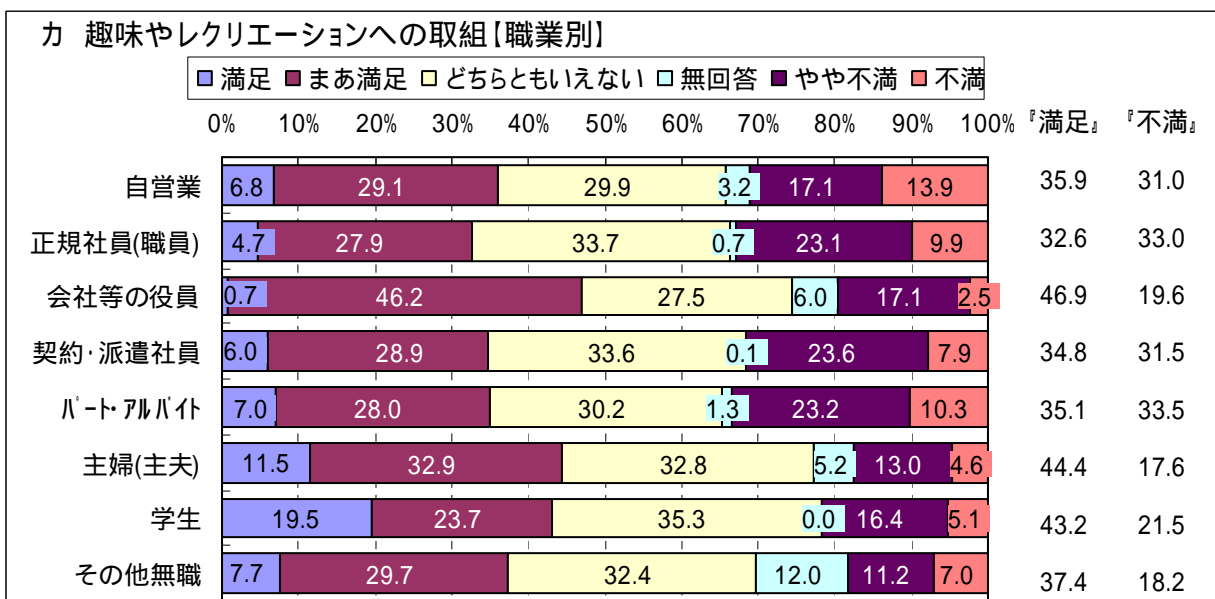


【性別、性・年代別】

男女とも、30代～50代で『満足』が少なく『不満』が多い傾向がみられ、特に男性40代は顕著である。



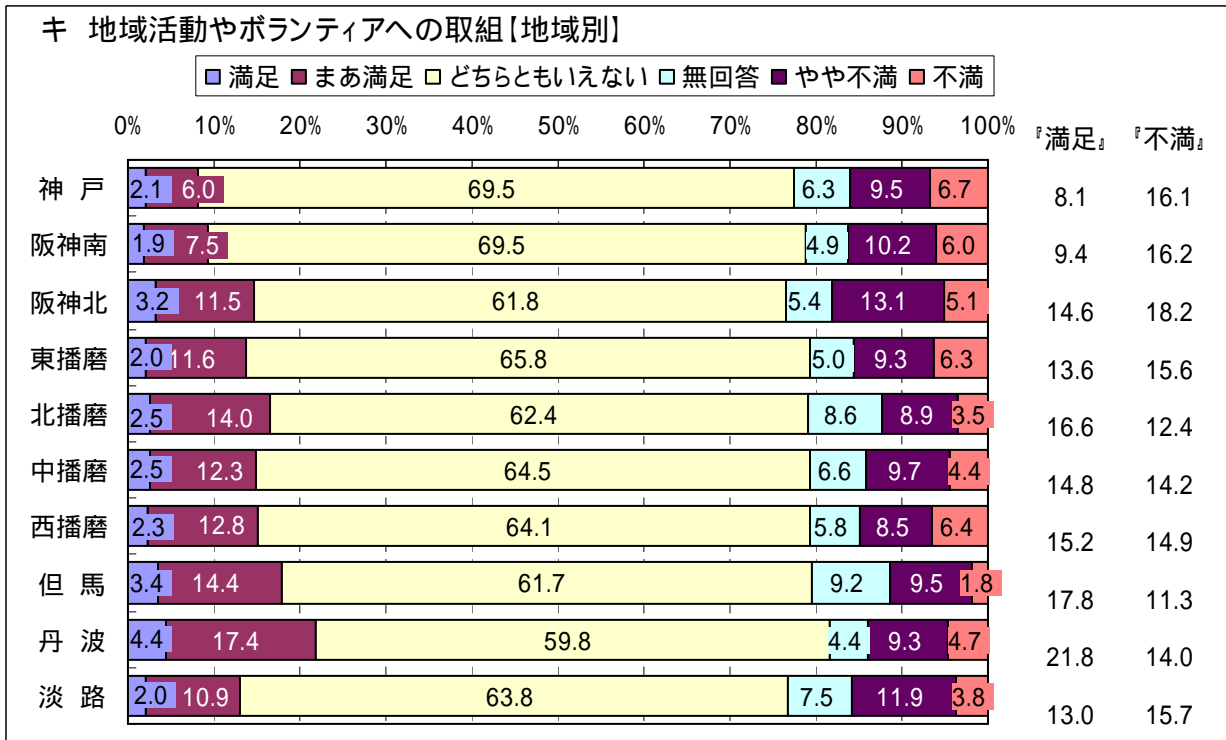
【職業別】



〔キ 地域活動やボランティアへの取組〕

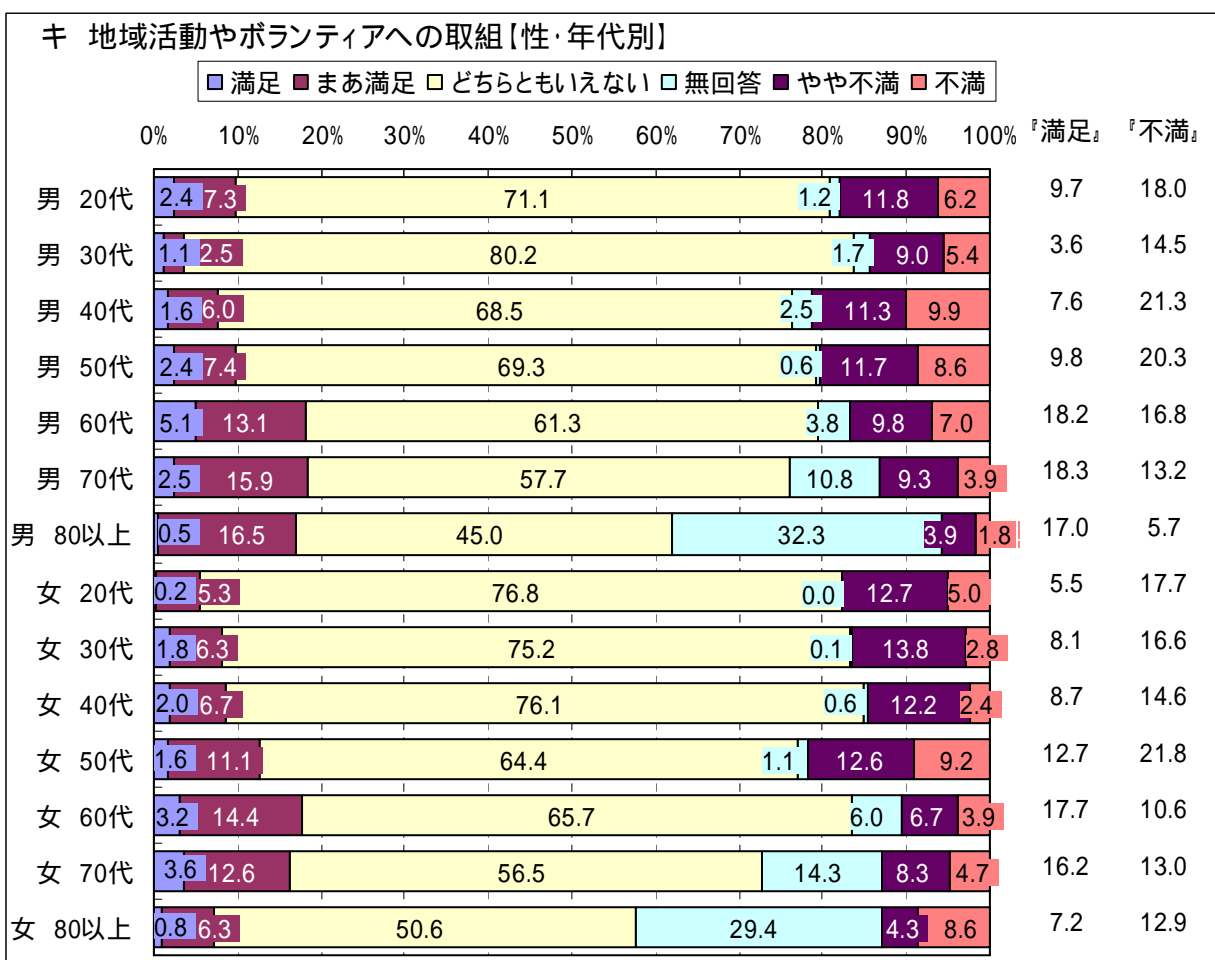
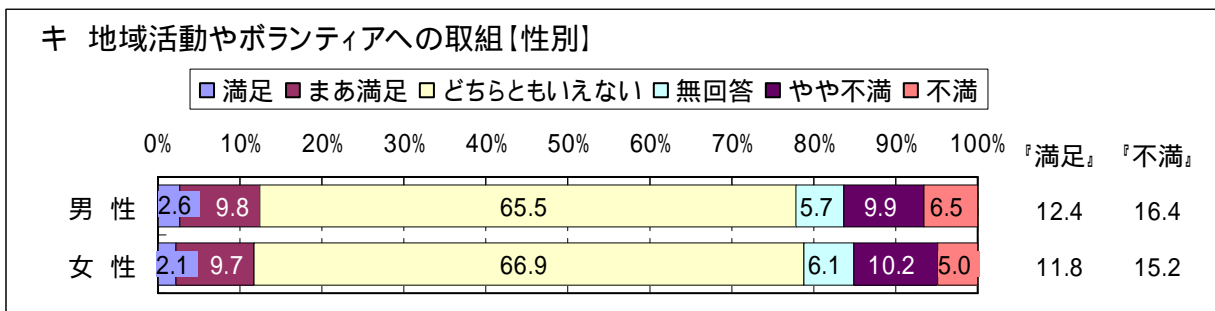
【地域別】

全地域で「どちらともいえない」が多い。

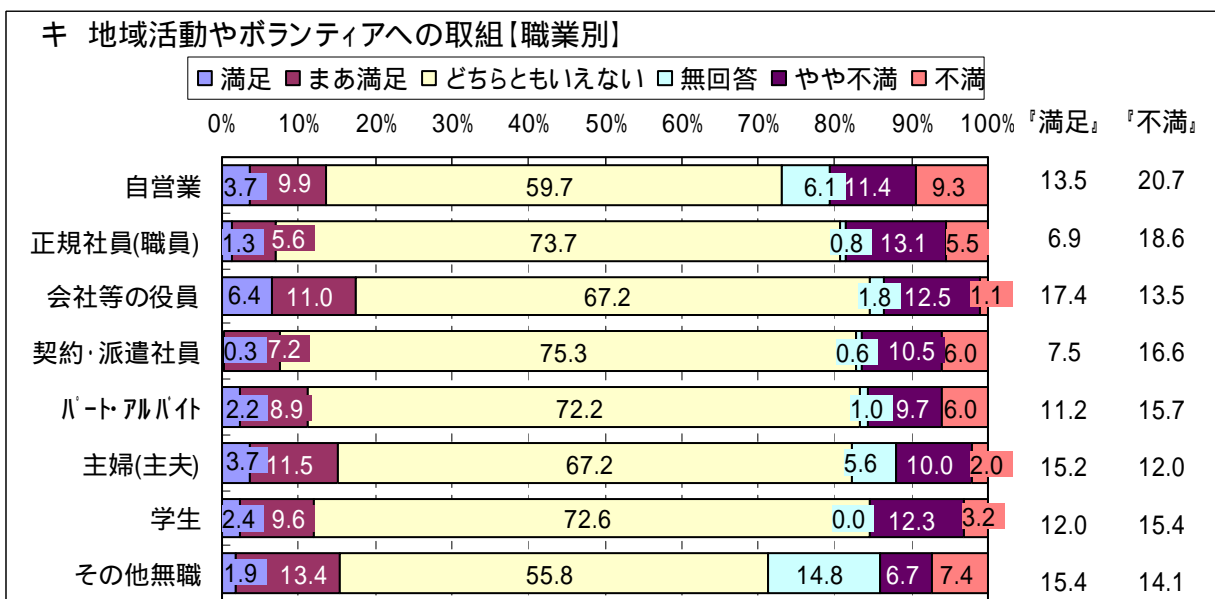


【性別、性・年代別】

男女ともに、『満足』は60代、70代で多く、若い年代で少ない。



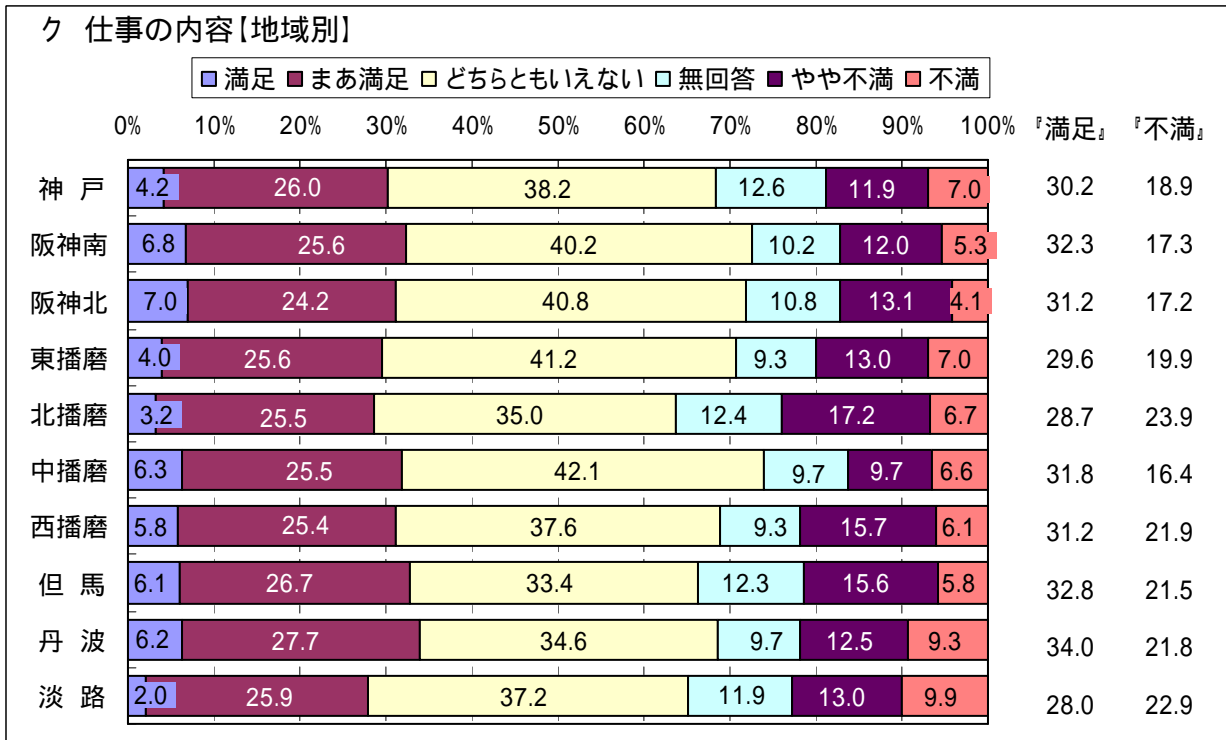
【職業別】



〔ク 仕事の内容〕

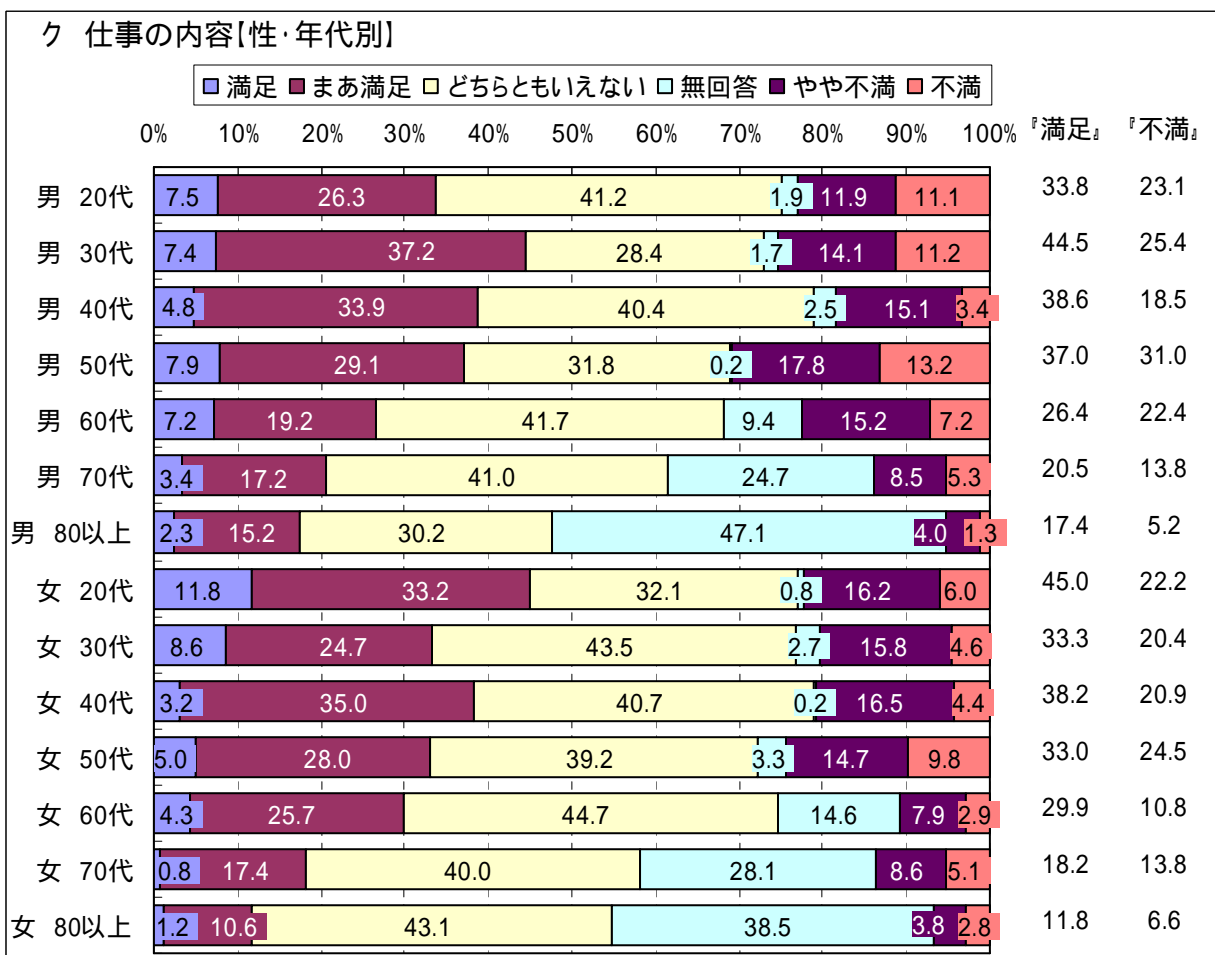
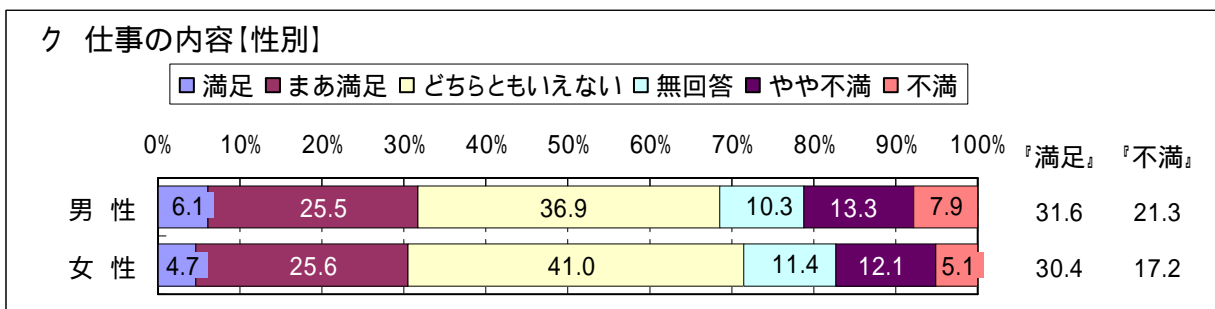
【地域別】

全地域で『満足』が『不満』を上回っているものの、「どちらともいえない」が最も多い。

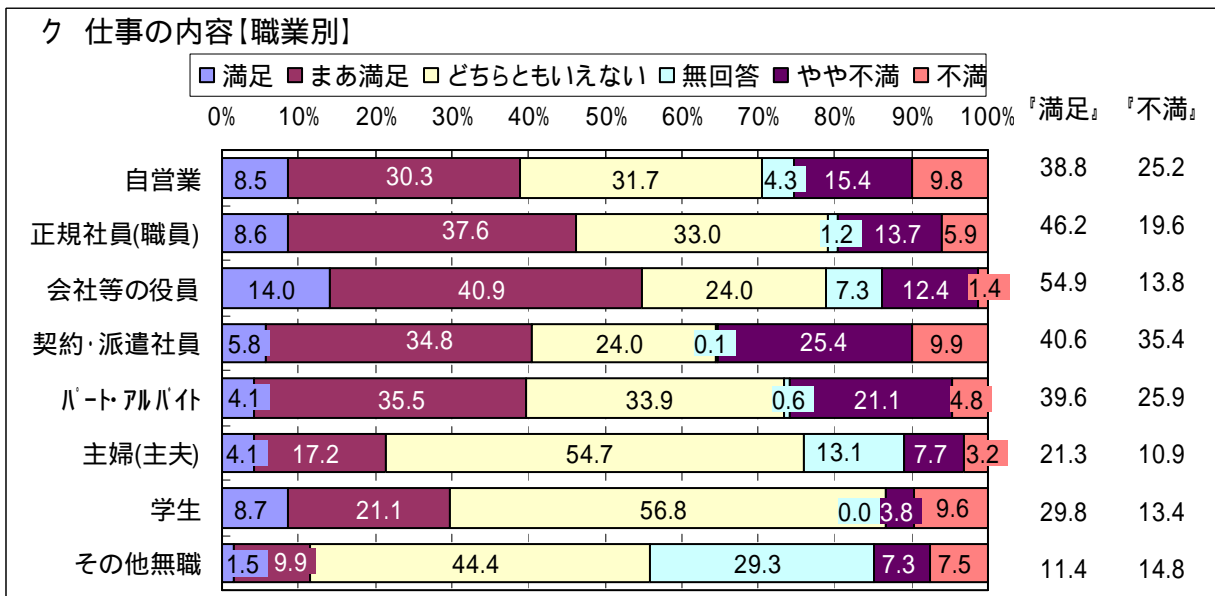


【性別、性・年代別】

男女とも、『満足』が『不満』を上回っている。『満足』は男性30代と女性20代で多く4割を上回る一方、『不満』は男性50代のみ3割を上回っている。



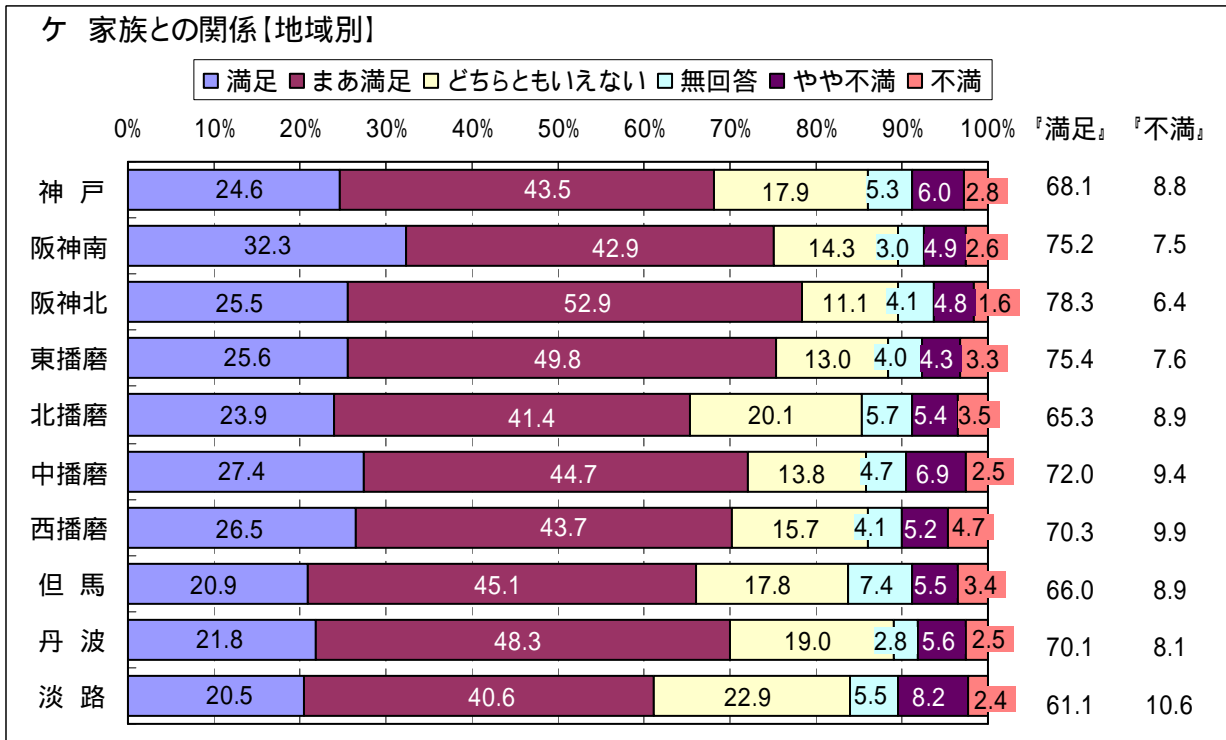
【職業別】



〔ケ 家族との関係〕

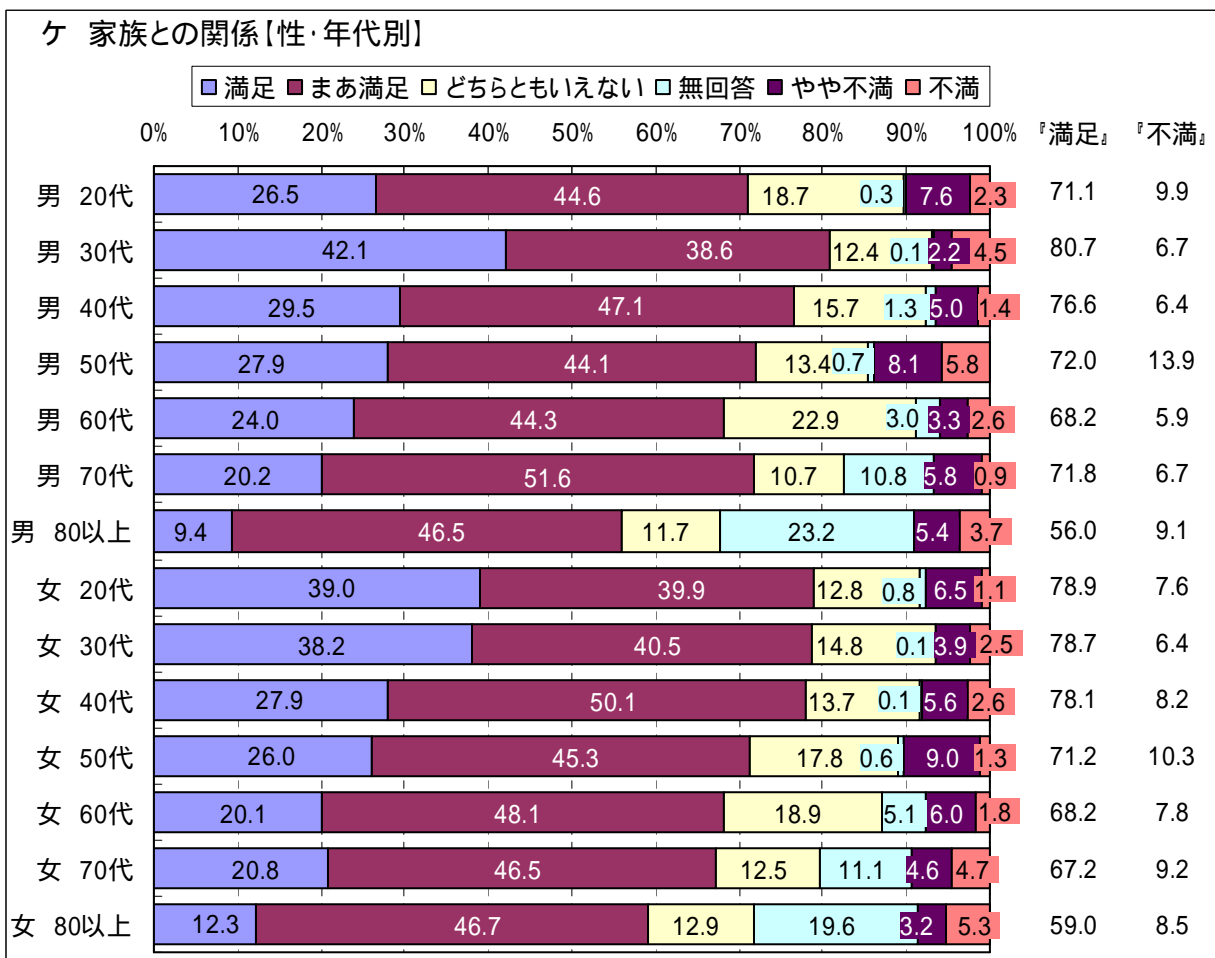
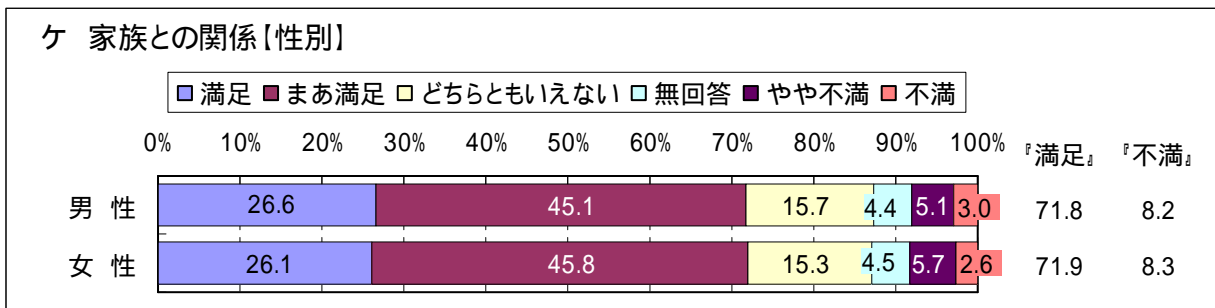
【地域別】

全地域で『満足』が6割～7割台と多い。

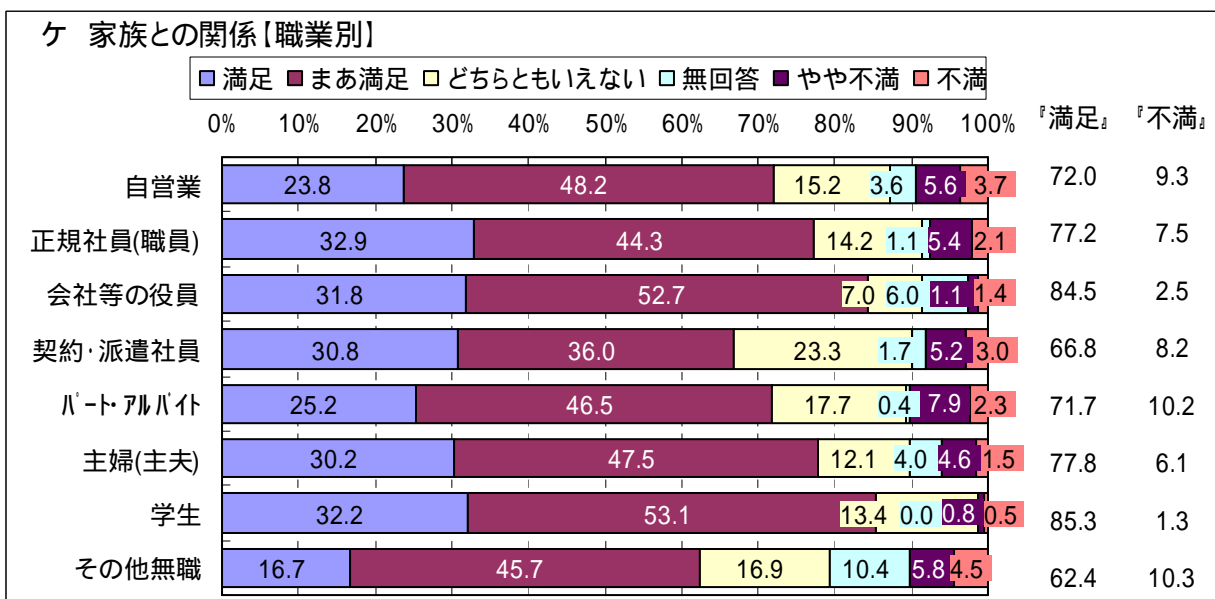


【性別、性・年代別】

男女とも、年代が高くなるほど『満足』が少なくなる傾向がみられる。一方、『不満』は、男女ともに50代が最も多く1割を上回っている。



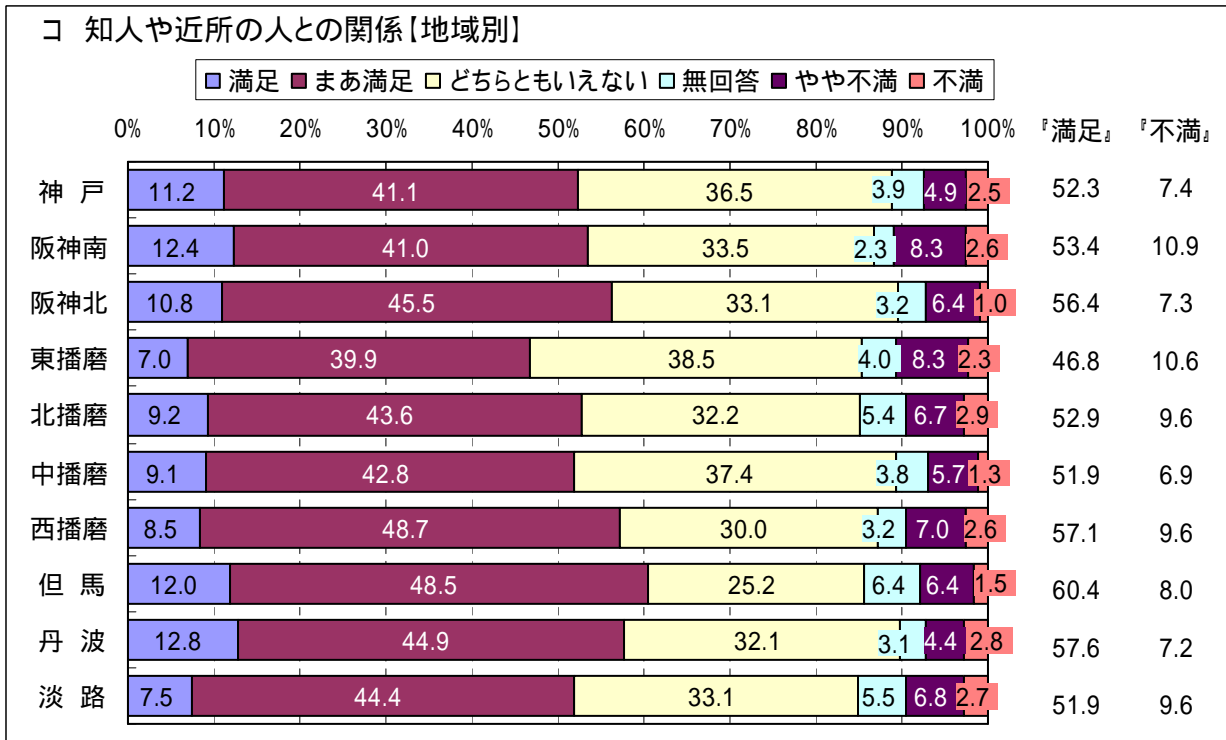
【職業別】



〔コ 知人や近所の人との関係〕

【地域別】

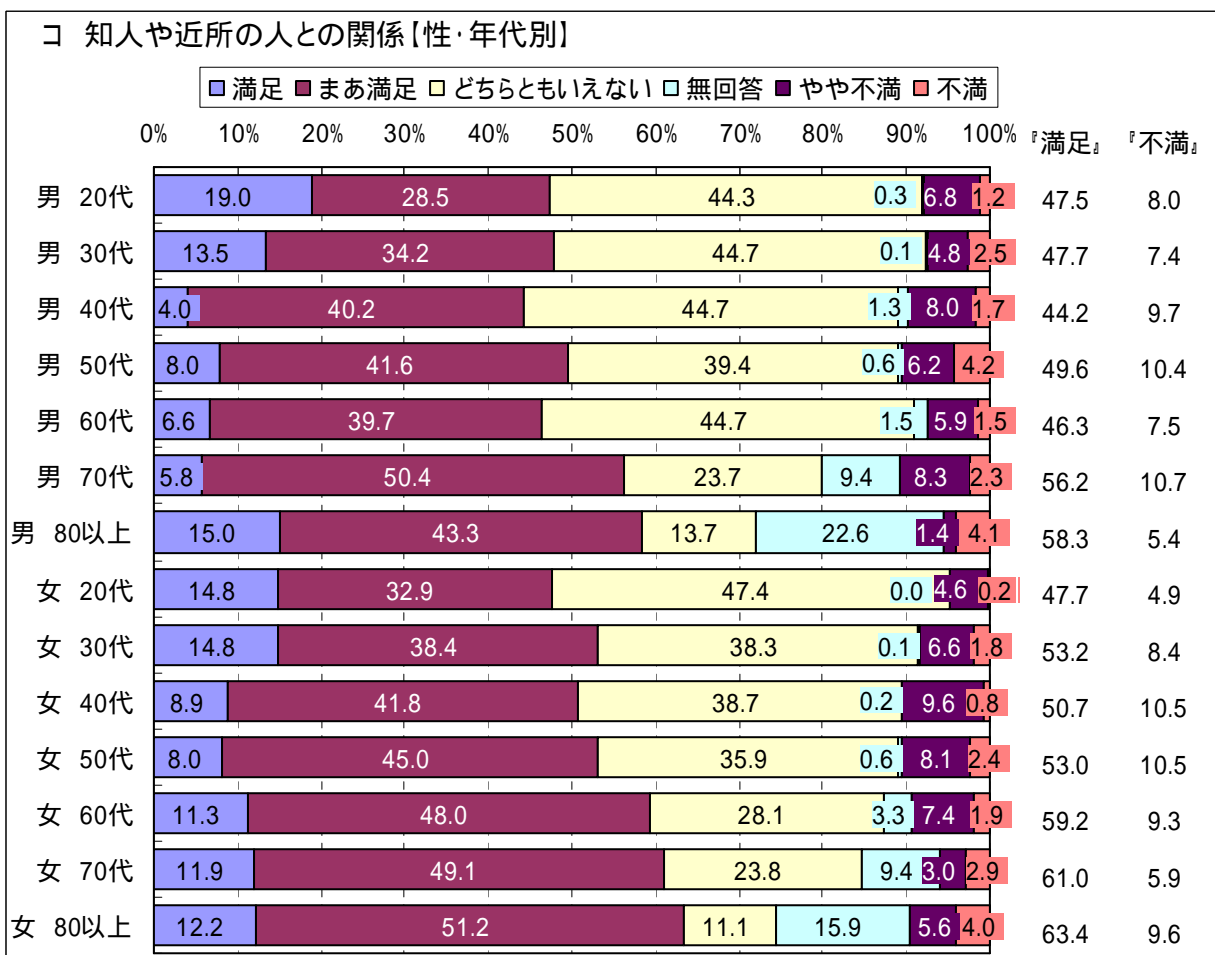
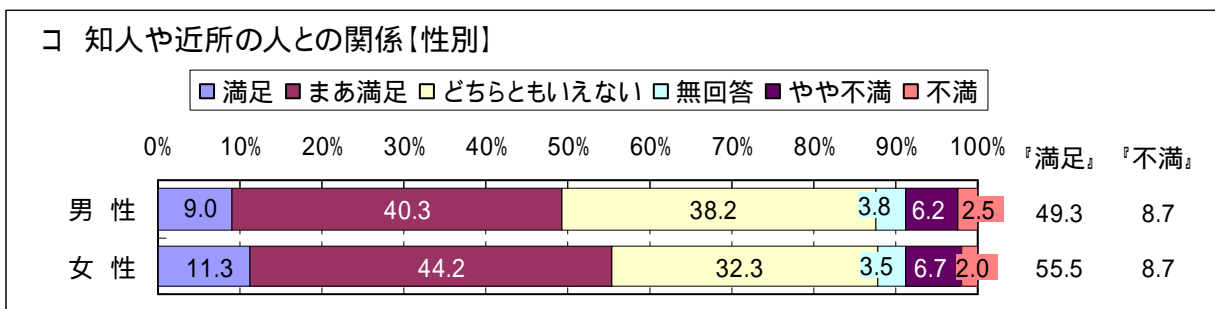
全地域で『満足』が5割を上回り、『不満』は概ね1割以下である。



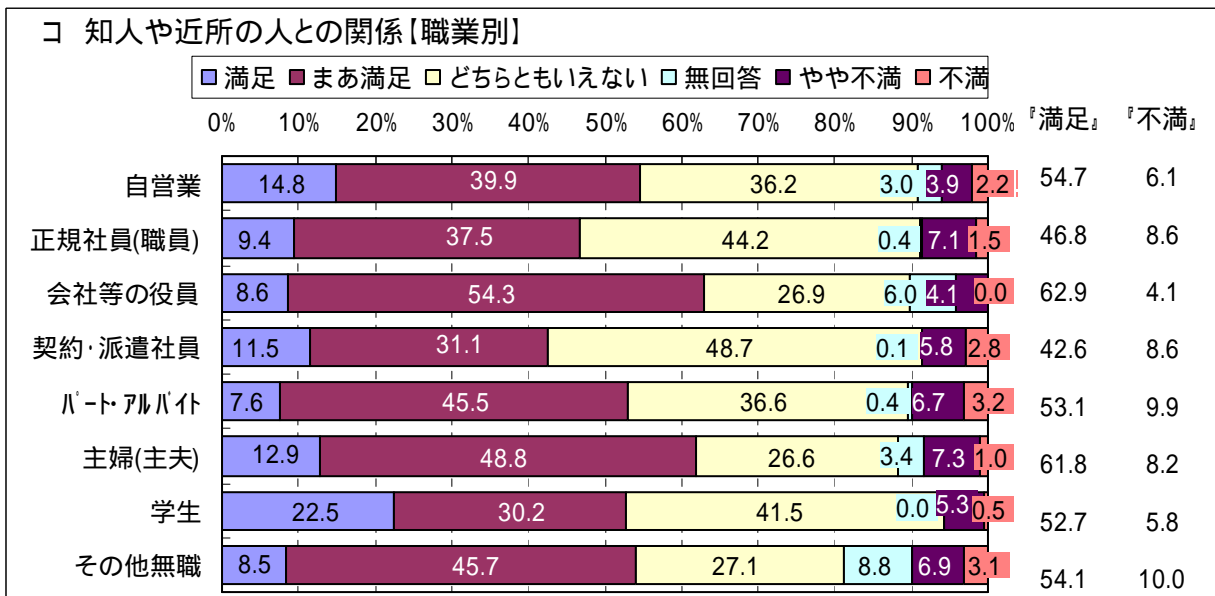
【性別、性・年代別】

女性の方が『満足』が多い。

年代別では、年代が高くなるほど『満足』が多くなる傾向がみられる。



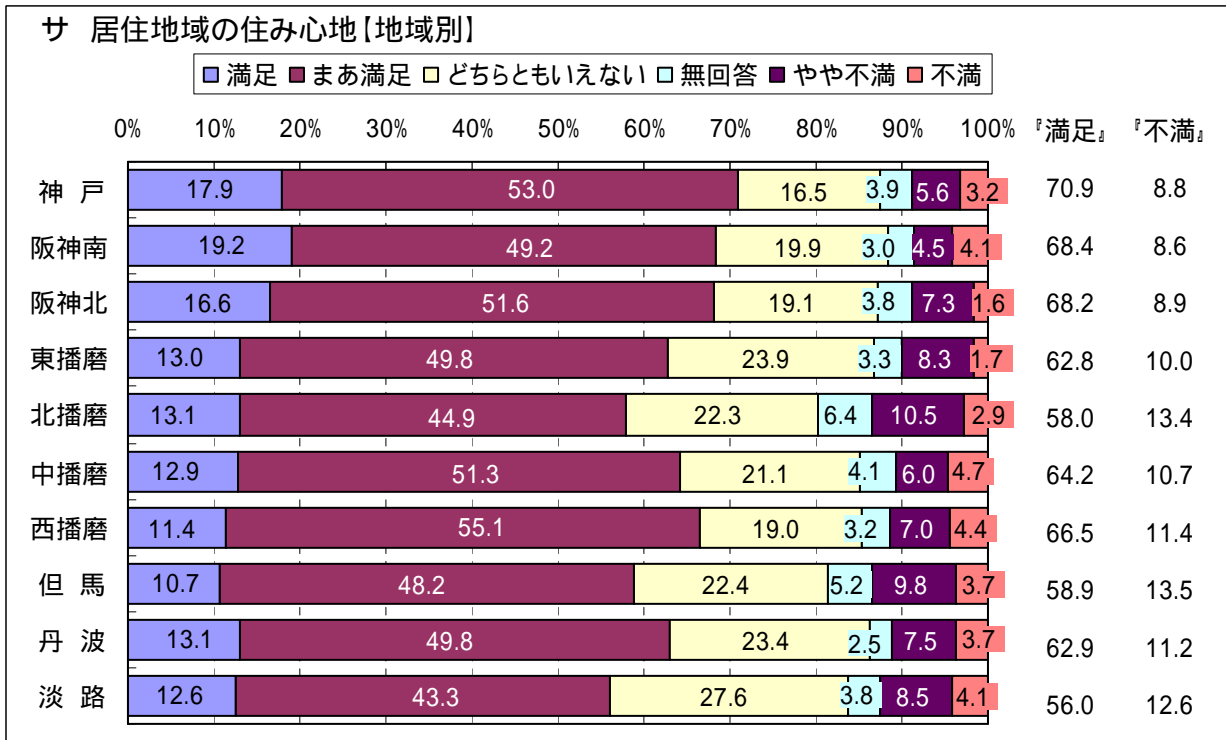
【職業別】



〔サ 居住地域の住み心地〕

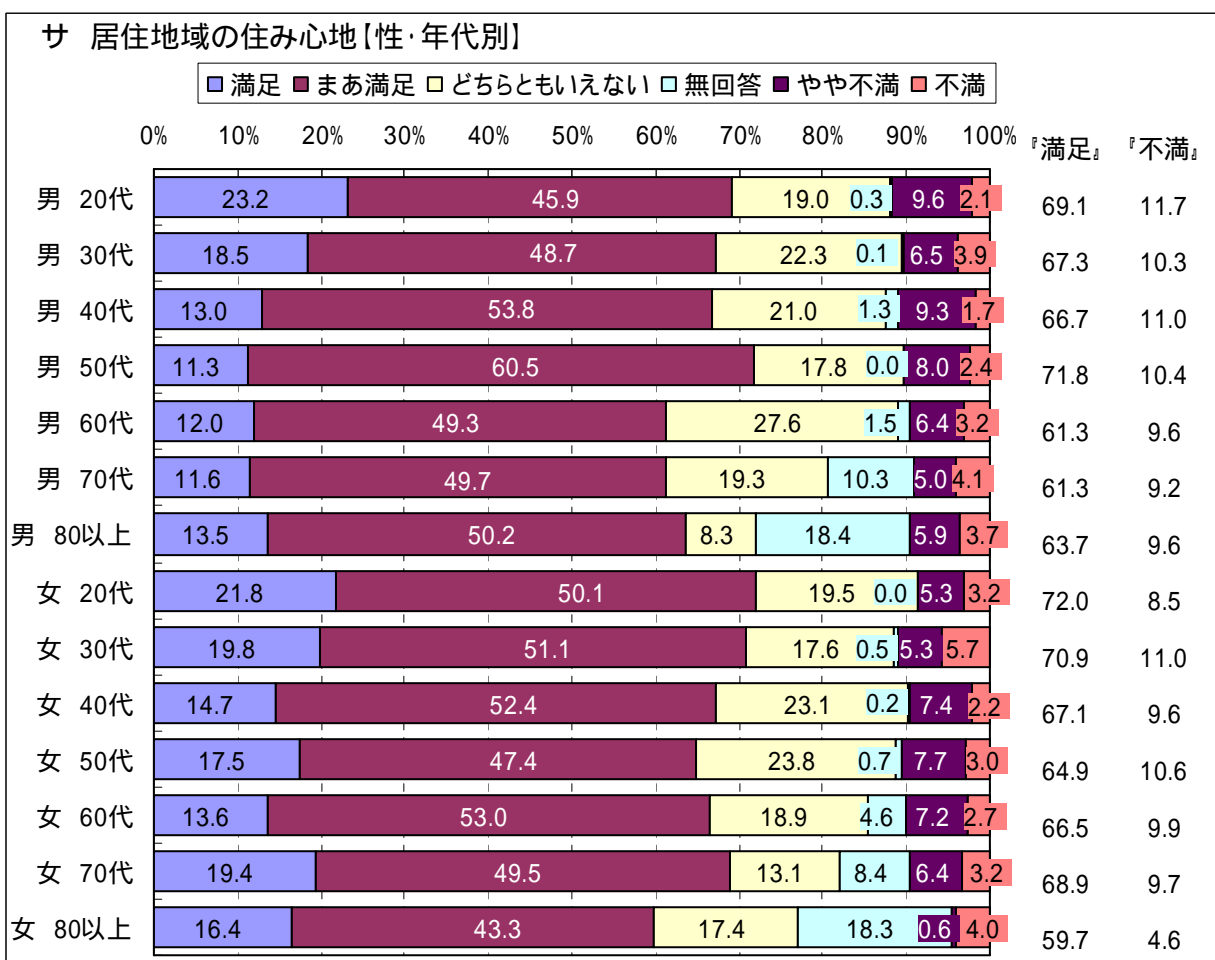
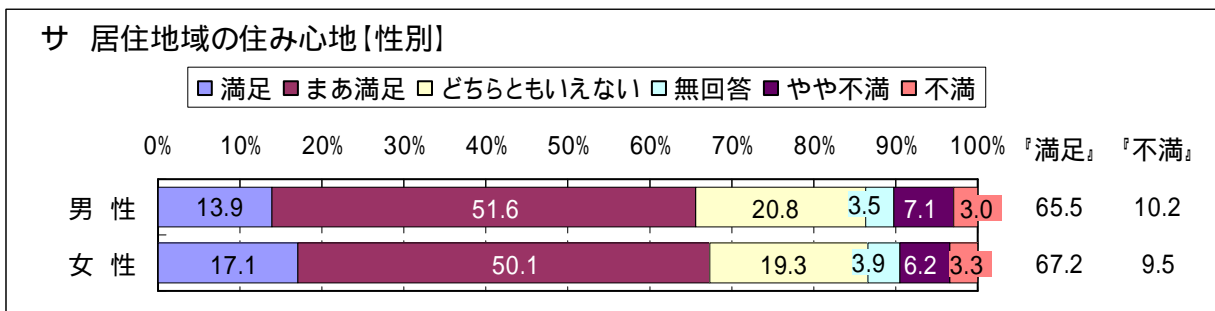
【地域別】

全地域で『満足』が『不満』を大きく上回っており、特に阪神間で『満足』が多い。

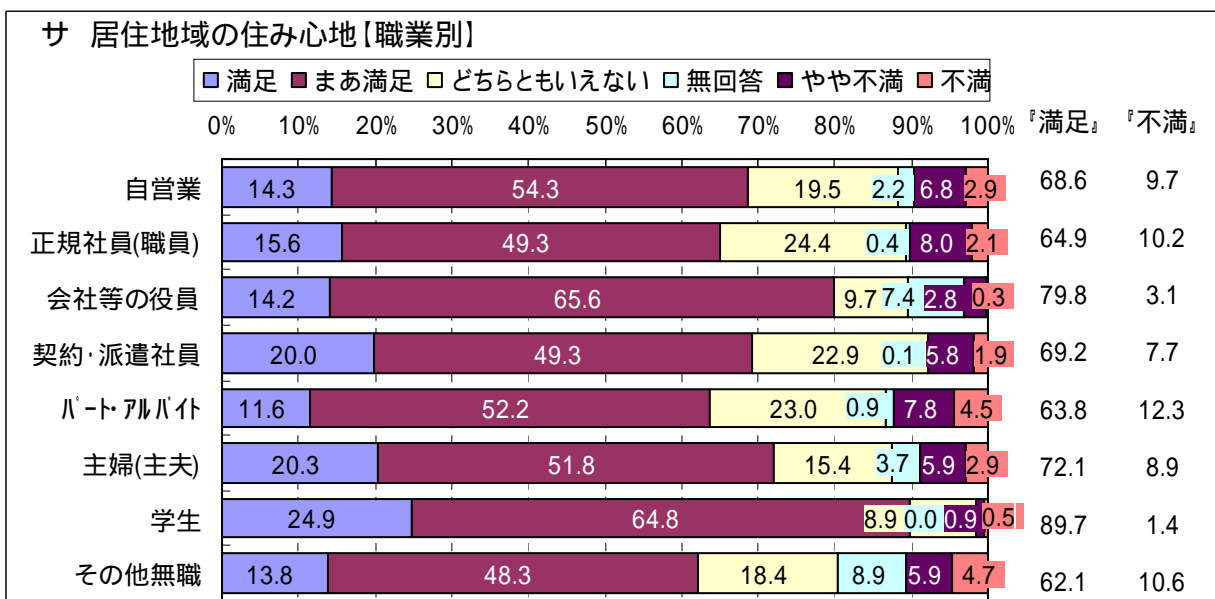


【性別、性・年代別】

性別、年代別で大きな差はみられず、男女とも全年代で『満足』が『不満』を大きく上回っている。



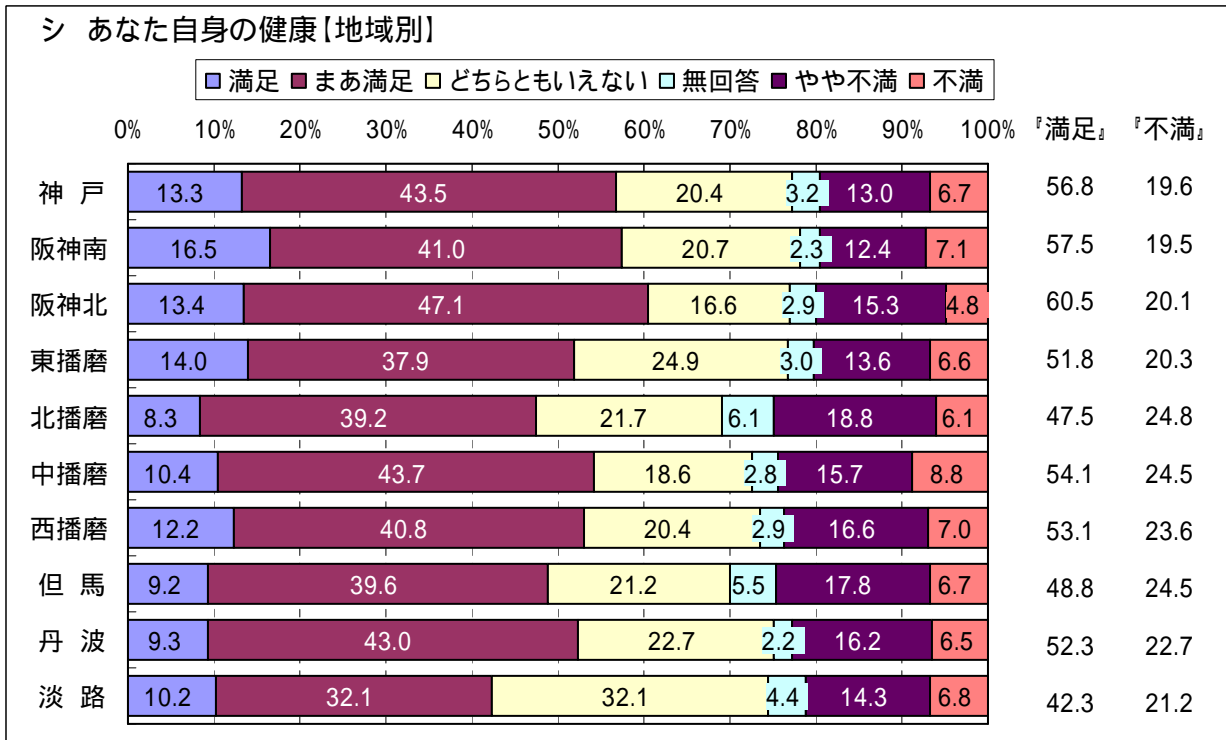
【職業別】



〔シ あなた自身の健康〕

【地域別】

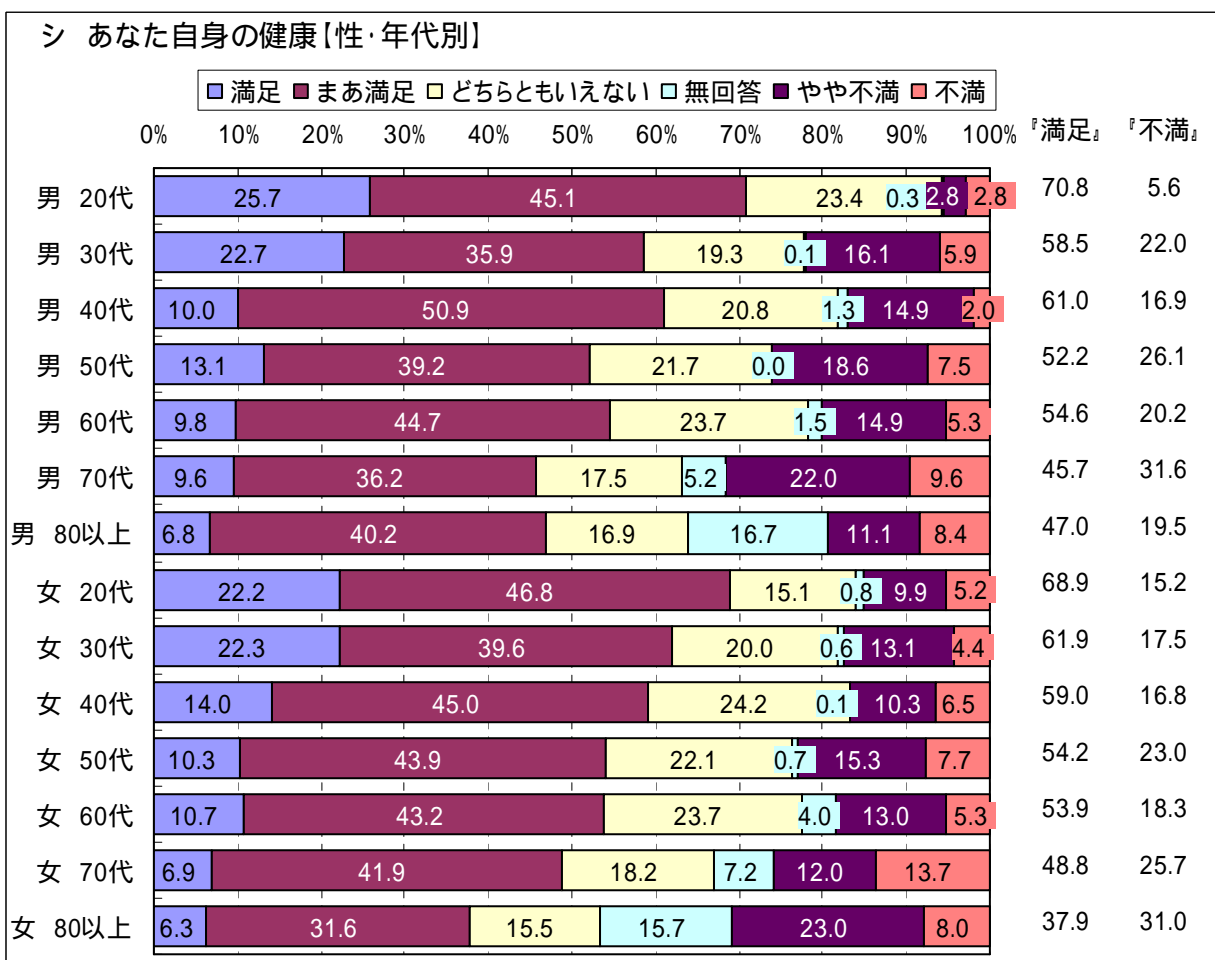
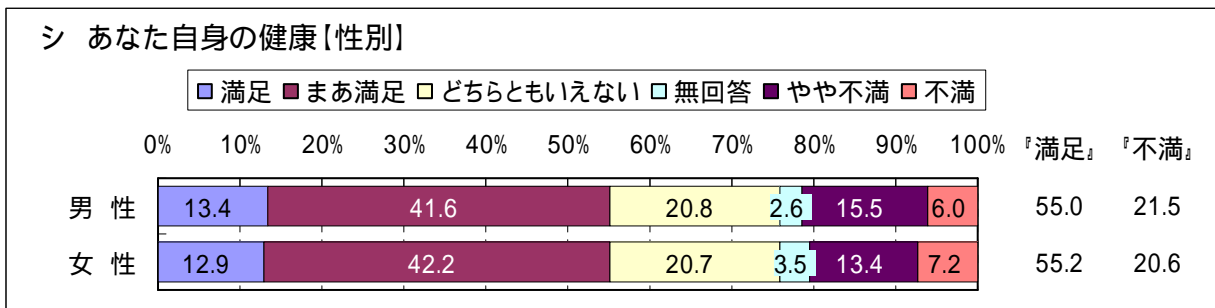
全地域で『満足』が『不満』を上回っている。



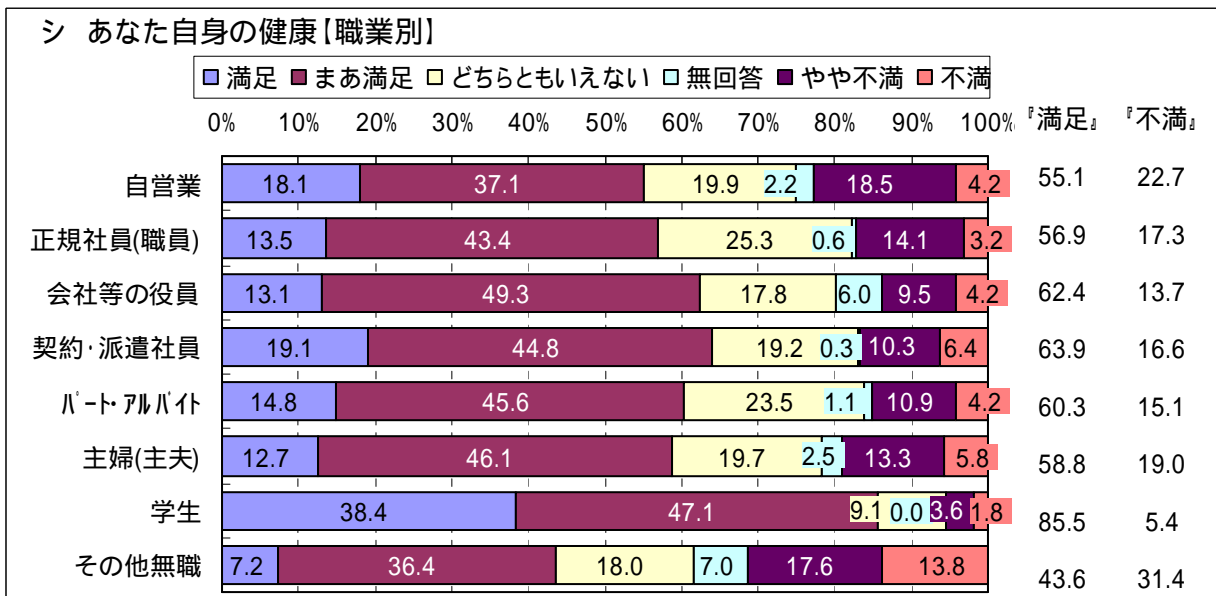
【性別、性・年代別】

性別による差はほとんどみられない。

年代別では、年代が高くなるほど『満足』が少なくなる傾向がみられ、男性70代と女性80以上では『不満』が3割を上回っている。



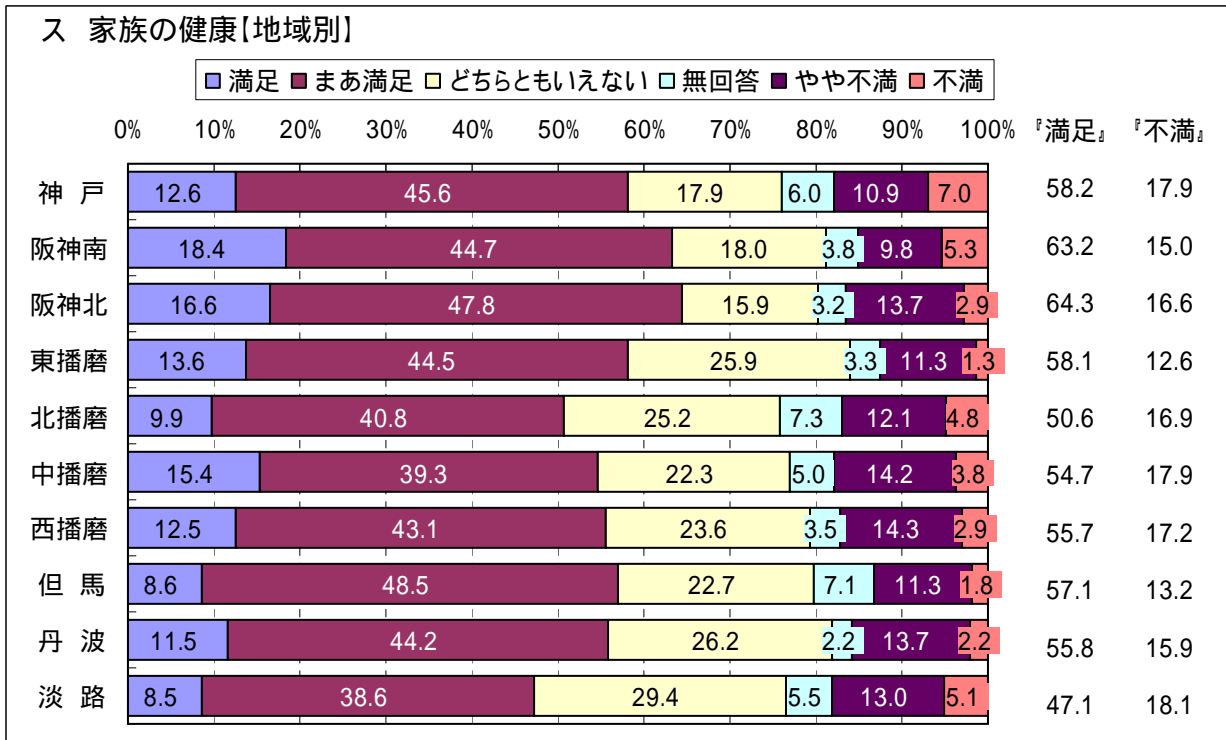
【職業別】



〔ス 家族の健康〕

【地域別】

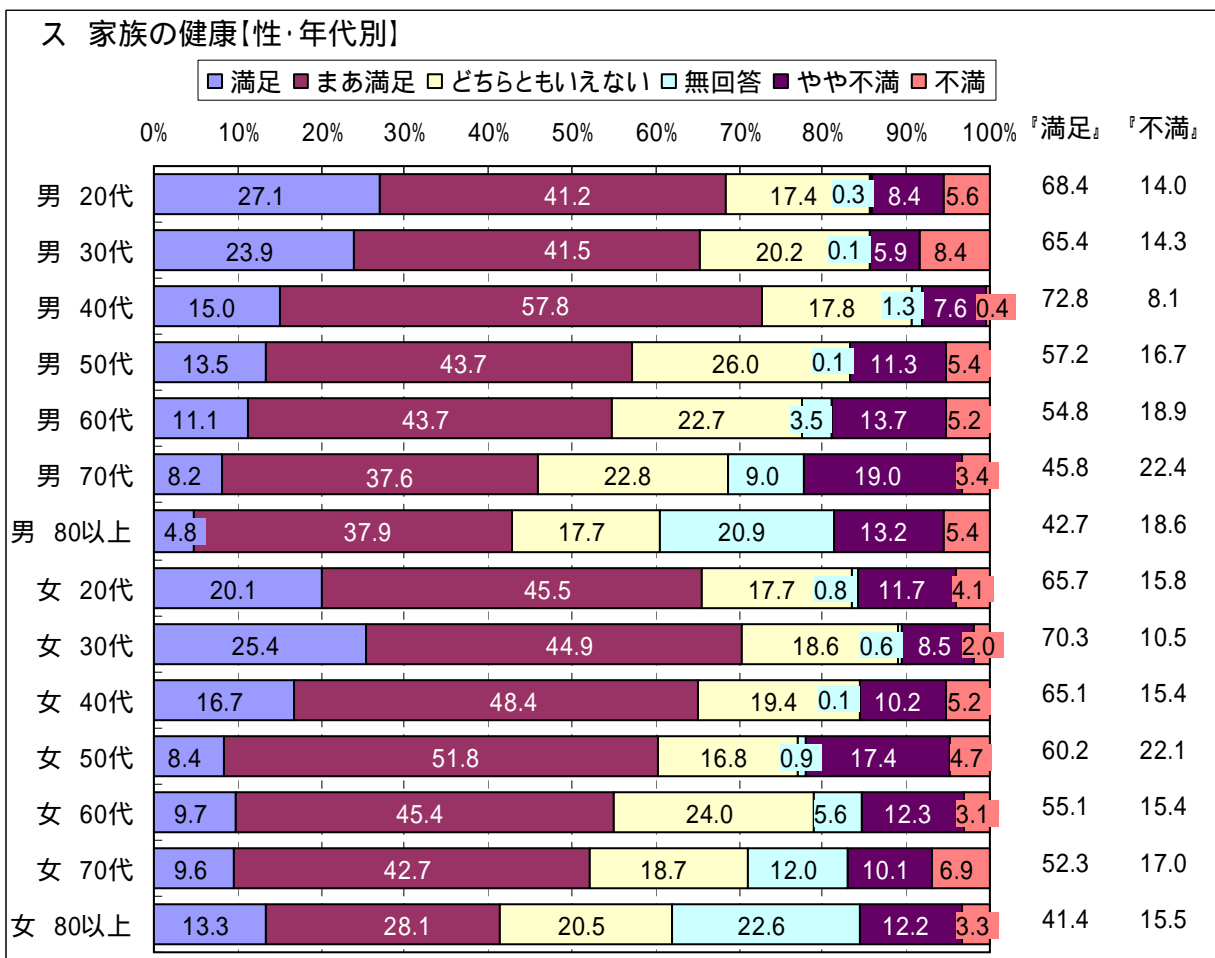
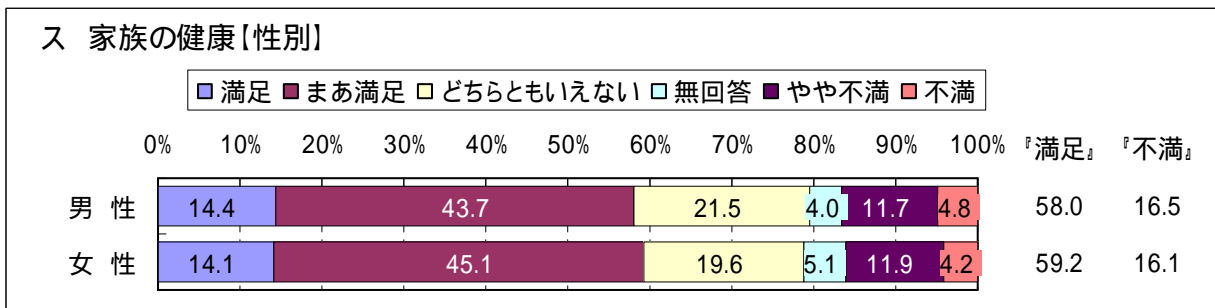
全地域で『満足』が『不満』を大きく上回っている。



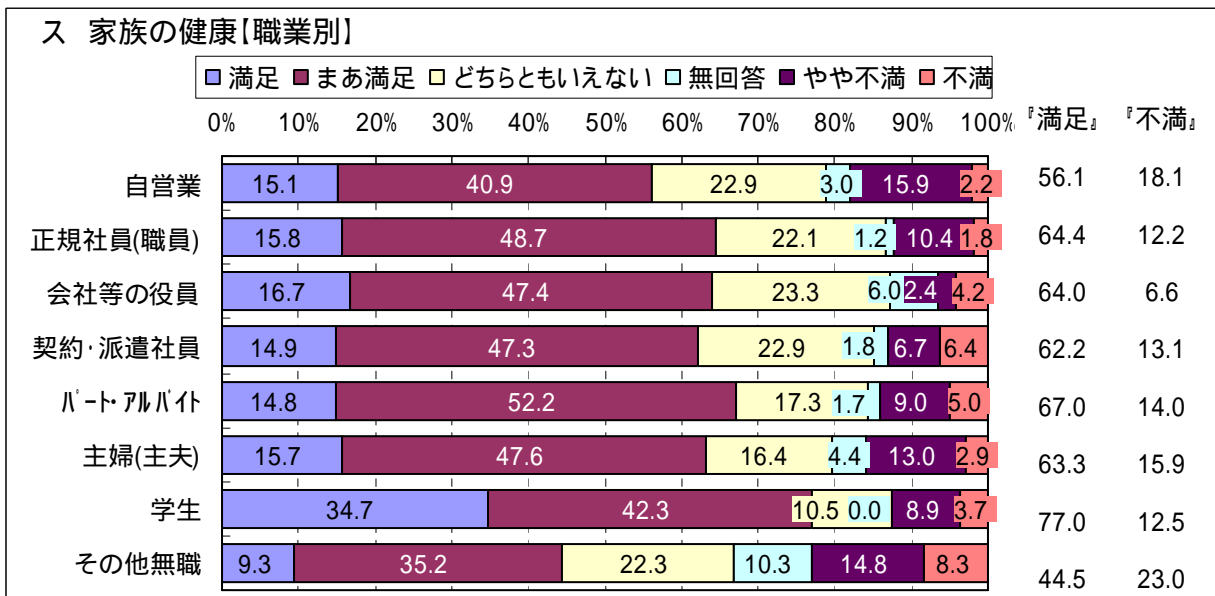
【性別、性・年代別】

性別による差はほとんどみられない。

年代別では、年代が高くなるほど『満足』が少なくなる傾向がみられ、男性70代と女性50代では『不満』が2割を上回っている。



【職業別】



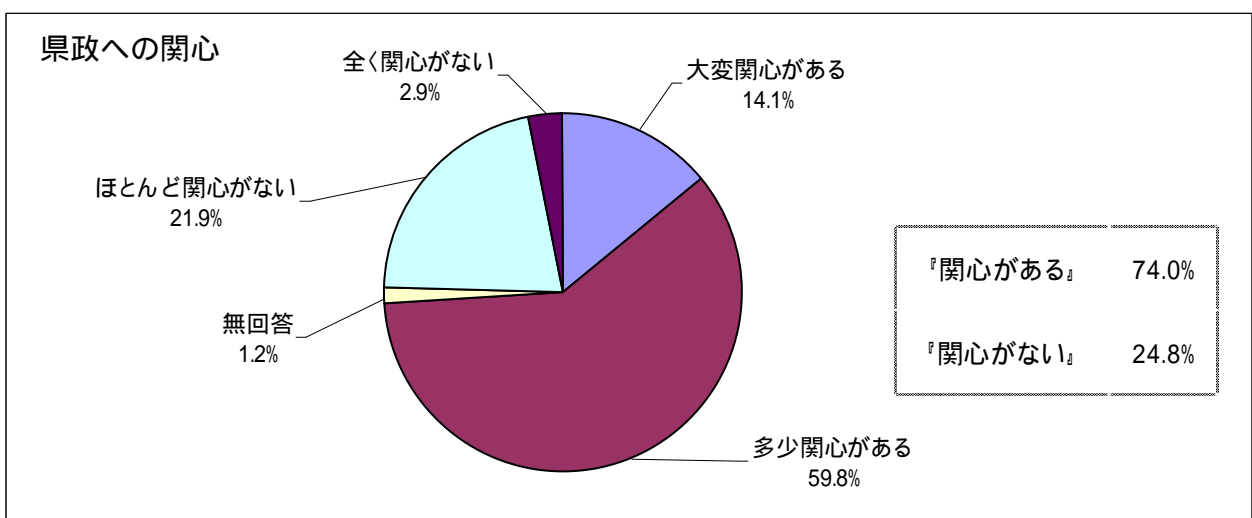
問 1 7 県政への関心

問 1 7 あなたは県政に関心がありますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に 印をつけてください。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 大変関心がある | 3 ほとんど関心がない |
| 2 多少関心がある | 4 全く関心がない |

【全 県】

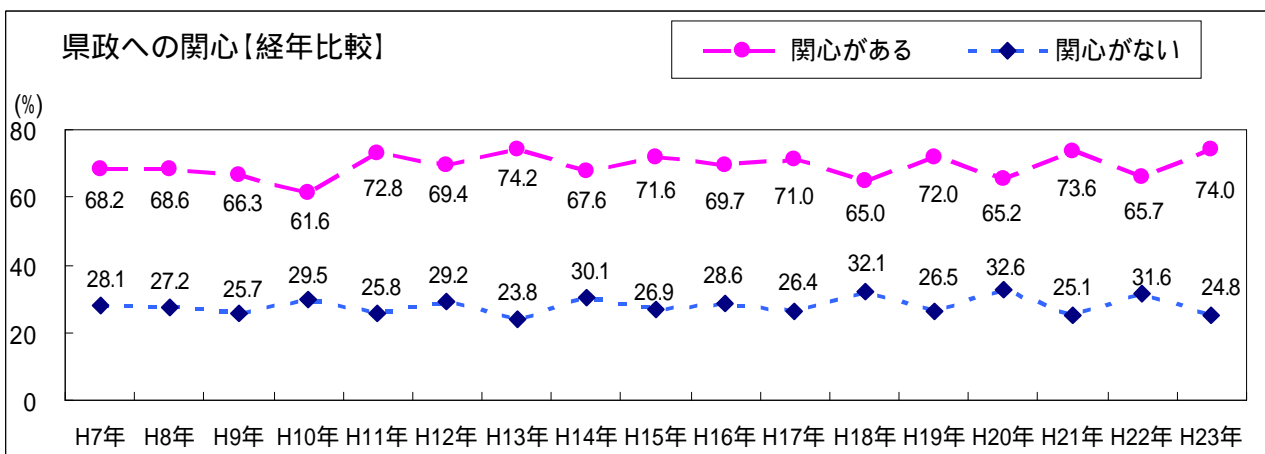
「大変関心がある」と「多少関心がある」を合わせた『関心がある』が7割半ばに達し、4人中3人が『関心がある』となっている。



【経年比較】

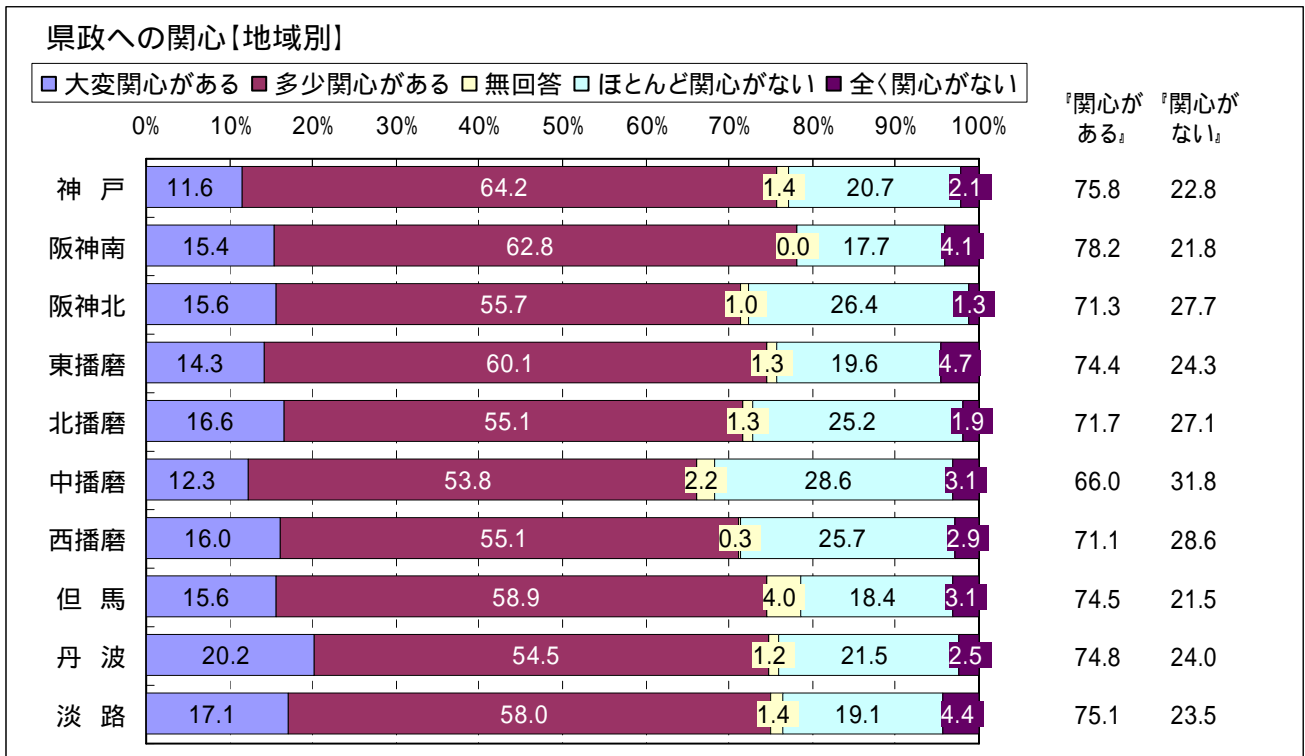
『関心がある』は前年より8.3ポイント増加しており、平成13年調査に次いで過去2番目に高い水準となっている。

『関心がない』は前年より6.8ポイント減少しており、こちらも平成13年調査に次いで過去2番目に低い水準となっている。



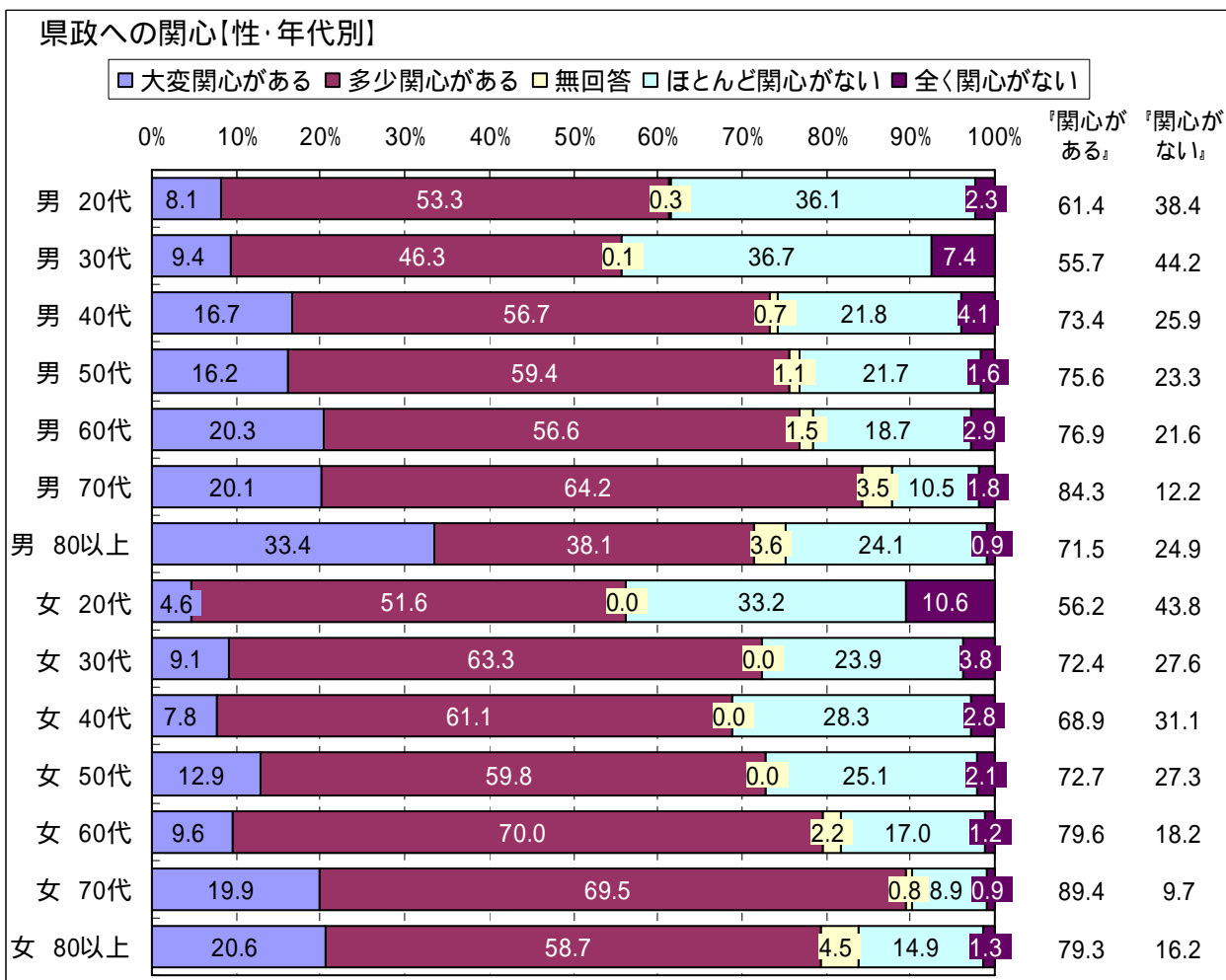
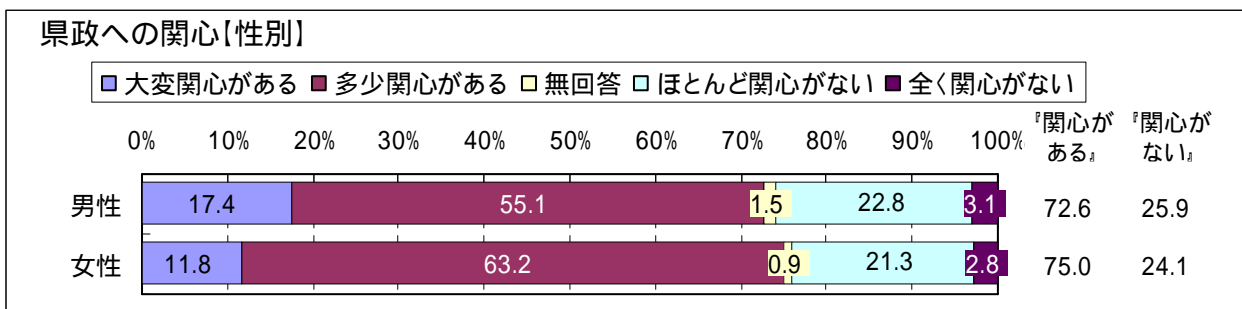
【地域別】

全地域で『関心がある』が『関心がない』を大きく上回っており、中播磨以外の9地域で『関心がある』が7割を超えている。



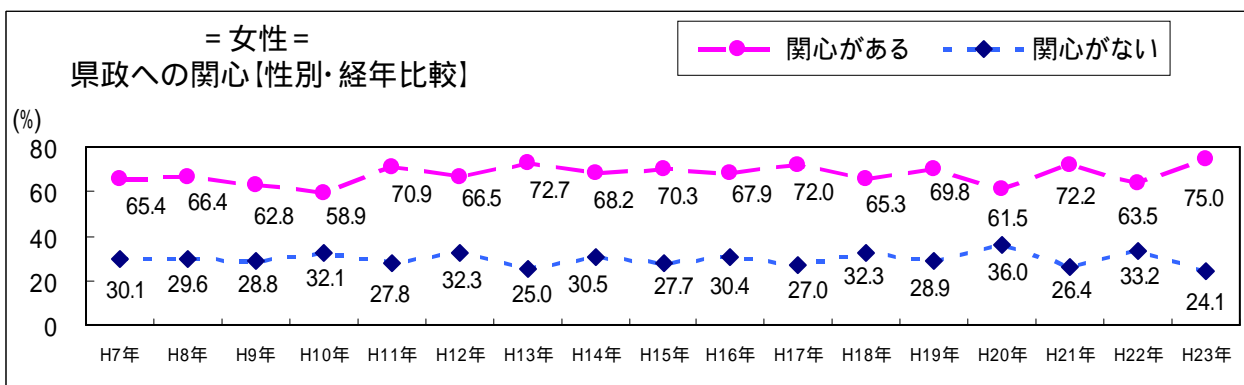
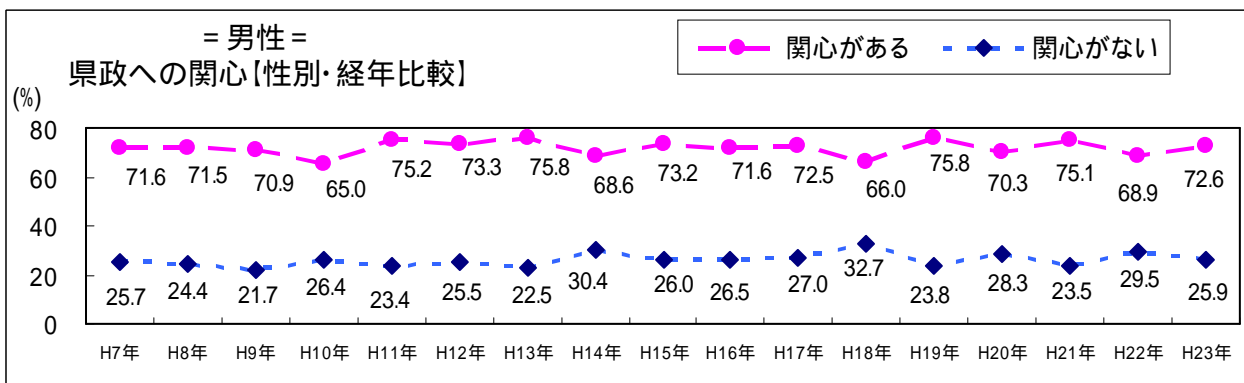
【性別、性・年代別】

性別では、「大変関心がある」は男性の方が多く、男女ともに年代が高くなるほど『関心がある』が多くなる傾向がみられる。

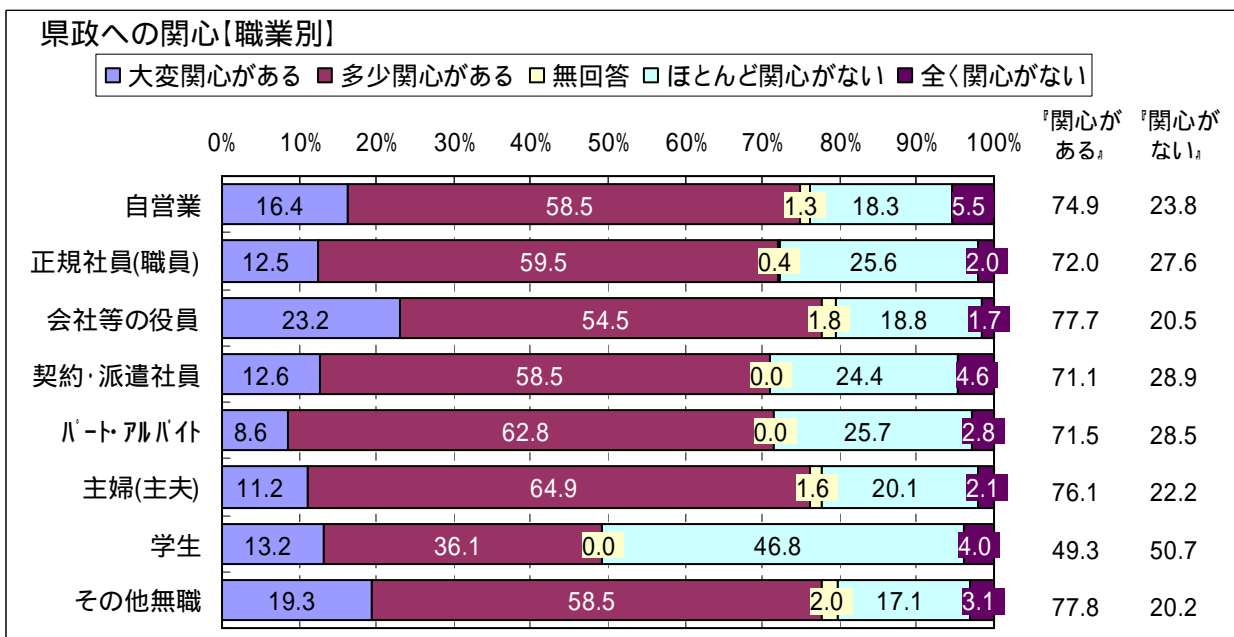


【性別（経年比較）】

男女とも、『関心がある』が増え、『関心がない』が減っているが、特に女性にその傾向が顕著である。



【職業別】



問 1 8 県政への評価

問 1 8 県の行っている仕事をあげています。あなたのお考えに近いものをそれぞれの項目ごとに1

つ選んで番号に 印をつけてください。

- ア 国際的な交流や協力
- イ 県政の広報・広聴活動
- ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力
- エ 防災対策の充実
- オ 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援
- カ 豊かな感性を培う芸術文化の振興
- キ 自然環境を守り育てる環境対策
- ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策
- ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実
- コ 創造的活力に富む中小企業の育成
- サ 雇用の安定と職業能力の開発
- シ 農林水産業の活性化対策
- ス 道路、鉄道、空港などの交通網の整備
- セ 良質な住宅の供給
- ソ 個性と能力を伸ばす学校教育の充実
- タ 交通安全・防犯対策
- チ 震災からの復興対策

1：よくやっている

3：どちらともいえない

5：もっと努力が必要

2：まあまあやっている

4：もう少し努力が必要

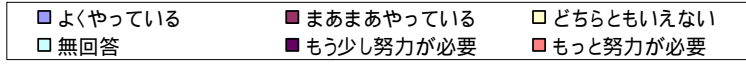
【全 県】

「よくやっている」と「まあまあやっている」を合わせた『やっている』は〔震災からの復興対策〕が最も多く、〔交通網の整備〕〔県政の広報・広聴活動〕〔防災対策の充実〕と続いている。

「もう少し努力が必要」と「もっと努力が必要」を合わせた『努力が必要』は、〔雇用の安定と職業能力の開発〕が最も多く、〔病気の予防や病院などの医療施設の充実〕〔中小企業の育成〕〔お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策〕と続いているが、前年と比較するといずれも減少している。

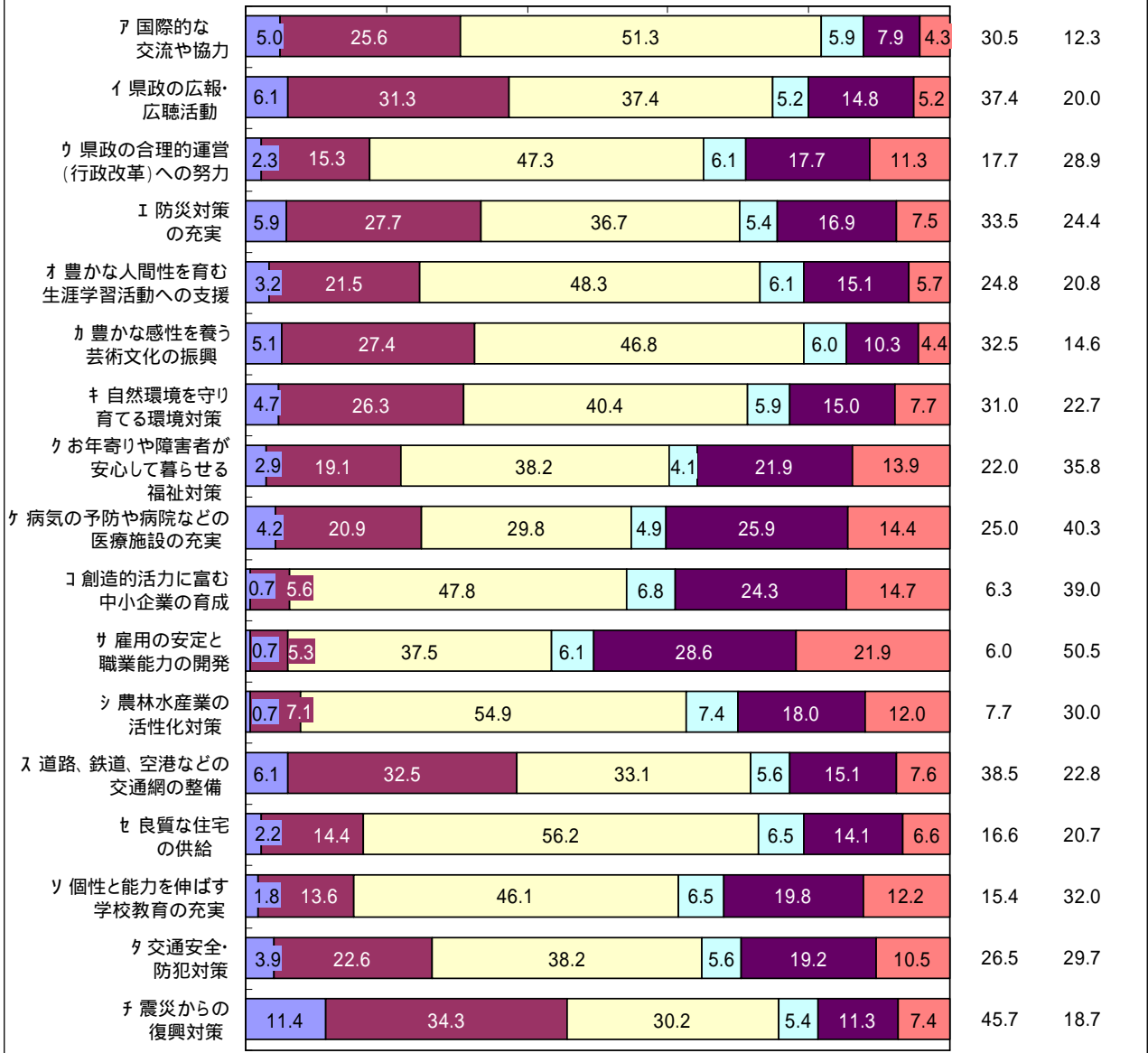
17項目中9項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。

県政への評価



0% 20% 40% 60% 80% 100%

『やっている』 『努力が必要』



【前年度比較】

前年との比較では『やっている』は〔県政の広報・広聴活動〕(8.1ポイント増)〔交通網の整備〕(7.9ポイント増)〔県政の合理的運営への努力〕(5.6ポイント増)など、13項目で増加している。

一方、『努力が必要』は〔震災からの復興対策〕(4.4ポイント増)〔防災対策の充実〕(3.7ポイント増)〔交通安全・防犯対策〕(2.8ポイント増)の3項目で増加している。

県政への評価【前年度比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
イ 県政の広報・広聴活動	8.1
入 交通網の整備	7.9
ウ 県政の合理的運営への努力	5.6
キ 環境対策	5.2
オ 生涯学習活動への支援	5.0
カ 芸術文化の振興	4.6
ク 福祉対策	4.5
ケ 医療施設の充実	3.4
ア 国際的な交流や協力	2.7
コ 中小企業の育成	2.3
シ 農林水産業の活性化対策	2.2
サ 雇用安定と職業能力開発	1.9
タ 交通安全・防犯対策	1.7
ソ 学校教育の充実	-0.5
セ 良質な住宅の供給	-0.5
イ 防災対策の充実	-4.6
チ 震災からの復興対策	-5.2

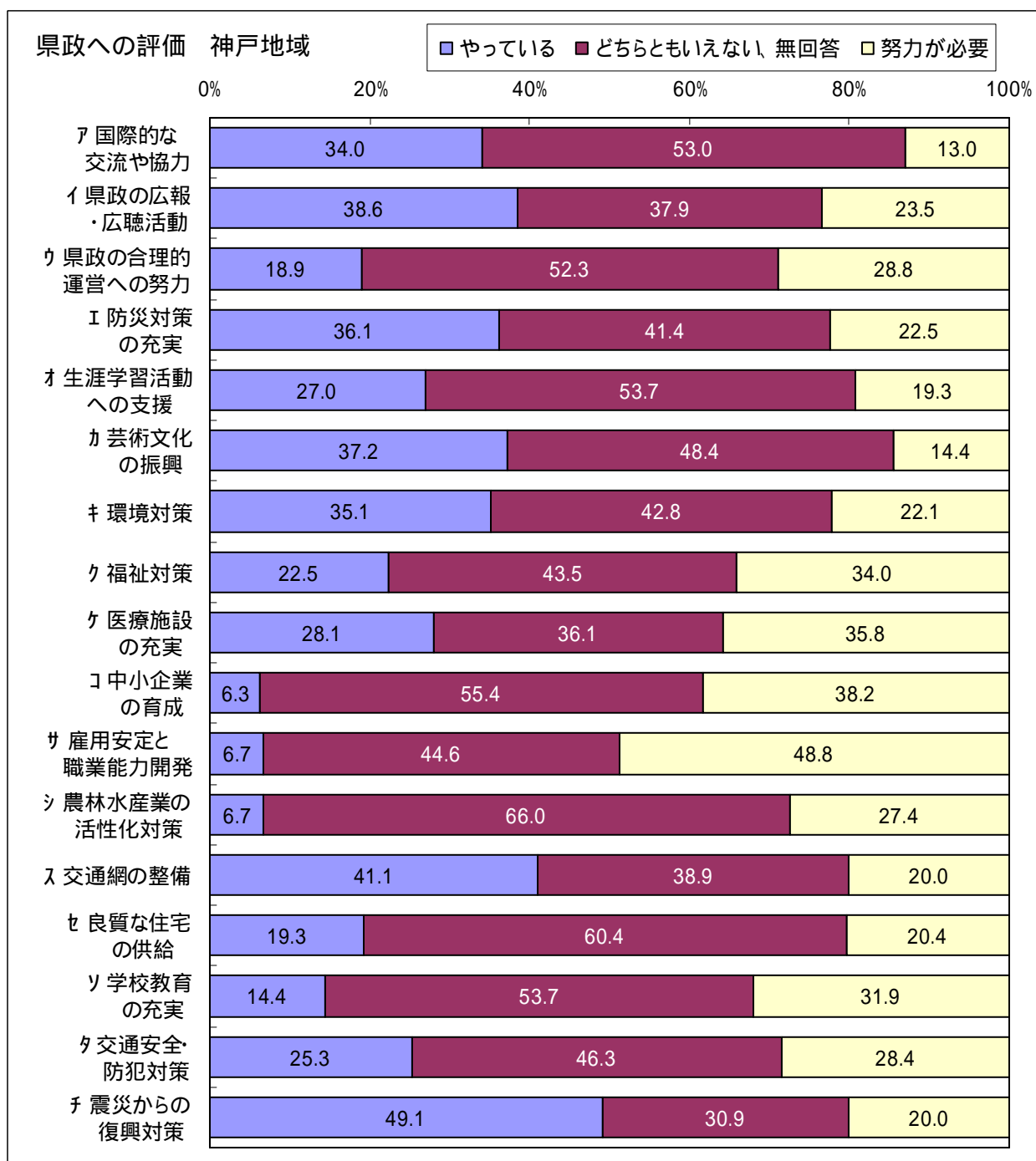
県政への評価【前年度比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	増減
チ 震災からの復興対策	4.4
イ 防災対策の充実	3.7
タ 交通安全・防犯対策	2.8
オ 生涯学習活動への支援	-1.4
カ 芸術文化の振興	-1.8
イ 県政の広報・広聴活動	-2.0
キ 環境対策	-2.1
ソ 学校教育の充実	-2.2
ア 国際的な交流や協力	-2.6
セ 良質な住宅の供給	-2.6
ウ 県政の合理的運営への努力	-2.7
入 交通網の整備	-2.7
ケ 医療施設の充実	-3.8
コ 中小企業の育成	-4.8
シ 農林水産業の活性化対策	-5.9
サ 雇用安定と職業能力開発	-6.7
ク 福祉対策	-8.8

【地域別】

地域別については、「やっている」「まあまあやっている」を合わせた『やっている』、「どちらともいえない」と「無回答」を合わせた『どちらともいえない』、「もう少し努力が必要」と「努力が必要」を合わせた『努力が必要』の3つの基準で集計している。

神戸



県政への評価【全県結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
カ 芸術文化の振興	4.7
キ 環境対策	4.1
ア 国際的な交流や協力	3.5
チ 震災からの復興対策	3.5
ケ 医療施設の充実	3.0
セ 良質な住宅の供給	2.7
イ 防災対策の充実	2.6
ス 交通網の整備	2.5
オ 生涯学習活動への支援	2.3
ウ 県政の合理的運営への努力	1.3
エ 県政の広報・広聴活動	1.2
サ 雇用安定と職業能力開発	0.7
ク 福祉対策	0.5
コ 中小企業の育成	0.0
ソ 学校教育の充実	-1.0
シ 農林水産業の活性化対策	-1.1
タ 交通安全・防犯対策	-1.3

県政への評価【全県結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
イ 県政の広報・広聴活動	3.5
チ 震災からの復興対策	1.3
ア 国際的な交流や協力	0.7
ソ 学校教育の充実	-0.1
ウ 県政の合理的運営への努力	-0.2
カ 芸術文化の振興	-0.2
セ 良質な住宅の供給	-0.4
キ 環境対策	-0.6
コ 中小企業の育成	-0.8
タ 交通安全・防犯対策	-1.3
オ 生涯学習活動への支援	-1.5
サ 雇用安定と職業能力開発	-1.7
ク 福祉対策	-1.7
イ 防災対策の充実	-1.9
シ 農林水産業の活性化対策	-2.6
ス 交通網の整備	-2.8
ケ 医療施設の充実	-4.5

県政への評価【前年結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

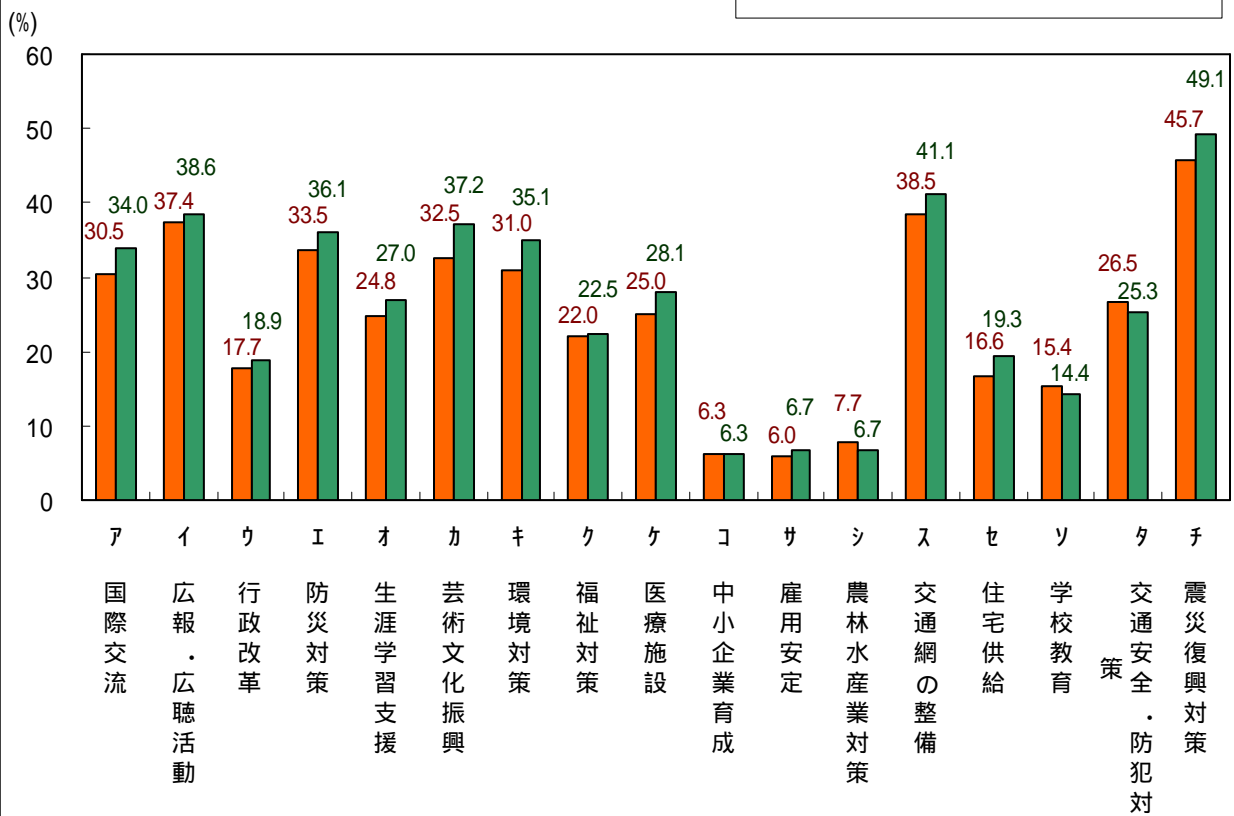
「やっている」	増減
イ 県政の広報・広聴活動	8.1
ウ 県政の合理的運営への努力	6.8
キ 環境対策	6.4
ス 交通網の整備	6.1
オ 生涯学習活動への支援	5.0
カ 芸術文化の振興	3.0
サ 雇用安定と職業能力開発	2.3
コ 中小企業の育成	1.5
ア 国際的な交流や協力	1.3
シ 農林水産業の活性化対策	0.8
ク 福祉対策	0.4
ケ 医療施設の充実	0.1
タ 交通安全・防犯対策	-0.1
セ 良質な住宅の供給	-2.8
イ 防災対策の充実	-3.6
ソ 学校教育の充実	-4.0
チ 震災からの復興対策	-9.0

県政への評価【前年結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

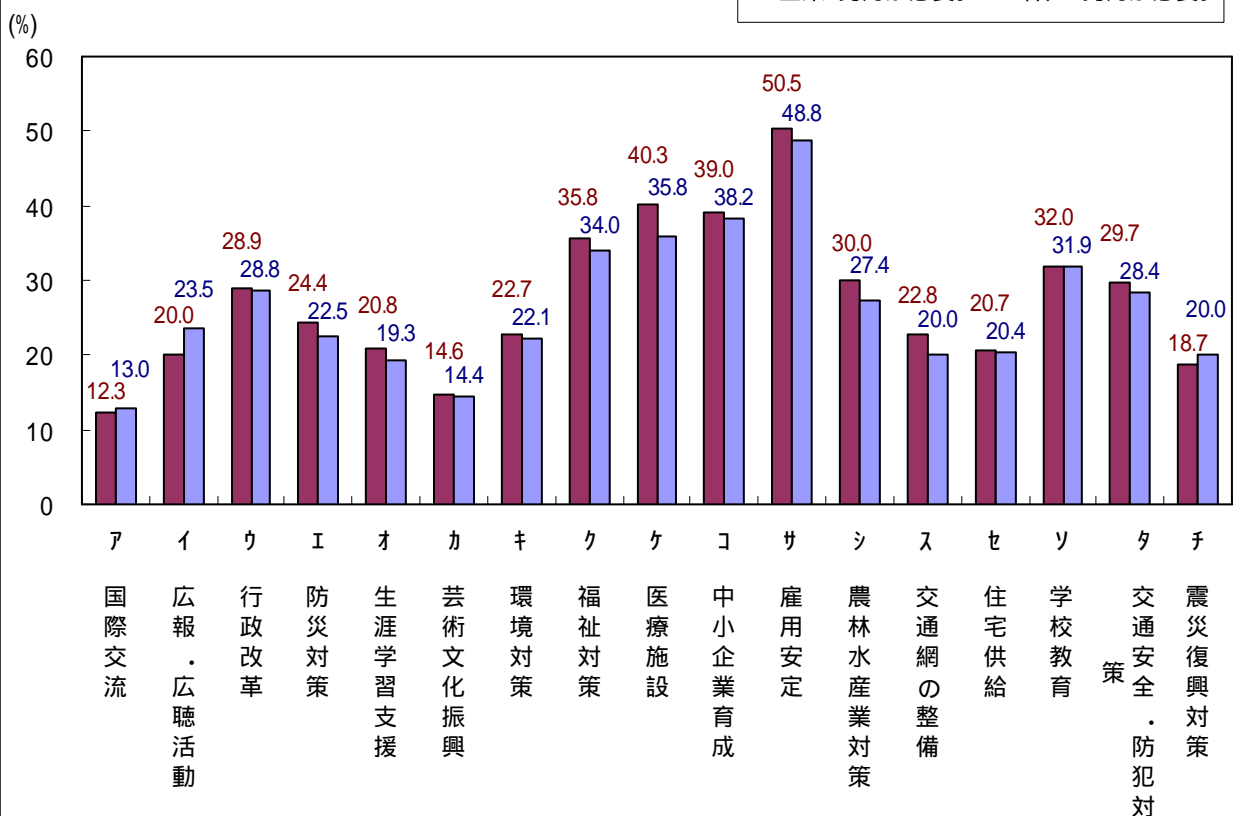
「努力が必要」	増減
チ 震災からの復興対策	6.4
タ 交通安全・防犯対策	4.2
イ 防災対策の充実	2.6
ソ 学校教育の充実	1.0
コ 中小企業の育成	-1.1
ス 交通網の整備	-1.7
キ 環境対策	-1.8
カ 芸術文化の振興	-2.2
セ 良質な住宅の供給	-4.3
エ 県政の広報・広聴活動	-4.4
オ 生涯学習活動への支援	-4.6
ア 国際的な交流や協力	-5.0
ケ 医療施設の充実	-6.1
シ 農林水産業の活性化対策	-7.6
ウ 県政の合理的運営への努力	-7.6
サ 雇用安定と職業能力開発	-9.3
ク 福祉対策	-10.8

全県と比較すると〔芸術文化の振興〕や〔環境対策〕への評価が高い。

県政への評価 『やっている』【全県と神戸】



県政への評価 『努力が必要』【全県と神戸】

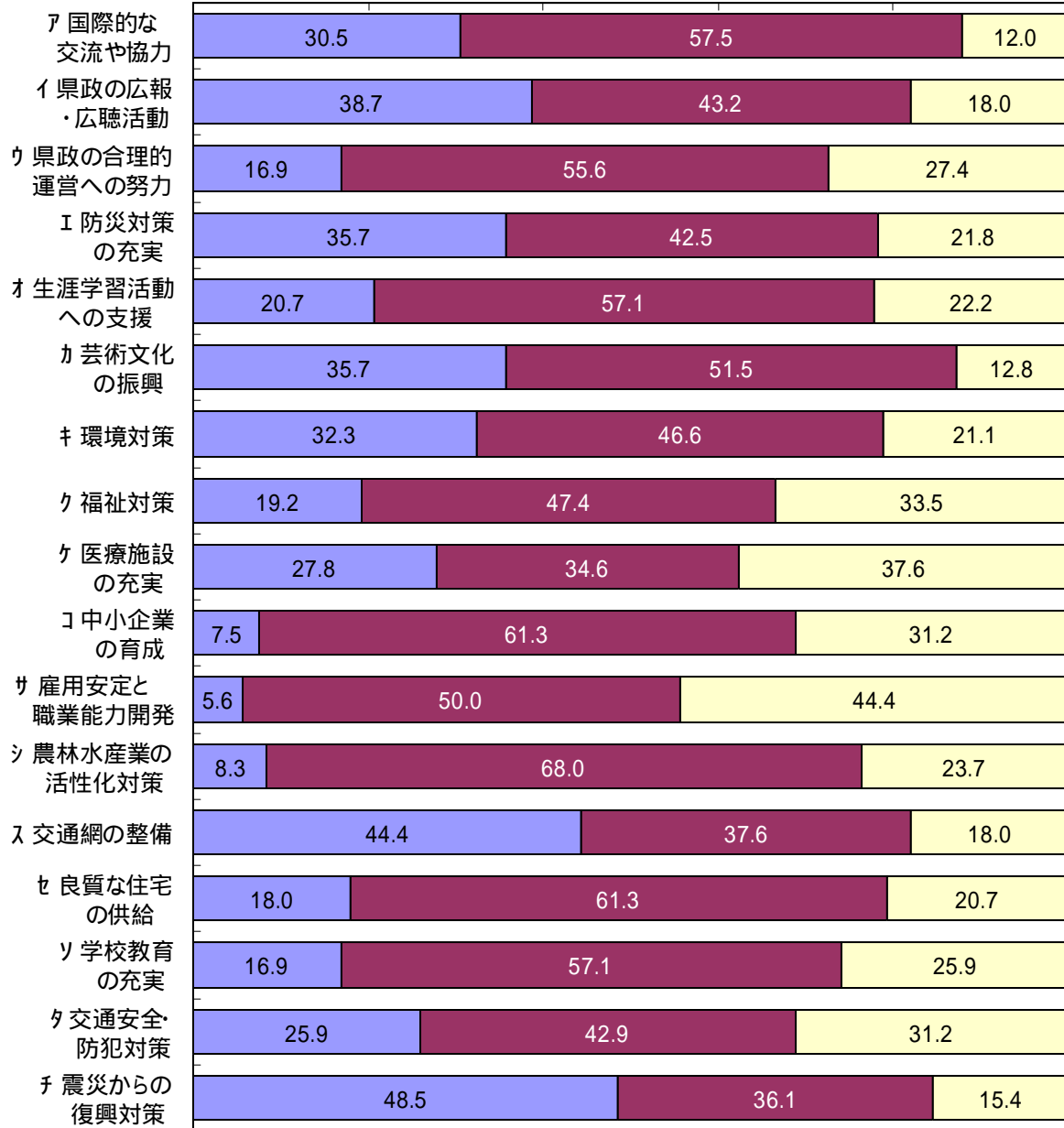


阪神南

県政への評価 阪神南地域

■ やっている ■ どちらともいえない 無回答 □ 努力が必要

0% 20% 40% 60% 80% 100%



県政への評価【全県結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
入 交通網の整備	5.8
カ 芸術文化の振興	3.2
チ 震災からの復興対策	2.8
ケ 医療施設の充実	2.8
コ 防災対策の充実	2.2
ソ 学校教育の充実	1.5
セ 良質な住宅の供給	1.4
キ 環境対策	1.4
イ 県政の広報・広聴活動	1.3
ク 中小企業の育成	1.2
シ 農林水産業の活性化対策	0.5
ア 国際的な交流や協力	-0.1
サ 雇用安定と職業能力開発	-0.3
タ 交通安全・防犯対策	-0.6
ウ 県政の合理的運営への努力	-0.7
ク 福祉対策	-2.8
オ 生涯学習活動への支援	-4.1

県政への評価【全県結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
タ 交通安全・防犯対策	1.5
オ 生涯学習活動への支援	1.4
セ 良質な住宅の供給	-0.1
ア 国際的な交流や協力	-0.2
ウ 県政の合理的運営への努力	-1.5
キ 環境対策	-1.7
カ 芸術文化の振興	-1.8
イ 県政の広報・広聴活動	-1.9
ク 福祉対策	-2.3
エ 防災対策の充実	-2.6
ケ 医療施設の充実	-2.7
チ 震災からの復興対策	-3.3
入 交通網の整備	-4.7
ソ 学校教育の充実	-6.1
サ 雇用安定と職業能力開発	-6.1
シ 農林水産業の活性化対策	-6.3
ク 中小企業の育成	-7.8

県政への評価【前年結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
入 交通網の整備	10.8
イ 県政の広報・広聴活動	8.5
カ 芸術文化の振興	7.0
キ 環境対策	5.8
ア 国際的な交流や協力	4.7
ウ 県政の合理的運営への努力	4.6
ケ 医療施設の充実	4.3
ク 福祉対策	4.2
オ 生涯学習活動への支援	3.9
コ 中小企業の育成	3.8
シ 農林水産業の活性化対策	2.7
セ 良質な住宅の供給	2.4
サ 雇用安定と職業能力開発	1.5
タ 交通安全・防犯対策	0.2
ソ 学校教育の充実	-0.2
エ 防災対策の充実	-3.8
チ 震災からの復興対策	-4.1

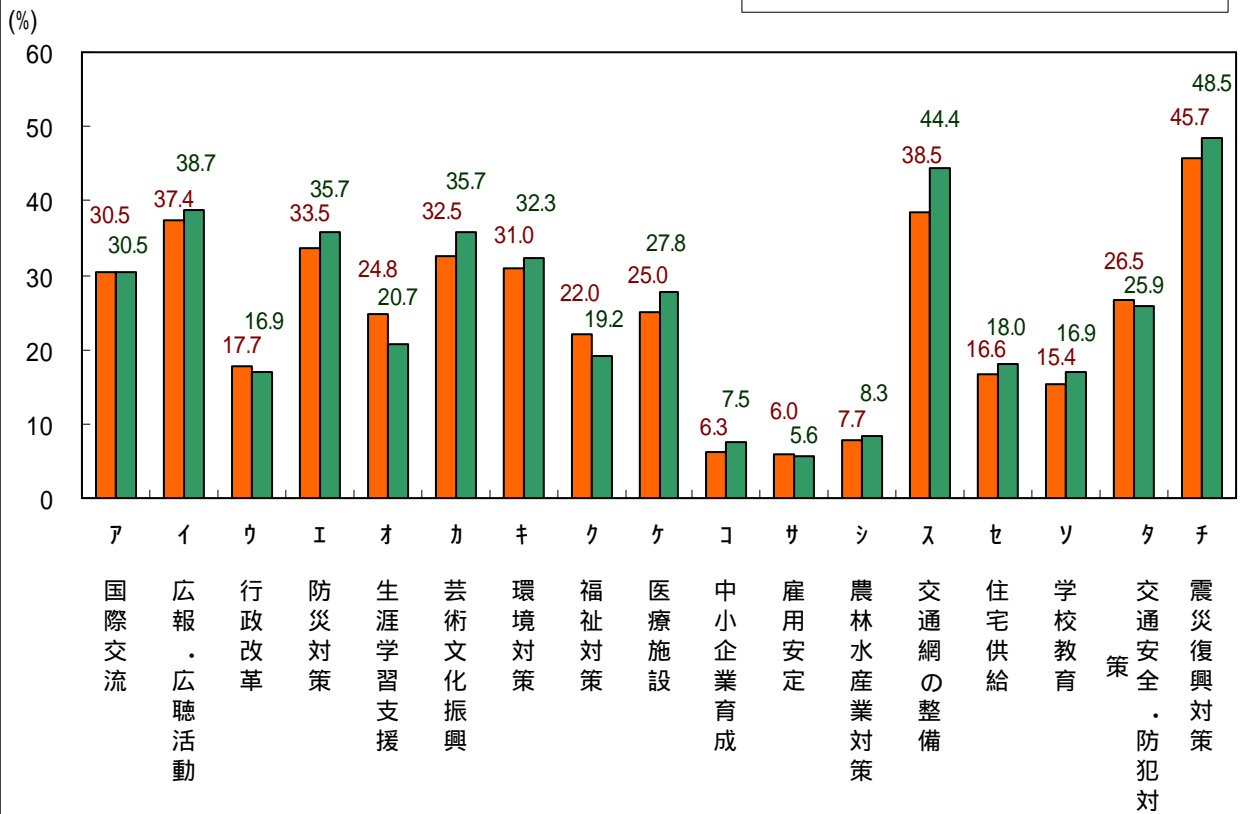
県政への評価【前年結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	増減
タ 交通安全・防犯対策	2.5
チ 震災からの復興対策	1.6
エ 防災対策の充実	0.9
オ 生涯学習活動への支援	-0.6
ケ 医療施設の充実	-1.2
ウ 県政の合理的運営への努力	-1.3
ア 国際的な交流や協力	-1.4
カ 芸術文化の振興	-1.8
イ 県政の広報・広聴活動	-2.1
セ 良質な住宅の供給	-2.5
入 交通網の整備	-5.1
シ 農林水産業の活性化対策	-5.4
キ 環境対策	-6.9
サ 雇用安定と職業能力開発	-8.3
ソ 学校教育の充実	-10.6
ク 福祉対策	-11.7
コ 中小企業の育成	-12.5

全県及び前年との比較ともに〔交通網の整備〕への評価が特に高い。

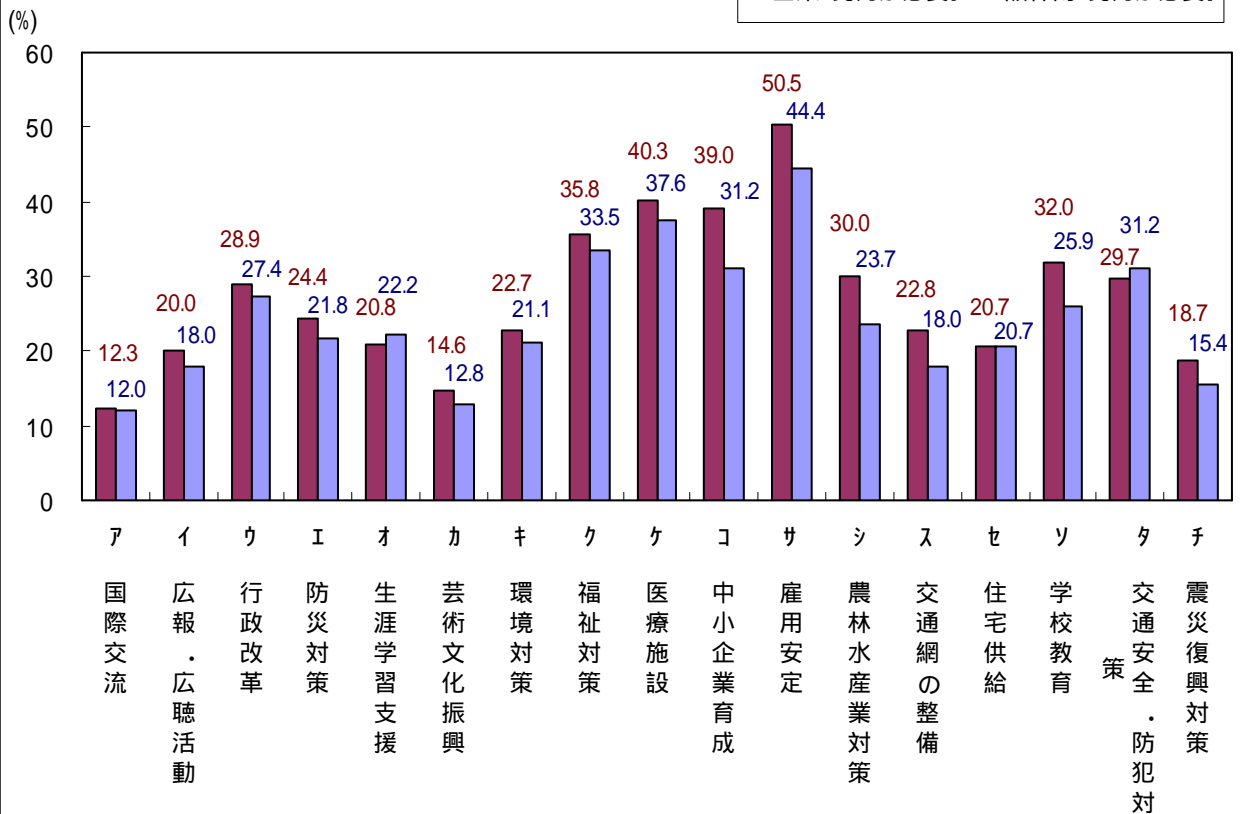
県政への評価『やっている』【全県と阪神南】

■ 全県『やっている』 ■ 阪神南『やっている』



県政への評価『努力が必要』【全県と阪神南】

■ 全県『努力が必要』 ■ 阪神南『努力が必要』

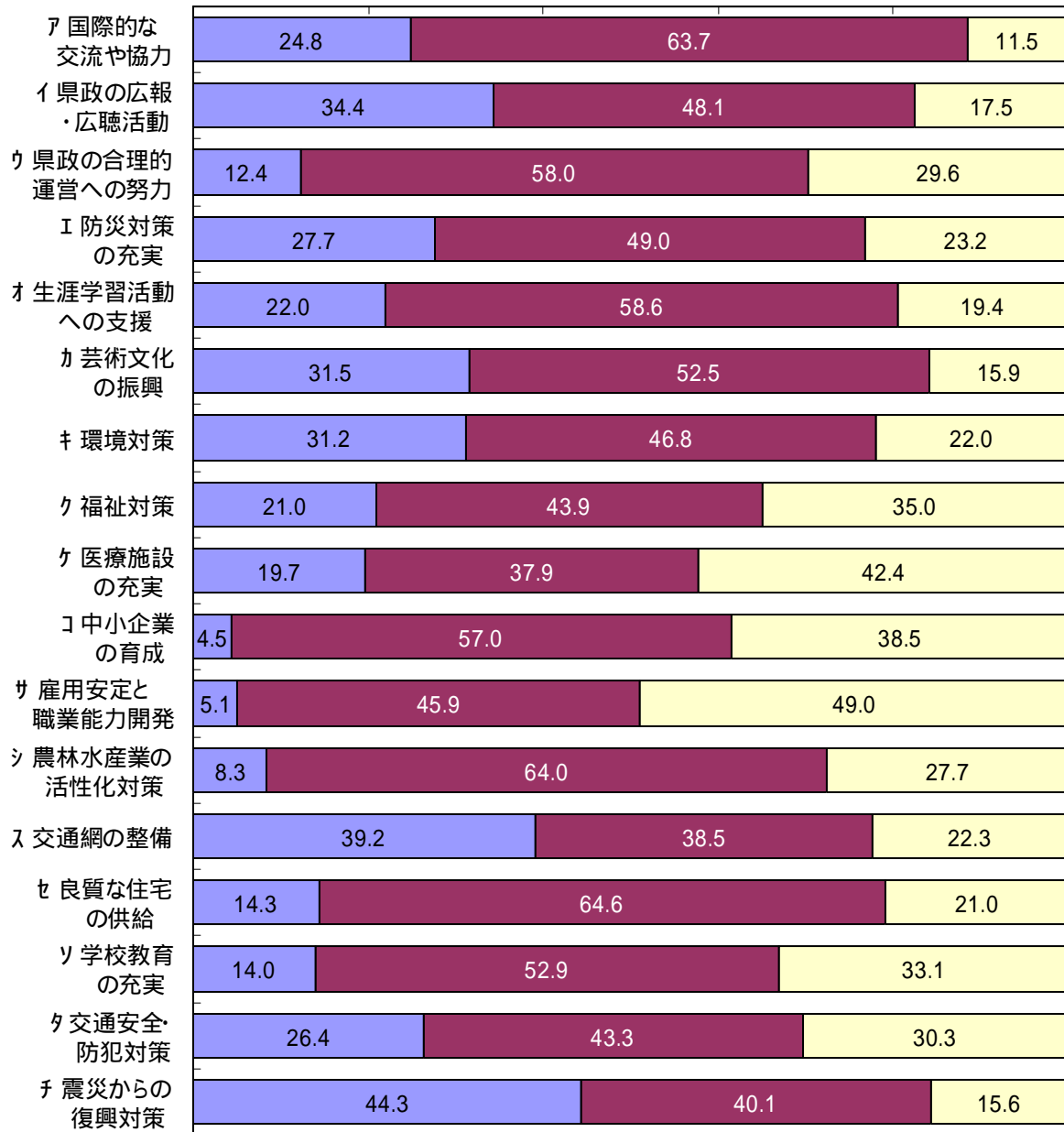


阪神北

県政への評価 阪神北地域

■ やっている ■ どちらともいえない、無回答 □ 努力が必要

0% 20% 40% 60% 80% 100%



県政への評価【全県結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
入 交通網の整備	0.6
シ 農林水産業の活性化対策	0.5
キ 環境対策	0.3
タ 交通安全・防犯対策	-0.1
サ 雇用安定と職業能力開発	-0.9
ク 福祉対策	-1.0
カ 芸術文化の振興	-1.0
ソ 学校教育の充実	-1.4
チ 震災からの復興対策	-1.4
コ 中小企業の育成	-1.9
セ 良質な住宅の供給	-2.3
オ 生涯学習活動への支援	-2.8
イ 県政の広報・広聴活動	-3.0
ウ 県政の合理的運営への努力	-5.2
ケ 医療施設の充実	-5.3
ア 国際的な交流や協力	-5.7
イ 防災対策の充実	-5.8

県政への評価【全県結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
ケ 医療施設の充実	2.1
カ 芸術文化の振興	1.3
ソ 学校教育の充実	1.1
ウ 県政の合理的運営への努力	0.7
タ 交通安全・防犯対策	0.6
セ 良質な住宅の供給	0.3
入 交通網の整備	-0.5
コ 中小企業の育成	-0.5
ク 福祉対策	-0.7
キ 環境対策	-0.8
ア 国際的な交流や協力	-0.8
イ 防災対策の充実	-1.2
オ 生涯学習活動への支援	-1.4
サ 雇用安定と職業能力開発	-1.4
シ 農林水産業の活性化対策	-2.3
イ 県政の広報・広聴活動	-2.5
チ 震災からの復興対策	-3.1

県政への評価【前年結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
入 交通網の整備	12.0
イ 県政の広報・広聴活動	7.2
オ 生涯学習活動への支援	5.3
ク 福祉対策	4.6
タ 交通安全・防犯対策	4.5
キ 環境対策	4.3
シ 農林水産業の活性化対策	3.4
カ 芸術文化の振興	3.3
ケ 医療施設の充実	2.4
ウ 県政の合理的運営への努力	2.3
コ 中小企業の育成	1.8
サ 雇用安定と職業能力開発	1.5
ア 国際的な交流や協力	1.2
ソ 学校教育の充実	-0.1
チ 震災からの復興対策	-0.3
セ 良質な住宅の供給	-3.7
イ 防災対策の充実	-5.7

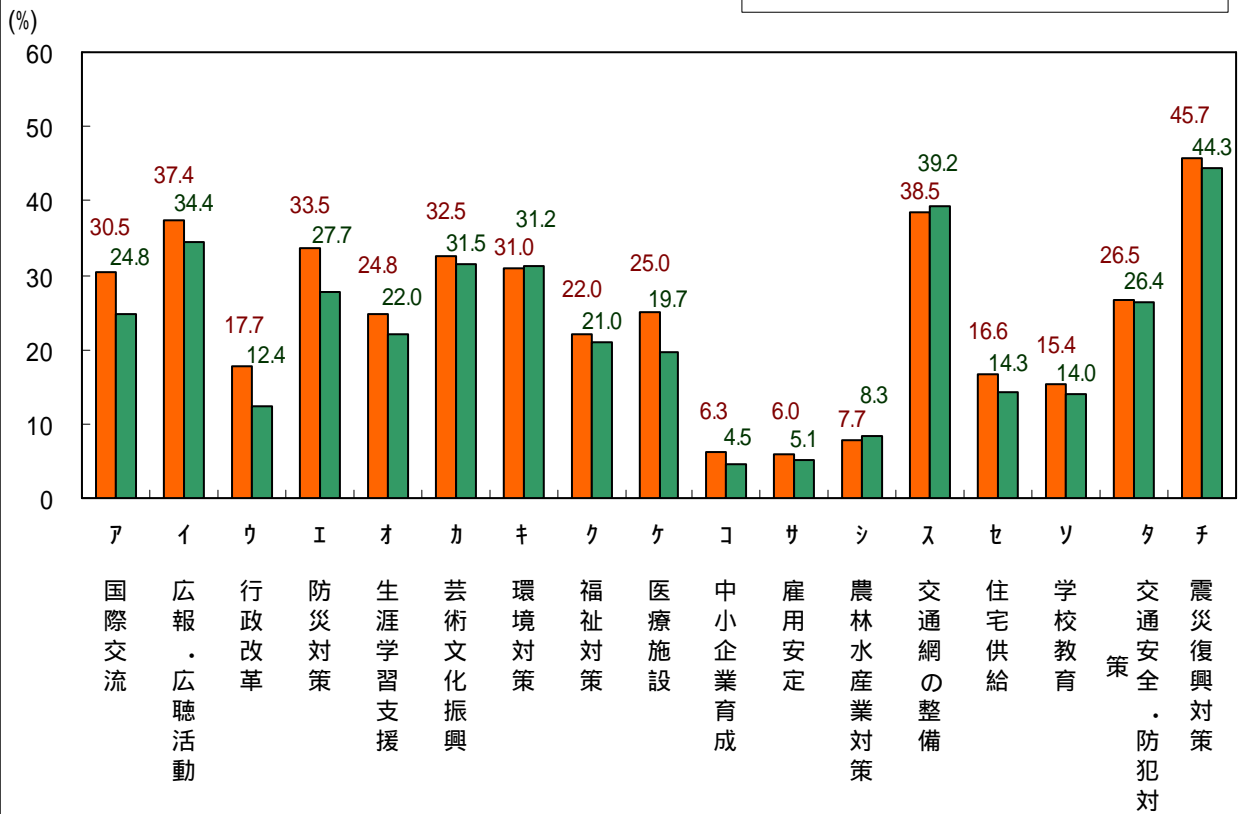
県政への評価【前年結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	増減
イ 防災対策の充実	4.9
ウ 県政の合理的運営への努力	0.8
タ 交通安全・防犯対策	0.4
ソ 学校教育の充実	-0.3
チ 震災からの復興対策	-0.5
ア 国際的な交流や協力	-0.7
ケ 医療施設の充実	-0.9
オ 生涯学習活動への支援	-1.2
キ 環境対策	-1.3
カ 芸術文化の振興	-1.8
イ 県政の広報・広聴活動	-3.5
コ 中小企業の育成	-4.1
シ 農林水産業の活性化対策	-4.4
セ 良質な住宅の供給	-5.5
サ 雇用安定と職業能力開発	-6.0
ク 福祉対策	-6.6
入 交通網の整備	-8.2

前年との比較で〔交通網の整備〕への評価が特に高い。

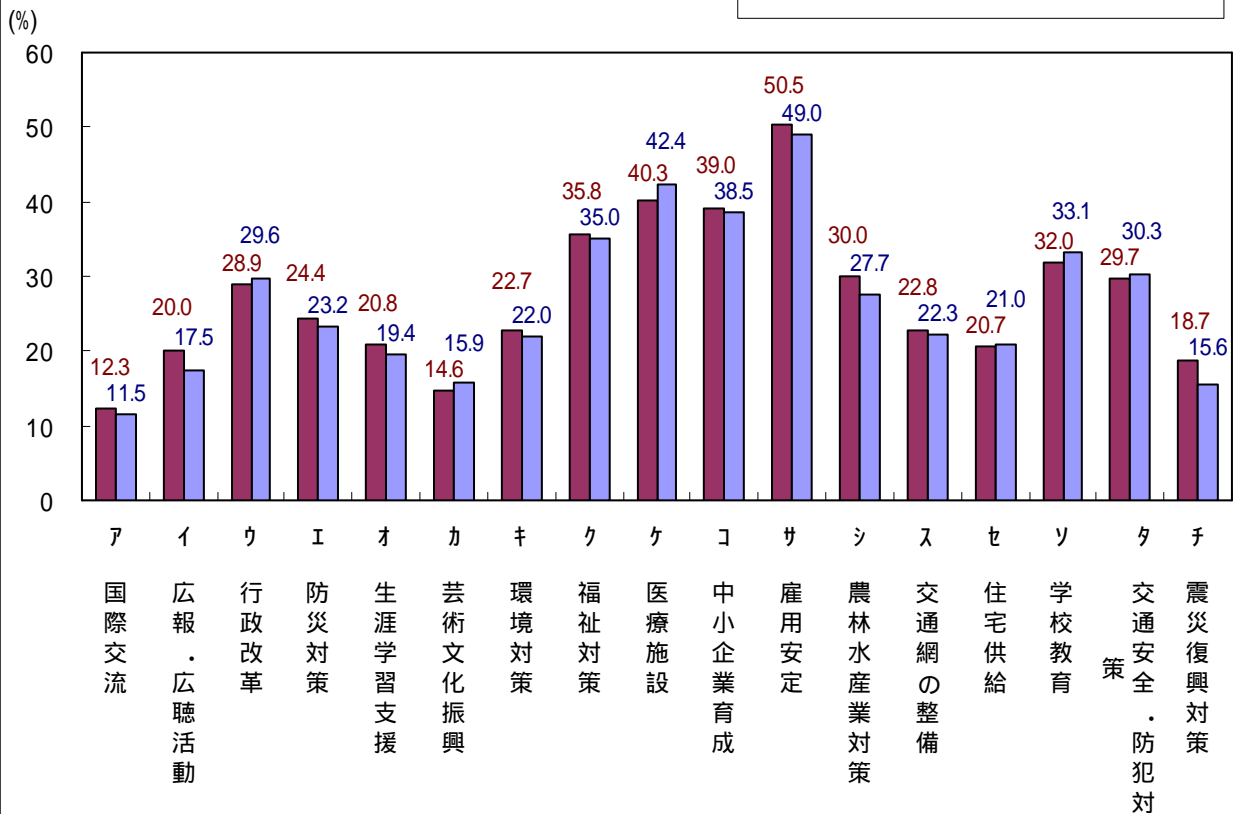
県政への評価『やっている』【全県と阪神北】

■ 全県『やっている』 ■ 阪神北『やっている』



県政への評価『努力が必要』【全県と阪神北】

■ 全県『努力が必要』 ■ 阪神北『努力が必要』

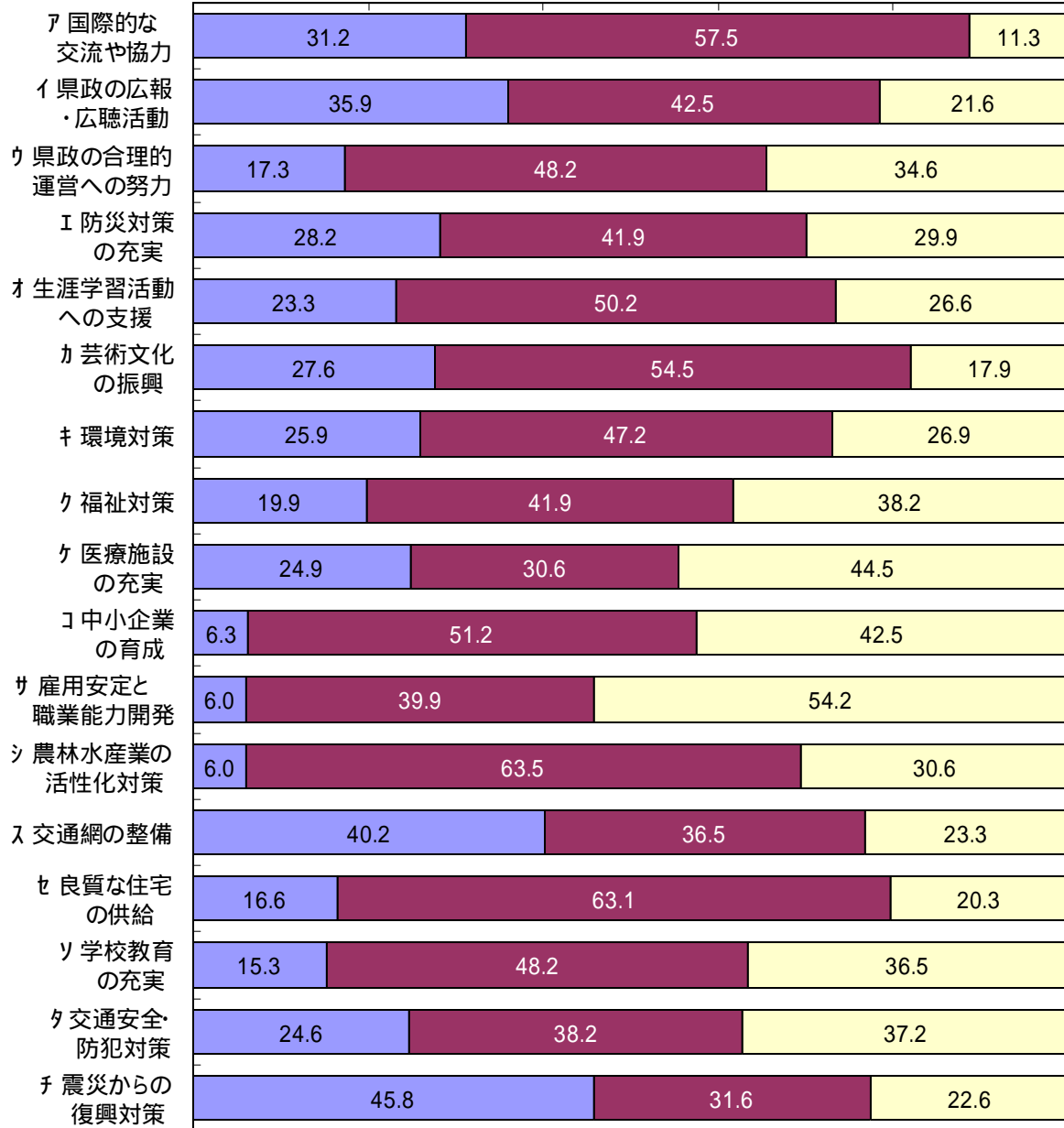


東播磨

県政への評価 東播磨地域

■ やっている ■ どちらともいえない、無回答 □ 努力が必要

0% 20% 40% 60% 80% 100%



県政への評価【全県結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
入 交通網の整備	1.7
ア 国際的な交流や協力	0.7
チ 震災からの復興対策	0.2
サ 雇用安定と職業能力開発	0.0
セ 良質な住宅の供給	0.0
コ 中小企業の育成	0.0
ソ 学校教育の充実	-0.1
ケ 医療施設の充実	-0.1
ウ 県政の合理的運営への努力	-0.4
オ 生涯学習活動への支援	-1.5
イ 県政の広報・広聴活動	-1.5
シ 農林水産業の活性化対策	-1.8
タ 交通安全・防犯対策	-2.0
ク 福祉対策	-2.0
カ 芸術文化の振興	-4.9
キ 環境対策	-5.0
ク 防災対策の充実	-5.3

県政への評価【全県結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
タ 交通安全・防犯対策	7.5
オ 生涯学習活動への支援	5.8
ウ 県政の合理的運営への努力	5.6
エ 防災対策の充実	5.5
ソ 学校教育の充実	4.5
ケ 医療施設の充実	4.2
キ 環境対策	4.2
チ 震災からの復興対策	3.9
サ 雇用安定と職業能力開発	3.7
コ 中小企業の育成	3.5
カ 芸術文化の振興	3.3
ク 福祉対策	2.5
イ 県政の広報・広聴活動	1.6
シ 農林水産業の活性化対策	0.6
入 交通網の整備	0.5
セ 良質な住宅の供給	-0.5
ア 国際的な交流や協力	-1.0

県政への評価【前年結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
入 交通網の整備	13.0
イ 県政の広報・広聴活動	12.7
オ 生涯学習活動への支援	8.5
ウ 県政の合理的運営への努力	8.5
ケ 医療施設の充実	8.4
カ 芸術文化の振興	7.4
ア 国際的な交流や協力	6.6
ク 福祉対策	6.0
キ 環境対策	5.7
サ 雇用安定と職業能力開発	3.4
セ 良質な住宅の供給	2.6
コ 中小企業の育成	2.3
シ 農林水産業の活性化対策	1.6
タ 交通安全・防犯対策	1.4
ソ 学校教育の充実	1.3
チ 震災からの復興対策	-0.1
エ 防災対策の充実	-4.5

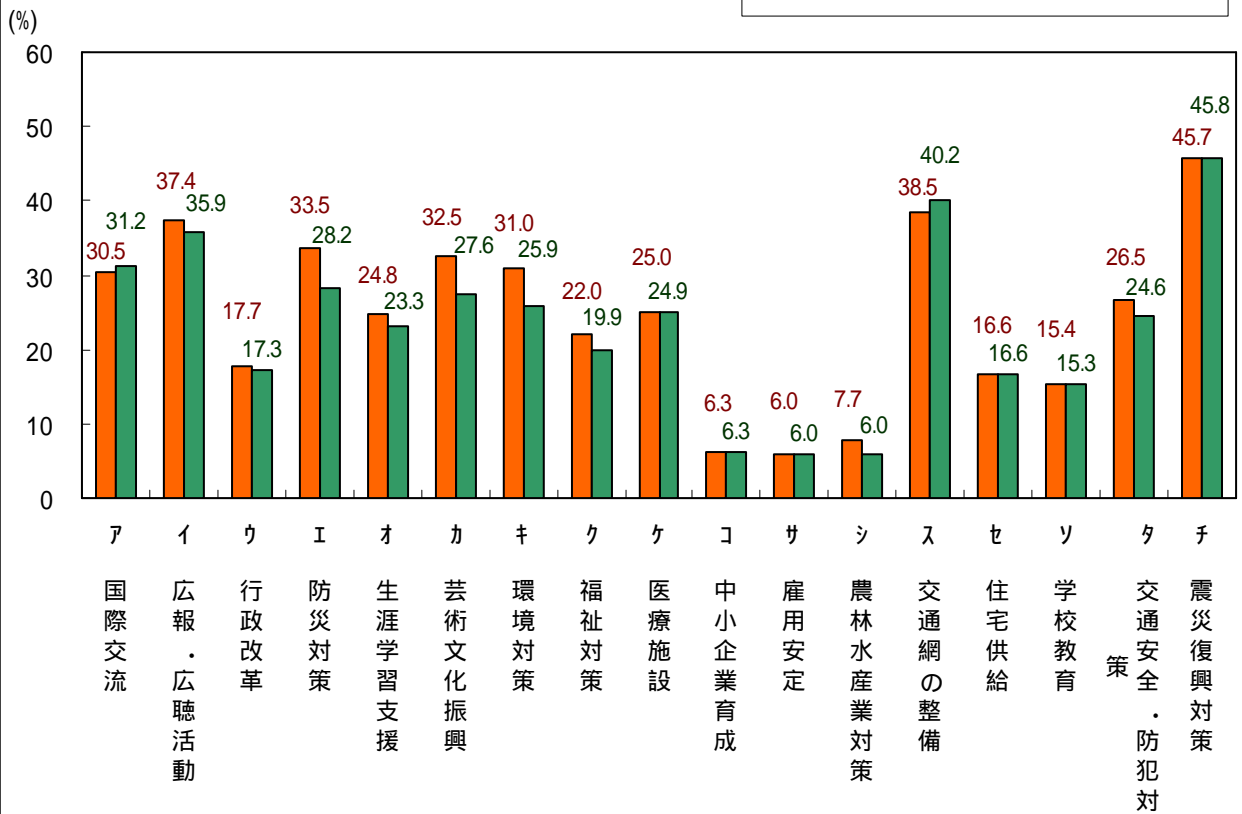
県政への評価【前年結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	増減
タ 交通安全・防犯対策	10.7
チ 震災からの復興対策	8.3
エ 防災対策の充実	8.2
ソ 学校教育の充実	3.8
イ 県政の広報・広聴活動	3.2
オ 生涯学習活動への支援	3.0
キ 環境対策	2.6
カ 芸術文化の振興	0.3
入 交通網の整備	0.1
セ 良質な住宅の供給	0.0
ウ 県政の合理的運営への努力	-0.7
ケ 医療施設の充実	-1.1
コ 中小企業の育成	-4.5
ア 国際的な交流や協力	-4.9
サ 雇用安定と職業能力開発	-5.0
シ 農林水産業の活性化対策	-8.0
ク 福祉対策	-8.9

前年との比較で〔交通網の整備〕や〔県政の広報・広聴活動〕の評価が高い一方、全県及び前年との比較いずれも〔交通安全・防犯対策〕を望む声が多い。

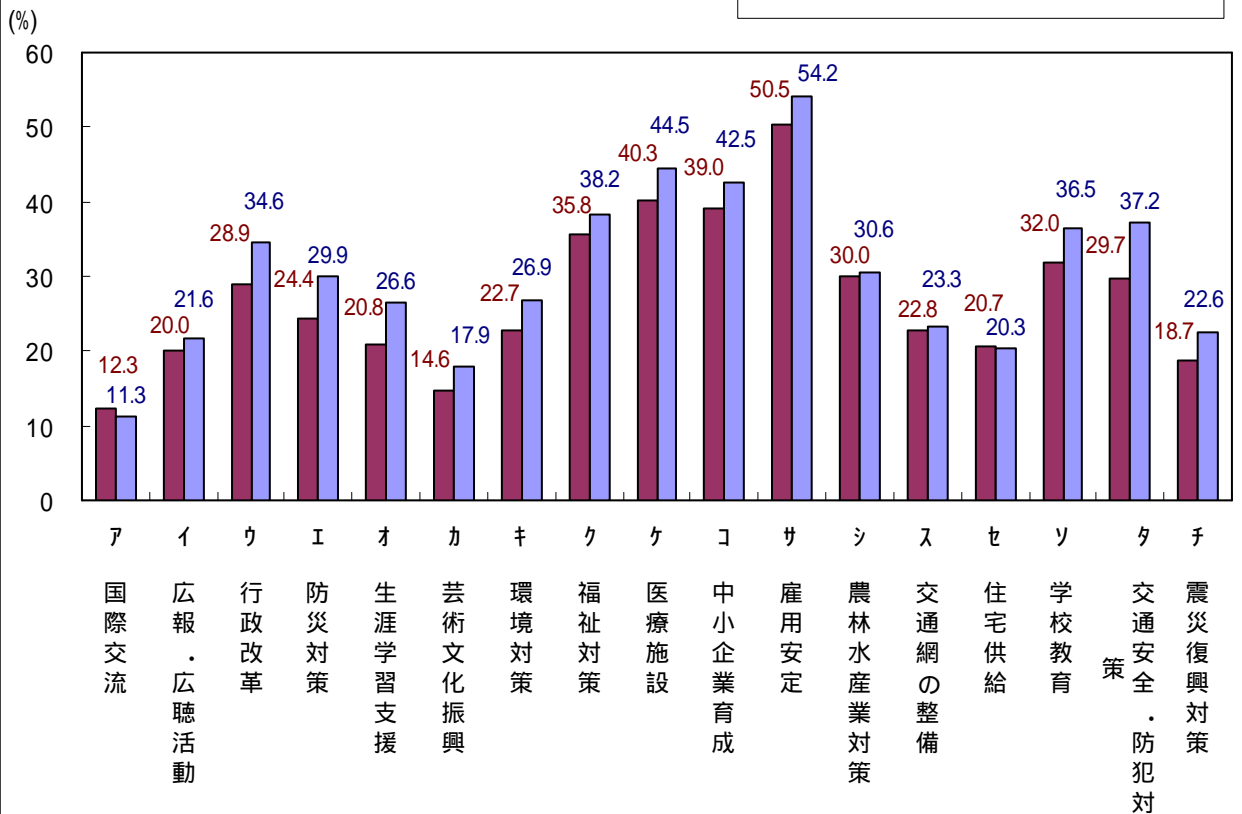
県政への評価 『やっている』【全県と東播磨】

■ 全県『やっている』 ■ 東播磨『やっている』

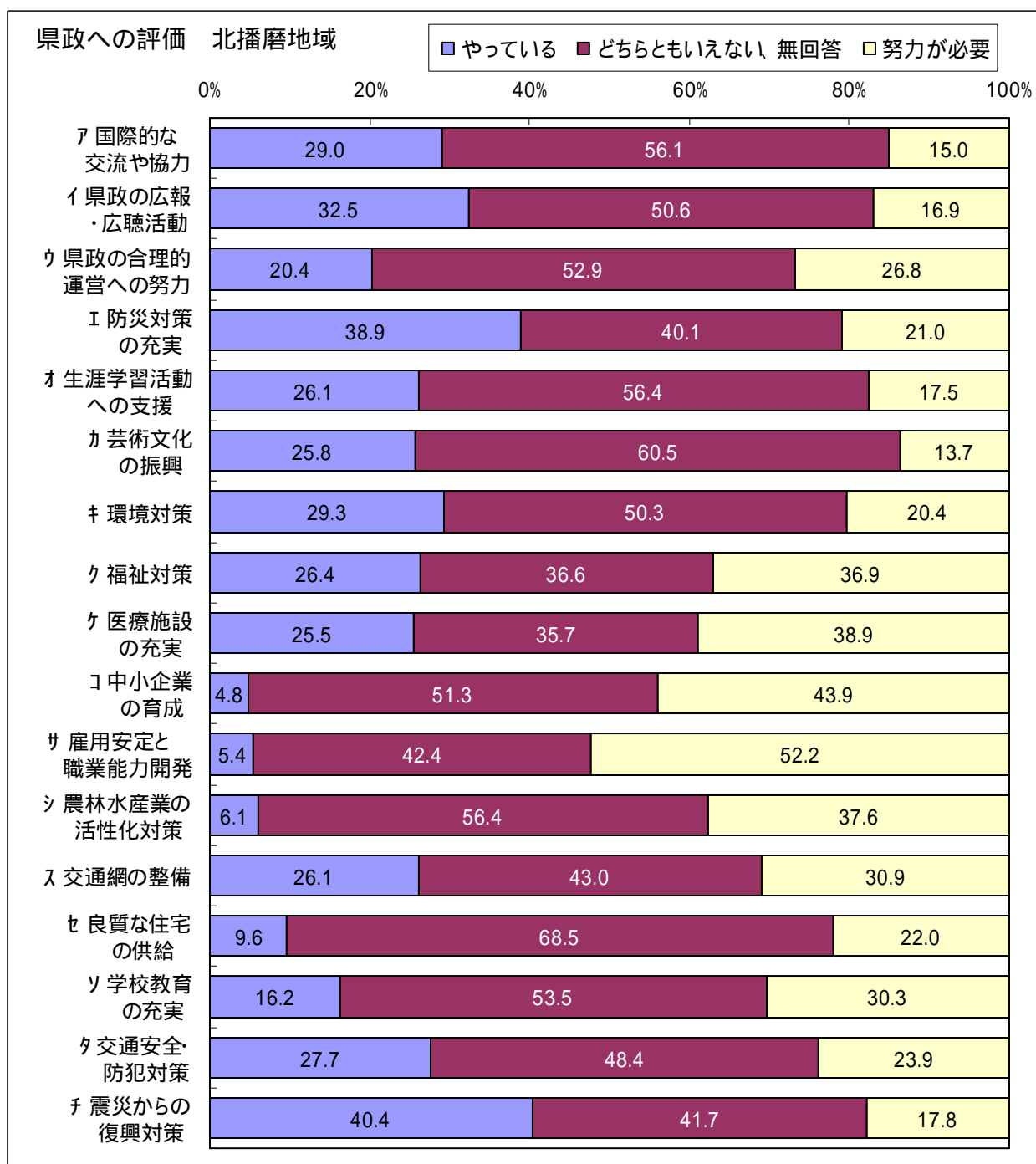


県政への評価 『努力が必要』【全県と東播磨】

■ 全県『努力が必要』 ■ 東播磨『努力が必要』



北播磨



県政への評価〔全県結果との比較〕
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
イ 防災対策の充実	5.3
ク 福祉対策	4.4
ウ 県政の合理的運営への努力	2.7
エ 生涯学習活動への支援	1.4
カ 交通安全・防犯対策	1.2
キ 学校教育の充実	0.8
ク 医療施設の充実	0.4
サ 雇用安定と職業能力開発	-0.5
コ 中小企業の育成	-1.5
ア 国際的な交流や協力	-1.6
キ 環境対策	-1.7
シ 農林水産業の活性化対策	-1.7
イ 県政の広報・広聴活動	-4.9
チ 震災からの復興対策	-5.2
カ 芸術文化の振興	-6.7
セ 良質な住宅の供給	-7.1
入 交通網の整備	-12.4

県政への評価〔全県結果との比較〕
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
入 交通網の整備	8.1
シ 農林水産業の活性化対策	7.6
コ 中小企業の育成	4.9
ア 国際的な交流や協力	2.7
サ 雇用安定と職業能力開発	1.8
セ 良質な住宅の供給	1.2
ク 福祉対策	1.2
チ 震災からの復興対策	-0.9
カ 芸術文化の振興	-0.9
ケ 医療施設の充実	-1.4
ソ 学校教育の充実	-1.8
ウ 県政の合理的運営への努力	-2.2
キ 環境対策	-2.3
イ 県政の広報・広聴活動	-3.1
オ 生涯学習活動への支援	-3.3
エ 防災対策の充実	-3.4
タ 交通安全・防犯対策	-5.8

県政への評価〔前年結果との比較〕
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
ク 福祉対策	10.3
ケ 医療施設の充実	6.7
ウ 県政の合理的運営への努力	6.6
キ 環境対策	5.9
タ 交通安全・防犯対策	4.4
ア 国際的な交流や協力	4.0
オ 生涯学習活動への支援	3.1
イ 県政の広報・広聴活動	2.5
入 交通網の整備	2.1
ソ 学校教育の充実	2.1
コ 中小企業の育成	1.5
サ 雇用安定と職業能力開発	1.1
カ 芸術文化の振興	-0.5
シ 農林水産業の活性化対策	-0.5
セ 良質な住宅の供給	-1.0
チ 震災からの復興対策	-3.3
エ 防災対策の充実	-5.6

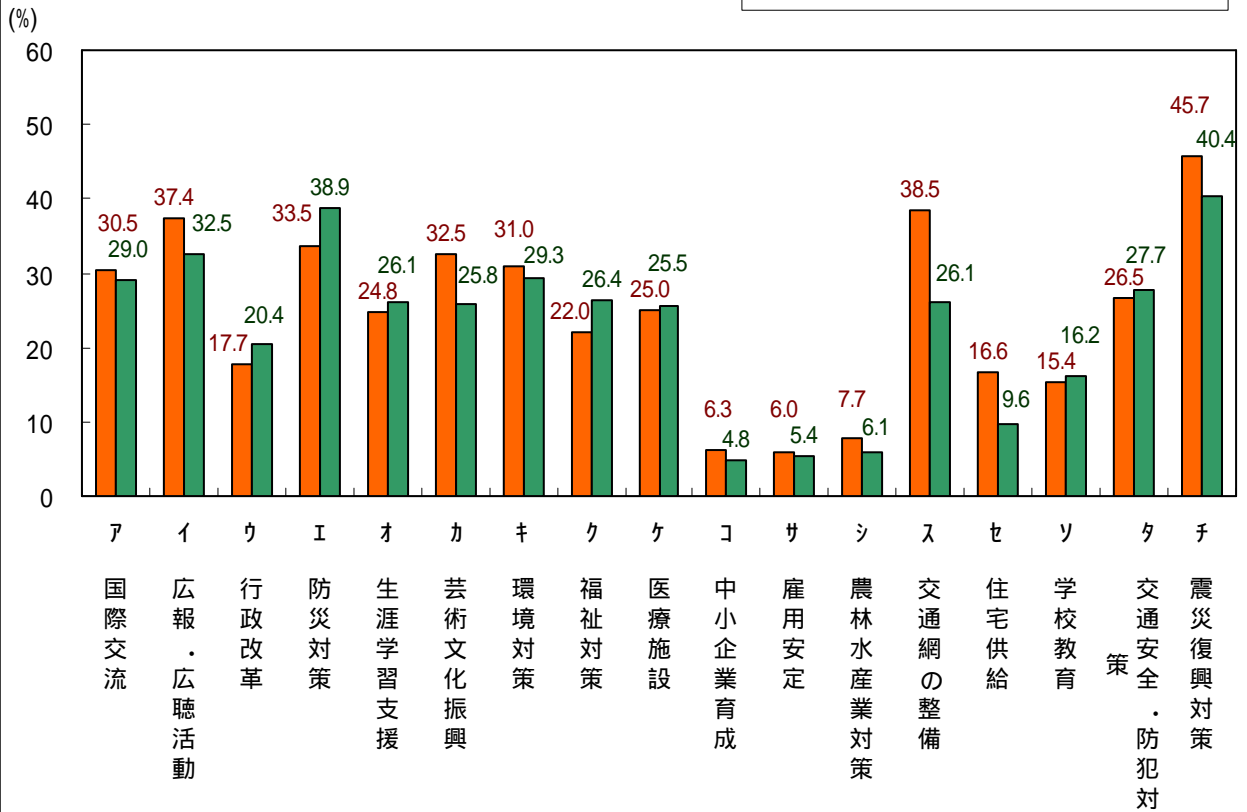
県政への評価〔前年結果との比較〕
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	増減
チ 震災からの復興対策	4.0
入 交通網の整備	3.9
セ 良質な住宅の供給	2.2
ア 国際的な交流や協力	0.2
エ 防災対策の充実	0.0
シ 農林水産業の活性化対策	-0.2
カ 芸術文化の振興	-0.8
キ 環境対策	-2.3
ウ 県政の合理的運営への努力	-2.5
オ 生涯学習活動への支援	-2.9
イ 県政の広報・広聴活動	-3.5
タ 交通安全・防犯対策	-4.4
コ 中小企業の育成	-4.4
ク 福祉対策	-5.8
ソ 学校教育の充実	-5.9
サ 雇用安定と職業能力開発	-7.0
ケ 医療施設の充実	-7.5

前年との比較で〔福祉対策〕の評価が特に高い一方、全県及び前年との比較いずれも、〔交通網の整備〕を望む声が多い。

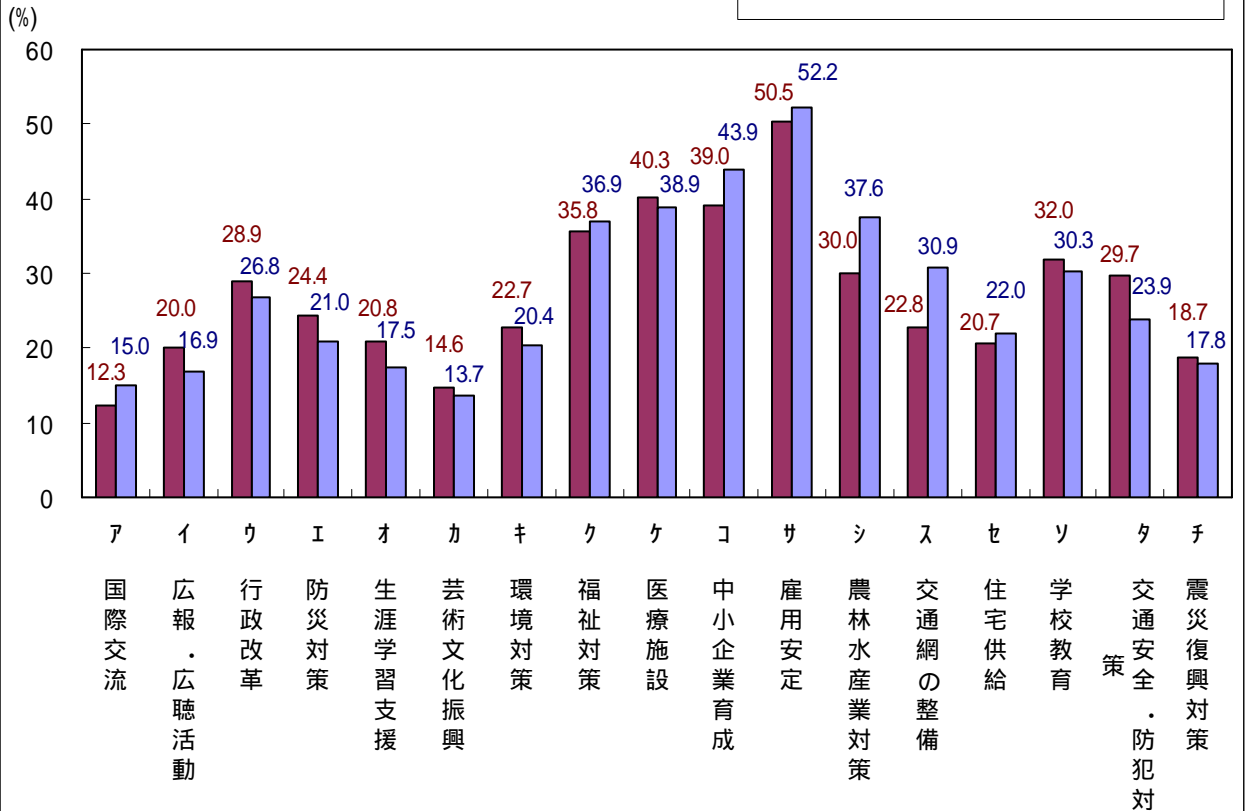
県政への評価 『やっている』【全県と北播磨】

■ 全県『やっている』 ■ 北播磨『やっている』

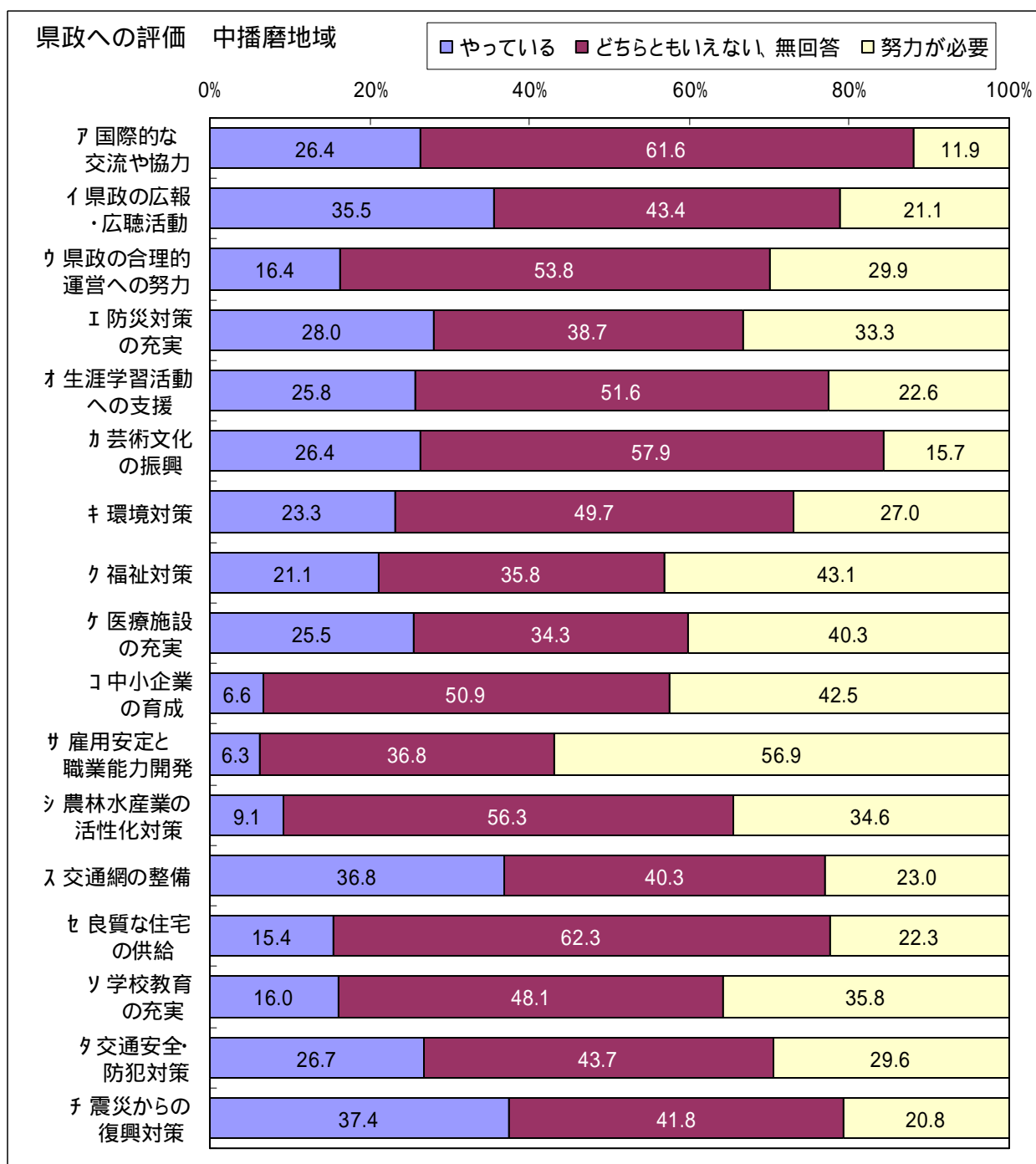


県政への評価 『努力が必要』【全県と北播磨】

■ 全県『努力が必要』 ■ 北播磨『努力が必要』



中播磨



県政への評価【全県結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
シ 農林水産業の活性化対策	1.4
オ 生涯学習活動への支援	1.0
ソ 学校教育の充実	0.6
ケ 医療施設の充実	0.4
サ 雇用安定と職業能力開発	0.3
コ 中小企業の育成	0.3
タ 交通安全・防犯対策	0.2
ク 福祉対策	-0.9
セ 良質な住宅の供給	-1.2
ウ 県政の合理的運営への努力	-1.3
ス 交通網の整備	-1.7
イ 県政の広報・広聴活動	-1.9
ア 国際的な交流や協力	-4.1
エ 防災対策の充実	-5.5
カ 芸術文化の振興	-6.1
キ 環境対策	-7.7
チ 震災からの復興対策	-8.2

県政への評価【全県結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
エ 防災対策の充実	8.9
ク 福祉対策	7.3
サ 雇用安定と職業能力開発	6.5
シ 農林水産業の活性化対策	4.6
キ 環境対策	4.3
ソ 学校教育の充実	3.8
コ 中小企業の育成	3.4
チ 震災からの復興対策	2.0
オ 生涯学習活動への支援	1.8
セ 良質な住宅の供給	1.6
カ 芸術文化の振興	1.1
イ 県政の広報・広聴活動	1.1
ウ 県政の合理的運営への努力	0.9
ス 交通網の整備	0.2
ケ 医療施設の充実	0.0
タ 交通安全・防犯対策	-0.1
ア 国際的な交流や協力	-0.3

県政への評価【前年結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
ク 福祉対策	7.6
イ 県政の広報・広聴活動	6.3
ケ 医療施設の充実	6.0
シ 農林水産業の活性化対策	4.1
カ 芸術文化の振興	3.9
オ 生涯学習活動への支援	3.6
ウ 県政の合理的運営への努力	3.6
ス 交通網の整備	3.6
コ 中小企業の育成	2.9
ソ 学校教育の充実	2.6
タ 交通安全・防犯対策	2.6
サ 雇用安定と職業能力開発	1.6
セ 良質な住宅の供給	0.3
キ 環境対策	0.1
ア 国際的な交流や協力	-0.4
エ 防災対策の充実	-8.9
チ 震災からの復興対策	-10.6

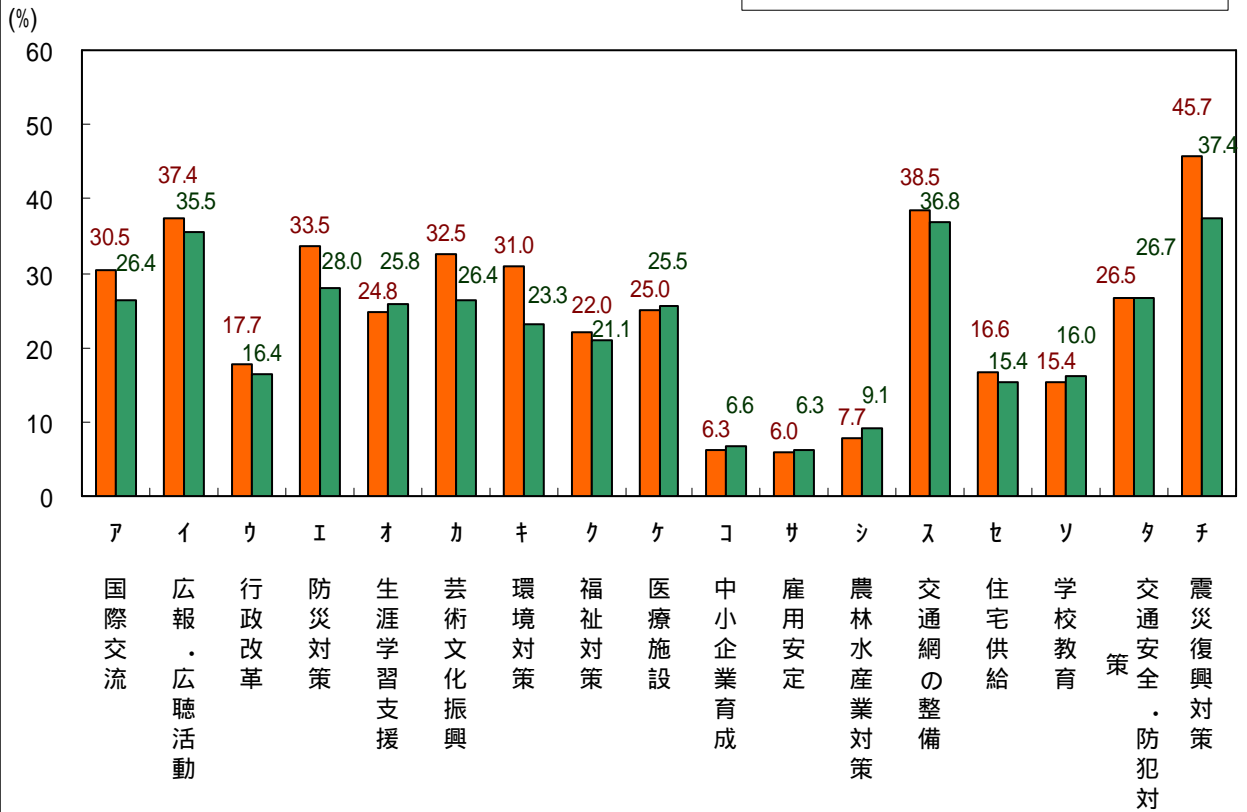
県政への評価【前年結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	増減
エ 防災対策の充実	11.5
チ 震災からの復興対策	6.7
オ 生涯学習活動への支援	3.5
ウ 県政の合理的運営への努力	2.4
イ 県政の広報・広聴活動	1.9
キ 環境対策	1.5
タ 交通安全・防犯対策	0.7
セ 良質な住宅の供給	-0.2
カ 芸術文化の振興	-0.4
サ 雇用安定と職業能力開発	-1.5
ア 国際的な交流や協力	-1.5
ク 福祉対策	-2.6
ソ 学校教育の充実	-3.7
コ 中小企業の育成	-3.9
ス 交通網の整備	-3.9
シ 農林水産業の活性化対策	-5.0
ケ 医療施設の充実	-7.1

前年との比較で〔福祉対策〕の評価が高い一方、全県及び前年との比較いずれも〔防災対策の充実〕を望む声が多い。

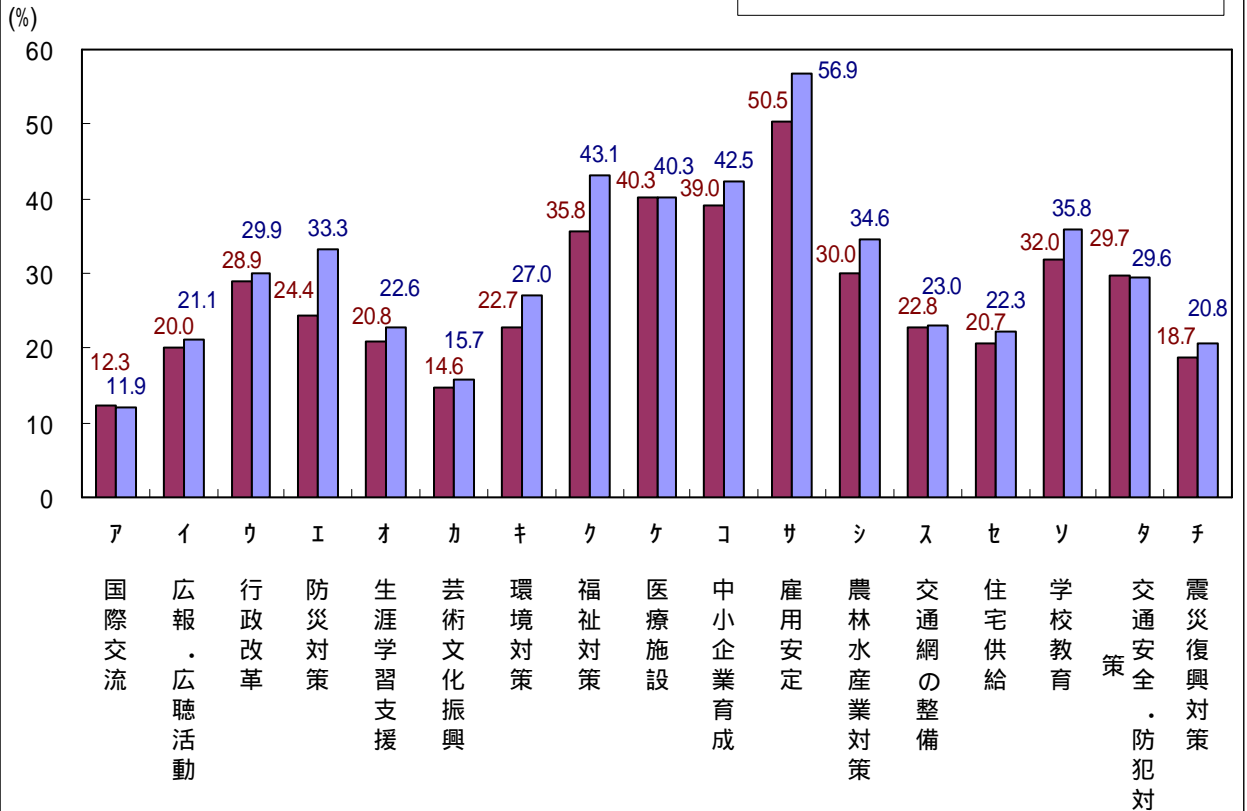
県政への評価 『やっている』【全県と中播磨】

■ 全県『やっている』 ■ 中播磨『やっている』



県政への評価 『努力が必要』【全県と中播磨】

■ 全県『努力が必要』 ■ 中播磨『努力が必要』

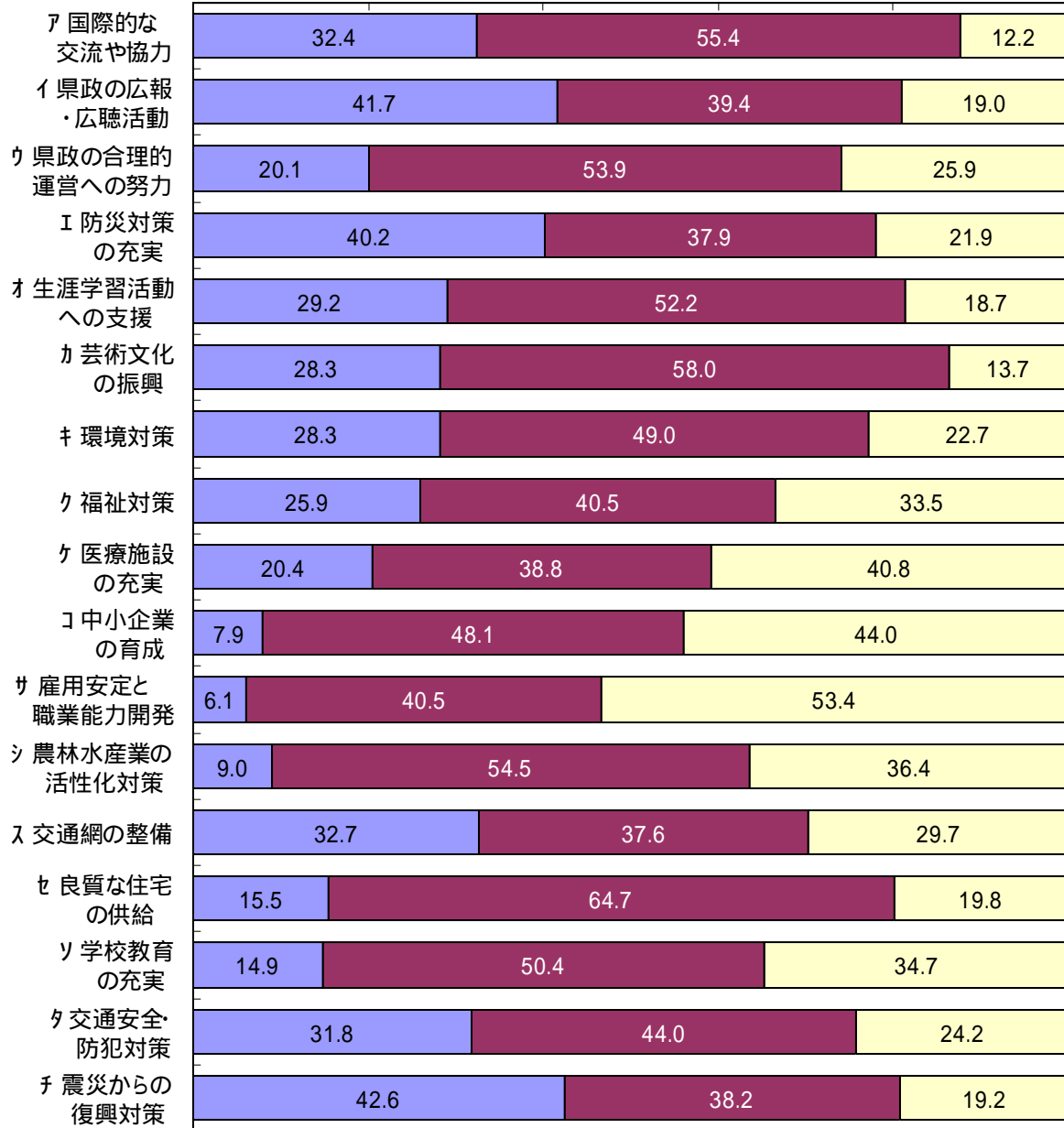


西播磨

県政への評価 西播磨地域

■ やっている ■ どちらともいえない、無回答 □ 努力が必要

0% 20% 40% 60% 80% 100%



県政への評価【全県結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
イ 防災対策の充実	6.7
タ 交通安全・防犯対策	5.2
オ 生涯学習活動への支援	4.4
イ 県政の広報・広聴活動	4.3
ク 福祉対策	4.0
ウ 県政の合理的運営への努力	2.5
ア 国際的な交流や協力	1.8
コ 中小企業の育成	1.5
シ 農林水産業の活性化対策	1.3
サ 雇用安定と職業能力開発	0.2
ソ 学校教育の充実	-0.5
セ 良質な住宅の供給	-1.2
キ 環境対策	-2.7
チ 震災からの復興対策	-3.1
カ 芸術文化の振興	-4.2
ケ 医療施設の充実	-4.6
入 交通網の整備	-5.9

県政への評価【全県結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
入 交通網の整備	7.0
シ 農林水産業の活性化対策	6.4
コ 中小企業の育成	5.0
サ 雇用安定と職業能力開発	2.9
ソ 学校教育の充実	2.7
ケ 医療施設の充実	0.5
チ 震災からの復興対策	0.5
キ 環境対策	0.0
ア 国際的な交流や協力	0.0
セ 良質な住宅の供給	-0.9
カ 芸術文化の振興	-0.9
イ 県政の広報・広聴活動	-1.0
オ 生涯学習活動への支援	-2.2
ク 福祉対策	-2.2
エ 防災対策の充実	-2.5
ウ 県政の合理的運営への努力	-3.0
タ 交通安全・防犯対策	-5.5

県政への評価【前年結果との比較】
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
イ 県政の広報・広聴活動	9.9
ク 福祉対策	9.1
ウ 県政の合理的運営への努力	7.5
入 交通網の整備	6.7
ケ 医療施設の充実	5.8
オ 生涯学習活動への支援	5.8
タ 交通安全・防犯対策	5.5
キ 環境対策	5.2
カ 芸術文化の振興	3.0
シ 農林水産業の活性化対策	2.9
ア 国際的な交流や協力	2.8
コ 中小企業の育成	2.4
エ 防災対策の充実	2.2
サ 雇用安定と職業能力開発	1.6
セ 良質な住宅の供給	0.8
ソ 学校教育の充実	-0.7
チ 震災からの復興対策	-7.4

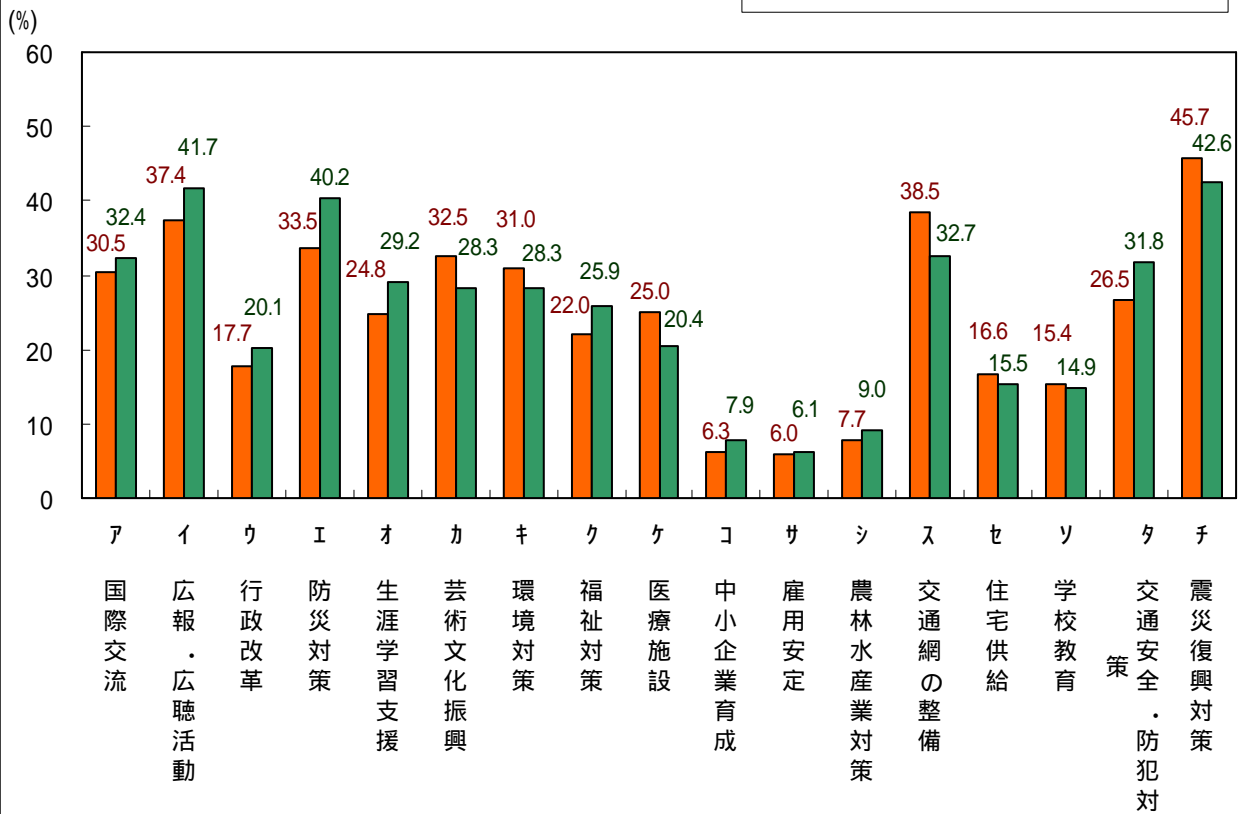
県政への評価【前年結果との比較】
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	増減
チ 震災からの復興対策	1.7
入 交通網の整備	-0.1
ア 国際的な交流や協力	-1.7
セ 良質な住宅の供給	-1.9
エ 防災対策の充実	-2.8
タ 交通安全・防犯対策	-3.7
コ 中小企業の育成	-4.4
イ 県政の広報・広聴活動	-4.4
ソ 学校教育の充実	-4.6
カ 芸術文化の振興	-5.1
キ 環境対策	-5.2
オ 生涯学習活動への支援	-5.7
シ 農林水産業の活性化対策	-7.1
サ 雇用安定と職業能力開発	-8.0
ウ 県政の合理的運営への努力	-8.1
ク 福祉対策	-12.3
ケ 医療施設の充実	-15.0

全県との比較で〔防災対策の充実〕への評価が高い一方で、〔交通網の整備〕を望む声が多い。

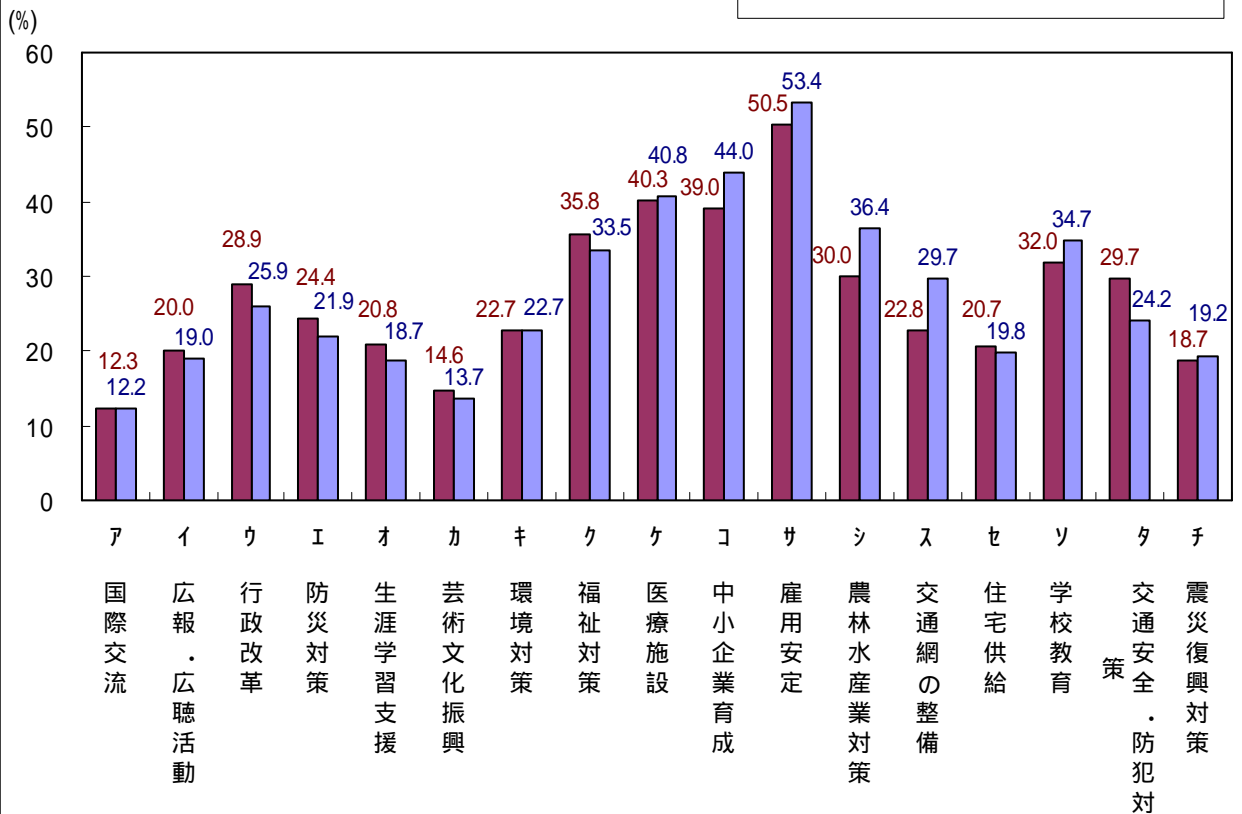
県政への評価『やっている』【全県と西播磨】

■ 全県『やっている』 ■ 西播磨『やっている』

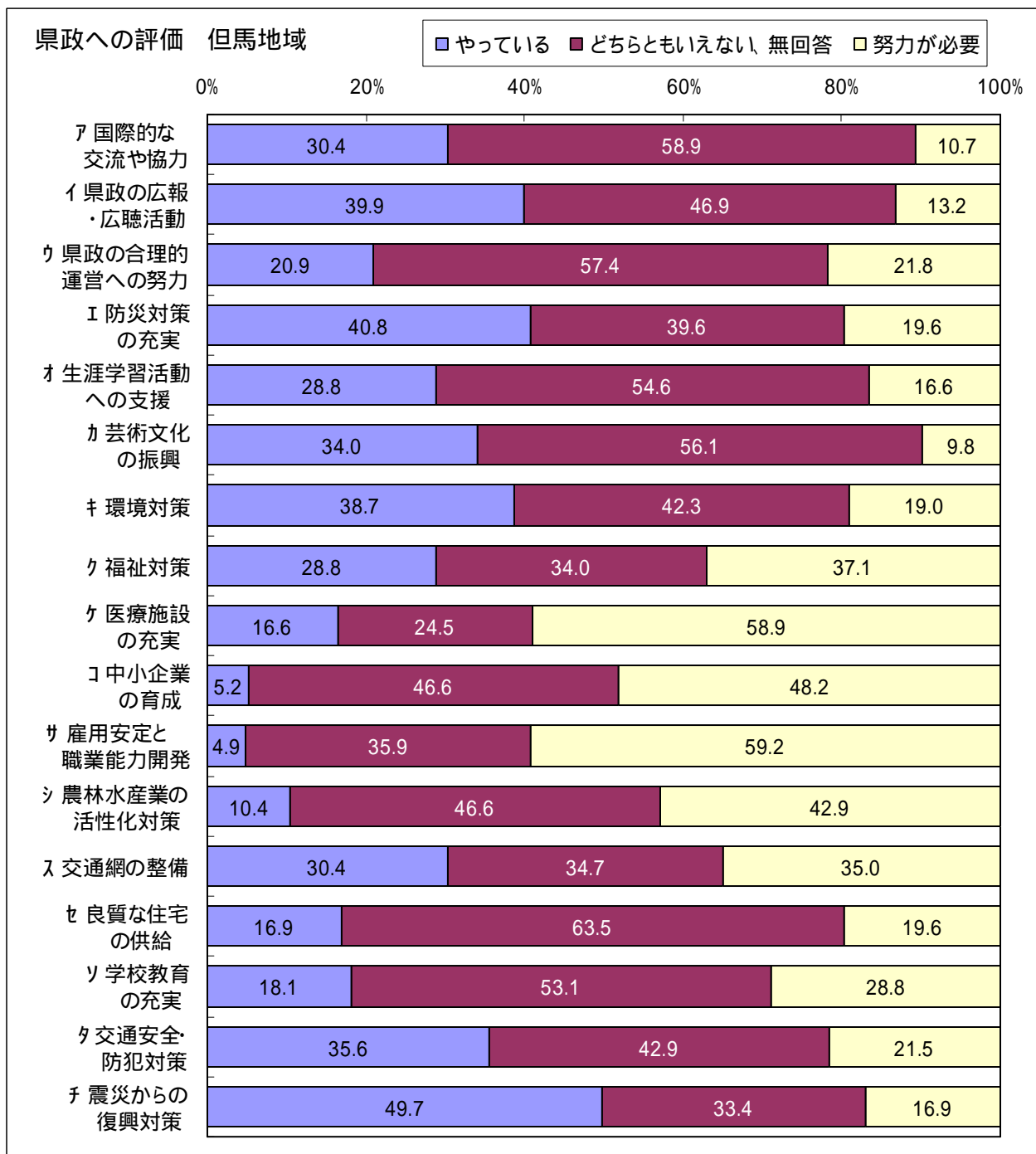


県政への評価『努力が必要』【全県と西播磨】

■ 全県『努力が必要』 ■ 西播磨『努力が必要』



但馬



県政への評価〔全県結果との比較〕
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
タ 交通安全・防犯対策	9.0
キ 環境対策	7.7
イ 防災対策の充実	7.3
ク 福祉対策	6.9
オ 生涯学習活動への支援	4.1
フ 震災からの復興対策	4.0
ウ 県政の合理的運営への努力	3.2
ソ 学校教育の充実	2.7
シ 農林水産業の活性化対策	2.7
イ 県政の広報・広聴活動	2.5
カ 芸術文化の振興	1.5
セ 良質な住宅の供給	0.3
ア 国際的な交流や協力	-0.2
サ 雇用安定と職業能力開発	-1.1
コ 中小企業の育成	-1.1
ス 交通網の整備	-8.2
ケ 医療施設の充実	-8.5

県政への評価〔全県結果との比較〕
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
ケ 医療施設の充実	18.6
シ 農林水産業の活性化対策	12.9
ス 交通網の整備	12.2
コ 中小企業の育成	9.1
サ 雇用安定と職業能力開発	8.7
ク 福祉対策	1.4
セ 良質な住宅の供給	-1.1
ア 国際的な交流や協力	-1.5
フ 震災からの復興対策	-1.9
ソ 学校教育の充実	-3.2
キ 環境対策	-3.7
オ 生涯学習活動への支援	-4.3
イ 防災対策の充実	-4.8
カ 芸術文化の振興	-4.8
イ 県政の広報・広聴活動	-6.8
ウ 県政の合理的運営への努力	-7.1
タ 交通安全・防犯対策	-8.2

県政への評価〔前年結果との比較〕
よくやっている+まあまあやっている (%)

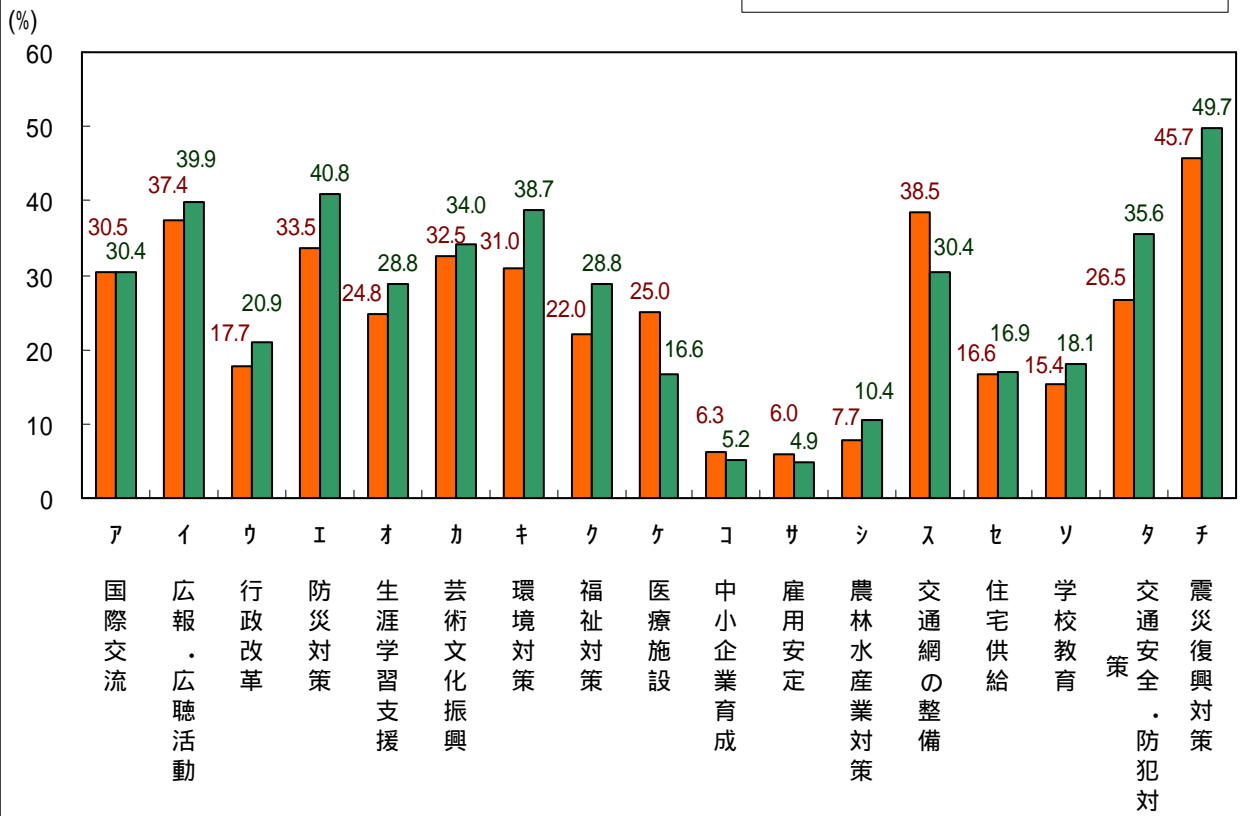
「やっている」	増減
ス 交通網の整備	11.0
キ 環境対策	6.9
タ 交通安全・防犯対策	6.4
ク 福祉対策	6.0
イ 県政の広報・広聴活動	5.6
カ 芸術文化の振興	5.5
セ 良質な住宅の供給	3.5
ウ 県政の合理的運営への努力	3.4
オ 生涯学習活動への支援	3.1
シ 農林水産業の活性化対策	2.5
ソ 学校教育の充実	2.2
フ 震災からの復興対策	1.4
コ 中小企業の育成	1.4
ケ 医療施設の充実	1.3
サ 雇用安定と職業能力開発	1.1
ア 国際的な交流や協力	-2.0
イ 防災対策の充実	-3.6

県政への評価〔前年結果との比較〕
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

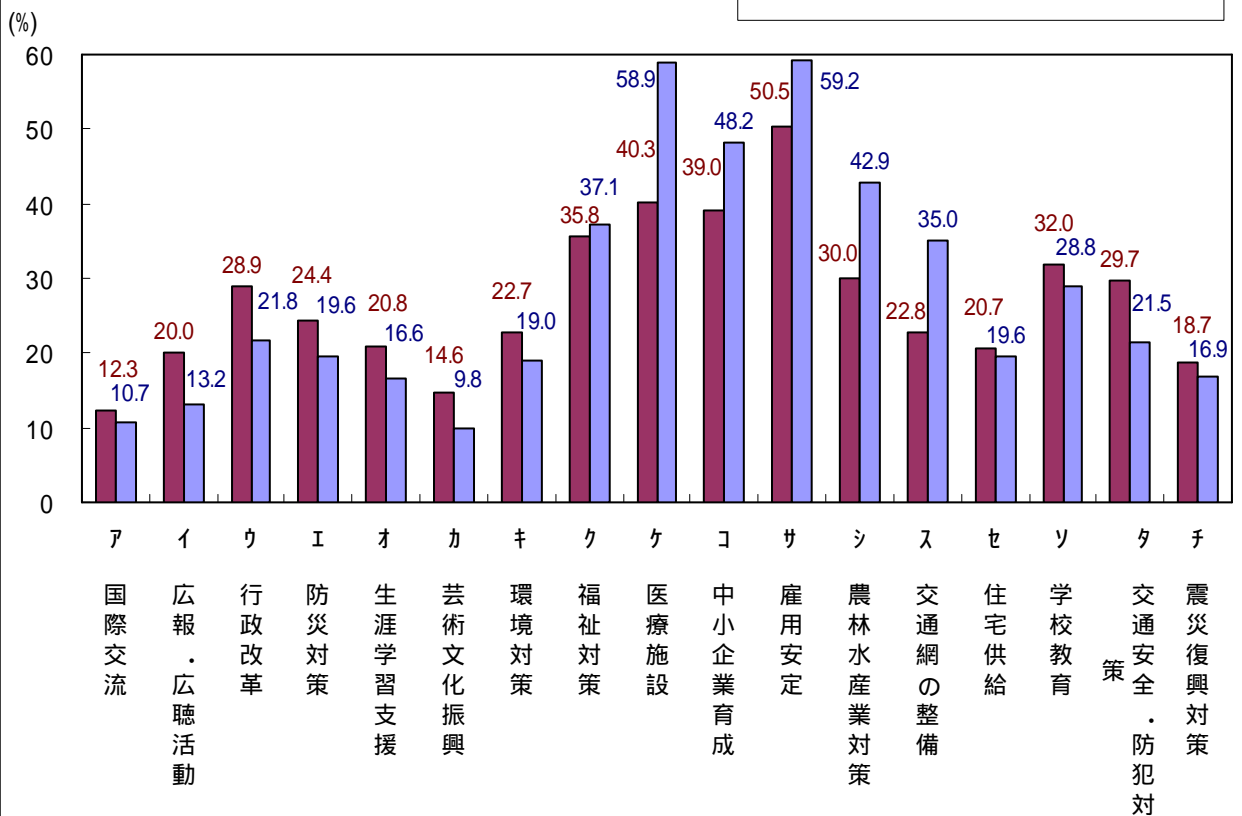
「努力が必要」	増減
フ 震災からの復興対策	3.5
ケ 医療施設の充実	1.8
ア 国際的な交流や協力	0.3
イ 防災対策の充実	-1.0
コ 中小企業の育成	-1.4
シ 農林水産業の活性化対策	-1.5
キ 環境対策	-1.6
オ 生涯学習活動への支援	-2.2
タ 交通安全・防犯対策	-2.7
ウ 県政の合理的運営への努力	-2.7
サ 雇用安定と職業能力開発	-2.7
イ 県政の広報・広聴活動	-3.0
ス 交通網の整備	-3.8
セ 良質な住宅の供給	-4.8
ク 福祉対策	-5.1
ソ 学校教育の充実	-5.5
カ 芸術文化の振興	-7.6

全県との比較で〔交通安全・防犯対策〕、前年との比較で〔交通網の整備〕への評価が高い一方で、全県との比較で〔医療施設の充実〕、〔農林水産業の活性化対策〕、〔交通網の整備〕を望む声が多い。

県政への評価『やっている』【全県と但馬】



県政への評価『努力が必要』【全県と但馬】

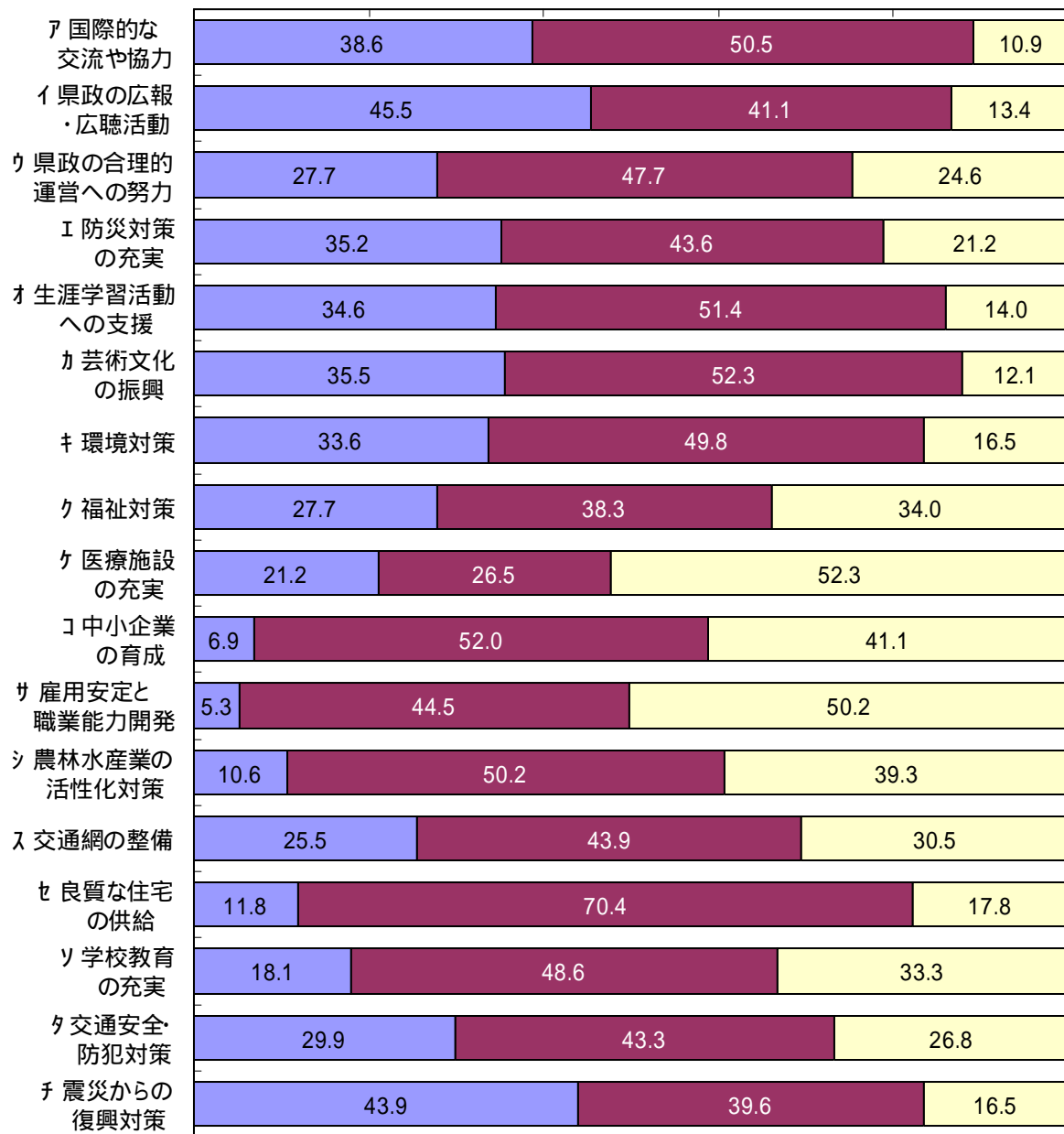


丹波

県政への評価 丹波地域

■ やっている ■ どちらともいえない、無回答 □ 努力が必要

0% 20% 40% 60% 80% 100%



県政への評価〔全県結果との比較〕
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
ウ 県政の合理的運営への努力	10.1
オ 生涯学習活動への支援	9.8
ア 国際的な交流や協力	8.1
イ 県政の広報・広聴活動	8.1
ク 福祉対策	5.7
タ 交通安全・防犯対策	3.4
カ 芸術文化の振興	3.0
シ 農林水産業の活性化対策	2.9
キ 環境対策	2.7
ソ 学校教育の充実	2.7
イ 防災対策の充実	1.7
コ 中小企業の育成	0.5
サ 雇用安定と職業能力開発	-0.7
チ 震災からの復興対策	-1.7
ケ 医療施設の充実	-3.9
セ 良質な住宅の供給	-4.8
ス 交通網の整備	-13.0

県政への評価〔全県結果との比較〕
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
ケ 医療施設の充実	12.0
シ 農林水産業の活性化対策	9.2
ス 交通網の整備	7.8
コ 中小企業の育成	2.1
ソ 学校教育の充実	1.3
サ 雇用安定と職業能力開発	-0.3
ア 国際的な交流や協力	-1.4
ク 福祉対策	-1.8
チ 震災からの復興対策	-2.2
カ 芸術文化の振興	-2.5
タ 交通安全・防犯対策	-2.9
セ 良質な住宅の供給	-3.0
イ 防災対策の充実	-3.2
ウ 県政の合理的運営への努力	-4.3
キ 環境対策	-6.2
イ 県政の広報・広聴活動	-6.6
オ 生涯学習活動への支援	-6.8

県政への評価〔前年結果との比較〕
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
ウ 県政の合理的運営への努力	8.3
オ 生涯学習活動への支援	7.2
ア 国際的な交流や協力	6.5
カ 芸術文化の振興	6.4
ク 福祉対策	5.3
イ 県政の広報・広聴活動	5.0
キ 環境対策	4.2
シ 農林水産業の活性化対策	3.2
コ 中小企業の育成	2.2
ソ 学校教育の充実	1.7
ケ 医療施設の充実	0.8
サ 雇用安定と職業能力開発	-0.7
タ 交通安全・防犯対策	-3.2
ス 交通網の整備	-5.2
イ 防災対策の充実	-5.9
セ 良質な住宅の供給	-7.6
チ 震災からの復興対策	-7.6

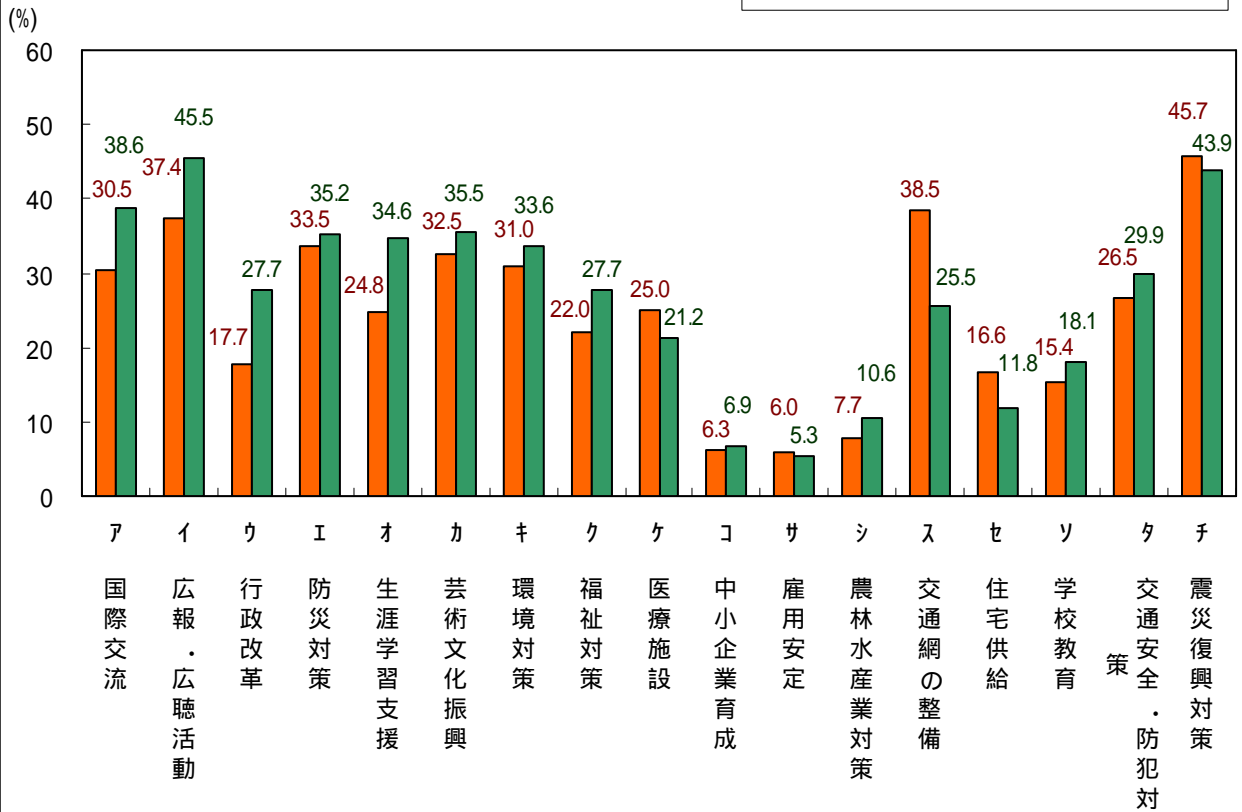
県政への評価〔前年結果との比較〕
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	増減
ケ 医療施設の充実	6.9
チ 震災からの復興対策	6.5
タ 交通安全・防犯対策	6.1
ソ 学校教育の充実	5.9
ス 交通網の整備	2.1
セ 良質な住宅の供給	1.7
イ 防災対策の充実	1.1
ウ 県政の合理的運営への努力	0.5
シ 農林水産業の活性化対策	-0.5
コ 中小企業の育成	-0.7
サ 雇用安定と職業能力開発	-1.3
ア 国際的な交流や協力	-1.5
イ 県政の広報・広聴活動	-2.0
カ 芸術文化の振興	-2.6
キ 環境対策	-3.2
オ 生涯学習活動への支援	-4.0
ク 福祉対策	-7.2

全県及び前年との比較いずれも〔県政の合理的運営への努力〕、〔生涯学習活動への支援〕への評価が高い一方で、〔医療施設の充実〕を望む声が多い。

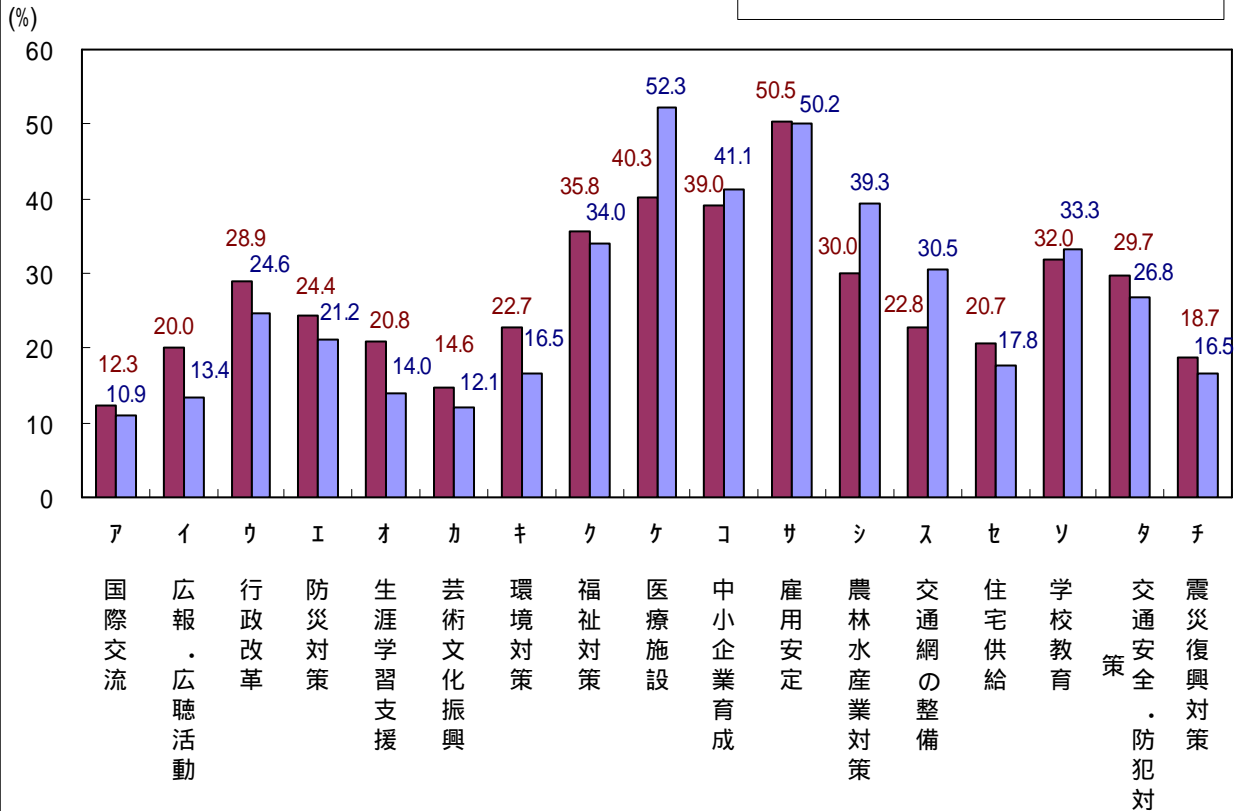
県政への評価『やっている』【全県と丹波】

■全県『やっている』 ■丹波『やっている』



県政への評価『努力が必要』【全県と丹波】

■全県『努力が必要』 ■丹波『努力が必要』

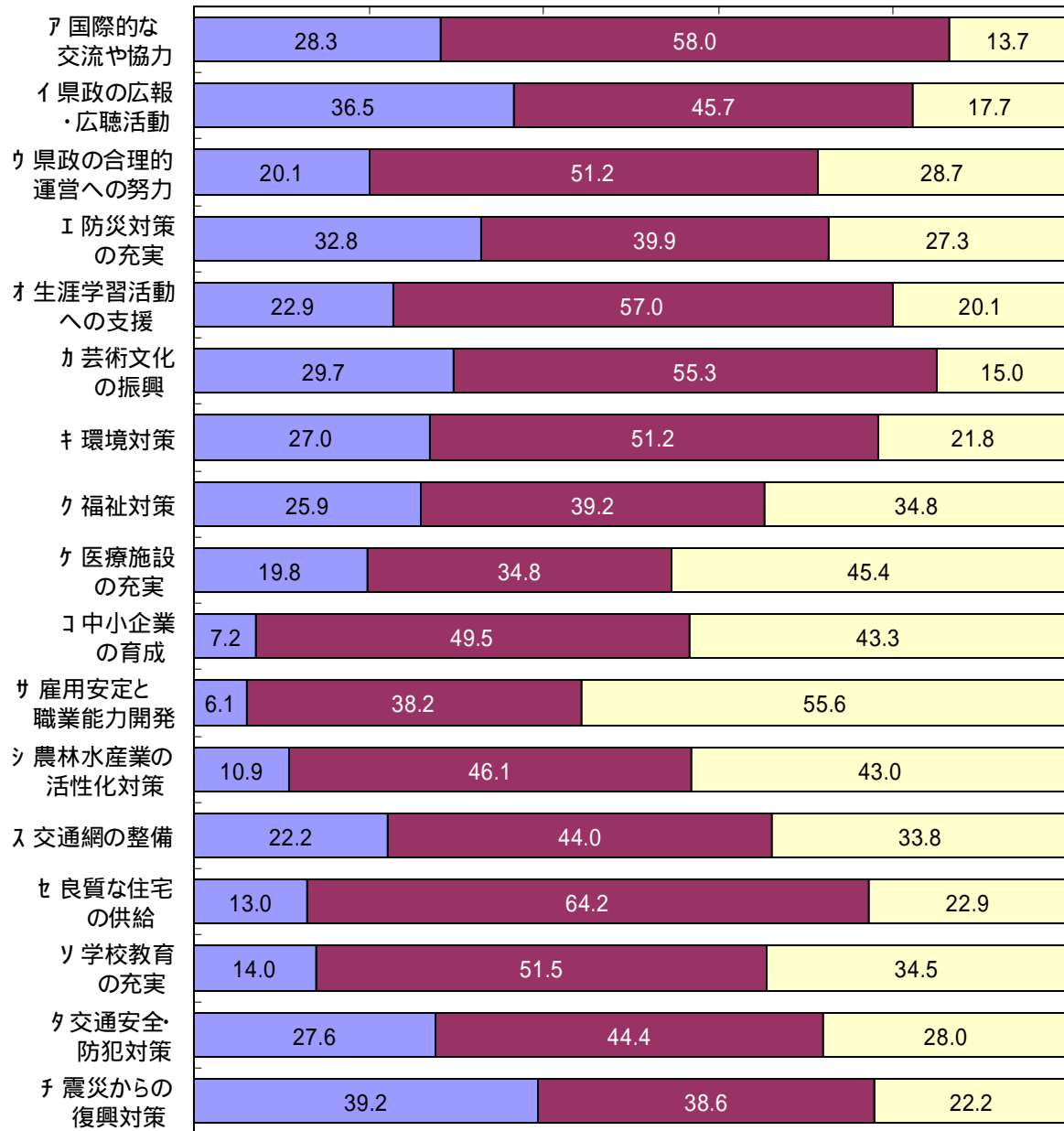


淡 路

県政への評価 淡路地域

■ やっている ■ どちらともいえない、無回答 □ 努力が必要

0% 20% 40% 60% 80% 100%



県政への評価〔全県結果との比較〕
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
ク 福祉対策	4.0
シ 農林水産業の活性化対策	3.2
リ 県政の合理的運営への努力	2.5
タ 交通安全・防犯対策	1.1
コ 中小企業の育成	0.8
サ 雇用安定と職業能力開発	0.2
イ 防災対策の充実	-0.8
イ 県政の広報・広聴活動	-0.9
ソ 学校教育の充実	-1.4
オ 生涯学習活動への支援	-1.9
ア 国際的な交流や協力	-2.2
カ 芸術文化の振興	-2.8
セ 良質な住宅の供給	-3.6
キ 環境対策	-4.0
ケ 医療施設の充実	-5.2
チ 震災からの復興対策	-6.4
ス 交通網の整備	-16.4

県政への評価〔全県結果との比較〕
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
シ 農林水産業の活性化対策	13.0
ス 交通網の整備	11.0
サ 雇用安定と職業能力開発	5.2
ケ 医療施設の充実	5.1
コ 中小企業の育成	4.3
チ 震災からの復興対策	3.5
イ 防災対策の充実	2.9
ソ 学校教育の充実	2.5
セ 良質な住宅の供給	2.1
ア 国際的な交流や協力	1.4
カ 芸術文化の振興	0.4
リ 県政の合理的運営への努力	-0.3
オ 生涯学習活動への支援	-0.7
キ 環境対策	-0.9
ク 福祉対策	-0.9
タ 交通安全・防犯対策	-1.7
イ 県政の広報・広聴活動	-2.2

県政への評価〔前年結果との比較〕
よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
カ 芸術文化の振興	9.8
イ 県政の広報・広聴活動	7.1
キ 環境対策	6.3
リ 県政の合理的運営への努力	6.2
ク 福祉対策	6.0
シ 農林水産業の活性化対策	5.7
オ 生涯学習活動への支援	4.7
コ 中小企業の育成	3.3
ア 国際的な交流や協力	3.2
ソ 学校教育の充実	2.1
タ 交通安全・防犯対策	1.1
サ 雇用安定と職業能力開発	0.5
セ 良質な住宅の供給	-1.0
ス 交通網の整備	-1.6
ケ 医療施設の充実	-4.7
イ 防災対策の充実	-8.1
チ 震災からの復興対策	-9.0

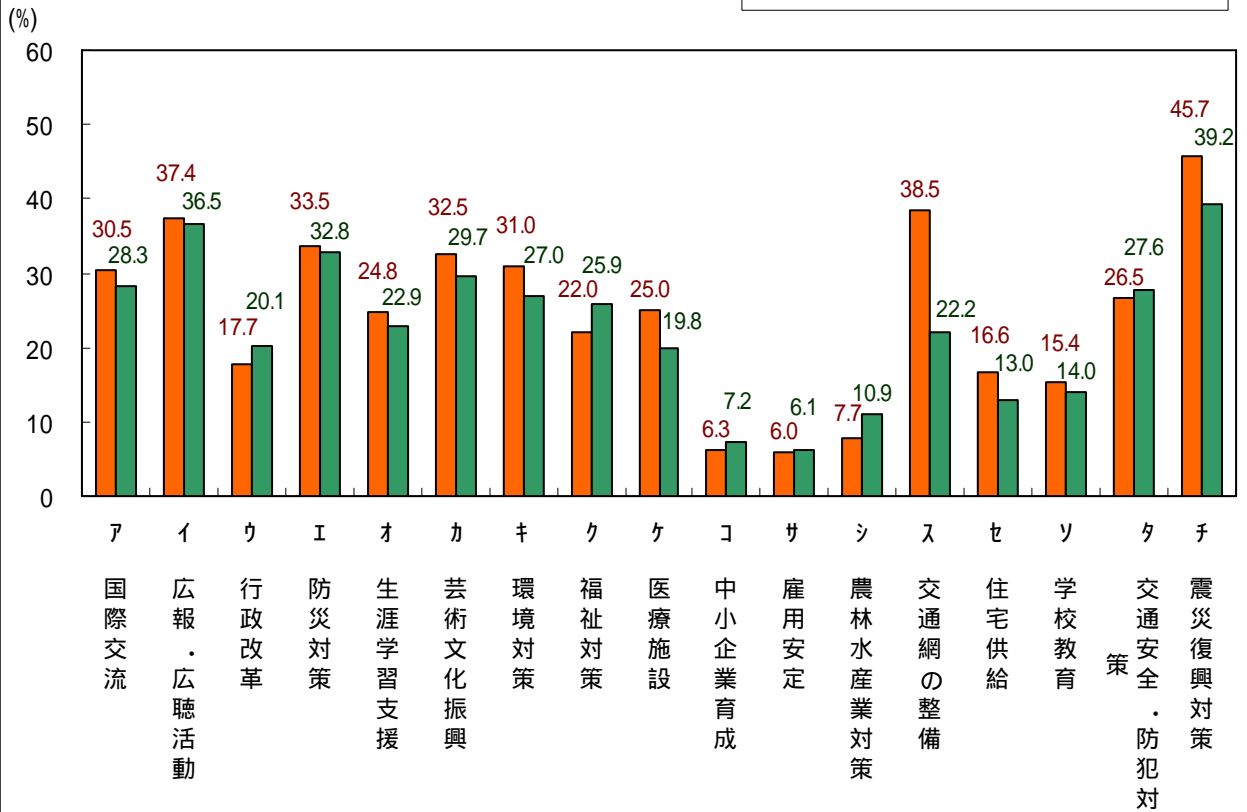
県政への評価〔前年結果との比較〕
もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	増減
イ 防災対策の充実	6.0
チ 震災からの復興対策	4.4
タ 交通安全・防犯対策	3.5
ス 交通網の整備	1.3
ア 国際的な交流や協力	1.1
イ 県政の広報・広聴活動	1.0
リ 県政の合理的運営への努力	0.7
オ 生涯学習活動への支援	0.2
ケ 医療施設の充実	-0.1
カ 芸術文化の振興	-1.1
ソ 学校教育の充実	-1.9
キ 環境対策	-5.1
セ 良質な住宅の供給	-6.2
コ 中小企業の育成	-6.7
サ 雇用安定と職業能力開発	-7.3
ク 福祉対策	-8.5
シ 農林水産業の活性化対策	-11.9

全県との比較で〔福祉対策〕への評価が高い一方、〔農林水産業の活性化対策〕や〔交通網の整備〕を望む声も多い。

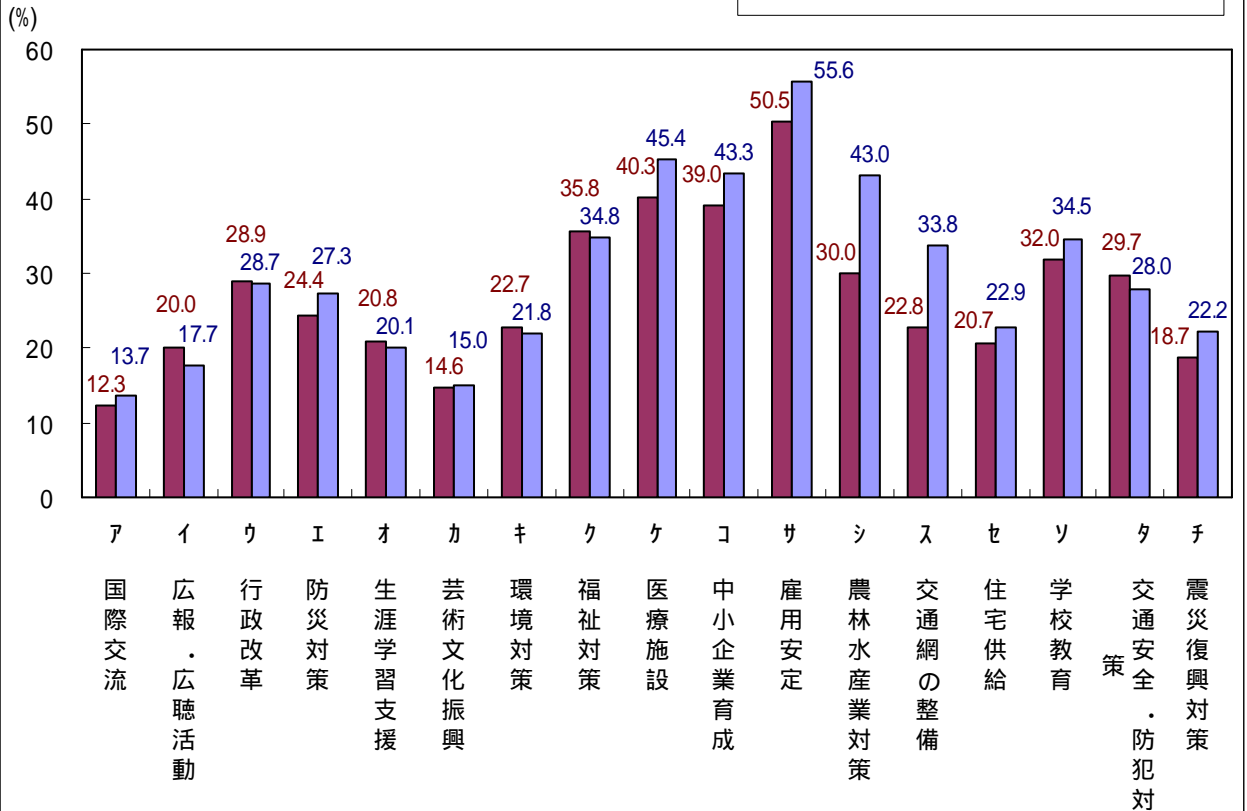
県政への評価 『やっている』【全県と淡路】

■全県『やっている』 ■淡路『やっている』



県政への評価 『努力が必要』【全県と淡路】

■全県『努力が必要』 ■淡路『努力が必要』



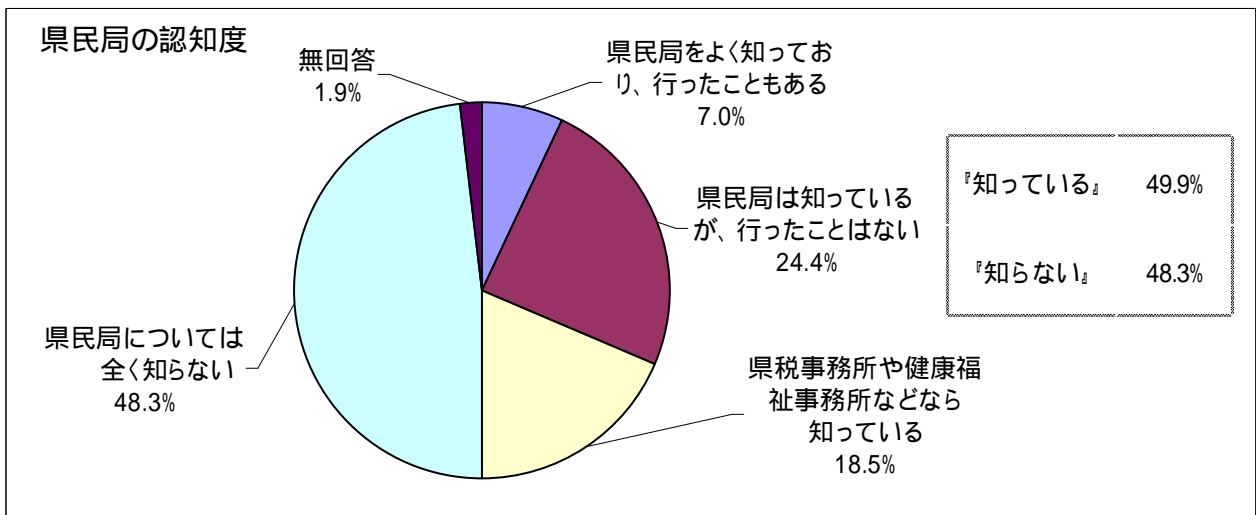
問 1 9 県民局の認知度

問 1 9 あなたがお住まいの地域の県民局について、あてはまるものを次の中から 1 つ選んで番号に印をつけてください。

- 1 県民局をよく知っており、行ったこともある
- 2 県民局は知っているが、行ったことはない
- 3 事務所（県税事務所・健康福祉事務所・農林水産振興事務所・土木事務所等）なら知っている
- 4 県民局については全く知らない

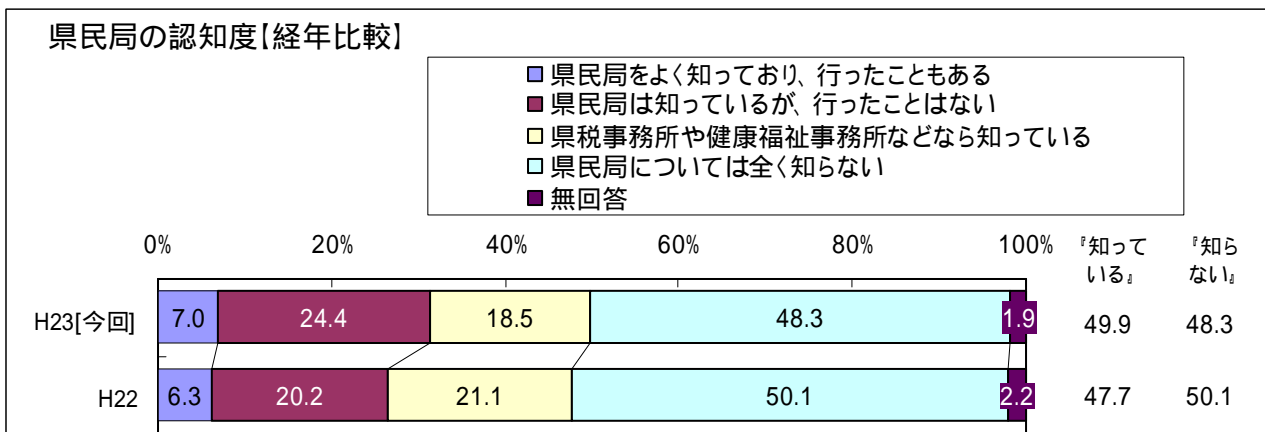
【全 県】

県民局の認知度は、「よく知っており、行ったこともある」、「知っているが行ったことはない」、「事務所なら知っている」を合わせた『知っている』が5割となっている。



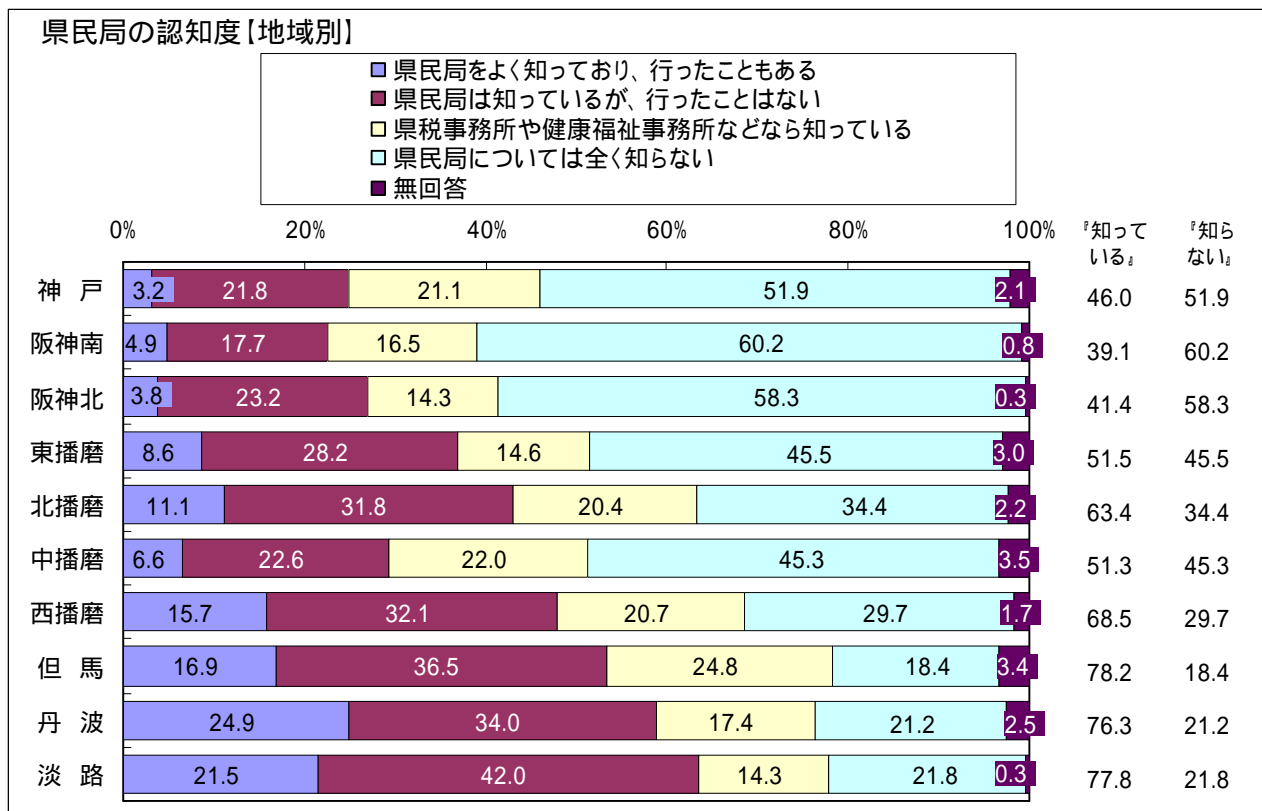
【経年比較】

前年調査と比較すると県民局の認知度はわずかながら増加している。



【地域別】

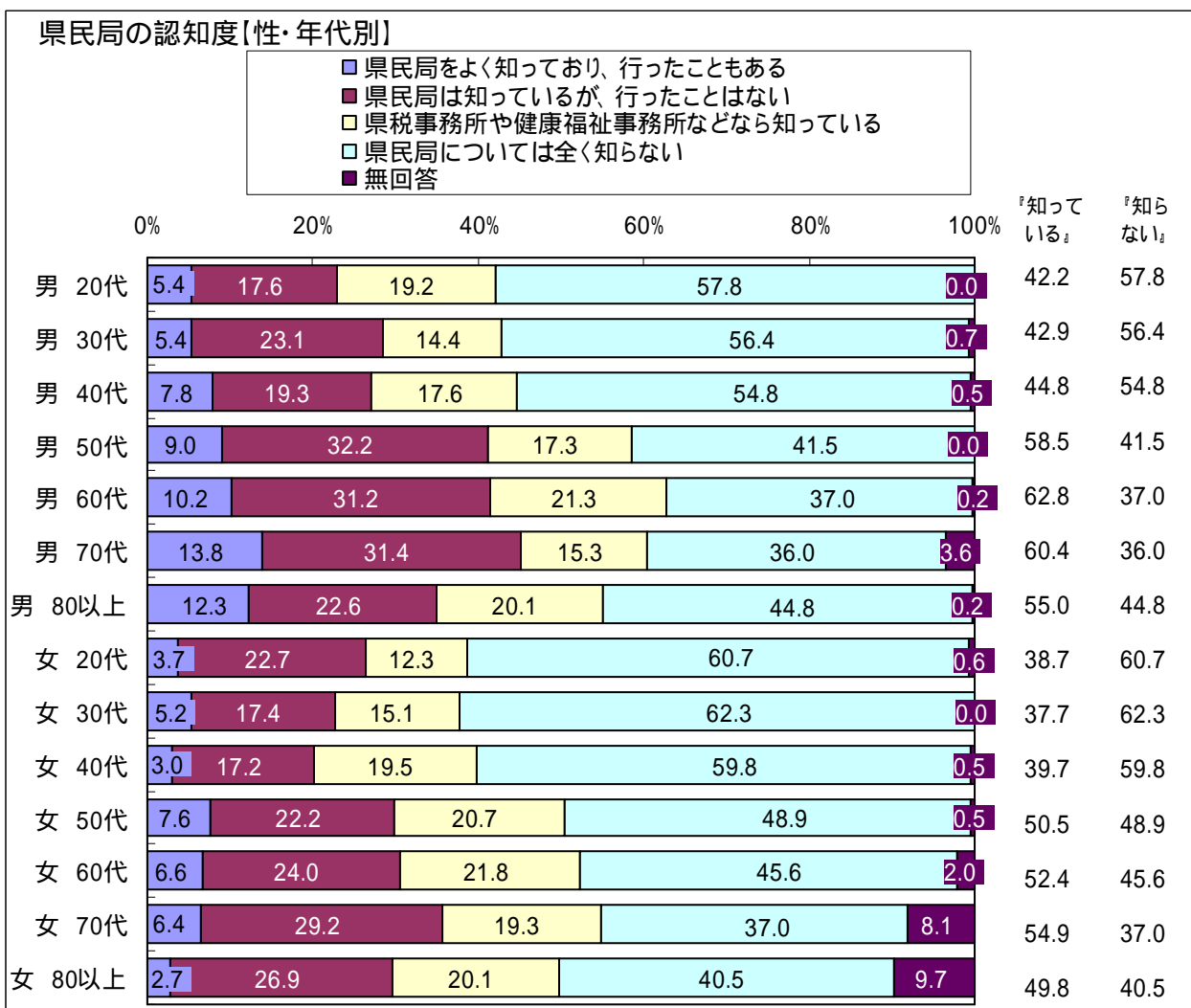
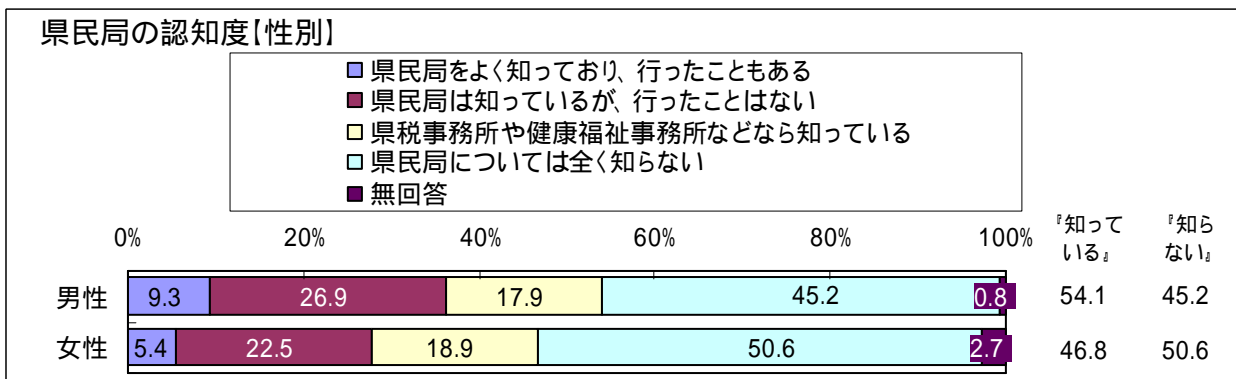
県民局の認知度は、阪神間で5割を下回っているが、但馬、丹波、淡路では7割を上回っている。



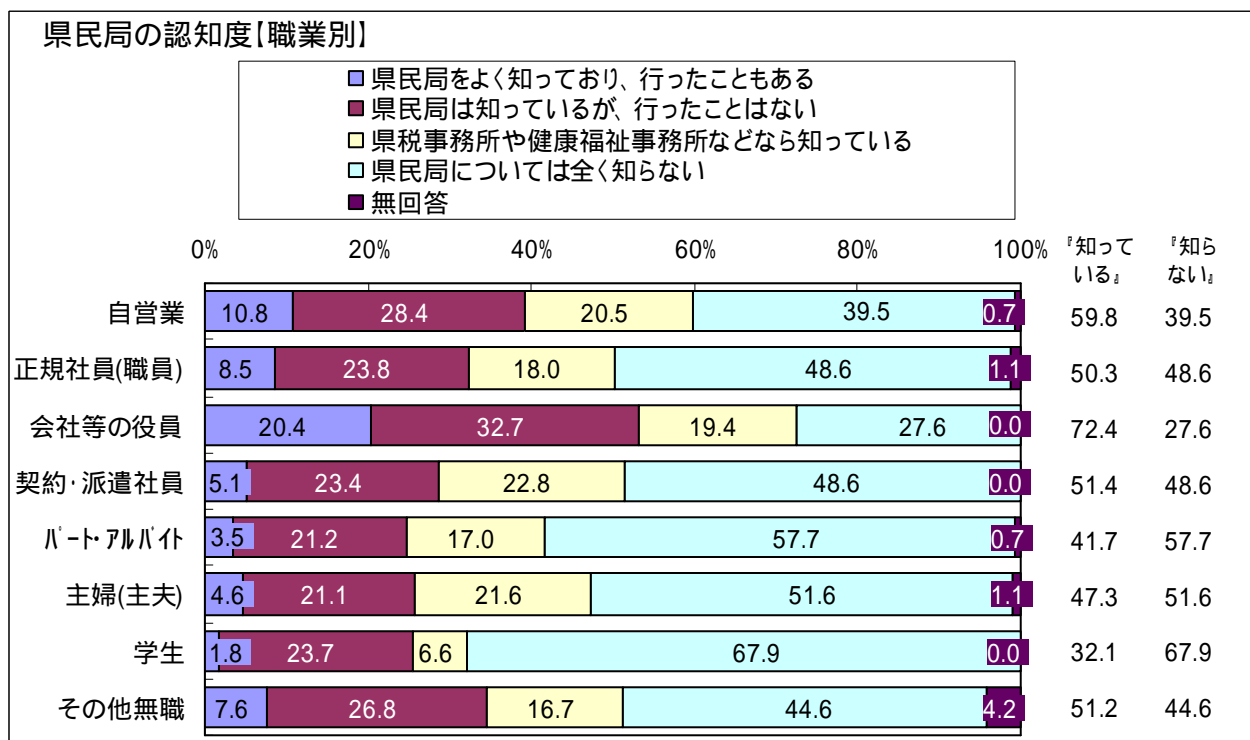
【性別、性・年代別】

性別では、男性の方が認知度が高い。

年代別では、男女ともに概ね年代が高くなるほど認知度は高くなっている。



【職業別】





災害に対する意識と防災対策への期待について

平成23年度県民意識調査

3月11日に発生した東日本大震災は、地震、津波に加え、原子力発電所の事故が重なり、東北地方を中心に、我が国がいまだかつて経験したことの無い大きな被害をもたらしました。

東日本大震災を機に、県においても地域防災計画の見直しをはじめ、一層の防災施策の充実に努めることとしており、このたび、県民の皆さんの災害に対する意識や、期待される防災対策について、改めてご意見をお伺いし、本県の防災施策に生かしていきたいと考えています。

今回、多くの県民の皆さんの中から、あなたを回答者として選ばせていただきました。お忙しい中誠に恐縮ですが、ご回答いただきますようお願いいたします。



平成23年9月
兵庫県知事 井戸 敏三

回答ご記入についてのお願い

ご回答は、必ず**あて名の方が**ご記入くださいますようお願いいたします。
ご記入いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、恐縮ですが、**9月26日(月)まで**にご返送くださいますようお願いいたします。
この調査は**無記名**でお願いしておりますので、個人的にご迷惑をおかけすることはありません。
調査結果は、来年2月をめどに、県ホームページ等で公表するとともに、県政の貴重な資料として活用させていただきます。
ご不明な点がございましたら、下記にお問い合わせください。また、点字の調査票を用意いたしますので、必要な場合は下記までご連絡ください。
兵庫県企画県民部 広聴室広聴係 TEL078(362)3021

まず、「災害や安全に対する意識」についてお聞きします。

問1 私たちの生活に大きな影響を与える災害や感染症等についてあなたが特に不安に感じているものはどれですか。次の中から3つ選んで番号に 印をつけて下さい。

- 1 地震・津波
- 2 水害（豪雨・洪水・高潮）
- 3 雪害（豪雪・雪崩）
- 4 風害（暴風・竜巻）
- 5 土砂災害
- 6 放射能汚染
- 7 感染症（新型インフルエンザや口蹄疫等）
- 8 集団食中毒
- 9 テロや他国からの攻撃

不安が減った	変わらない	不安が増した
--------	-------	--------

- E 土砂災害

1	2	3
---	---	---
- F 放射能汚染

1	2	3
---	---	---
- G 感染症（新型インフルエンザや口蹄疫等）

1	2	3
---	---	---
- H 集団食中毒

1	2	3
---	---	---
- I テロや他国からの攻撃

1	2	3
---	---	---

問2 最近になって、次に掲げる災害や感染症等に対するあなたの危機意識は変化しましたか。それぞれの項目ごとに1つ選んで番号に 印をつけて下さい。

不安が減った	変わらない	不安が増した
--------	-------	--------

- A 地震・津波

1	2	3
---	---	---
- B 水害（豪雨・洪水・高潮）

1	2	3
---	---	---
- C 雪害（豪雪・雪崩）

1	2	3
---	---	---
- D 風害（暴風・竜巻）

1	2	3
---	---	---

問3 あなたは、お住まいの地域の「風水害時の浸水想定区域や避難時に必要な情報」等を示したハザードマップ（災害予測地図）をご存じですか。次の中から1つ選んで番号に 印をつけて下さい。

- 1 よく知っている
- 2 聞いたことがある
- 3 知らない

問4 原子力発電所について、あなたが特に関心の高い内容を次の中から2つ選んで番号に 印をつけて下さい。

- 1 原子力発電所の安全性
- 2 原発事故が発生した際の影響（健康面、生活面など）
- 3 原発事故が発生した際の身の守り方
- 4 原発事故が発生した際の避難先
- 5 原子力発電の今後のあり方

次に、「家庭や地域における防災への取組」についてお聞きします。

問5 あなたは、東日本大震災に関連して、何らかの支援活動をされましたか。次の中から該当するものを全て選んで番号に 印をつけてください。

- 1 救援物資の提供
- 2 義援金・寄付金等の協力
- 3 被災地でボランティア活動に参加
- 4 お住まいの地域で行うボランティア活動に参加
- 5 その他 ()
- 6 特に何もしていない

問6 東日本大震災後、家庭内における防災対策について変化がありましたか。それぞれの項目ごとに1つ選んで番号に 印をつけてください。

	震災前からしている	震災後に新たにしている(しよつとして)	するつもりはない
A 貴重品や医薬品など非常時持ち出し品の準備	1	2	3
B 食料や水の備蓄	1	2	3
C 家族と避難場所や連絡先を相談	1	2	3
D 自宅の耐震工事や耐震診断	1	2	3
E 家具などの転倒防止	1	2	3
F 地震保険や共済制度への加入	1	2	3
G 防災訓練への参加	1	2	3

問7 あなたのお住まいの地域では、大規模災害が発生した際に、住民同士の助け合いはどの程度期待できますか。次の中から1つ選んで番号に 印をつけてください。

- 1 期待できる
- 2 やや期待できる
- 3 あまり期待できない
- 4 期待できない
- 5 わからない



問8 あなたのお住まいの地域では、東日本大震災後、自治会やPTAなど、地域で取り組む防災対策について変化がありましたか。それぞれの項目ごとに1つ選んで番号に 印をつけてください。

	震災前からしている	震災後に新たにしている	していない	わからない
A 地域内の避難場所や避難経路の確認や決定	1	2	3	4
B 防災訓練や講習会等の実施	1	2	3	4
C 学校での災害時の児童の避難についての話し合い	1	2	3	4
D 近隣の高齢者や障害者の把握	1	2	3	4
E 地域内の危険箇所の確認や見回り	1	2	3	4
F 隣近所で災害時の助け合い等について話し合い	1	2	3	4

問9 大災害発生直後における情報収集の手段として、あなたが積極的に利用すると思われる方法を次の中から2つ選んで番号に 印をつけてください。

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1 テレビ | 2 ラジオ |
| 3 新聞 | 4 家族や知人からの情報(電話等を含む) |
| 5 広報車、防災無線などを通じた国、県、市町等からの情報 | 6 インターネット(携帯端末も含む) |

次に、「防災対策における行政等の対応」についてお聞きします。

問10 災害に対する家庭や地域の備えの中で、あなたが行政に支援をしてほしいことはありますか。次の中から該当するものを全て選んで番号に 印をつけてください。

- 1 住宅の耐震診断や耐震工事
- 2 家具の適正配置や転倒防止策の普及
- 3 学校等での防災教育
- 4 自治会などで行う地域防災活動
- 5 ハザードマップなど危険情報の提供
- 6 住宅再建のための共済制度の普及
- 7 その他 ()

問 11 東日本大震災では、宮城、岩手、福島の三県に対して、関西広域連合構成7府県が分担して特定の被災県を支援する「カウンターパート」方式を導入し、兵庫県は徳島県、鳥取県とともに宮城県に対し、様々な支援を続けています。あなたは、こうした取り組みをご存じでしたか。それぞれの項目ごとに1つ選んで番号に 印をつけて下さい。

	知っている	聞いたことがある	知らない
--	-------	----------	------

- | | | | |
|--------------------------------|---|---|---|
| A 関西広域連合構成7府県が協力して支援に取り組んでいること | 1 | 2 | 3 |
| B 兵庫県は主に宮城県を支援していること | 1 | 2 | 3 |

問 12 大規模な災害が発生した時に、速やかに高齢者や障害者などの救助活動が行えるよう、行政から自治会やボランティア団体に、そうした方の名簿などの情報を緊急に提供することについて、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に 印をつけてください。

- 1 救助や支援のためであれば、提供してもよい
- 2 救助や支援のためであっても、提供するべきでない
- 3 わからない

続いて、以下の設問にお答えください。

問 13 あなたの住んでいる地域で、今後10年くらいの間に大地震が起こると思いますか。次の中から1つ選んで番号に 印をつけてください。

- 1 起こると思う
- 2 可能性は高いと思う
- 3 可能性は低いと思う
- 4 起こらないと思う
- 5 わからない

問 14 あなたが、今の生活をどう思っておられるかお聞きします。あなたの生活は、去年の今頃と比べてどうでしょうか。次の中から1つ選んで番号に 印をつけてください。

- 1 向上している
- 2 同じようなもの
- 3 低下している
- 4 わからない

問 15 あなたは、全体として、今の生活にどの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に 印をつけてください。

- 1 満足
- 2 まあ満足
- 3 どちらともいえない
- 4 やや不満
- 5 不満

問 16 あなたは、今の生活の次のような面では、どの程度満足していますか。それぞれの項目ごとに1つ選んで番号に 印をつけてください。

満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満
----	------	-----------	------	----

- | | | | | | |
|-------------------|---|---|---|---|---|
| ア 所得・収入 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| イ 貯蓄などの金融資産 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ウ 住居 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| エ 車、家具などの耐久消費財 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| オ 時間のゆとり | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| カ 趣味やレクリエーションへの取組 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| キ 地域活動やボランティアへの取組 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ク 仕事の内容 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ケ 家族との関係 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| コ 知人や近所の人との関係 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| サ 住んでいる地域の住み心地 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| シ あなた自身の健康 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ス 家族の健康 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問 17 あなたは県政に関心がありますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に 印をつけてください。

- 1 大変関心がある
- 2 多少関心がある
- 3 ほとんど関心がない
- 4 全く関心がない

あと少しです！
よろしくお願ひします。



問18 県の行っている仕事をあげています。あなたのお考えに近いものをそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に 印をつけてください。

	よくやっている	まあまあやっている	どちらともいえない	もう少し努力が必要	もっと努力が必要
ア 国際的な交流や協力	1	2	3	4	5
イ 県政の広報・広聴活動	1	2	3	4	5
ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力	1	2	3	4	5
エ 防災対策の充実	1	2	3	4	5
オ 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	1	2	3	4	5
カ 豊かな感性を培う芸術文化の振興	1	2	3	4	5
キ 自然環境を守り育てる環境対策	1	2	3	4	5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1	2	3	4	5
ケ 病気予防や病院などの医療施設の充実	1	2	3	4	5
コ 創造的活力に富む中小企業の育成	1	2	3	4	5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1	2	3	4	5
シ 農林水産業の活性化対策	1	2	3	4	5
ス 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1	2	3	4	5
セ 良質な住宅の供給	1	2	3	4	5
ソ 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	1	2	3	4	5
タ 交通安全・防犯対策	1	2	3	4	5
チ 震災からの復興対策	1	2	3	4	5

問19 あなたがお住まいの地域の県民局について、あてはまるものを次の中から1つ選んで番号に 印をつけてください。

- 1 県民局をよく知っており、行ったこともある
- 2 県民局は知っているが、行ったことはない
- 3 事務所（県税事務所・健康福祉事務所・農林水産振興事務所・土木事務所等）なら知っている
- 4 県民局については全く知らない

問20 以上の設問について、具体的なご意見がありましたら、ご自由にお書きください。また、その他お気づきの点がありましたら、何でもご自由にお書きください。

最後に、お答えいただいた回答を統計的に分析するため、あなたご自身や家族構成等についてお聞かせください。下記のことについて、あてはまるものに 印をつけてください。

F 1 あなたの性別は・・・。

- 1 男性
- 2 女性

F 2 あなたの年代は・・・。

- 1 20代
- 2 30代
- 3 40代
- 4 50代
- 5 60代
- 6 70代
- 7 80歳以上

F 3 あなたのご職業は・・・。（は一つ）

- 1 自営業（農林漁業、商工サービス業、自由業などを含む）
- 2 会社・団体などの正規社員（職員）
- 3 会社・団体などの役員
- 4 契約社員や派遣社員など
- 5 短時間勤務のパートタイマーやアルバイト
- 6 専業主婦（主夫）
- 7 学生
- 8 無職（専業主婦（主夫）・学生を除く）

F 4 あなたが現在お住まいのところの郵便番号は・・・。

（ご不明の場合、当調査票をお届けした封筒に記載の郵便番号をご覧ください）

□	□	□	-	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---	---

F 5 現在お住まいのところには通算で何年になりますか。

- 1 1年未満
- 2 1年以上～10年未満
- 3 10年以上～20年未満
- 4 20年以上

F 6 あなたの同居のご家族の構成は・・・。

- 1 1人世帯
- 2 夫婦だけ（1世代）
- 3 自分（たち）と子ども、または親と自分（たち）（2世代）
- 4 親と子と孫（3世代）
- 5 その他（ ）

F 7 同居するご家族について、あなたご自身を含めてあてはまる人を全てあげてください。

- 1 乳幼児
- 2 小学生・中学生
- 3 高校生・大学生・専門学校生
- 4 高齢者（65歳以上）
- 5 その他（1～4以外の人）



ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒でご返送ください。